

緒言

日本と世界との関係を密接ならしめんと期したること。



緒)

本書は世界に於ける日本の位置を示すことに、關し微力を盡したり、即ち或は記事上に、或は地圖上に、日本の四圍の情勢を簡明に述べ、或は日本と世界各國との各般の比較を示し、或は日本とアジア大陸及び大平洋との關係を簡明に説きたり。されども日本と世界との關係を密接ならしめんことを期するに於ては、單に以上の如く世界に於ける日本の位置を説明するのみにては、未だ缺くる所ある憾あるを以て、本書は此の間の關係に更に一層の力を盡したり、即ち

開卷第一の記事の如し。

二、原因と結果との關係を密接ならしめんと期したること。

原因と結果との關係を明かにしてこそ事實は初めて活動するものなれ、事實のみを羅列して、其の玆に出でたる原因を説かざれば、學生の腦裏に何等の興味を生ぜしめず、其の頭腦を煩悶せしむに過ぎざるを以て、本書は如何なる小事と雖も、原因と結果との關係を簡明に説き、學生の頭腦を開發せしむることに微力を盡したり、即ち文句にて云へば、

『火山島より成りて硫黄多き硫黄島は云々』、『鳥類多き南鳥島は云々』

と云ふが如き、簡單なる地名と雖も、その地名を得たる原因を知らしめんことに意を用ひたり。又記事より云へば、

犬吠崎は關東地方の東端に突出し、近傍は暗礁多ければ、燈臺を設く。犬吠崎より房總半島の中部までの海岸を九十九里濱と稱へ、寒流、暖流共に流るるを以て、水産多く、漁業甚だ盛んなり。

と云ふが如く、犬吠崎に燈臺を設くる二個の源因、九十九里濱に漁業の盛んなる源因を簡明に知らしめたり。以上の如く、都府より云へば、何故に該都府の發達したるや、産物より云へば、何故に該産物の其處に産するや、其の他大小の記事ことごとく源因と結果との關係を示すことに力めたり。

三、記事と地圖との關係を密接ならしめんと期したること。

地理書を講究するに、記事と地圖との關係を密接ならしめんことを期するは、固より其の所なりと雖も、而かも本文と地圖とを別々にせるより、學生は一記事を習ふ毎に、別冊なる地圖を開き、これより搜索して本文の記事と參考するを以て、其の間に注意力を殺がしむるの患少なからず、故に本書は本文の間に直ちに地圖を挿入し、或は大圖、或は小圖、或は切圖を最も便宜なる所に挿入し、學生をして一記事を習ふと同時に、其の習ひ居れる土地の直ちに眼前に現はれ來るべきことに力を用ひたり。

四、事實と事實との比較的觀念を促さしむるに注意したること。

本書は事實と事實との比較的觀念を促さしめんことに力を盡したり、即ち多くの地圖に於て、人口の密度、社會の情態、貿易の現勢等に關する比較的觀念を學生の間に促さしめんことを期せり。

五、挿畫に注意したること。

地理書中の挿畫は、學生の爲めに有益にして且つ興味を生ぜしめんことを期せざるべからず、獨り之れに止らず、學生をして見て以て考思力を促さしむることを期せざるべからず、故に本書は挿畫には學生の知らざるべからざる畫に

六  
して、而も古今の變遷を悟らしめんことを期し、此の間に向て微力を盡したり、即ち一福岡縣にて勤王家高山彦九郎の自殺して果てたる墳墓と日本唯一の大製鐵所とを對列せしめたるか如き、一高知縣にて未開なる力を以て架したる橋と文明なる力を以て架したる橋とを對列せしめ、傍ら同縣の物産を示したるが如き、皆此の用意に外ならざるなり。

以上以て本書編纂用意の大要を知るに足らんか、若し夫れ實地教授の任に當らるゝ諸君の忠言は、予の喜んで聽かんと欲する所なり。

東京赤坂區靈南阪上に於て

志賀重昂識

癸卯一月

日本之部

# 中學地理

## 第一章

### 世界と日本

#### 第一節 地理學の必要

一、世界は目前にあり。三河は古來有名の木綿産地なり、然れども支那、インド、アメリカ合衆國より精良にして廉價なる綿の日本に輸入し來るを以て、今や三河にては綿を植うるもの殆ど無きに至れり。山陽鐵道筋及び四國の島にては日本種の西瓜スイカは漸く見え、大概西洋種となれり、これ西洋種の西瓜は日本種よりも砂糖分多く好味なるを以

日本の綿は切織  
且つ粗くは織  
粗く且つ切  
易く紡績に  
適せず

上等西洋紙の原料は硫酸にて煮たるものなり。鳥糞は燐質と多量に居り、硝石は肥料製造に用ふ。日本人は先づ技術を指し、又努力を以て先ず成功する事業に成効する。

第一章 第 一 節

てなり。眞桑瓜も亦漸く植うるもの少く、西洋種の梨瓜なるものこれに代はるに至れり、梨瓜は眞桑瓜と同じく甜瓜なれども、砂糖分多く好味なるを以てなり。日本の材木は高價なるを以て、北アメリカの大平洋岸より頻りに材木を輸入し來るなり。製紙の一原料なる樅の木屑は北アメリカのカナダ又はヨーロッパの北端なるスウェーデン、ノルウェーより輸入し來るなり。肥料なる骨粉は南半球なるオーストラリアより、鳥糞はインド洋中のクリスマス島より、硝石は南アメリカの南端なるチレより輸入し來るなり。菓子に用ふる麥粉及び鹽鮭はアメリカ合衆國より輸入し、牛肉は鹽漬となりてオーストラリアより輸入し來れり。摺附木MATCH即ちマツチは、其の名のイギリス語なる如く、在來日本

麥稈眞田の製造に用ふる。

第二章 第 一 節

には無かりしものなり、然れども日本にて製造するもの漸く精良となり廉價となるや、日本のマツチは東洋、南洋及びヨーロッパの一部にも輸出し、ヨーロッパに於けるマツチ製造場はこれが爲めに倒るゝもの數多くあるに至れり。手巾即ちハンケチHANDKERCHIEFは其の名のイギリス語より訛りたる如く、在來日本には無かりしものなり、然れども日本の女子は巧みに且つ廉價に其の縁を縫ふを以て、絹ハンケチは日本よりヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア等に甚だ多く輸出するに至れり。音樂器のピアノ、オルガンは其の名の西洋語なる如く、在來日本には無かりしものなり、然れども日本にて製造するもの漸く精良となり廉價となるや、ヨーロッパ、アメリカより需用し來るなり。麥稈眞田を編む方法は西洋より傳

へたるものなり然れども日本にて編むもの甚だ精良に且つ廉價なるを以て、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアに甚だ多く輸出するなり。洋傘即ち蝙蝠傘も、麥酒即ちビールも、共に在來日本には無かりしものなり、然れども今や日本にて製造するもの多く東洋、南洋に輸出するに至れり。

寫眞、時計直シも指先キの仕事なり

日本に古來より固有せるもの西洋に壓倒されたるものあり。然れども西洋より傳來のものと雖も、日本人の西洋人を彼地に於てすら壓倒せしものあり、即ちロシア領シベリアの東部に於て寫眞師、時計直シは大概日本人なり。此の如く世界は共通となり、隣家の如くなれり。地理學は世界の事情を教ふるものなり、其の必要なること知るべし、特に今日の日本に最も必要なり。

## 第二章 地球

### 第一節 地球上の想像線

一、地球。我が地球は他の諸遊星と同じく太陽を中心として其の周圍を回轉する一個の遊星なり。地球の形は圓體なれども正圓體にあらず、其の直径三千二百里、周圍一萬里あり。

### 二、地球、兩極、赤道。

地球は地球の最も短き直径、即ち南北の直径にして、地球のこれに依りて回轉すと想像される線なり。地軸の北の端を北極と云ひ、南の端を南極と云ふ。赤道は北極と南極との中央に於て地球の表面を東西に周ぐる線を云ふ。

地球 地球上の想像線 地軸 兩極 赤道

英國 ロンドン  
近傍 グリニチ  
の子午線を經  
度の基點とな  
す

北半球にては  
北回歸線を以て  
北回歸線と云ふ  
南半球にては  
南回歸線を以て  
南回歸線と云ふ  
至北回歸線にては  
北回歸線と云ふ  
至南回歸線にては  
南回歸線と云ふ  
至南回歸線にては  
南回歸線と云ふ  
至北回歸線にては  
北回歸線と云ふ

**三、子午線、緯度、經度。** 子午線は地球の表面を極より極に通過する線を云ふ。緯度は赤道より南北に度数を以て測りたる距離を云ふ。經度は一定の子午線より東西に度数を以て測りたる距離を云ふ。

**四、兩極圈、兩回歸線。** 兩極圈は赤道と並行し南北兩極より各二十三度の處にある二圈を云ふ、北にあるを北極圈と云ひ、南にあるを南極圈と云ふ。回歸線は赤道と並行し

其の南北各二十三度の處にある二圈を云ふ、北にあるを北回歸線と云ひ、南にあるを南回歸線と云ふ。

**五、三帶。** 帶は兩極圈と兩回歸線とに依り地球の表面を分ちたる部分を云ふ。兩回歸線の間を熱帶と云ひ、兩回歸線と兩極圈との間を溫帶と云ひ、兩極圈の内を寒帶と云ふ。

アフリカ、南洋諸島の住民を見て知るべし  
エスキモー人を見て知るべし

熱帶地方にては氣候炎熱なるのみならず、炎熱の爲めに蒸發氣も多く、雨多きを以て、住民の精神も肉體も自ら弱し、且つ炎熱と多量の蒸發氣と雨とは大に動植物の生育を促し、住民は容易に衣食の材料を採り得べく、又炎熱なるが故に厚き衣服も堅固なる家屋も要せざるなり。然れば熱帶地方の住民は概ね懶惰にして無氣力なり。寒帶地方の住民は常に嚴しき寒氣に會ひ居るが上に、衣食の材料も乏しければ、其の智力は發達せず。溫帶地方の住民は中和なる氣候に會ひ、且つ適宜の勞力に服するものなれば、概ね氣力ありて智力も發達せり。吾人が棲息する日本帝國は其の南端の一部分を除くの外、悉く溫帶の内にある。

第二節 水陸の區分

一、水陸の比例。地球の表面は凡そ水四分の三、陸四分の一より成る。

二、大洋。大洋は地球を圍める鹽水の最大部分を云ふ。

大洋を分ちて五となす、(一)大平洋、(二)インド洋、(三)大西洋、(四)北極洋、(五)南極洋。

極洋 (五) 南極洋  
ANTARCTIC

三、大陸。大陸は地球の乾きたる表面の最大部分を云ふ。

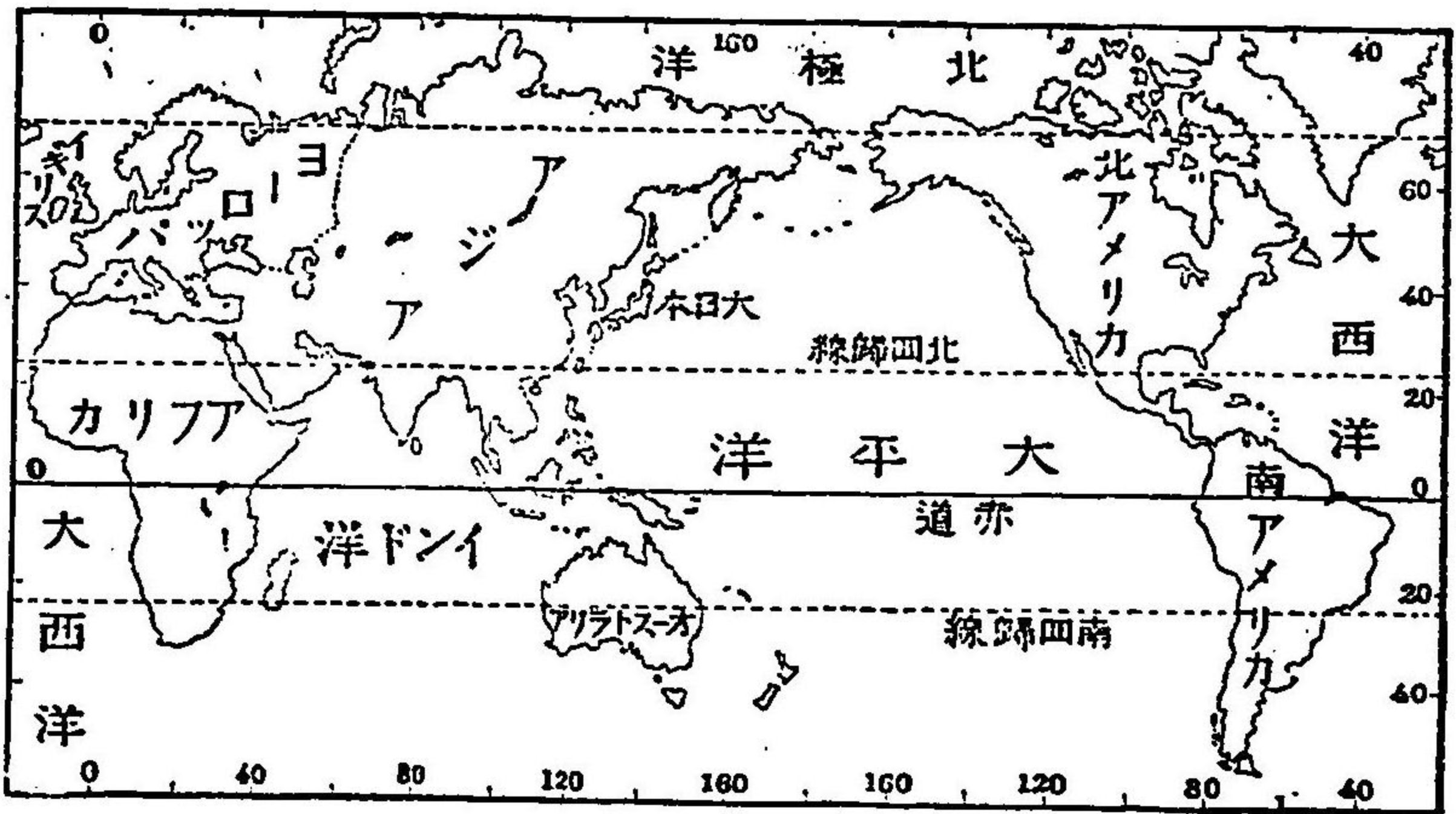
大陸を分ちて五となす、(一)アジア、(二)大洋洲、(三)ヨーロッパ、(四)アフリカ、(五)アメリカ。

フリカ、(五)アメリカ。  
AFRICA AMERICA

四、島。島は陸の小なるものを云ふ。

かく地球は水と陸とにて成れば、人類は多く衣食住の材料を得、交通の便利を得て、文明の域に進歩するものとす。

ISLAND



地球 水陸の區分

大平洋 アジア洲

大平洋は最も大なる大洋にして、アジア洲の物産多き部分と、日進の勢あるアメリカとオーストラリアとの間にあれば、世界の進歩は遂に大平洋に支配さるべし。アジア洲は地勢餘りに壯大なれば、容易に開發せざりしも、今や人類はこれを開發し得べきを以て、最も多望なるはアジアなり。吾人が棲息する日本は、中和なる温帯に位し、多望なる大平洋の西、多望なるアジア洲の東にあり。



第三章 日本帝國地文誌

第一節 位置

**一、位置。**我が日本帝國はアジヤ大陸の東、大太平洋の北西に羅列する諸島なり。東は大太平洋を隔て、北アメリカ洲に面し、南洋諸島を隔て、オーストラリアに對す。

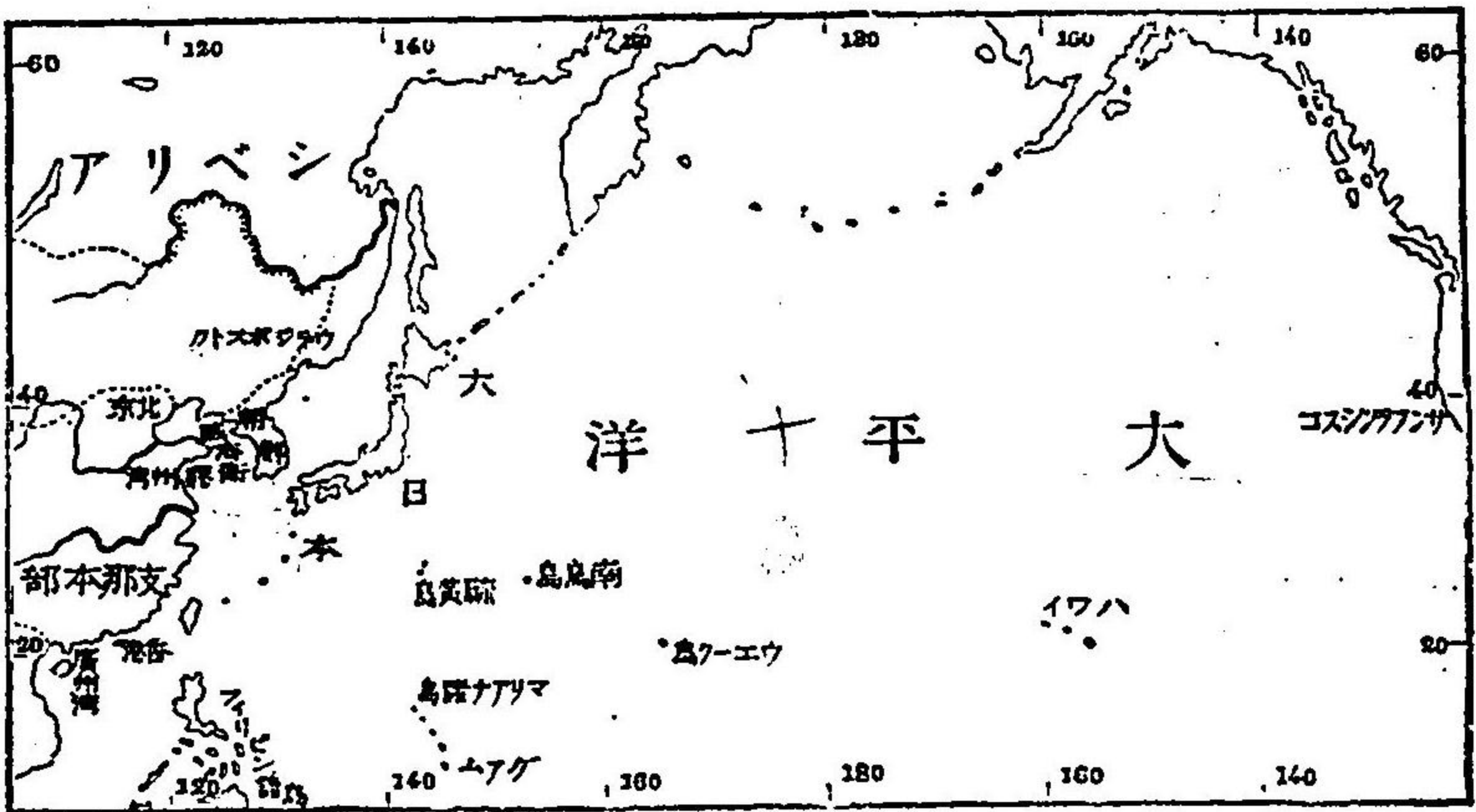
**二、境域。**我國は北は海峽を隔て、ロシア領のシベリアと界し、東は大太平洋に面し、東南は南鳥島、硫黃島よりドイツ領のマリアナ諸島に接し、南西は臺灣より海峽を隔て、アメリカ合衆國領のフィリピン諸島に對し、西は海峽を隔て、支那に隣り、又海峽を隔て、朝鮮に接し、西北は日本海を隔て、シベリアに對せり。

章 三 第 ))))))))))))

日本の周囲に強國あり、近年の土地所有の趨勢、我が國に接する諸島、明治三十三年より受く、譲り受け、スバニアより

膠州灣は明治三十年、衛三州、全州、廣州、島州、年島、ライキス、占有す

章 三 第 ))))))))))))



日本帝國地文誌 位置 境域

我が新潟の對岸に、ロシア領の大軍港ウラヂボストクあり。硫黃島の南にドイツの新に得たるマリアナ諸島あり。南鳥島の南西に合衆國の大太平洋底電線の伸繼所たるべきウェーク島あり。九州の對岸に支那の威海衛、膠州灣あり、一はイギリス、一はドイツ占有す。臺灣に近き支那の香港はイギリスに屬し、其の支那艦隊の根據地なり。香港に近き支那の廣州灣はフランス新に占有せり。

極北 千島國  
 度五 北緯五〇  
 極南 北緯二  
 一 度四分  
 極東 千島國  
 占守島 東端  
 東經 一五六度  
 三 二分  
 極西 澎湖島  
 花嶼 西端 東  
 經 一〇九度二  
 〇 分  
 日本に次ぐ最  
 長の國チレは  
 全長一千五百  
 十里  
 ヘルギーはア  
 フリカ洲にコ  
 ンゴ獨立國を  
 建立せり

第 三 章

**三、廣袤** 我國は北海道、本州、四國、九州、臺灣の大五島と其他の小島より成る。其の全長一千三百里、世界中の最も長き國なり、故に各種の氣候を包羅し、隨て物産の種類多きこと世界に稀なり。其の面積二萬七千方里、ヨーロッパの強國イギリス、イタリアの面積よりも大なり。然れどもヨーロッパの諸國は、本國の外に世界に屬地を所領す、即ちイギリスは本國に百倍する屬地を有し、ベルギーは我國の十四分の一なる小國なれども、我國に六倍する新邦國を建立せり。本州は全面積の二分の一、北海道は、五分の一、九州、臺灣は各十分の一、四國は二十分の一あり。

第二節 地勢

**一、海岸。** 我國には半島、岬、灣、海峽多し。然れば海岸線の

海岸線長ければ、船舶交通の便多し、物産の交換を促進す。地方の開發を

長きこと世界第一なり、即ち長サ七千五百里、面積三方里半に對し一里の割合なり。ギリシアは海岸線長きが故に西洋文明の先達となれりと云へども、五方に對し一里の割合なり、イギリスは海岸線長きが故に世界第一の海運國、貿易國となれりと云へども、七方に對し一里の割合なり、ノルウェーは海岸線長きが故に世界第一の漁業國となれりと云へども、面積に對する海岸線の割合は我國に及ばず。

我國の海岸には島嶼亦多し。然れば我國は文明の發達、海運、貿易及び漁業の進歩の爲めには甚だ好き地勢を有す。

**二、地形。** 我國は弓狀の細長き地形をなす。諸島は三個の彎形より成り、千島は北彎をなし、北海道、本州、四國は中彎をなし、九州、琉球、臺灣は南彎をなす。北彎はオホーツク海



富士火山脈は弓状なる日本の矢を作せり  
 日本諸島は自からアジア大陸の萬里長城

ヤロノ天山を

安危に對して護衛せんと任ずるものに似たり。

**三、山系。** 我國に樺太、崑崙の二大山系あり。樺太より北海道に入り、本州の中部まで、北東より南西に奔るもの樺太

山系なり。支那崑崙山系の九州に入り、本州の中部まで、南

駿河、甲斐、信濃の間是なり

北日本 那須、岩木、那珂、霧ヶ峰、北アルプス山脈  
 南日本 能登、白根、阿蘇山脈

西より北東に奔るもの崑崙山系なり。二系山の接合する處は、我國にて幅員最も廣く、地勢最も高峻なる處をなす。

**四、火山脈。** 樺太、崑崙の二大山系の外に三個の火山脈あり。其の一は北にありて、千島より北海道に入る千島火山

脈なり。其の二は中部にありて、南洋より入り、樺太、崑崙二系の接合點に沿ひて本州を横斷する富士火山脈なり。其

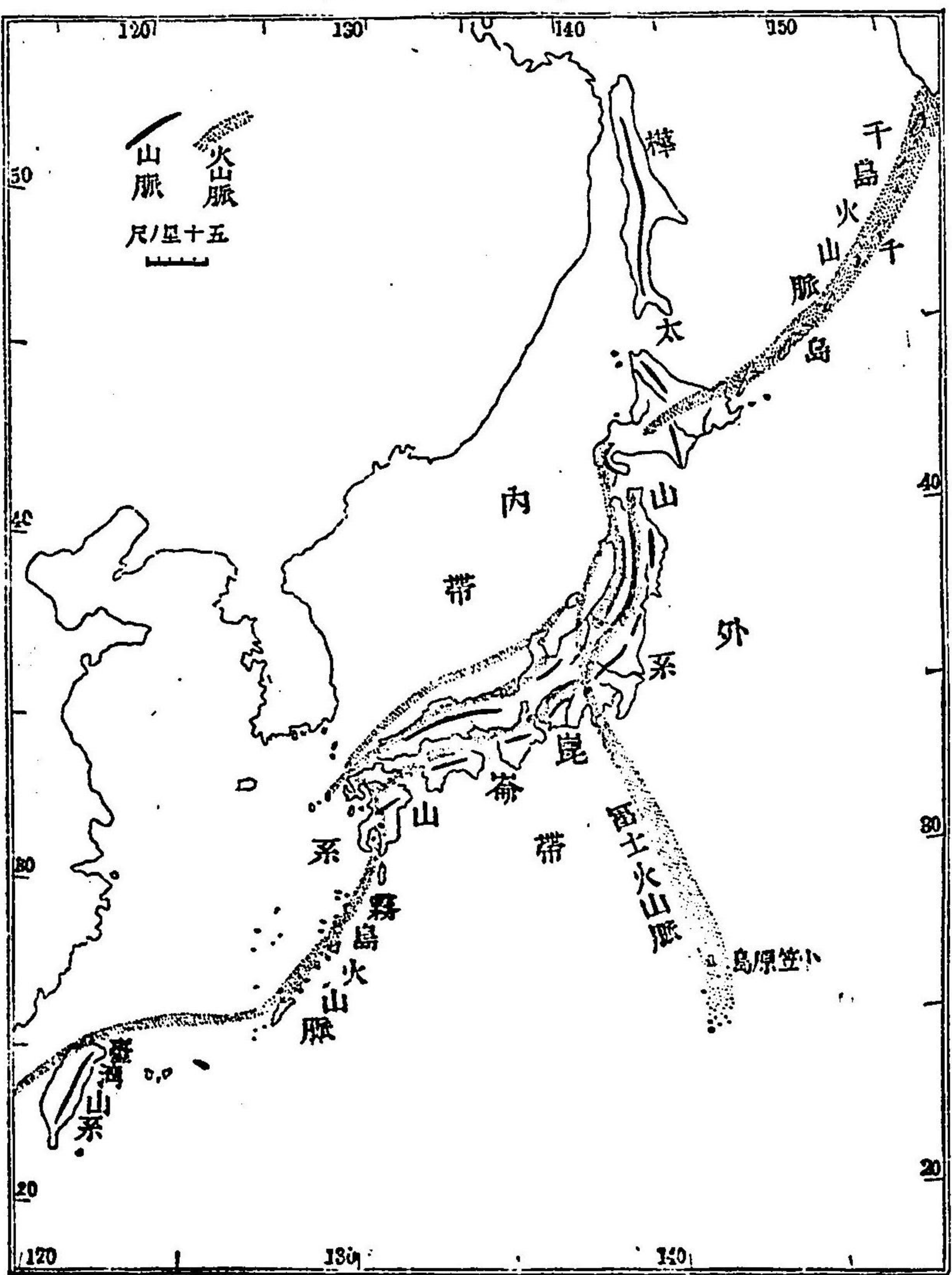
の三は南にありて、臺灣より九州に入る霧島火山脈なり。

以上三大火山脈の外、富士火山脈の北東、即ち我國の北東部に三個の併行せる火山脈あり、富士火山脈の南西、即ち我國

の南西部に三個の併行せる火山脈あり。

**五、北日本及び南日本。** 以上の如く富士火山脈は我國を二大部に分つ、北東を北日本と云ひ、南西を南日本と云ふ。

脈山火及系山



六、表日本及び裏日本。

樺太、崑崙の二山系は我國を縦斷して二大部に分つ、大太平洋岸は弓狀なる諸島の凸面をなすを以て表日本、又外面と云ひ、日本海岸は凹面をなすを以て裏日本、又内面と云ふ。

七、火山、温泉。

以上の如く火山脈多きを以て、我國には火山甚だ多く、爆發することも亦多し。かく地下の熱盛んなれば、温泉は各處に湧出し、其の多きこと世界に稀なり。

八、地震。

以上の如く地下の熱盛んなれば、地震も亦甚だ多く、古來より大地震も少からず。凡て地震は地質の軟弱なる平原地、例へば關東平原、濃尾平原に多し。

以上の如く我國は山國なり。山國は住民をして質朴、壯健ならしむれども、亦度量を狹隘ならしむ。我國は又海國な

山國は土地瘠薄、交通不便、空氣清潔なり

噴氣孔も多し

火山の爆發、地震多ければ、人心動搖して、危懼の念を懐き落ち着かず

り。海國は住民を進取ならしめ、度量を壯潤ならしむ。此の如く山國にして又海國たる我國は、人民をして有爲ならしむべきなり。然れども人民の性情に沈着堅固の分子を缺くは、火山の爆發と地震との感化なるか、抑亦爆發と地震との多きは、日本人をしてこれに關する考究を促さしめ、これを豫防する途を大成せしむる所因ともなるべきか。

九、水系。我國は細長き群島國なれば、大なる河なし。然れども四周の洋海よりは多量の水分蒸發し、國內に充滿せる山に衝突して雨雪となり、水源となるを以て、河の數は多く、河水の量も亦少からず。山多きが故に地勢急にして、河底の傾斜急に、雨雪の量も多ければ、水害の患も亦多し。我國の河は大なるものなく、且つ傾斜急なれば、舟の通行に

河は人生に便利多し

便利少し、然れども中流以下は大概舟を通ず。又傾斜の急なるが故に、水車、電氣の發動、其他各種の工業に水力を用ふるもの多し。河の數多く、且つ其の所在は土地平坦なれば、道路及び鐵道の敷地として便利多し。米を主産物となせる我國にては、河の多きを以て、稻田の灌漑に便利多し。又河の所在は土地肥沃にして農産物多し。此の如く河の所在は工業農業及び交通に便利多ければ、人民は此處に集合し來り、我國の都會は殆ど皆河の所在にあり。我國の地形は幅狭きを以て湖の大なるものなし。我國第一の大湖は琵琶湖なり。又火山多きを以て火口湖少ならず。此等の湖は交通灌漑又は電氣の發動に利用せらる。河の注入する洋海に依りて、五個の斜面に大別すれば、

火口、五個あり

一、オホーシク海斜面……………常呂川(北海道)

十勝川(北海道)

利根川(本州)

吉野川(四國)

大淀川(九州)

荇萊溪(臺灣)

二、大平洋斜面……………

石狩川(北海道)

信濃川(本州)

遠賀川(九州)

三、日本海斜面……………

淀川(本州)

肱川(四國)

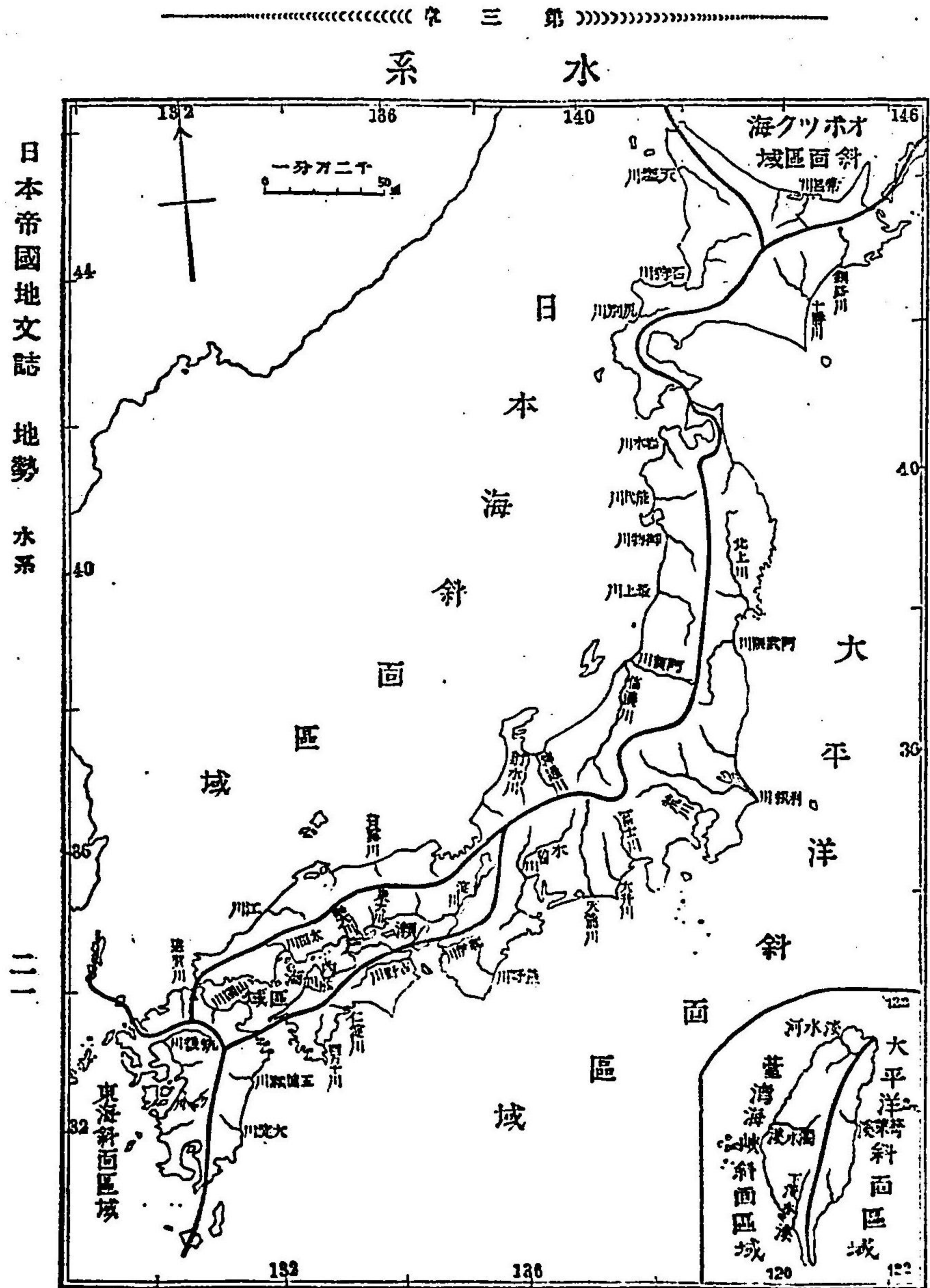
山國川(九州)

四、瀬戸内海斜面……………

筑後川(九州)

淡水河(臺灣)

五、東海斜面……………



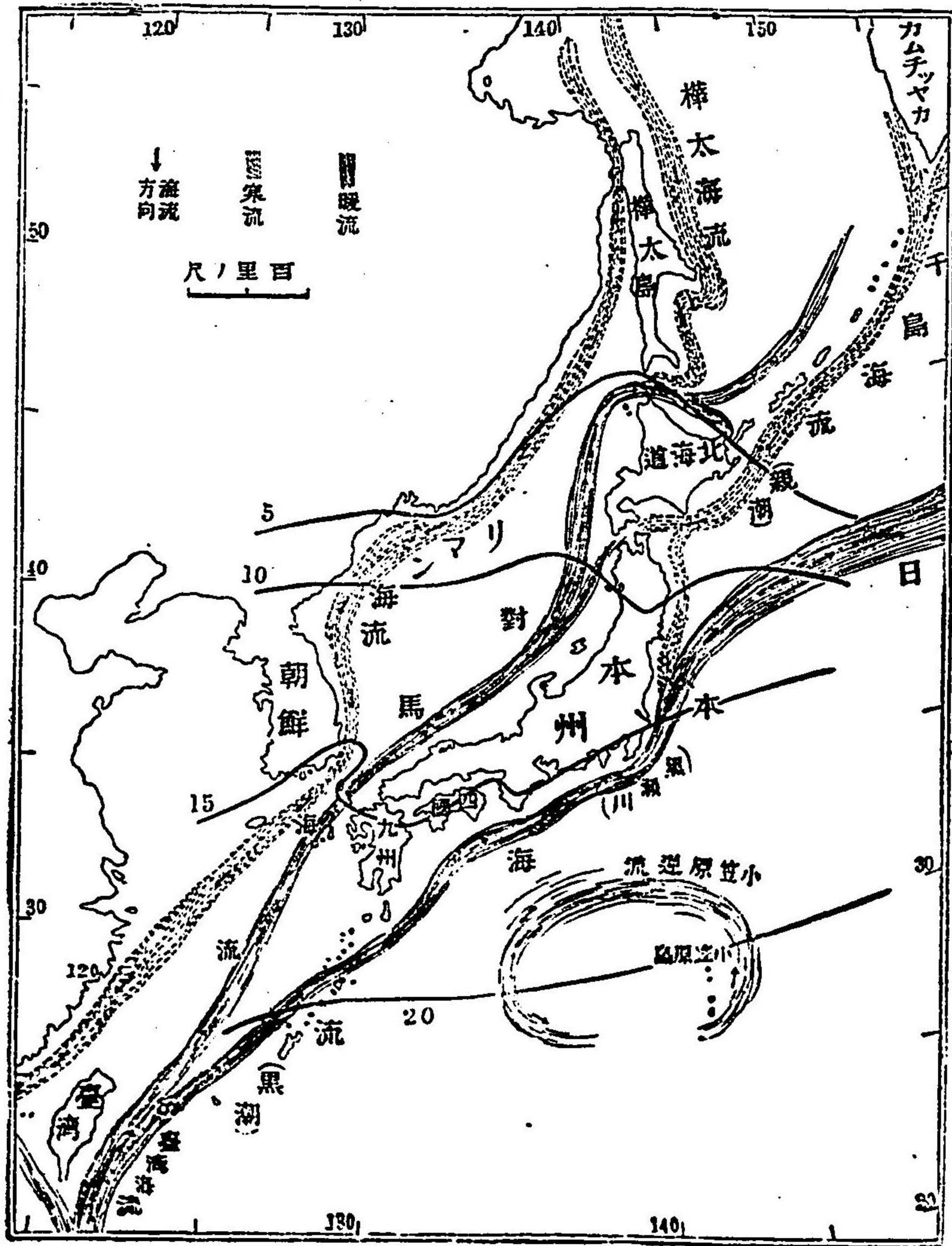
第三節 氣候

**一、溫度。** 日本諸島の大部は温帶中にあれば、氣候中和にして、平均溫度十一度、即ちヨーロッパ南部の溫度に同じ。然れども緯度は殆んど三十度に亘り、地勢の變化は多く、海流も暖寒のもの流るゝを以て、處により寒暖の大差あり。北海道の内部にては冬季零下四十一度に下り、臺灣の南部にては夏季三十七度に上り、富士山の頂上にては夏季零下三十三度に下り、而して山麓に近き甲府市にては同季に三十六度に上ることあり。概するに海岸、特に大平洋岸は四季を通じて溫度の差異少く、内陸及び山中は差異急劇なり。

**二、海流。** 我國の近海には、赤道近傍より來る暖流、黒潮及び寒帶より來る寒流、親潮あり。黒潮は南西より大平洋岸を

川離宮豫定地上最低溫度

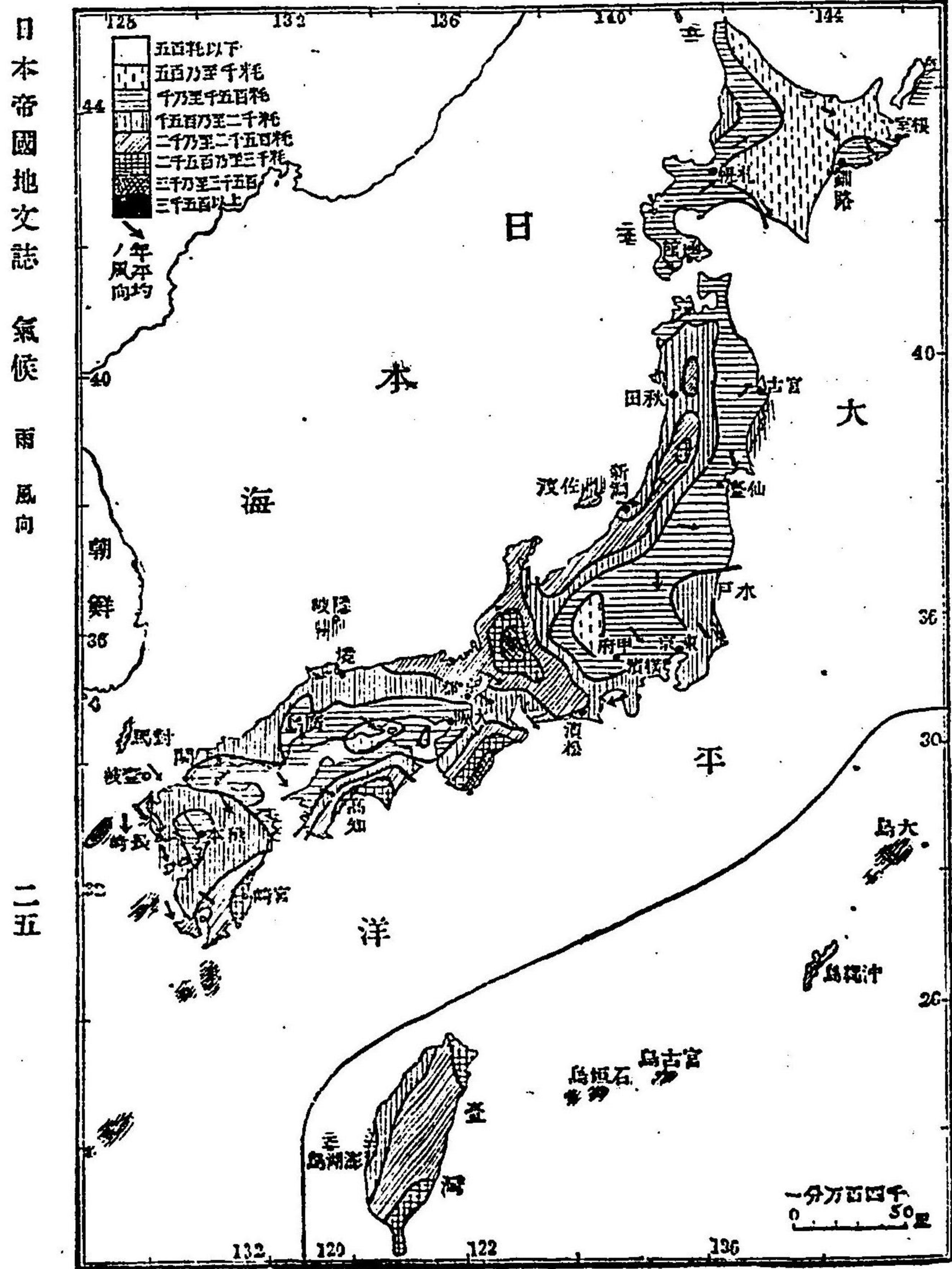
同溫線及海流



房總半島の北まで流れ、親潮は北東より大平洋岸を房總半島の北まで流る。黒潮には鮪、鯉多く、親潮には鮭、臘虎、昆布多し、かく二海流の共に流るゝ邊には暖寒二流の水産物集合す、房總半島の九十九里濱に漁獲多きはこれに因る。日本海には黒潮の支流と親潮の支流とは南北より各流駛す、かく暖寒二流の接合する北海道の近海には海霧を生ず。海流は洋海中にある河の如きものなれば、船舶にして其の方向と速力とを利用すれば、航行を助くること多し。

**三、雨。** 我國は細長き群島國にして、四周の洋海よりは多量の水分蒸發し、國中に充滿する山に衝突するを以て、雨、雪の量多し。然れば洋海將た湖に近くして、山を背せる地方には降水の量多し、即ち大平洋にも日本海にも又琵琶湖に

向風及雨量



日本帝國地文誌 氣候 雨 風向



美濃、若狹、飛騨、越中に巨  
る高地、四  
國、紀伊半島  
の東南岸の  
日本海より  
水蒸気は中  
山脈に、大  
洋より、水  
氣は四國、  
に衝突して  
となれば、  
間なる瀬戸  
海は雨少し

夏季雨多きと  
酷熱なるとは  
日本をして米  
産國たらしめ  
たる主因なり

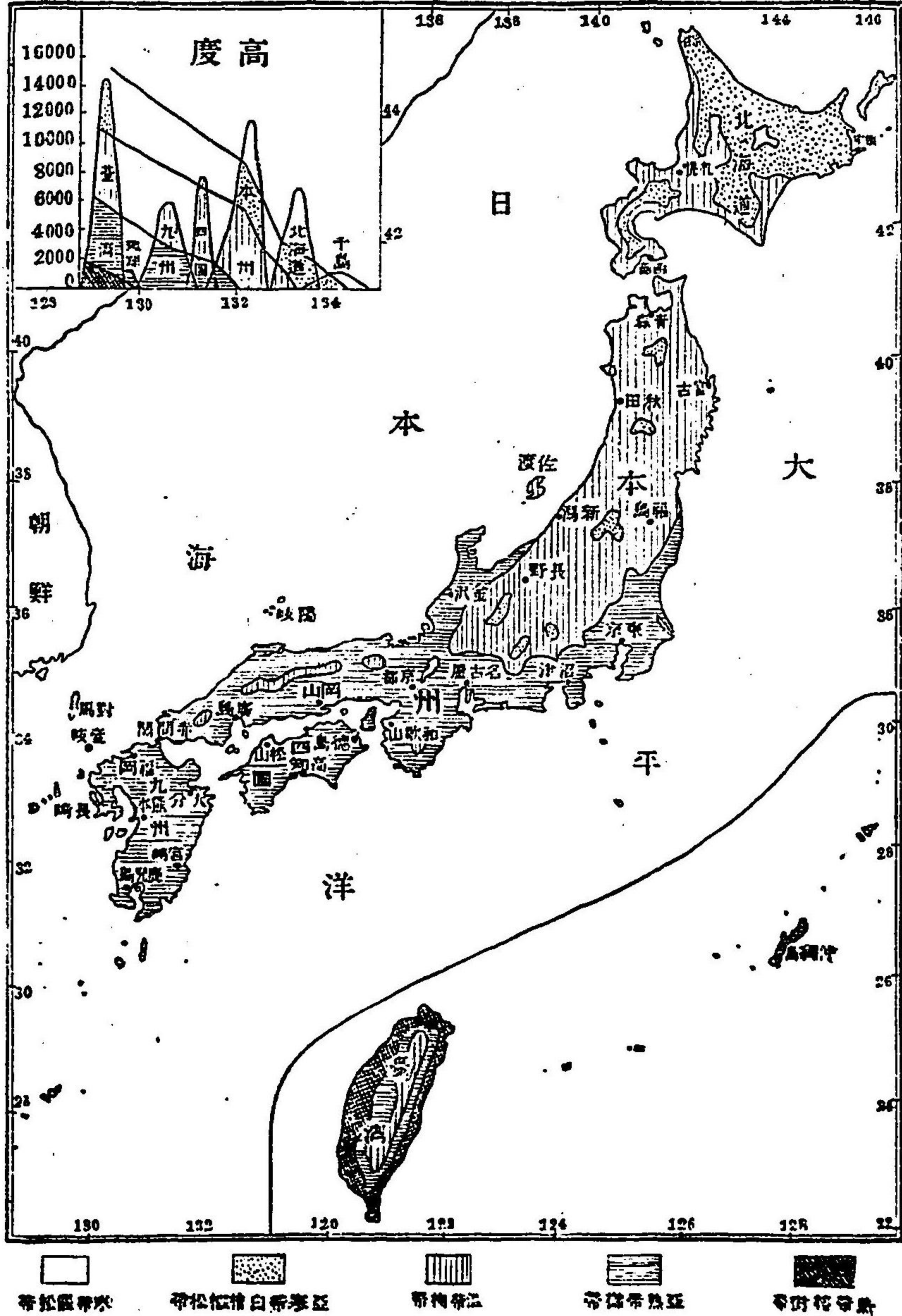
も近くして本州の高山地方を背にする飛驒の西方面は、降水最も多量なり。暖流に洗はるゝ部分も亦降水多し、即ち我國にて第二に降水の多量なるは、大平洋に突出する方面なり。瀬戸内海は雨少きを以て製鹽事業盛んなり。要するに蒸發は温度の高低に隨ひ多少あるを以て、降水の量は南西より北東に赴くに隨て減少し、温度と水分とを最も要する米の産出も亦南西より北東に赴くに隨て減少す。五月雨は陰鬱なれども、田植の季節に降るを以て、我國の米作は多く其の恩恵に依る。雪は臺灣、澎湖、琉球の平地に於て、霜は琉球の平地に於て殆どこれを見ず。然れども東北に赴くに隨て霜雪漸次に多し。概するに大平洋岸は日本海岸よりも霜雪の降る時期も遅く、其の量も少

四、風。弓形なる我國は北西にアジア大陸を抱くを以て、冬は寒き北西風大陸より吹き來る。夏に至れば、インド洋及び東海より濕暖なる南西風吹き來る。夏秋の候に至れば、フィリピン諸島の東より強烈なる大風襲ひ來り、南より北東に駛走することあり。

第四節 天産物

一、植物。我國は亞寒帶より熱帶に亘り、内面は大陸に近く、外面は大洋に面し、且つ地勢の變化多きを以て、生物の種類甚だ多し。然れども諸島の大概は温帶にあれば、温帶の生物最も多分を占む。植物にては臺灣、琉球、小笠原諸島に榕樹、椰樹あり、千島に偃松あり。植物の分布を大別すれば、  
一、熱帶 榕樹帶………沖繩の中部より以南。

植物の分布



- 一、亞熱帶……… 帶……… 沖繩の中部より以北、南日本。
- 二、溫 帶……… 帶……… 北日本、北海道の中部まで。
- 三、亞寒帶……… 帶……… 北海道の中部以北。
- 四、寒 帶……… 帶……… 千島諸島。

以上の五帯は我が國土の高度に隨ても亦これを認む。

全世界顯花植物の三分の二は我國にあり、而してヨーロッパ、  
 AMERICA 等に見る能はざるものは、春に花の艶麗なる櫻あり、  
 秋に葉の黄金色を染むる銀杏あり。然れども我が櫻は  
 彼れが如き食用の果實を結ばず、銀杏も亦有用の材となら  
 ざるなり、植物の效用は花及び葉のみにあらず。

二、動物。我國の動物は種類多く、又鮫魚の如きヨーロッパ、

アメリカ等になきものを産すと雖も、大陸に棲息するが如

銀杏の幹及び  
 「乳」の奇異な  
 ると、葉の表面  
 裏なく且つ、奇  
 形なくと、濃奇  
 黄色なると、客  
 の眼を驚かす

東京近郊のみ  
にてイギリス  
全國の昆蟲を  
大概採集し得

三 第

き壯大にして猛烈なる動物なし。沖繩以南には熱帯のウミガメ、珊瑚を産し、對馬にはアジア大陸に棲息する野猫を産し、北海道にはアジア、北アメリカの北部に棲息する鳥類を産す。然れども概するに温帯の動物多し。又暖寒の海流は共に近海に流るゝを以て、魚の種類多く、世界の豊魚帯中に數へらる。昆蟲の種類多きことも亦世界に稀なり。

**三、鑛物。** 我國の地質は變化多く、地下の熱も未だ盛んなれば、鑛物の種類多し。硫黄の産出は世界に於て第二位、銅は第三位、アンチモニーは第四位を占む。石炭は良質ならずと雖も、東洋第一の産額あり。然れども文明の時代に有用なる鐵鑛の少きは恨むべし。又銃丸、活字、管等に使用する鉛も少く、金、銀も亦少し。石油は北日本の處々に湧出す。

## 第四章 日本帝國人文誌

### 第一節 住民

日本人の何人  
種に屬すべき  
やに就ては内  
外に種々の  
議論あり

四 第

**一、種族** 我國の住民は大概蒙古種に屬す、然れども臺灣の蕃種にはマライ種あり、ポリネシア種あり。全國を概するに蒙古種なる大和族最も多數を占め、琉球人及び臺灣の支那族は蒙古種なれども、大和族と異れり。北海道のアイヌの種族に關しては種々の異説あり。此の如く我國の住民は多數の種族に分ると雖も、歴代の威徳に依り、一家兄弟の如くに融和して、日本帝國民なる一團に結晶し居れり。我國は氣候中和を得、天産物多く、且つ山水秀麗なり、然れば人情優雅にして、美術心に富み、技藝に巧みなり。島國に居

美術に長じて、工業に未だ小  
大に、一時的の、外  
策に、未だ、し、外  
交に、未だ、し、外  
短兵突貫に、長  
じて、大野戦に、長  
未だ、し、

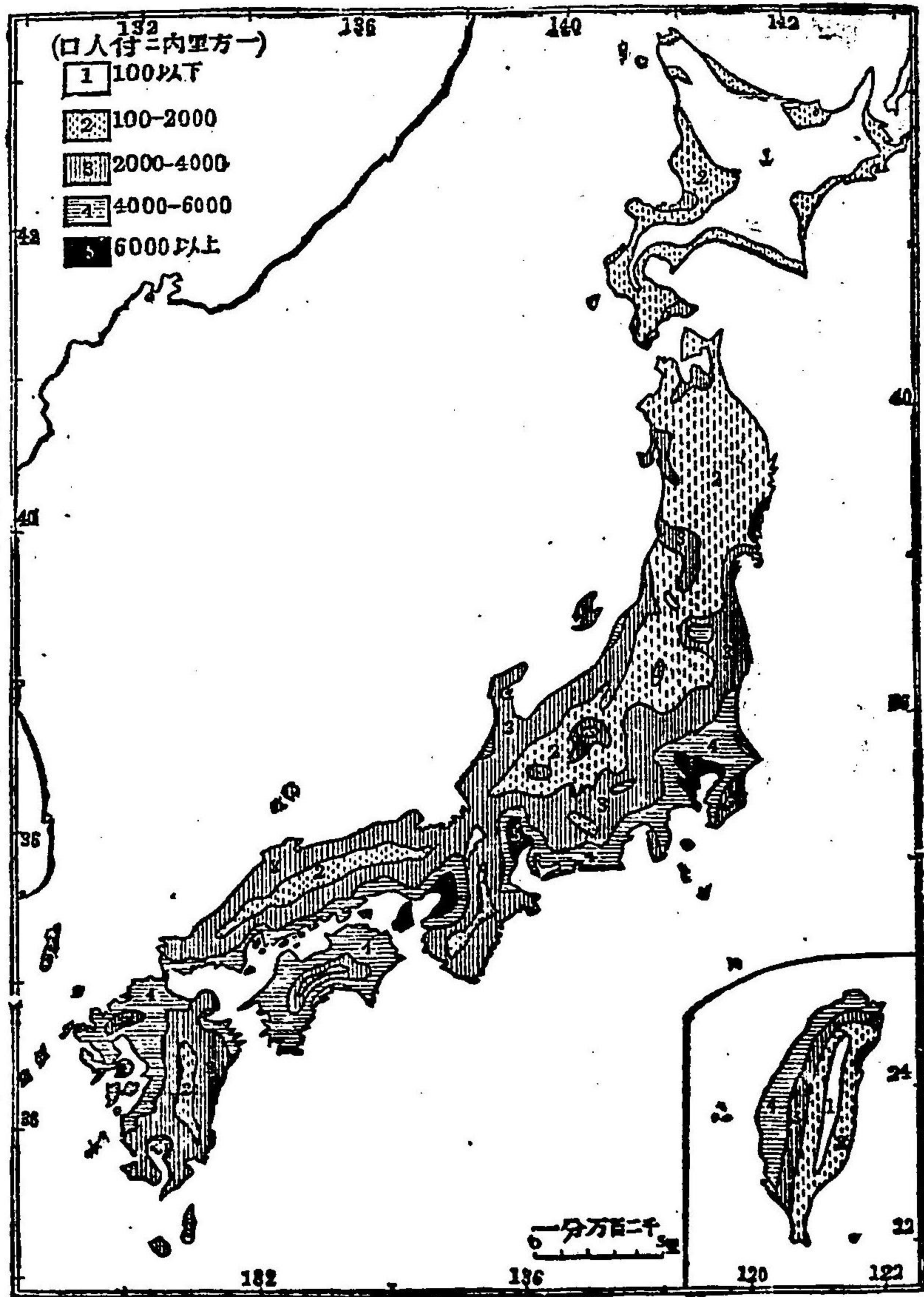
ベルギー一、方  
里、三、千、四、百  
人、オランダ、  
二、千、五、百、人、  
イギリス、二、千、  
百人

臺灣一、方、里、千  
二、百、人、北、海  
道、二、百、人

第 四 章

るを以て、外に對して團結甚だ固く、愛國心盛んにして、殊に  
忠君の情に篤し。然れども島國に居るを以て、眼界狭少に  
して、規模雄大ならず、世界に對する識見に缺乏す。  
二、人口。我國の人口は四千八百萬あり、即ち一方里に對  
し一千八百人、其の稠密なること世界中の第四位にあり。  
古來より文化の發達せる地方は人口稠密にして、新開の地  
方は稀疎なり、即ち畿内に最も稠密にして、關東平原これに  
次ぎ、北端の北海道と南端の臺灣とは最も稀疎なり。河  
或は平原の所在と海濱とは、交通便利にして、物産も亦多く、  
隨て人口多し、内地特に山多き地方は交通不便にして、土地  
瘠薄なれば、隨て人口少し。  
人口は稠密なる部分より稀疎なる部分に移動するは自然

人口の分布

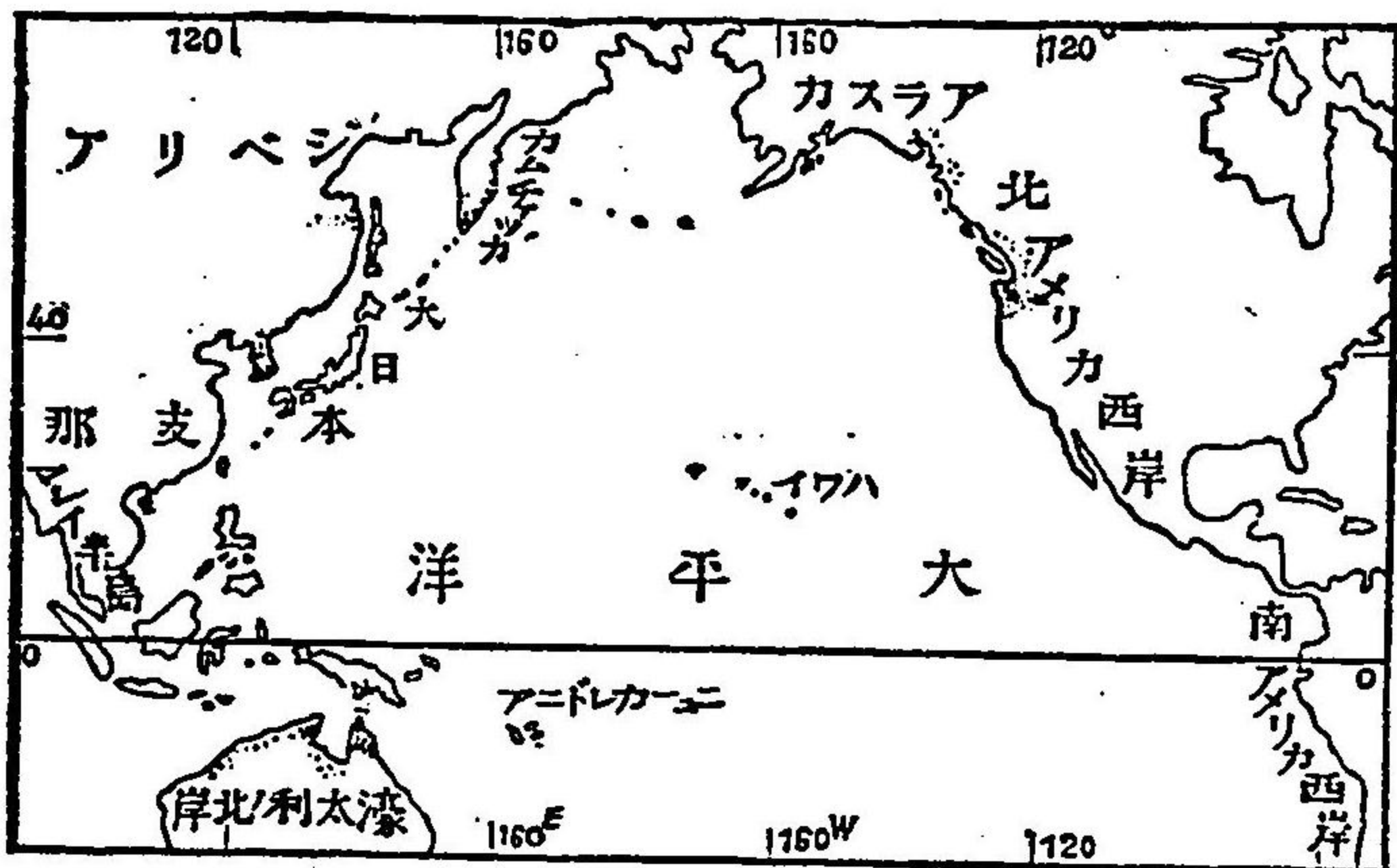


日本帝國人文誌 住民 人口

北海道は奥羽  
の膨張し、朝鮮  
及び臺灣の膨張  
の如し、九州も  
の膨張し、

人口は遞算を  
以て増加す

日本人口の分布



なり、故に北日本の人口は漸次に北海道に向ひて移動し、南日本の人口は漸次に臺灣及び朝鮮に向ひて移動す。然れども我國人口の増加は年々五十餘萬人に上るを以て、七十年後に至れば一億となるべし、故に海外諸國への殖民は最も力めざるべからず。

海外在留の日本人は十五萬人あり。先づ隣近に移動するは自然なれば、其の六萬はハワイ、

四萬はアメリカ合衆國、二萬は朝鮮、二萬は支那、シベリア、カナダ及びオーストラリア、殘餘の一萬は世界に散在す。

我國在留の外國人は一萬五千あり、其の半は隣國の支那人にして、これに次ぐは我國と貿易上及び政治上の關係深きイギリス人、アメリカ合衆國人なり。

我國の男女別は、男の數、女に超過し、其の差四十萬人なり。概するに社交の多事活潑なる地方にては、女、男に超過し、ヨーロッパ諸國にては大概然り。我國にては歴史上、社交上及び經濟上の中心は關東平原と京坂地方とにあり、即ち關東平原及び京坂地方の大部分は、女、男に超過せり。

**三、教育** 我國の教育は明治維新後甚だ進歩せり、然れども未だ西洋諸國に及ばず。初等教育は割合に普及し、小學

校の數三萬に至らんとす、然れども全國學齡兒童八百萬人の中、不就學者は尙ほ四分の一あり。中等教育は近年甚だ進歩し、中學校の數二百に達せんとす。高等教育は東京及び京都に帝國大學あり、福岡に醫科大學(計畫中)あり、東京、仙臺、京都、金澤、熊本、岡山、山口及び鹿兒島に高等學校あり、千葉、仙臺、金澤、岡山及び長崎に醫學專門學校あり。陸海軍將校の養成には陸軍大學校、海軍大學校、陸軍士官學校、海軍士官學校、陸軍砲工學校、海軍機關學校等あり。教員の養成には東京及び廣島(計畫中)に高等師範學校、東京に高等女子師範學校、各府縣に尋常師範學校あり。華族の教育には學習院及び華族女學校あり。實業教育は近年甚だ獎勵せられ、北海道に札幌農學校、東京、

第四節

神戸及び長崎(計畫中)に高等商業學校、東京、大坂、名古屋(計畫中)及び仙臺(計畫中)に高等工業學校、盛岡に高等農林學校、東京に水産講習所、商船學校、郵便電信學校、其他府縣に工業、農業、水産、商業、商船、徒弟の學校及び實業補習學校あり。美術上の教育には東京に美術學校及び音樂學校あり。女子教育には府縣に高等女學校あり。幼兒教育には、東京に官立幼稚園二個、府縣に多數の幼稚園あり。不具者の教育には東京に官立盲啞學校、府縣に數個の盲啞學校あり。其他私立大學、公私の専門學校は大都市に設立せらる。我國の圖書館はいづれも規模未だ小なり。博物館は其數少く、規模更に小なり。東京の帝國圖書館及び東京、京都、奈良の三帝國博物館は其中にて大なるものなり。圖書及び

第四節

新聞雜誌の發行も近年非常に増し、新聞雜誌の數一千あり、然れども西洋諸國には遙かに及ばず。

日本の文化は南西より北東に移動せり、故に教育普及の度も南日本は北日本に優れり。初等教育の普及、高等教育の發達及び圖書新聞の發行は、京坂地方及び關東平原に最も盛んにして、此の二處を離るれば離るゝほど盛んならず。

一、宗教。我國の臣民は信教の自由を有す。我國に普通行はるゝ宗教を大別して三となす。

一、神道は我國固有の教旨にして、國體の淵源と最も深き關係あり、全國に二十萬の神社あり、社格の國幣社以上にあるものは、古代皇化の中心たりし京都及び奈良に最も多し。

二、佛教は我國に傳來すること久しく、人心に至大の影響を

日本臣民は安  
寧秩序を妨げ  
ず及臣民たる  
の義務に背か  
ざる限に於て  
信教の自由を  
有す(帝國憲  
法第二十八  
條)

四 第

日蓮宗の開祖  
日蓮は安房に  
生れ、關東及  
び東海地方に  
大に布教せり

第

四 第

與へたり、十二宗に分れ、全國に七萬の寺院あり。概するに古來文化の中心たりし京都及び滋賀を中心となせる三十里の間に此教最も盛んにして、此中心を離るれば離るゝほど盛んならず。然れども其の開祖に縁故ある地方には其教最も盛んなり、即ち日蓮宗の關東及び東海地方に於けるが如し。佛教徒は概して山に入るを旨とせしが、眞宗先づ平原に出て、都市の中に寺院を構へ、人家稠密の處に布教したり、これ此の宗徒の全國に最も多き一源因なり。

三、基督教(CHRISTIANITY)は西洋諸國より近年傳來せしものなれば、其の人心に影響する感化未だ大ならず。西洋より素と傳はりたるものなれば、我國の世界に對する門戸、即ち東京灣及び大坂灣の沿岸に盛んなり。

富士淺間神  
社、榛名明神、  
白山權現、阿  
蘇大明神等甚  
だ多し

我國は山國にして、住民は日夕山の雄大に且つ幽奧なるを望見すれば、自ら山を以て神靈の宅なりとするの感をなし、隨て全國の山と云ふ山には盡く神社將た佛閣を建てざるなし。特に火山は自然の大活力を現示するものなれば、これを拜崇すること一層盛んなり。又海國なるが故に、自身の保險の爲め、金毘羅及び水天宮を崇拜するの風行はる。

### 第二節 政治

一、國體。我が日本帝國は、萬世一系の天皇これを統治し玉ふ、これ我が國體の世界に冠たる所以なり。

二、政治。天皇は國の元首にして、統治權を總攬し玉ひ、其の下に立法部、行政部、及び司法部の三大機關を備ふ。

一、立法部は帝國議會と稱へ、貴族院及び衆議院の兩院を以

て成り、凡て法律は帝國議會の協賛を経ざるべからず。

二、行政部は外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務及び逓信の九省に分ち、各省に主務の大臣あり、これ等九大臣の上に内閣總理大臣ありて首班たり、内閣總理大臣及び九大臣を以て内閣を組織し、以て大政を施行す。

宮内省は帝室の事務を掌り、行政部の外にあり。

樞密院は天皇親臨して重要な國務を諮詢し玉ふ最高顧問府なり。會計検査院は天皇に直隸し、國家の會計を監督す。地方行政は道廳に長官、府縣に知事ありて、其の管内の政務を行ひ、各府縣は郡に分ちて、郡長を置く。地方の自治機關

は市、町、村に分ち、各公選の長を有し、府、縣、郡には各議會あり、臺灣總督府は臺灣を統治し、臺灣總督これに長たり。



三、司法部は裁判官を以て組織せられ、裁判所に四階級あり、始審は區裁判所に係り、其の數三百あり、其の上に地方裁判所ありて各府縣に一、北海道に三あり、其の上に控訴院ありて東京、大阪、名古屋、廣島、長崎、宮城及び函館の七あり、其の上に最終の判決を與ふる大審院一あり、東京に置く。臺灣には特別なる司法制度を施行し、臺灣總督府法院を地方法院、覆審法院に分ち、地方法院は臺灣に七、澎湖に一を置く、覆審法院は一ありて、臺北に置く。

三、區畫。行政上、全國を三府、四十三縣、一道、廳（北海道廳）、一總督府に分つ。府縣は市、郡に分ち、更に町、村に分つ。古來全國を五畿、八道に分ち、更に八十五國に分ちたるを以て、舊慣に従ひ今尙ほこれを用ふ。

四、外交は通商條約を締結して左の二十三國と交際す、

アジア	朝鮮	支那	シヤム
ASIA	KOREA	CHINA	SIAM
ヨーロッパ	ロシア	スウェーデン	ノルウェー
EUROPE	RUSSIA	SWEDEN	NORWAY
ルク	ドイツ	オーストリア	ハンガリア
	GERMANY	AUSTRIA	HUNGARY
フランス	オランダ	ベルギー	イギリス
FRANCE	HOLLAND	BELGIUM	ENGLAND
ニア	ポルトガル	イタリア	ギリシア
	PORTUGAL	ITALY	GREECE
アメリカ洲	アメリカ合衆國	メキシコ	ペルー
AMERICA	UNITED STATES	MEXICO	PERU
ブラジル	アルヘンチナ		
BRAZIL	ARGENTINE		
アフリカ洲	コンゴ獨立國		
AFRICA	CONGO		

五、財政は日清戦争前までは、歳入、歳出共に一億圓内外なりしが、戦争後漸次増加して、共に二億八千萬圓となれり。

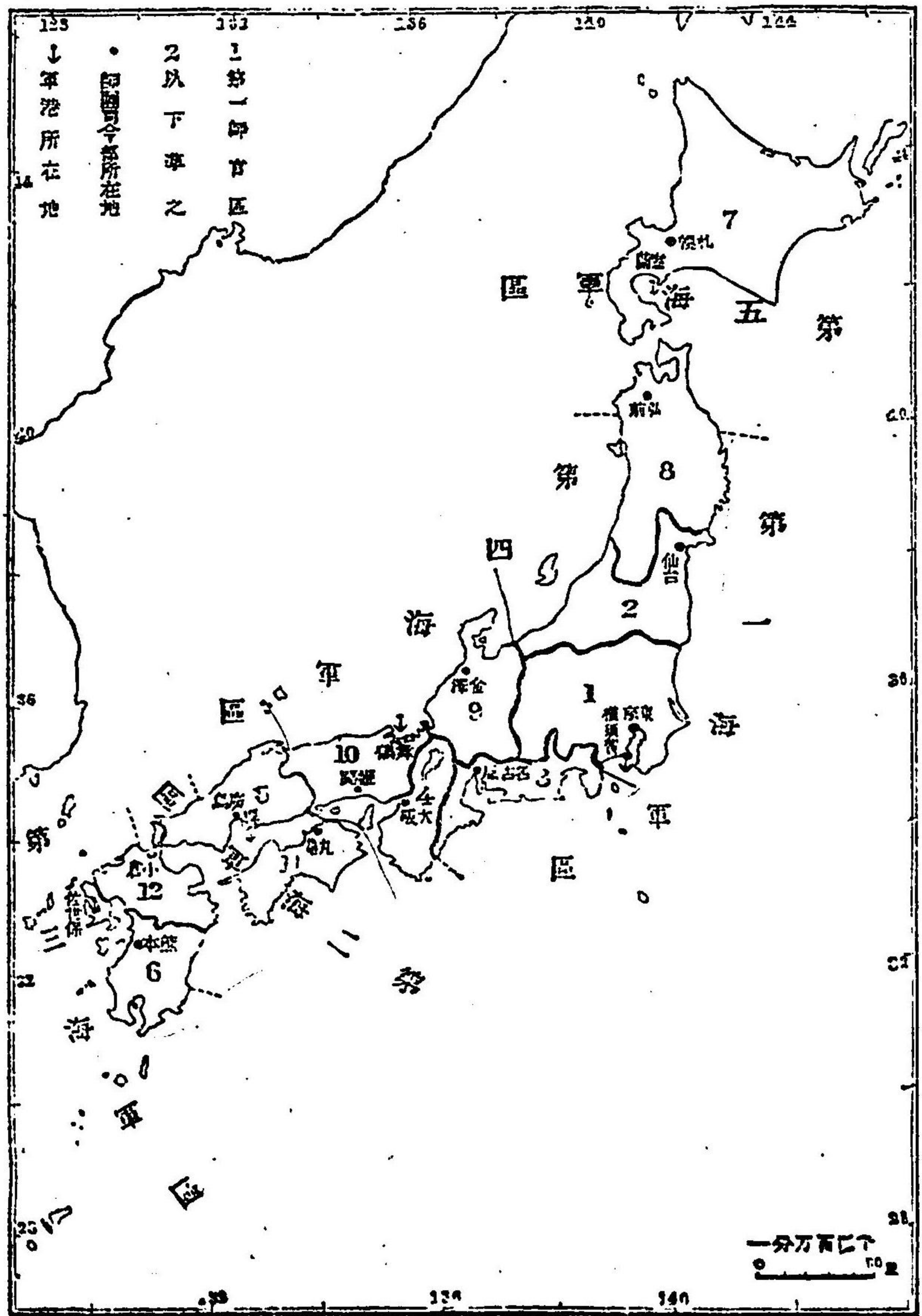
四、兵備。我國の男子は、滿十七歳より滿四十歳まで兵役の義務あり。兵役は常備、後備、補充及び國民の四種に分ち、

常備兵役は更に現役及び豫備役に分つ、現役は陸軍にては三年、海軍にては四年なり。

一、陸軍は全國を十二師管に分ち、各師管に一師團を置き、別に近衛師團あり、即ち全國の陸軍は十三個師團より成り、其の上に東部、中部及び西部の三都督あり、其の配置左の如し、

都督部	師團	所在地	師團	所在地
東部	近衛	東京	第一	東京
中部	第二	仙臺	第七	札幌
中部	第三	名古屋	第四	大阪
中部	第九	金澤	第十	姫路
西部	第五	廣島	第六	熊本
西部	第十一	丸龜	第十二	小倉

師管區及海軍區



臺灣には三個の混成旅團あり、近衛を除きたる他の師團中より交代衛戍す。

陸軍軍人總數は、現役十七萬、豫備役二十萬、後備役十萬、其他合せて總計六十五萬人あり。

二、海軍は全國臺灣を除くの海岸及び海面を五海軍區に分ち、各海軍區に一軍港を置き、鎮守府をしてこれを管せしめ、各鎮守府には軍港所在地の名を冠す、即ち左の如し、

- |     |         |     |    |
|-----|---------|-----|----|
| 海軍區 | 軍港      | 海軍區 | 軍港 |
| 第一  | 横須賀     | 第二  | 吳  |
| 第三  | 佐世保     | 第四  | 舞鶴 |
| 第五  | 室蘭(未開廳) |     |    |
- 軍艦の排水量二十五萬噸、一等戰艦四隻、軍人總計三萬人あり、即ち世界に於ける海軍國の一たり。

一等戰艦はイギリス二十、ドイツ十、アメリカ合衆國八、フランス五、日本及びロシア各四隻あり

### 第三節 生業

一、農業。我國は瑞穂の國と稱へ、古來農を以て國の本となし、全國人口の半數は農民なり。然れども耕地は全國面積の八分の一に過ぎず、故に開墾すべき面積は未だ多く、隨て我國の農業は尙ほ開發すべき餘地多し。

米は我國の主産物なり、重もなる産地は新潟、兵庫、愛知、福岡の諸縣なり、收穫高の比例は、京都及び滋賀を中心とせる三十里四方に最も多し、米質の良きは山口、福岡、熊本、千葉の諸縣なり。高知市近傍及び臺灣にては年二回の收穫あり。麥は埼玉、茨城、愛知の諸縣に最も多し。北海道にては重もにアメリカ種の小麥を産す。日本種の麥は性質良からず、且つ製粉の方法粗漏なり、然れば近年は山中茅店の饅頭の

一人一年の牛肉食用高、大阪四斤半、東京三斤半、兵庫二斤半、都府二斤半、岩手十斤、付手十斤、付城十斤、付六

皮に至るまでアメリカ合衆國より輸入せる麥粉を用ふ。茶は静岡縣に畑最も多く、全國の五分の一を占め、三重、茨城、京都の府縣これに次ぎ、北海道に産せず。製茶は我國輸出品の重なるものなり、其の種類中、玉露は京都、煎茶は静岡、晚茶は徳島の府縣に多く、紅茶及び烏龍茶は臺灣に多し。漆は我國の産を以て世界無比の良品と稱せらる。漆樹は北日本に最も多く、南に赴くに随ひ一樹だに産せず。養蠶は支那、イタリヤに次て世界中最も盛んなり。繭の産額は長野縣最も多く、群馬及び埼玉の二縣これに次ぐ。牧畜は支那又は西洋諸國に比ぶれば殊に盛んならず、且つ牛馬の品質も良からず。牛肉の食用高は一人に付一年僅かに一斤強なり、居留西洋人の最も多き神奈川縣の一人に

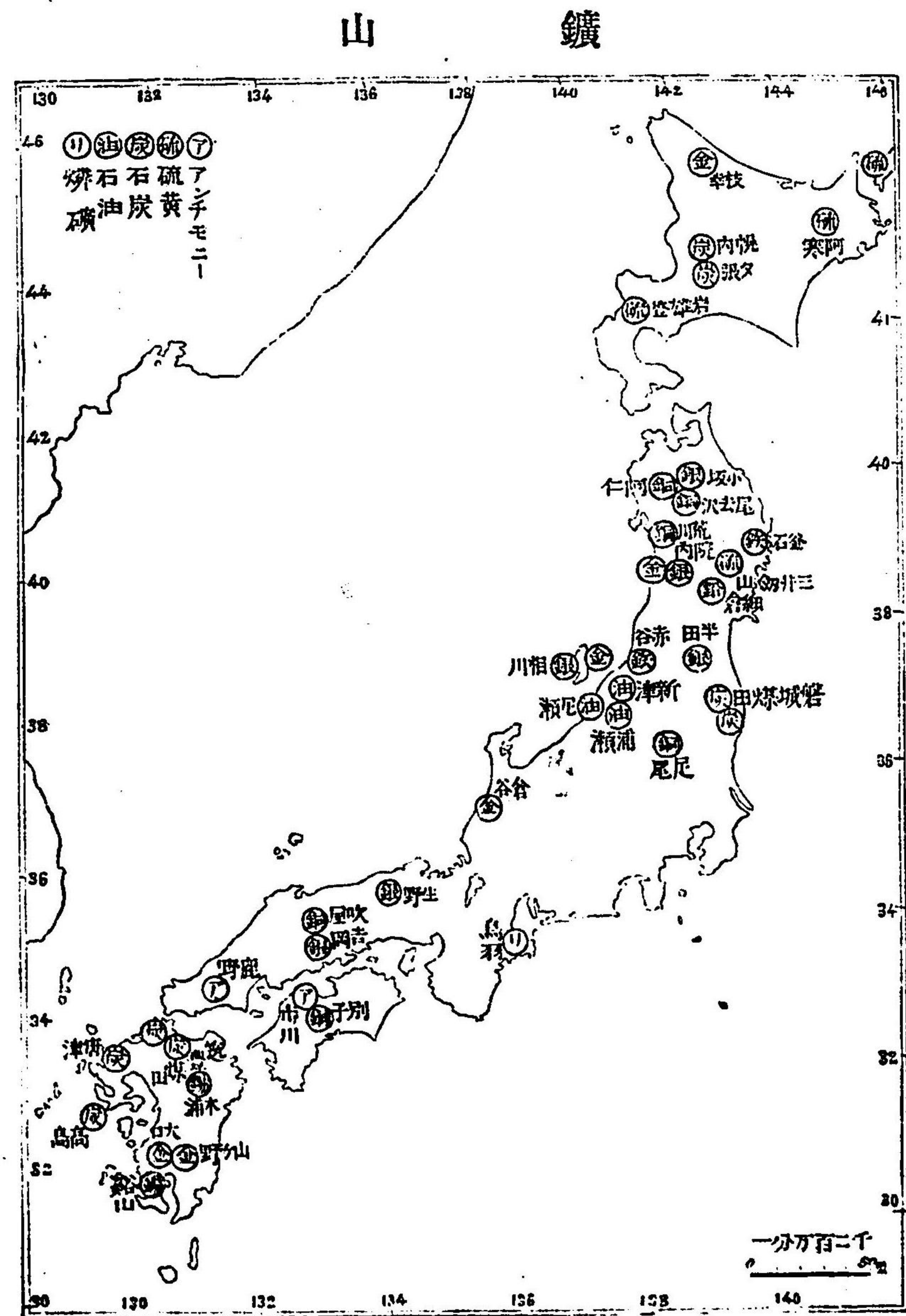
付一年五斤半を以て最も多きものとなすに過ぎず。

**二、鑛業。** 我國の鑛業は近年西洋最新の方法を用ひたる

を以て、其の出額甚だ増加せり、價格の順よりすれば、石炭第一に居り、銅、銀及び金これに次ぐ。

石炭は九州の北部を第一とし、北海道の中部及び福島縣これに次ぐ。銅は世界の産額の十分の一を占む、其の産地は全國に擴がれども、足尾を第一とし、全國産額の四分の一を占む、阿仁及び別子これに次ぐ。銀は秋田縣より全國の産額の半を出し、其の院内を第一とす、小阪及び生野これに次ぐ。金は北海道第一に居り、鹿兒島縣これに次ぐ。鐵は産額少しと雖も、釜石の鐵鑛は將來多望なり。

全國に札幌、盛岡、東京、大阪及び福岡の五鑛山監督署を置き



て鑛區の監督に任ず。

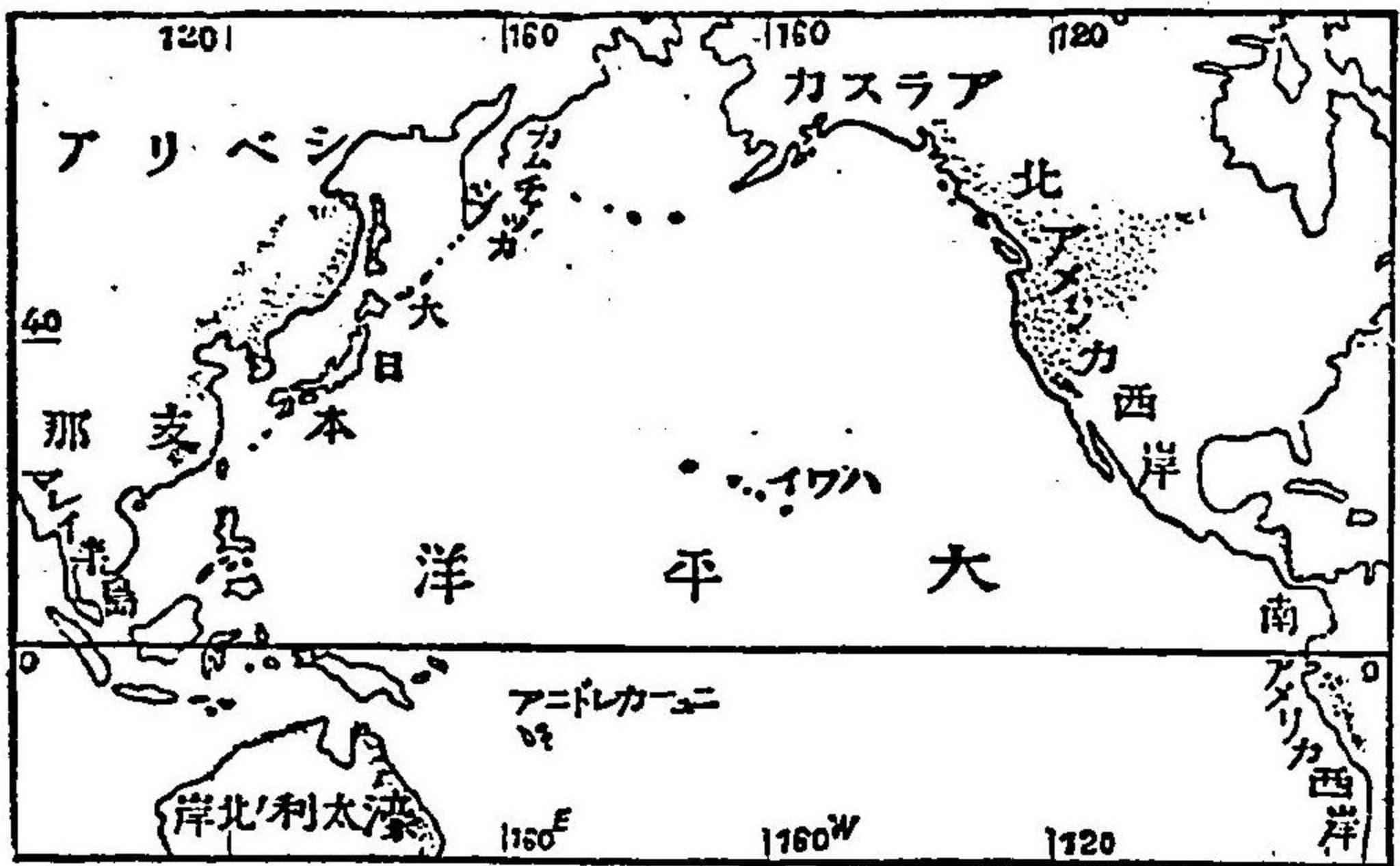
### 三、林業。

山林は木材薪炭等を供給する外に、氣候を調和し、水源を涵養し、及び風景の美を添ゆ。木材としては杉、松、檜及び樺、薪炭用としては檜、及び櫟、副産物としては樟腦、松脂、醋酸、五倍子及び椎茸を主とす。山林は北海道に最も廣く、良材は木曾及び吉野の山中に多し。全國に十六大林区署を置きて、山林の監督に任ず。

### 四、水産物。

我國は海岸線長く、寒暖の二海流共に近海に流るゝを以て、水産物甚だ多く、海味に飢へたる四億の支那人は近く大陸に充滿するを以て、我國水産業の前途は甚だ多望なり、然れども輸出額は未だ割合に少し。生物は鰯及び鱈を主とし、乾物は鱈節、鰯、煮乾鰯及び寒天を

日本漁民の分布



主とし、産額北海道第一に居り、静岡、千葉、三重の三縣これに次ぐ。鰯は輸出額の半を占め、鮑これに次ぐ。遠洋漁業の中、臘虎、獵は西洋の船のみこれに従事せしが、近年に至り我國人も漸く従事せり。捕鯨は九州の西岸及び朝鮮近海に盛んなり。朝鮮海には山口、廣島、大分等の漁民盛んに漁業に従事し、ロシア領の樺太及びカムサッカには北海道及び奥羽の漁民久しく鮭及び鱒の漁獲に従事し、黒龍江口にては、ロシアの漁

朝鮮近海の日本漁民は、年々増加し、去年は、三萬圓に達した。然るに、遠洋漁業に従事する者も、漸く増加し、去年は、一萬圓に達した。其の他、海産物の採掘も、漸く増加し、去年は、一萬圓に達した。我國の漁民は、亦、漸く増加し、去年は、一萬圓に達した。出稼する者も、漸く増加し、去年は、一萬圓に達した。大に遠洋漁業に従事する者も、漸く増加し、去年は、一萬圓に達した。ざらに遠洋漁業に従事する者も、漸く増加し、去年は、一萬圓に達した。

民と共同して鮭漁に従事し、イギリス領コロンビアにては鮭漁に従事し、アウスタラリヤの木曜島にては和歌山縣より眞珠採拾に出稼する者多く、小笠原島とハワイとの間なる諸小嶼には鳥毛の採收に従事する者あり、かく海外に出稼する我國の漁民は三萬人に餘れり。

五、工業

我國の人民は技藝に巧みなり、又地勢は水力を利用するに便なり、故に工業は將來多望なり。然れども其の規模小にして織業、陶磁器、漆器、金工及び彫刻の如き指先キを用ふる美術品のみ多し。近年に至り、蒸汽、電氣等を應用して、規模の壯大なる工業を續々興起するに至れり、然れども西洋諸國に比ぶれば未だ遙かに下位にあり。蠶絲製造は我國の重なる工業にして、生絲は輸出品中の

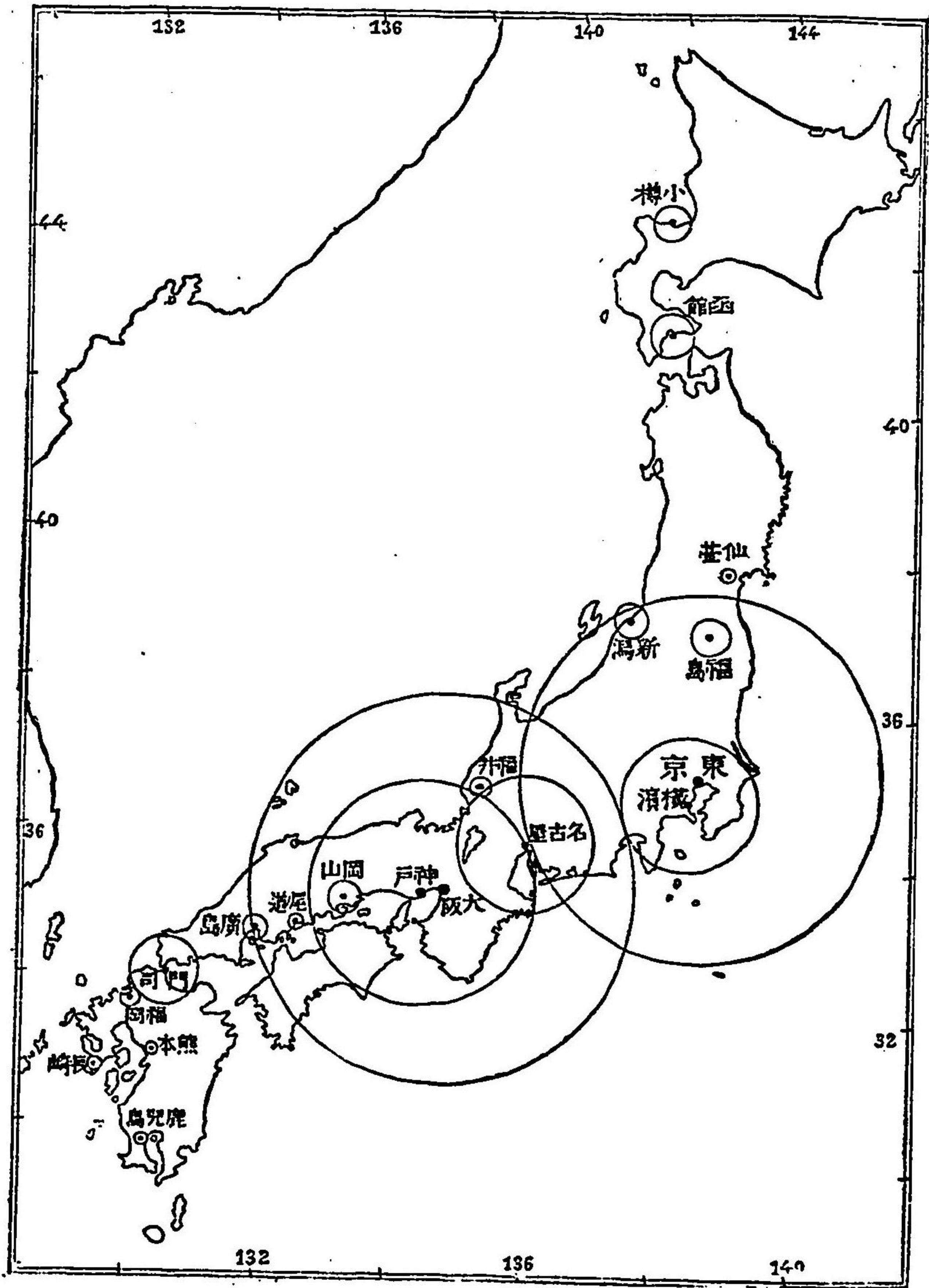
第一位を占む。此の業は養蠶の盛んなる地方に自ら盛んにして、長野縣第一に居り、群馬、福島及び埼玉の三縣これに次ぎ、南日本に至るに随ひ盛んならず。

綿絲紡績は原料をインド、アメリカ合衆國、支那より輸入し、其の製品は内國の需用を充たす外、支那、朝鮮等に輸出し、輸出品中の第二位を占む。此の業は大阪及び東京の二府に最も盛んにして、愛知、三重及び岡山の三縣これに次ぐ。

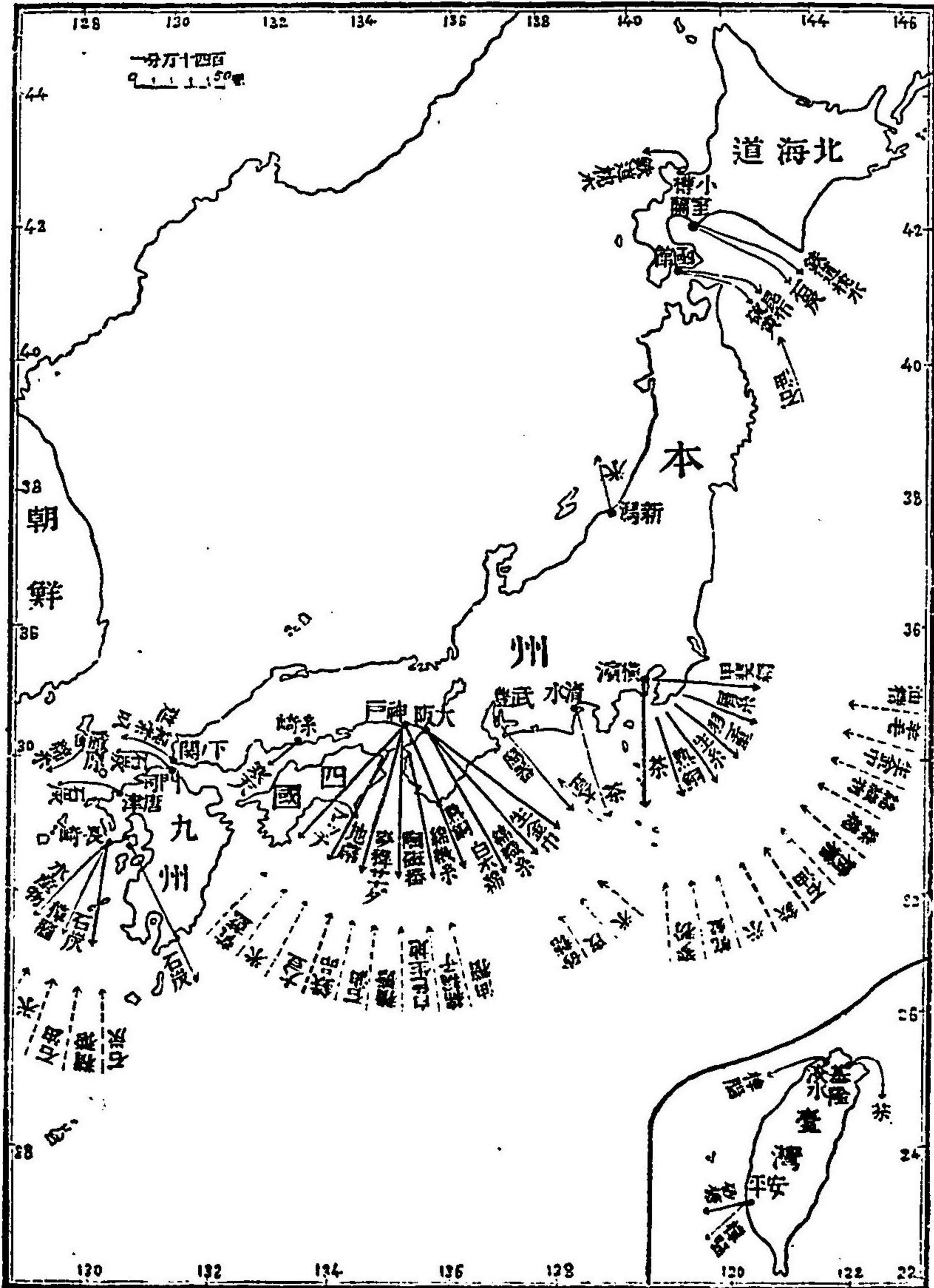
織物業は京都の西陣を主とし、群馬縣の絹織、福井縣の羽二重は其の重なるものにして、絹布類は輸出品中の第三位を占む。木綿織は愛知縣最も盛んなり。

窯業は愛知縣最も盛んにして、岐阜及び京都の府縣これに次ぎ、陶磁器は漆器と共に輸出品中の中位を占む。摺附木

融 金



入 輸 及 出 輸



日本帝國人文誌 生業 商業 貿易

商業道徳の  
乏せる是れ  
業の未だ甚  
發達せざる  
因の所だ

第 四 章

日本帝國人文誌 生業 商業 五六

及び麥稈眞田の製造は、近年愈進歩して輸出品中の重なるものとなれり。其他我國の工藝品中に海外に輸出するもの多しと雖も、品質の脆弱なるは其の短所なり。

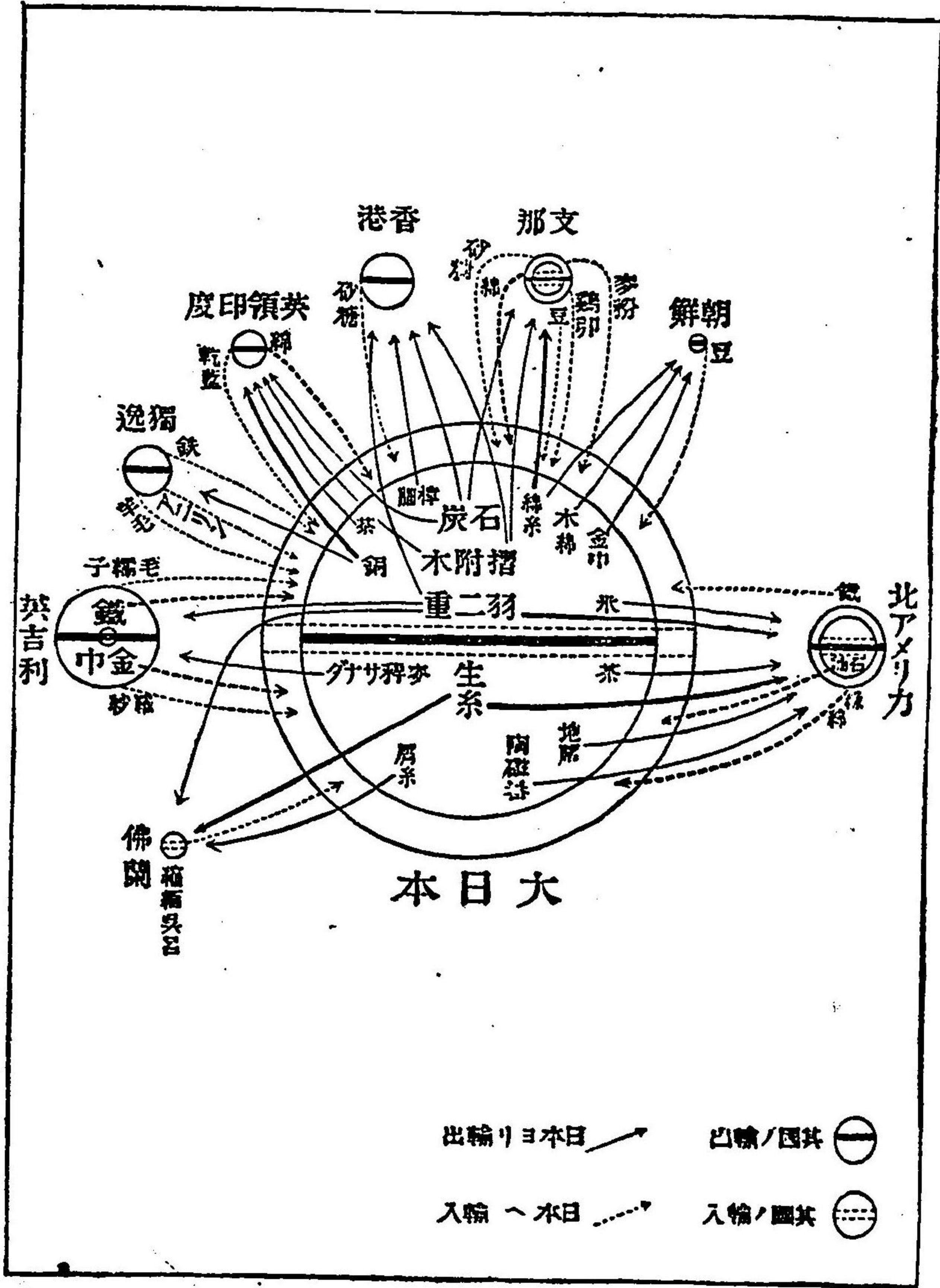
六、商業

我國の商業は近年甚だ進歩せりと雖も、西洋諸國に比ぶれば尙ほ未だ遙かに下位にあり、商業の根本は信用にあり、我國人はこれに乏し、悟る所あるか。

商業は物産の豊かにして、水陸交通の便多く、隨て人民の最も集合する處に最も多く發達す、我國の商業が肥沃なる大平原を負ひて海を控ゆる大阪及び東京を二中心として發達せしもの其の故あり。其他金融の活潑なるは神戸を第一とし、名古屋、横濱、門司及び小樽これに次ぐ。各府縣に於ける商業の盛んなる地には商業會議所の設けあり。商業



貿易



第四節

日本帝國人文誌 生業 貿易 五八

の機關として五千の商業會社、二千五百の銀行及び各種の取引所あり。日本銀行は東京にありて全國の金融を計り、正金銀行は横濱にありて外國貿易上の金融を調へ、東京にある日本勸業銀行と各府縣の農工銀行とは實業の發達を助け、臺北の臺灣銀行は臺灣の金融を調へ、拓殖銀行は北海道拓殖の發達を助く。

**七、貿易。** 外國貿易は日清戰役後、大に進歩し、輸出入額五億圓に上ると雖も、慥むらくは輸入は輸出に超過せり。重もなる輸出品は生糸、綿布、絹布、石炭、銅、茶、摺附木、麥、稈、眞田にして、輸入品は綿、砂糖、穀物、鐵、石油、綿布、毛織物、肥料なり。貿易額の國別はアメリカ合衆國第一に居り、我國貿易額の五分の一を占め、次はイギリスにして七分の一を占む、次は

UNITED STATES  
ENGLAND

支那、香港、ドイツ、インドなり。我國より輸出する國はアメリカ合衆國第一に居り、香港、支那、フランスこれに次ぎ、輸入はアメリカ合衆國、支那、イギリス、インドを主とす。開港場の數は三十三あり、別に支那船に限れる開港場臺灣に九あり。神戸、横濱の二港は輸出入總額の九割を占む。

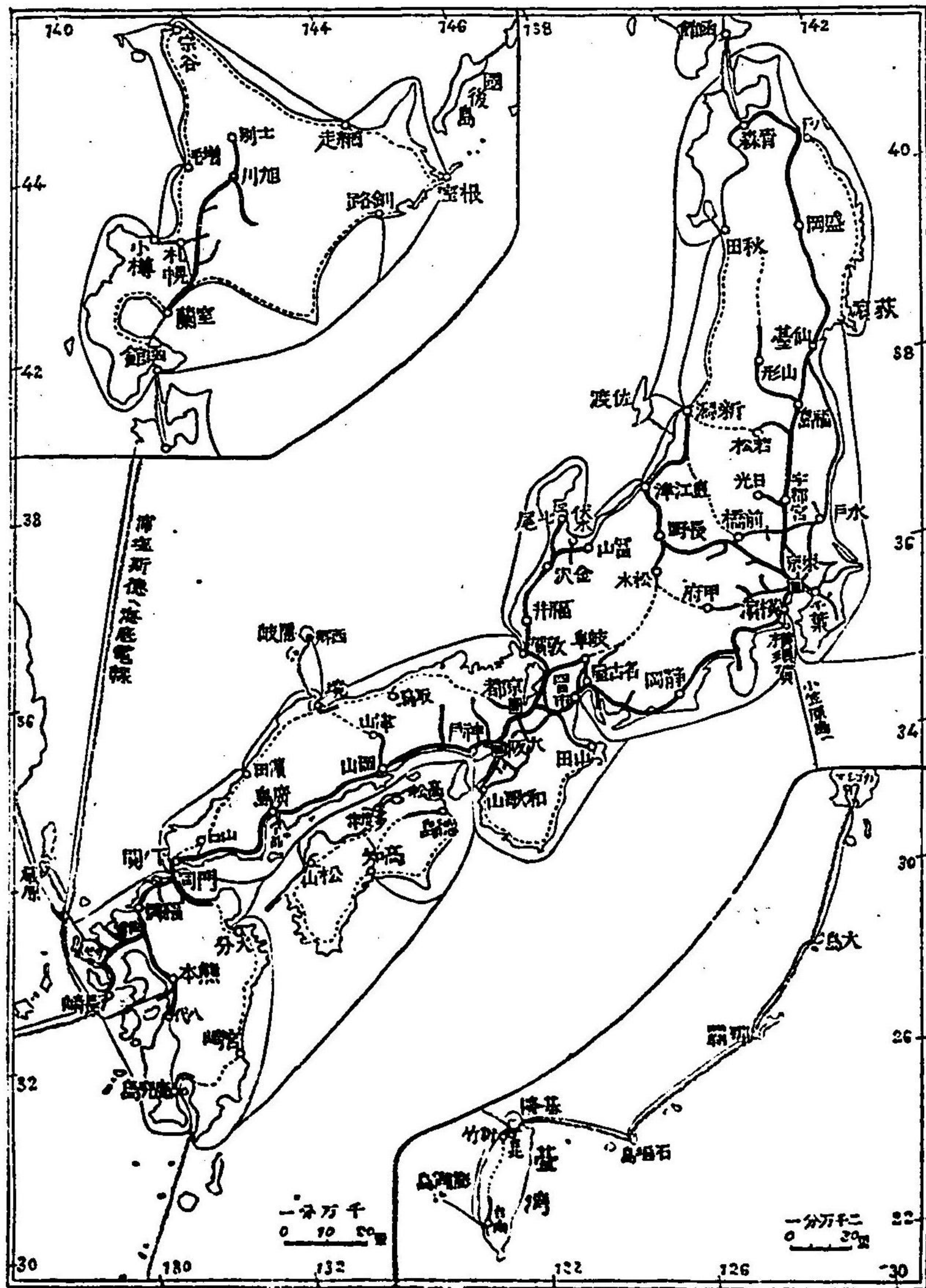
#### 第四章 交通

一、道路。 全國の道路は、維新前には甚だ不完全なりしが上に、關所を置きて旅人を誰何せしより、益、交通の便を缺きしが、今や國道、府縣道及び里道の三階級に分ちてこれを開鑿修理し、且つ橋梁、隧道、舟車の便を増したり。然れども我國の地勢山多きを以て、未だ道路の不完全なる處多し。

二、鐵道。 鐵道は明治五年、東京、横濱間に始めて敷設し、今

や其の長サ四千五百哩に達せんとす、北海道の中部より長崎に至るまで、維新以前には三月間を費せしも、今や四晝夜半にて達すべし。然れども我國の鐵道は狹軌にして設備も不完全なれば、西洋諸國の汽車に比ぶれば甚だ遅し。既設鐵道の三千哩は本州にあり、九州、北海道、臺灣これに次ぎ、四國最も短し。又其の三割は官設にして、他は私設なり、私設日本鐵道會社に屬するもの全長の二割あり、其他九州、山陽及び北海道炭礦は私設鐵道會社の大なるものとす。鐵道は繁昌なる都會に向ひて愈、集中し、鐵道に集中せられたる都會は、これが爲めに益、發達す。我國鐵道の最も集中せるは東京及び京阪地方にして、次ぎは名古屋四近なり、東京、大阪、京都及び名古屋の四市は全國の都會中にて繁昌及

路航及道鐵



び人口の日々に増進する處なり。

電氣鐵道及び馬車鐵道は近來漸く各地に敷設せられたりと雖も、其の長サ兩鐵道を合して未だ五十里に至らず、東京の馬車鐵道、京都の電信鐵道は規模の稍大なるものとす。

三航路

我國には河湖及び運河の汽船を浮ぶべきもの

少きを以て、水路の盛んなるは主として海上にあり。海上の交通は、近年益進歩し、汽船、帆船を合して五百隻、百萬噸に上らんとす。政府は海外への航海及び大船の製造を奨励する法を發布し、或は晝には浮標、夜には燈臺、霧中には霧笛等の航路標識を設け、燈臺の數既に百を超え、民間には造船所の數既に百に上り、航海の機關漸次に整備せり、然れども西洋諸國に比ぶれば未だ及ばざる遠し。

航路の中心は横濱及び神戸の二港にありて、我國二大汽船會社の一なる日本郵船會社の基點は横濱にあり、其の一なる大阪商船會社の基點は神戸にあり。日本郵船會社は全國汽船總噸數の二割、大阪商船會社は一割を有す。日本郵船會社は内國沿岸の外、朝鮮、支那、ウラヂボストク、インド、ヨーロッパ、マニラ、オーストラリア及び北アメリカへ航路を開けり。大阪商船會社は大阪以西の内國沿岸の外、朝鮮、コルサユフ、臺灣より支那の南部、福建の沿岸及び揚子江の中流まで航路を開けり。其他、東洋汽船會社はマニラ、香港、神戸及び横濱とアメリカ合衆國との間に航路を開けり。

**四、郵便。** 明治四年、東京、横濱の間に開始せしより、同十年、萬郵便聯合に加入し、同二十九年、小包郵便を開始し、其の制

度は世界に於て最も完全せるものと稱せらる。然れども外國發着の郵便物は未だ少く、且つ内外國發信を合せ人口一に付一年の郵便物十六個、即ちイギリスの五分の一だにも當らず。概するに人口の稠密にして事業の頻繁なる處は郵便物多ければ、我國にて最も多きは人口一に付一年百個の東京府にして、最も少きは一個の沖繩縣なり。

**五、電信。** 明治二年始めて東京、横濱の間に電信を開通せしより、今日にては全國の都會は固より、主要の村落と雖も電信局を設けて通信を連絡せざるなし。然れども外國發着の電信は未だ少く、且つ内外國發信を合せ人口一に付一年の電信はイギリスの七分の一に過ぎず。

海底電線の中、大隅と臺灣、臺灣と清國(福建省)とを連絡する

ものは我國の所有なり、對馬と朝鮮、長崎と上海及びウラヂ  
ボストクとを連絡するものは外國人の所有なり。

**六、電話。** 明治十八年、始めて架設せしより、全二十三年に  
は東京及び横濱の二市に電話交換を開始し、今や全國人口  
五萬以上の都會にては大概これを架設し、東京、神戸二市の  
間には長距離電話の設けあり。

要するに我國の交通は、五十年前、始めて旭日を以て日本船  
艦の旗章と定めたる當時より、此の日章を飄へせる船舶が  
スエズ運河を通過するもの一年四十萬噸に達せんとする  
今日に至るまで、進歩と云へば大進歩を遂げたりと雖も、船  
舶、汽車にして愈、改良を加へ、鐵道、電線にして益、延長せずん  
ば、未だ以て西洋の諸國と同位にすら列する能はざるなり。

スエズ運河はイ  
過の船は八百萬  
噸、ドイッ二  
百萬噸なり、  
日本は世界列  
國中の第七位  
を占む

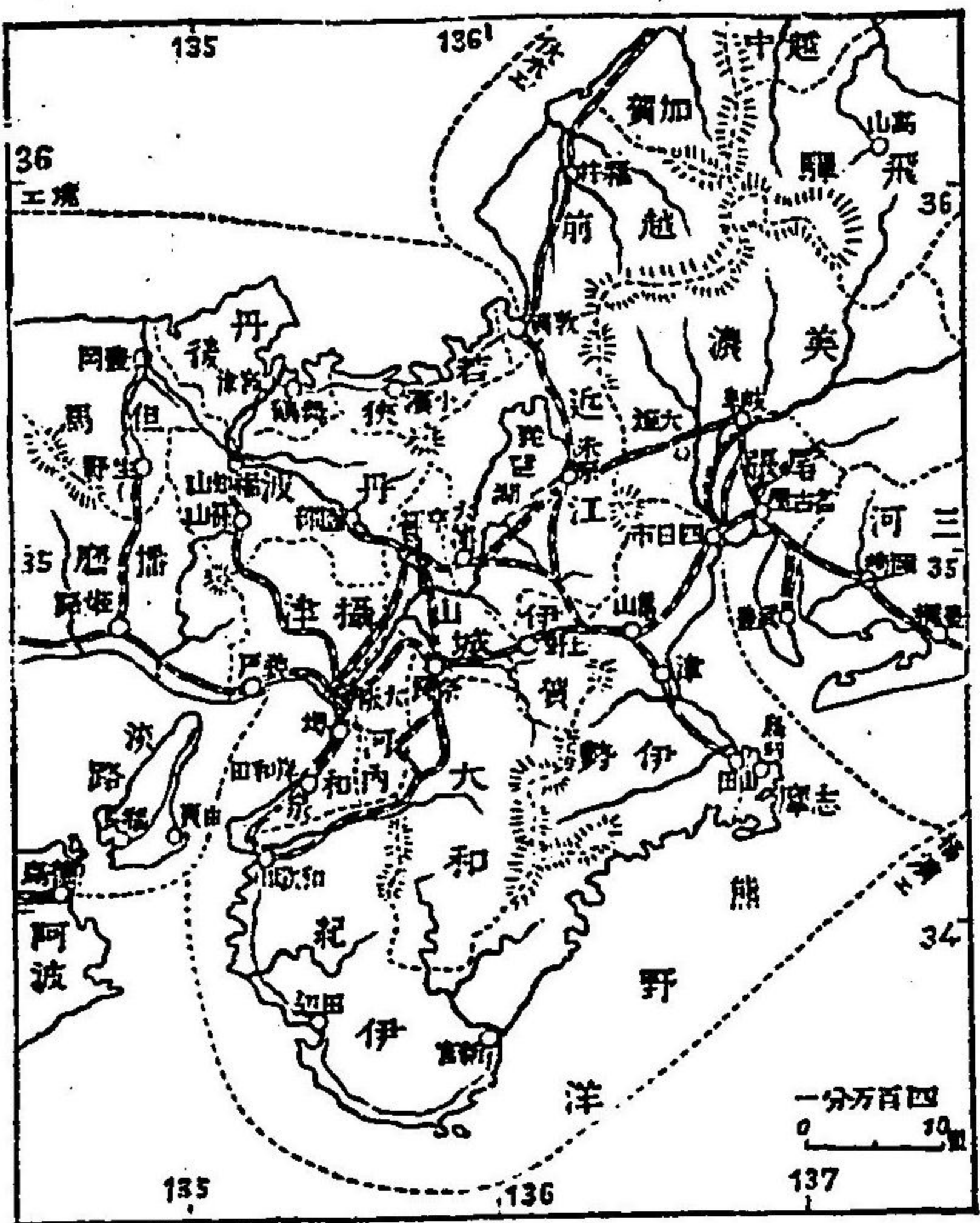
### 第五節 南日本と北日本

我國は細長き地形をなし、北東より南西に延び、富士火山脈  
は其の中央を横斷し、火山脈より南西を南日本と云ひ、其の  
北東を北日本と云ひ、かくて我國は南北日本の二大部に分  
れ、地文上に人文上に自ら二大部に分れ居れり。

一、南日本日本人は、元來南西より北東に向ひて漸次に移動  
せるものなり。其の初め北東に向ひて移動し、今の京阪地  
方に至るや、本州の南西部にありて地形の最も膨脹せる處  
に達するなり、即ち紀伊の半嶋は南方に斗出してUの字の  
形をなし、此のUの中に河流れ、肥沃なる平原連り、一面は琵琶  
湖の大湖に面し、且つ中國より、東海、東山及び北國の地方に  
赴くべき四通八達の十字街頭にあるを以て、往古より人民

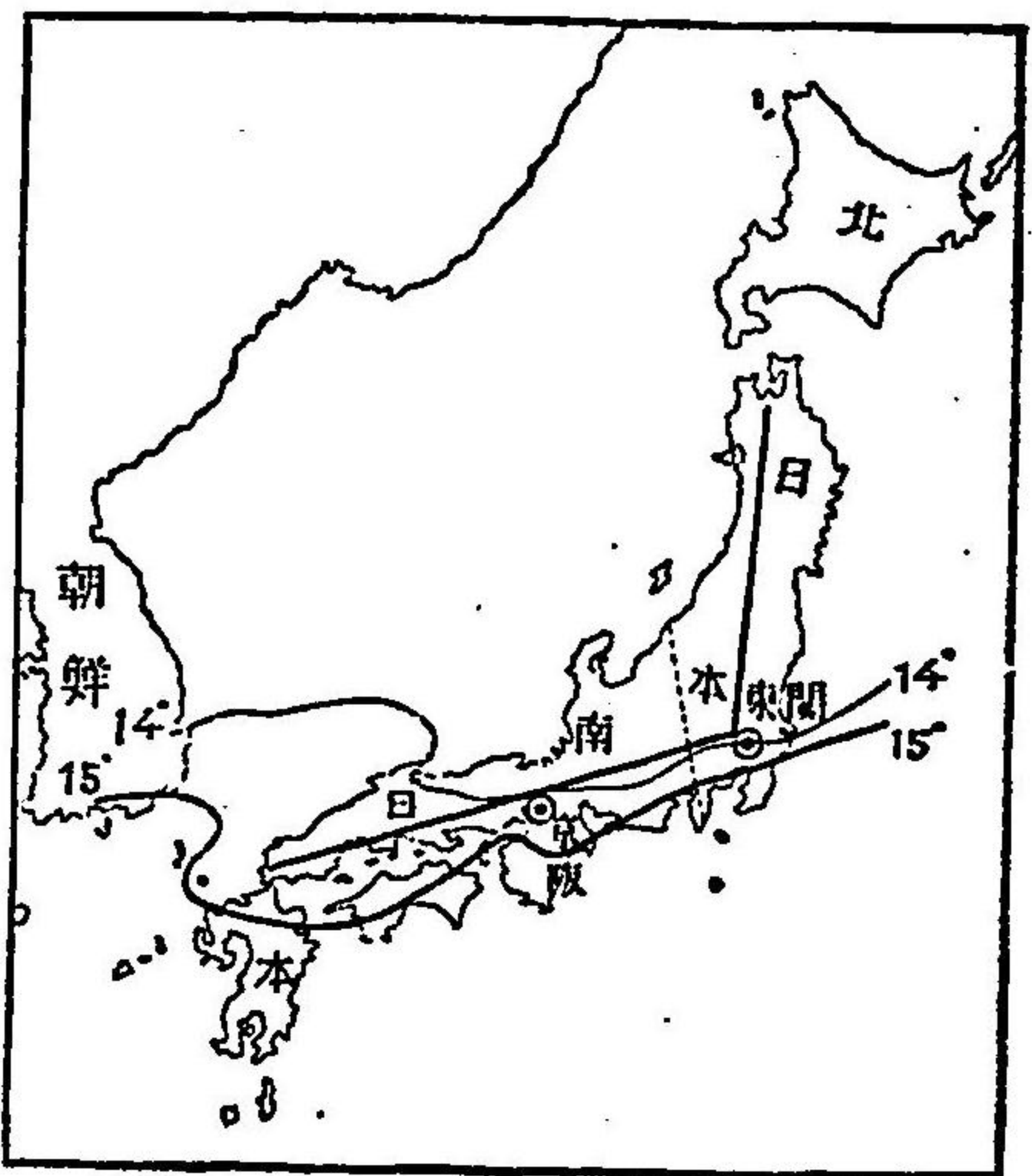
思想の細密、節儉の押、野遊に辨當を、携よる小事、血盛り、龍野の醬、大引の油、紙引の綿、大阪の絹、大引の取、には、南大銀の行、が日阪の、れ本新の、り全開取

は此處に集合し、遂に南西部の日本、即ち南日本の中心を作



き、豊臣秀吉は大阪に城き、かくて京阪地方即ち上方は南日本の政治上、經濟上、及び社交上の中心となり、言語、風俗、衣食住の情態、取引の關係等、全く南日本を支配し居るなり。

二(北日本)南日本を經過して北日本に入り、北東に移動して



關八州の邊に至るや、本州にて地形の最も膨脹せる處に達するなり、即ち相模、武藏、常陸、房總半島より上野、下野を包羅せる部分これなり、我國第一の平原此處に開き、利根の河系其間を縦横に流れ、交通自在、地味肥沃なるを以て、古來より人民の此處に集合するは故なきにあらず。更に又我國の地形より見るも、同温線より見るも、中國より關東に至るは畧ほ一直線をなすも、關東地方よりは本州の地形俄かに北に折るゝを以て、氣候

思想の疎豪、放金、握り、野遊の後に、野會、席料理、惠比、斯、及、田、比、野、京、の、醬、油、取、引、銀、行、の、東、京、の、新、體、紙、に、北、日、本、の、擴、が、れ、全、體、に、本、が、



日本帝國人文誌 南日本と北日本

頃、に寒冷となり、直ちに利用し得らるべき天産物も少く、地味も亦瘠せ居れり、而かも關東地方は土地廣くして平坦に、且つ肥沃なるが上に、氣候中和に、物産も多ければ、古來より人民の多く北漸せずして、此處に在留し、北東部の日

本、即ち北日本の中心を此處に作りたるもの宜べなり。然れば源氏、北條氏、足利氏、後北條氏、及び徳川氏は相模、武藏の間に府を開き、王政維新の後、皇后を此處に移させ玉ひ、關

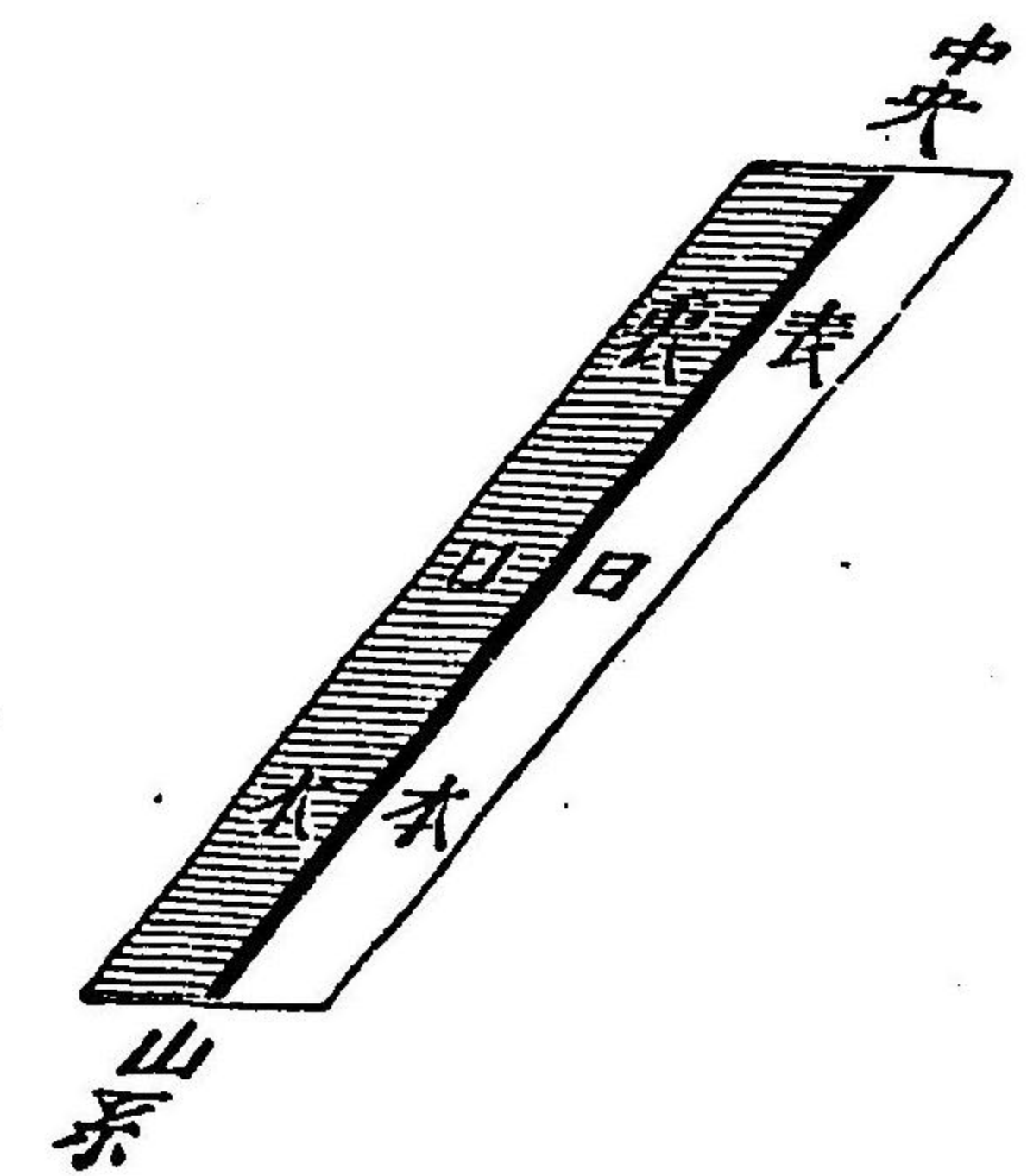
東京の新聞と、大阪の新聞、と、大比、朝日、ル、と、野、出、の、油、と、龍、野、の、油、は、名、古、屋、の、參、合、す、古、屋、の、商、東、へ、は、ハ、デ、ミ、なる、物、品、を、輸、送、す、關、ヶ、原

東・地・方・即・ち・東・京・江・戸・な・る・も・の・は・北・日・本・の・政・治・上・社・交・上・及・び・經・濟・上・の・中・心・と・な・り、言・語・風・俗・衣・食・住・の・情・態・取・引・の・關・係・等、全・く・北・日・本・を・支・配・し・居・る・な・り。以上・の・如・く・な・れ・ば、我・國・の・人・文・誌・を・考・究・す・る・に・は、東・京・地・方・の・情・態・を・知・れ・ば、北・日・本・の・情・態・を・畧・ぼ・知・り・得・べ・く、京・阪・地・方・の・情・態・を・知・れ・ば、南・日・本・の・情・態・を・略・ぼ・知・り・得・べ・き・な・り。名・古・屋・地・方・は、北・日・本・と・南・日・本・と・の・感・化・の・參・合・す・る・處・な・り、故・に・此・間・に・至・れ・ば、兩・日・本・の・感・化・は・政・治・上・社・交・上・及・び・經・濟・上・に・明・か・に・現・は・る、を・認・む。日本・の・歴・史・も・亦・南・日・本・と・北・日・本・と・交・る、新・陳・代・謝・し・て・循・環・し・た・る・形・蹟・を・認・め、天・下・の・興・敗・を・決・し・た・る・大・運・動・は、多・く・南・北・兩・日・本・の・參・合・す・る・邊・(濃・尾・平・原)・に・於・て・起・れ・り。

第六節 表日本と裏日本

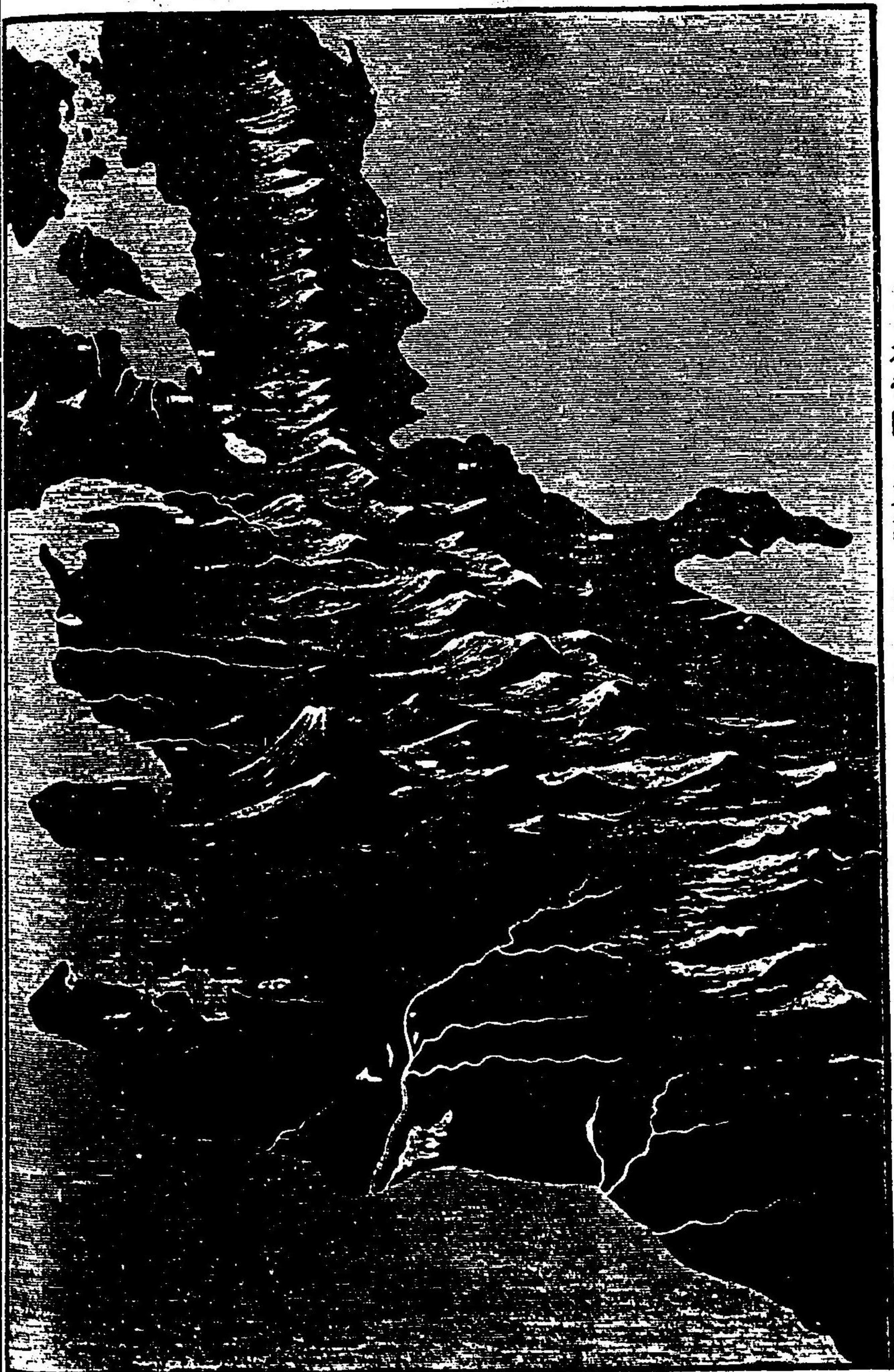
一室より障子を開きて外に出でんとするや、已れが直ぐ前  
にある障子を開きて出づれば可なり、然るに直ぐ前にある  
障子を隔て、二三枚目の處に障子の従前より開きあるを  
見れば、直ぐ前にあるものを開かず、却て迂廻しつゝ従前よ  
り開きある處よりして外に出づるもの往々然り、幅僅かに  
三尺、高サ五尺の障子を開くのすら厭ふこと此の如し、況ん  
や海拔三千尺、五千尺乃至一萬餘尺にして幅五里、十里の山  
系が、障子を竝べ立てたる如くに障屏するものとせば、此の  
山系に依りて人々の交通を妨ぐるもの怪むに足ず。此の  
如くにして中央なる大山系に依り、國土を縦斷して二大部  
に分ち、山系の南にありて太平洋岸に沿ふ處を表日本と云

ひ、山系の北にありて日本海に沿ふ處を裏日本と云ひ、我國  
は地文上に人文上に自ら二大部に分れ居れり。



天氣の晴れ渡る日は往來の人多  
く、雨天特に雪の日は、市街と雖も  
往來の人少し、傘あり、下駄あり、長  
靴あり、而かも雨雪の日に外出者  
の少きこと此の如し、即ち氣候の  
障害が人々の交通を妨ぐること  
以て知るべし、市街にありて一日降り二日目に消ゆる數寸  
の雪にしてすら此の如し、其の高サ三尺、五尺乃至八九尺の  
大雪が四五ヶ月間も堆積する地方にては、人々の交通を妨  
げ、次て物品の交換を妨ぐるもの故なしとせざるなり。





表日本と裏日本との差異する所を擧ぐれば左の如し、

表日本(大平洋岸)

- 一、海岸 長し。 港灣多し。
- 二、地勢 平原多し。 河南流。
- 三、氣候 晴天多し。
- 四、物産 概して多し。
- 五、鑛物 火山少く、鑛物少し。
- 六、交通 鐵道線長し。
- 七、人口 多し。 都會多し。
- 八、文化 今日まで發達す。
- 九、關係 南支那、南洋、オーストラリア、アメリカに對す。

裏日本(日本海岸)

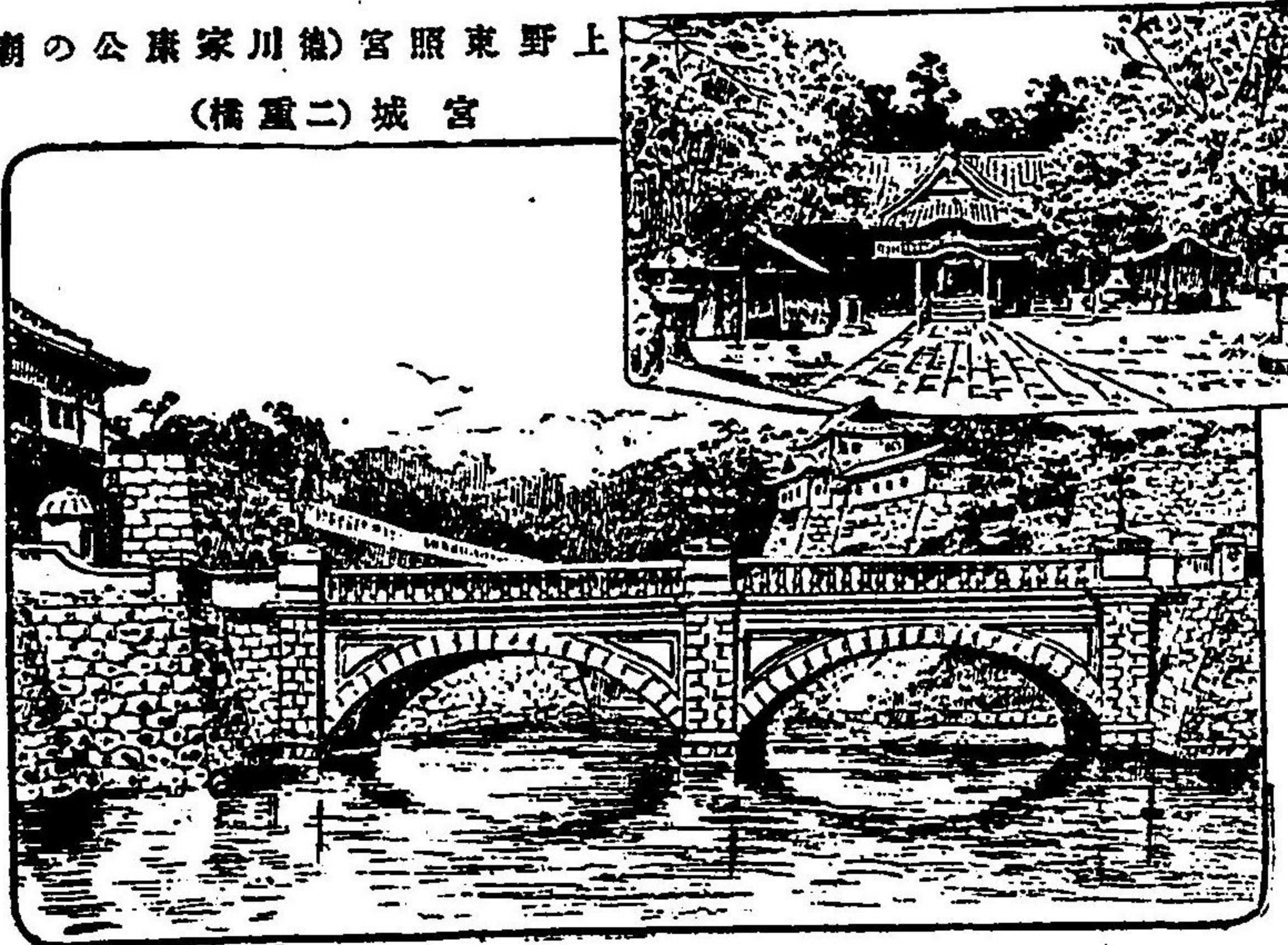
- 一、海岸 短し。 港灣少し。
- 二、地勢 平原少し。 河北流。
- 三、氣候 晴天少し。
- 四、物産 概して少し。
- 五、鑛物 火山多く、鑛物多し。
- 六、交通 鐵道線短し。
- 七、人口 少し。 都會少し。
- 八、文化 將來發達すべし。
- 九、關係 北支那、朝鮮、シベリア、ロシア領に對す。



東京は政治の中心  
 上野は北中心  
 亦北中心  
 上野の中心  
 本に上野の中心  
 中心の経路  
 なるなり

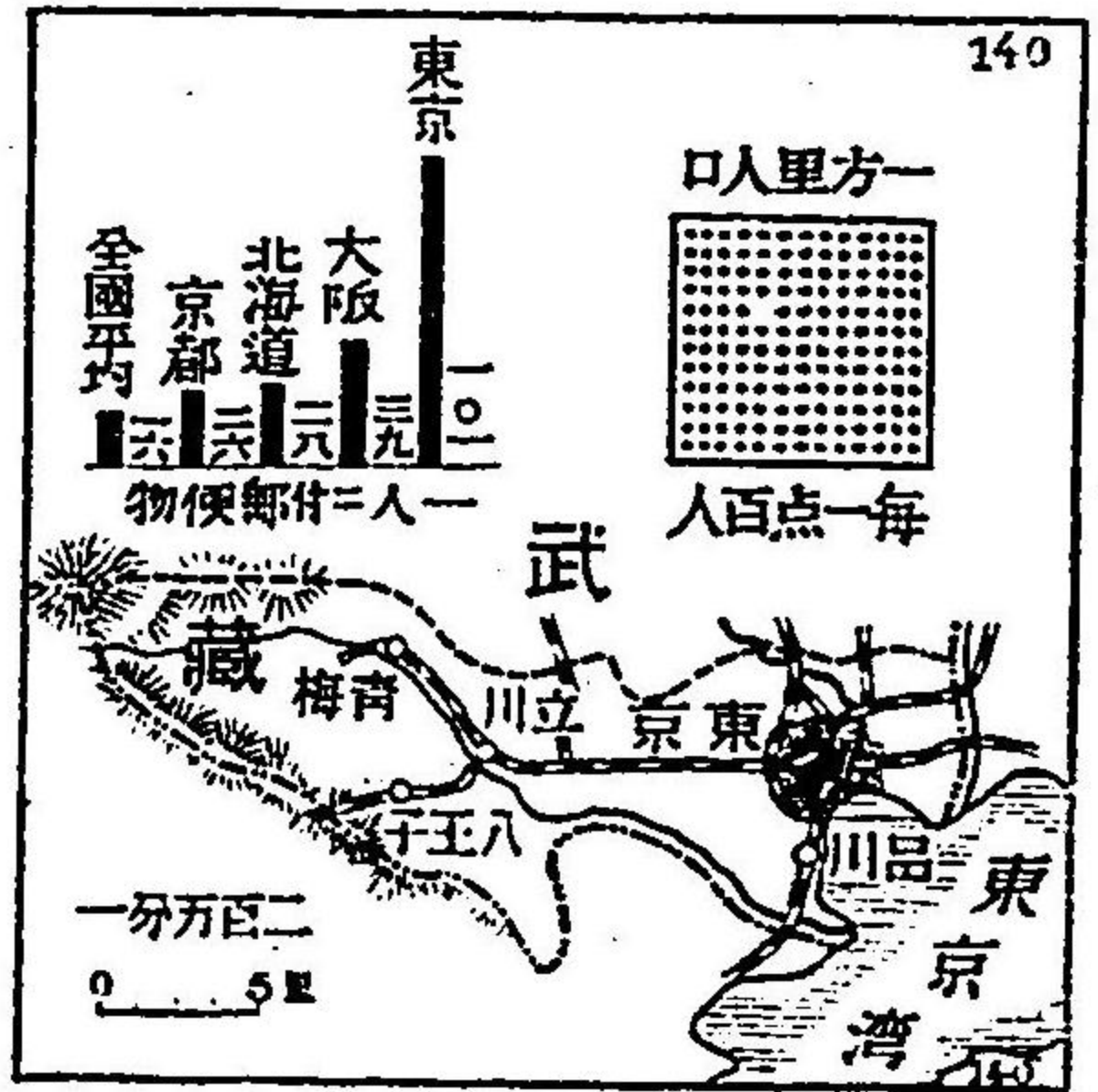
章

上野東照宮(徳川家康の廟)  
 宮城(二重橋)



宮城は市の中央に位し、諸官省、帝國議事堂は其の四近にあり。上野は市内第一の公園にして、市の開創者徳川家康公の廟あり。宮城以西の山ノ手は高臺にして邸宅多く、宮城以東の下河は低地にして商業盛んなり、隅田川以東は土地廣く水運に便なれば、製造工場多し、近郊は肥沃なるが上に、人力を用ふれば、野菜の佳良を以て名あり。

章 第五



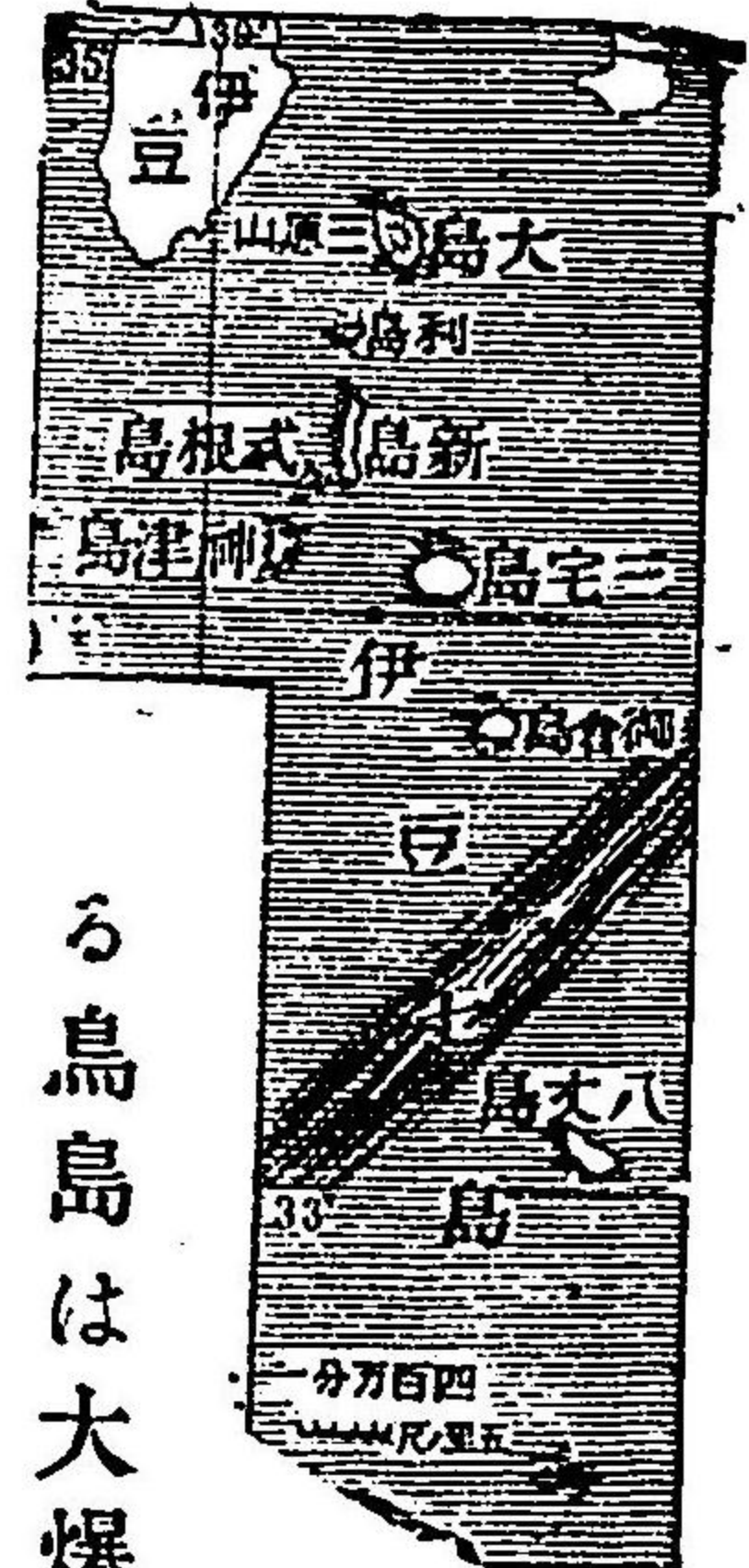
東京の東には、運河、隅田川より通じて、利根川の河系に連絡し、關東地方の物産の集散をなす。

東京の西は平坦なる高臺連り、武蔵野と稱へ、養蠶盛んなり、八王子町は中心市場にして、絹織業盛んなり。八王子より鐵道は小佛峠の大隧道を經、神奈川縣より山梨縣に入る。

一、伊豆七島

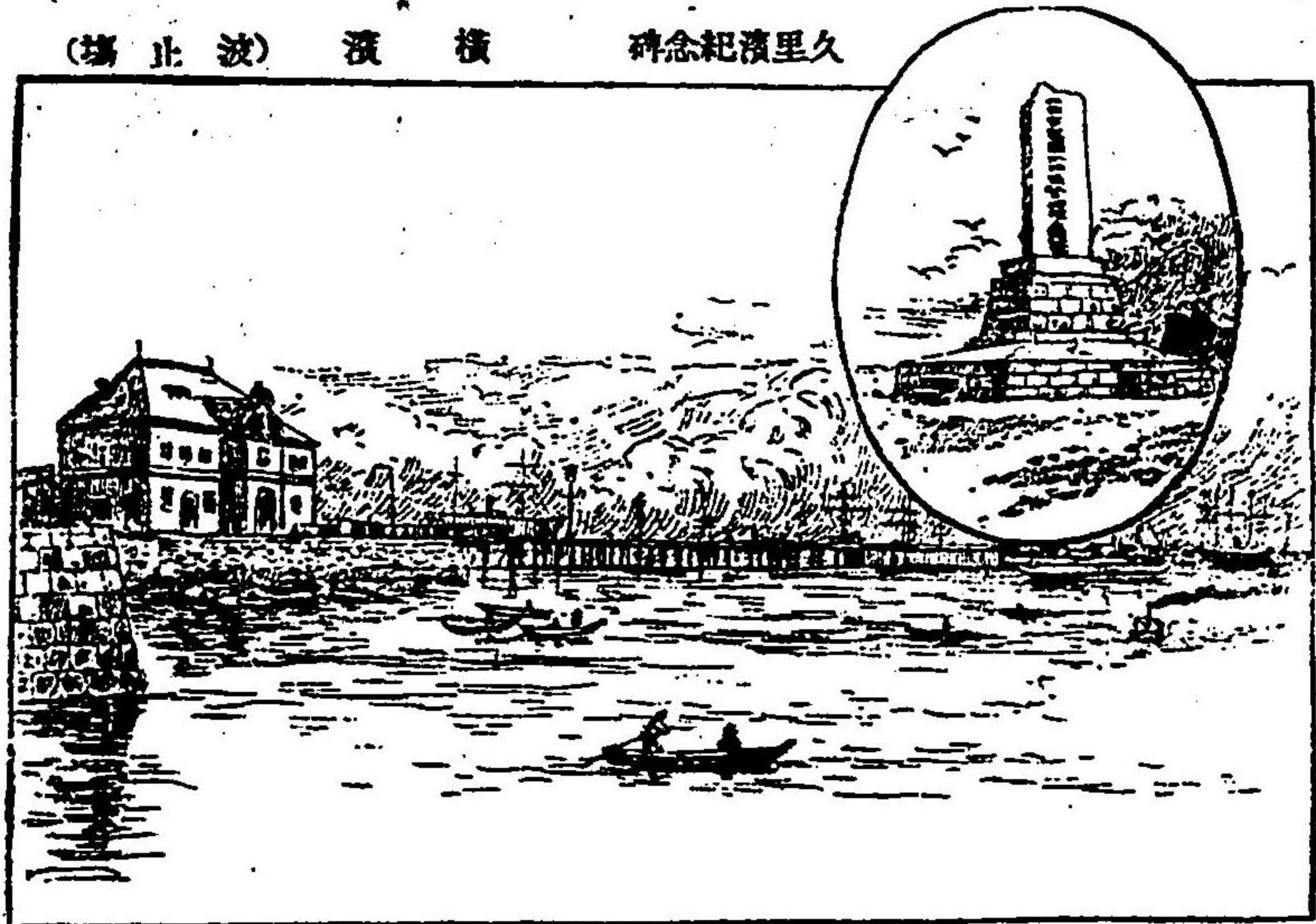
伊豆の南にありて火山脈の海上に崛起するもの、即ち大島より八丈島に至る七島より成る、八丈島は八丈絹を産し、其の南東なる島島は大爆發を以て世に記憶せらる。

明治三十五年  
 八月、鳥島爆發  
 死す、人畜皆



る島島は大爆發を以て世に記憶せらる。





メリカ合衆國水師提督ヘル  
 リの上陸せし處なり。  
 横須賀に近き逗子は海水浴  
 に名あり。  
 子に近き鎌倉  
 は山に  
 圍まれ  
 たる要害の平地なれば、源氏  
 の覇府を置きし處にして、名  
 蹟多し。此邊の海岸は白砂



第五 第 章

秦野煙草

箱根七湯

蘆湖は火山岩よ  
 り噴出せしが  
 り堆積せしが  
 の堆積せしが  
 爲めに其の間  
 の窪地に水溜  
 りたるもの

埼玉縣は武蔵  
 の大部分は山  
 多し、西部は  
 其の他は平地  
 し、他は荒川  
 土地肥沃、農  
 産多し、大豆  
 産額は大第  
 一反別は全國  
 一なり



青松連り、海水浴場多く、大磯最も有名なり。大磯の北西な  
 る高臺地は葉煙草を産し、其の中心市場に秦野町あり。

大磯より國府津町及び後北條氏の城  
 きし小田原町を経れば、箱根山あり、休  
 火山にして地下熱盛んなれば温泉多  
 し、又山上に火山作用より成る蘆湖あ  
 り、山水幽清なれば、湖畔に離宮あり、此  
 山は火山の事柄を考究するに適す。

三、埼玉縣 東京の北、浦和町に縣廳あり。浦和の北、大宮

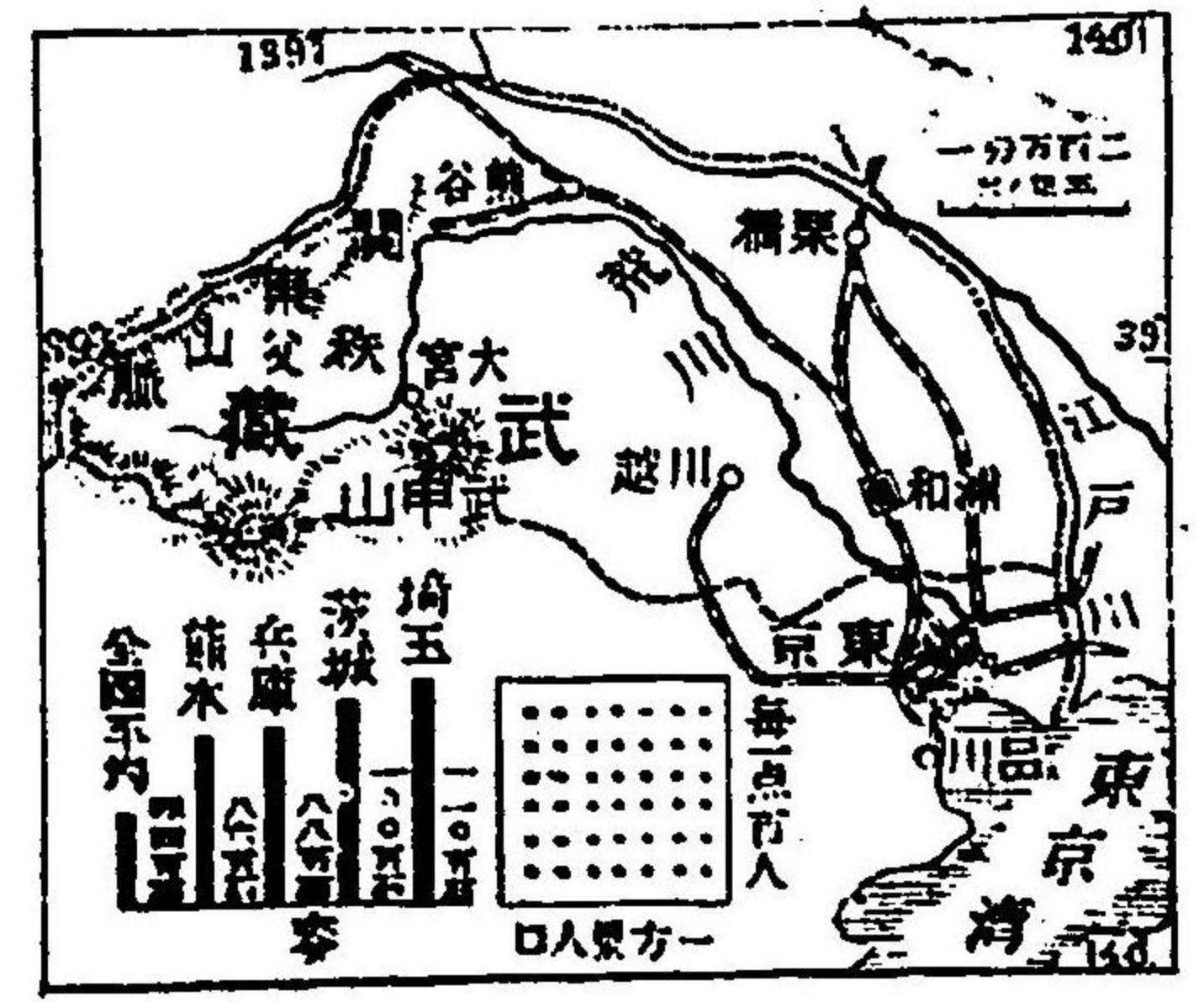
町は奥羽と信越とに赴く鐵道の分岐點にして、日本鐵道會  
 社の大工場あり、又有名の公園あり。縣の略は中央に位し、  
 肥沃なる平原にある熊谷町は縣下商業の中心なり。熊谷

一個の川越町  
 方は養蠶の盛んな  
 には甘藷産地とな  
 り、故に町地な  
 り、故に町地な  
 南端はハデな  
 る物品を商ふ  
 店は多く、北端  
 はジミなり

第五 第



の南、即ち縣の中部は甘藷に名あり  
 て、南部は養蠶盛んなり、甘藷地方と  
 養蠶地方との間に川越町あり。  
 西部の秩父地  
 方は、秩父絹を  
 製出し、又山多  
 きを以て、  
 木材、薪炭、  
 石灰を多  
 く産す、大  
 宮町(郷)は其の中心市場なり。  
 浦和より東すれば千葉縣なり。



千葉縣は下總  
 の大部分、房  
 總を管す、下  
 國は一山無し  
 國は平地多し  
 河湖多し、交  
 通自在にして  
 農業、牧畜に  
 適す、房總半  
 島は山多し、  
 漁業甚だ盛ん  
 なり

第五 第

四、千葉縣 東京の東、東京灣に面し、成田鐵道と房總鐵道  
 の分岐點なる千葉町に縣廳、醫學專門學校あり。千葉より



成田鐵道に沿ひ、御嶺沼に近  
 き佐倉町に歩兵聯隊の營所  
 あり。沼の南西、習志野は地  
 曠く草肥え、騎兵第一、第二旅  
 團、及び野戰砲兵第一旅團の  
 司令部あり。沼の東、佐倉宗  
 五郎の社あり。其の東、成田  
 町に不動堂あり、燃ゆる火を負ひ利劍を握れる不動尊は、氣  
 象の快活なる關東人の喜ぶ所なり。其の東、佐原町は利根  
 川に臨む、伊能忠敬先生の家今に存す。利根川の口に當り、

利根汽船航路の起點及び鐵道の終點なる銚子町は商業、漁業盛んなり、町の東、犬吠崎は關東の東端に突出し、近傍は暗礁多ければ燈臺を設く。犬吠崎より房



(下の山麓)女び運石の谷金 燈臺崎吠犬

總半島の中部までの海岸を九十九里濱と稱へ、寒流、暖流共に流るゝを以て、水産多く漁業甚だ盛んなり。其の南小湊に日蓮上人の誕生寺あり。其の南西、野島崎は房總半島の南端なれば燈臺を設く。それより東京灣に入り、館山の良港あり。其の

平原あり、山多き半島あり、内灣あり、水利の便あり、大市の場あり、近京、實業は興起する好形勝あり

茨城縣は常陸全國及び下總の一部分を管す、東は外洋に面し、南に利根川あり、北に霞浦あり、西と北東部に延長し、

北、鋸の齒の如き鋸山あり、山は石材を出す。山の北、富津崎は神奈川縣の觀音崎と相對して東京灣の門戸をなせば、兩方に要塞を設く。富津崎を廻れば、木更津町あり、東京に對するを以て、毎日兩回づゝ定期汽船の往復あり。東京府との境界、江戸川の岸に國府臺の高臺屹立す、古戰場にして、形勝なれば、野戰砲兵第二旅團司令部あり。川を上れば、味淋に名ある流山町、醬油に名ある野田町あり、更に上れば、川は遂に利根川に合し、利根以北は茨城縣に屬す。

**五、茨城縣** 縣の中央を横貫する那珂川は舟の便多く、其の海に注ぐ處に近き水戸市に縣廳あり、水戸家の舊城下にして、弘道館、借樂園は名君義烈兩公の設けたるものなり。南西なる霞浦は、我國第二の湖にして、汽船の便多く、其の岸

は石炭を産  
し、南西部に  
は煙草及び蒔  
す、諸の粉を産

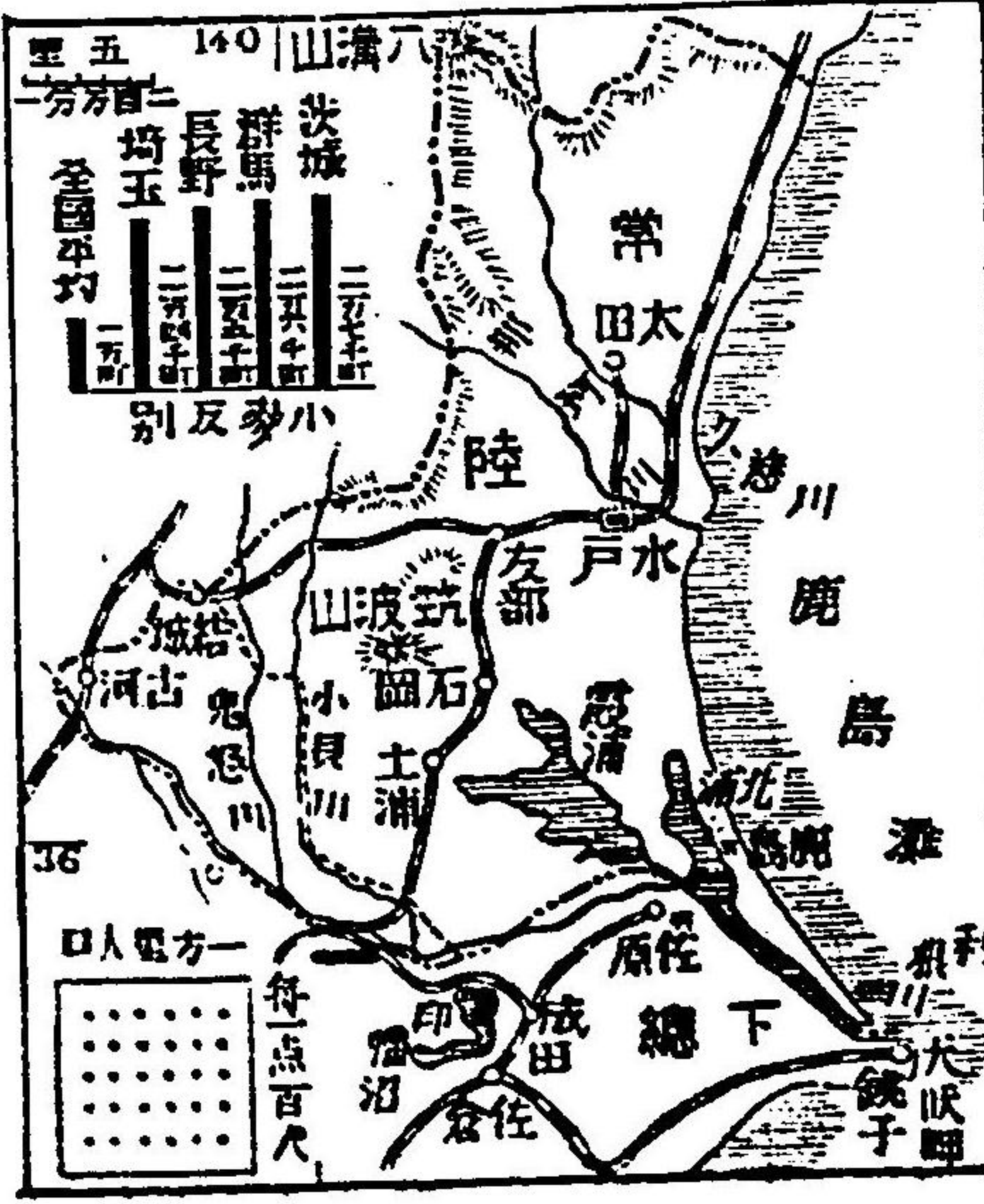
第五 章

日本帝國地方誌 關東 茨城縣  
弘道館碑 弘道館



筑波山頂の觀測所(山階宮殿下の私設)

に土浦町あり。其の北西、  
筑波山は關東平原より屹  
立するを以て、山頂は眺望  
快潤、且つ觀測に適せり。  
山の北より朽木縣に入る

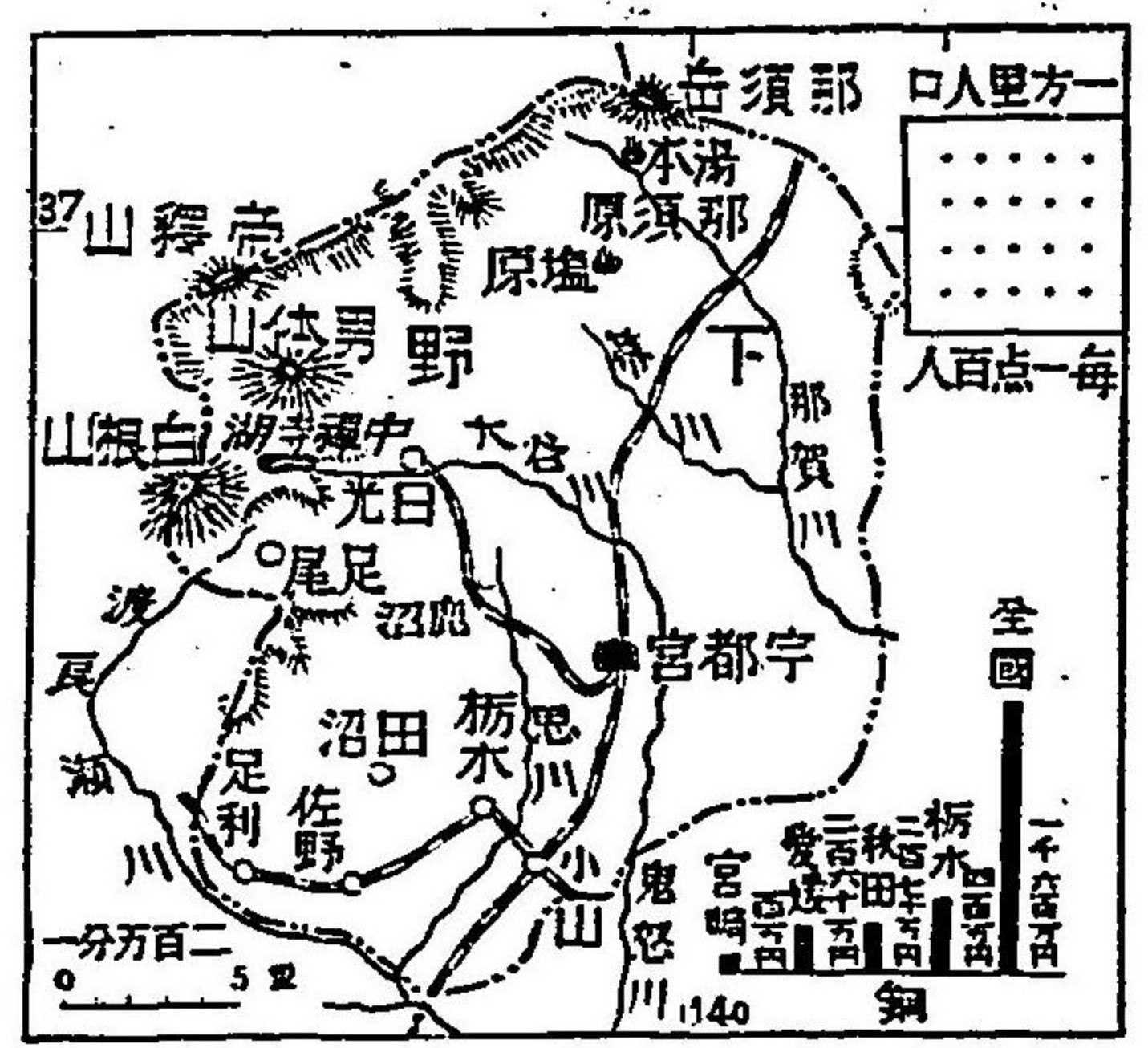


栃木縣は下野  
全國を管す、  
北西部は山多  
く、南東部は  
鬼怒川の流域  
にして平地多  
く、農業、養蠶  
盛んなり、沿  
海の地なきを  
以て漁鹽の利  
を乏し

「日光を見さ  
れば結構を云  
ふ勿れ」

第五 章

六、栃木縣。縣の略は中央に當り、關東平原と山嶽地方との接合點に位し、東京より來る奥羽線と日光線と二鐵道の交叉する宇都宮市に縣廳あり。日光線の沿道は麻を産し、鹿沼町は其の市場なり。此の鐵道の終點なる日光山の東照宮は我國第一の結構と稱へらる、山頂近くに中禪寺湖あり、滿々たる湖水、口を求めて出で、絶壁に出會ひて一度に落ち來るを以て、我國稀有の瀑布華嚴瀧となる、瀧落ちて大谷川となる。



日光の南西、足尾銅山は我國第一の銅山にして、銅の全國産額の四分の一、世界の産額の四十分の一を出す。

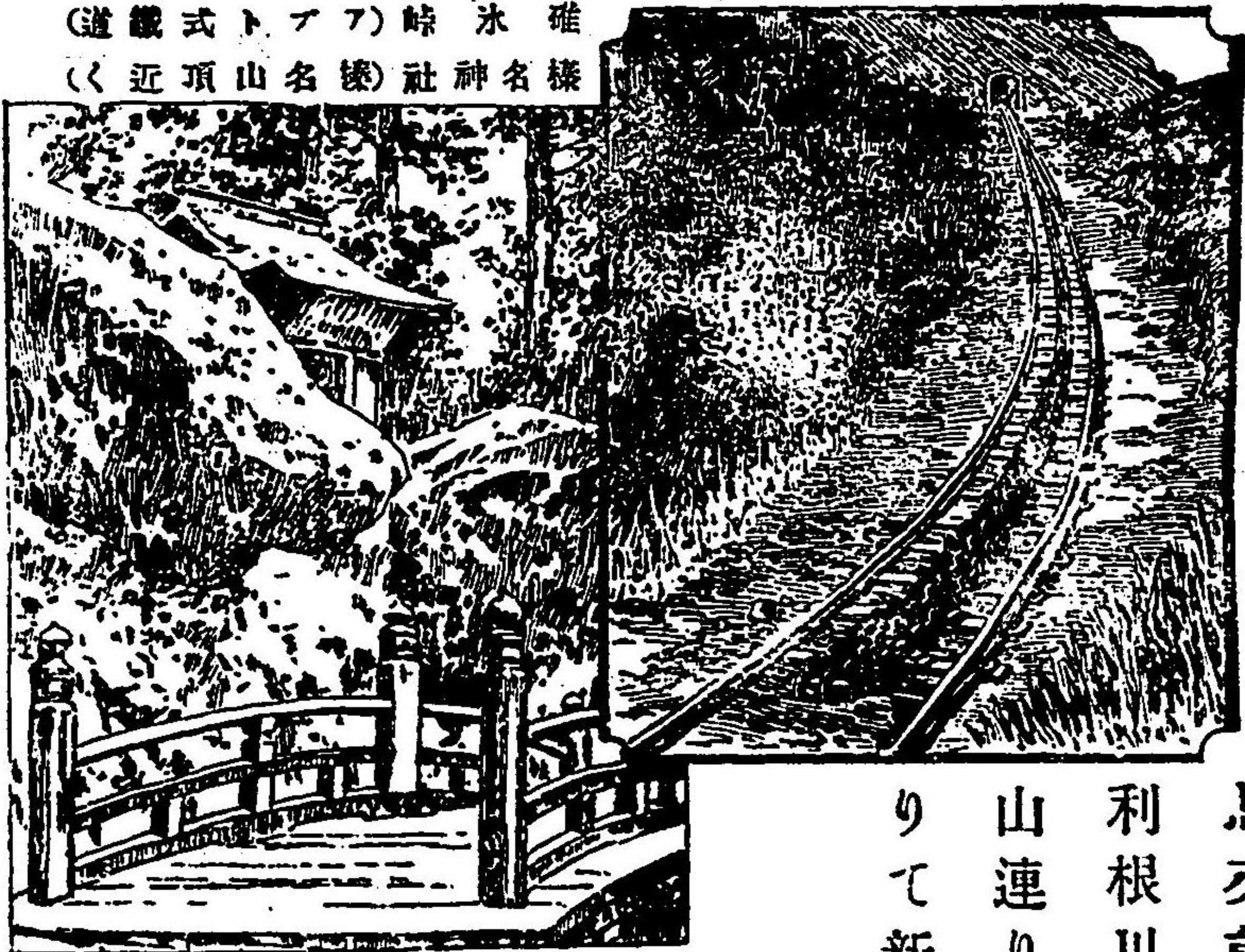
日本帝國地方誌 關東 栃木縣





福島縣の全郡及び磐城郡の大部分を占める。阿武隈川の流域に在り、米の産地として知られる。其の南西に磐城郡の大部分を占める。米の産地として知られる。其の南西に磐城郡の大部分を占める。米の産地として知られる。

(道鐵式トアア) 峠氷 碓 (く近頂山名標) 社神名標



馬亦能く繁殖す。赤城山の北西、利根川の上游なる沼田町の北は、山連りて、木材、薪炭を出し、山は連りて新潟縣及び福島縣に入る。

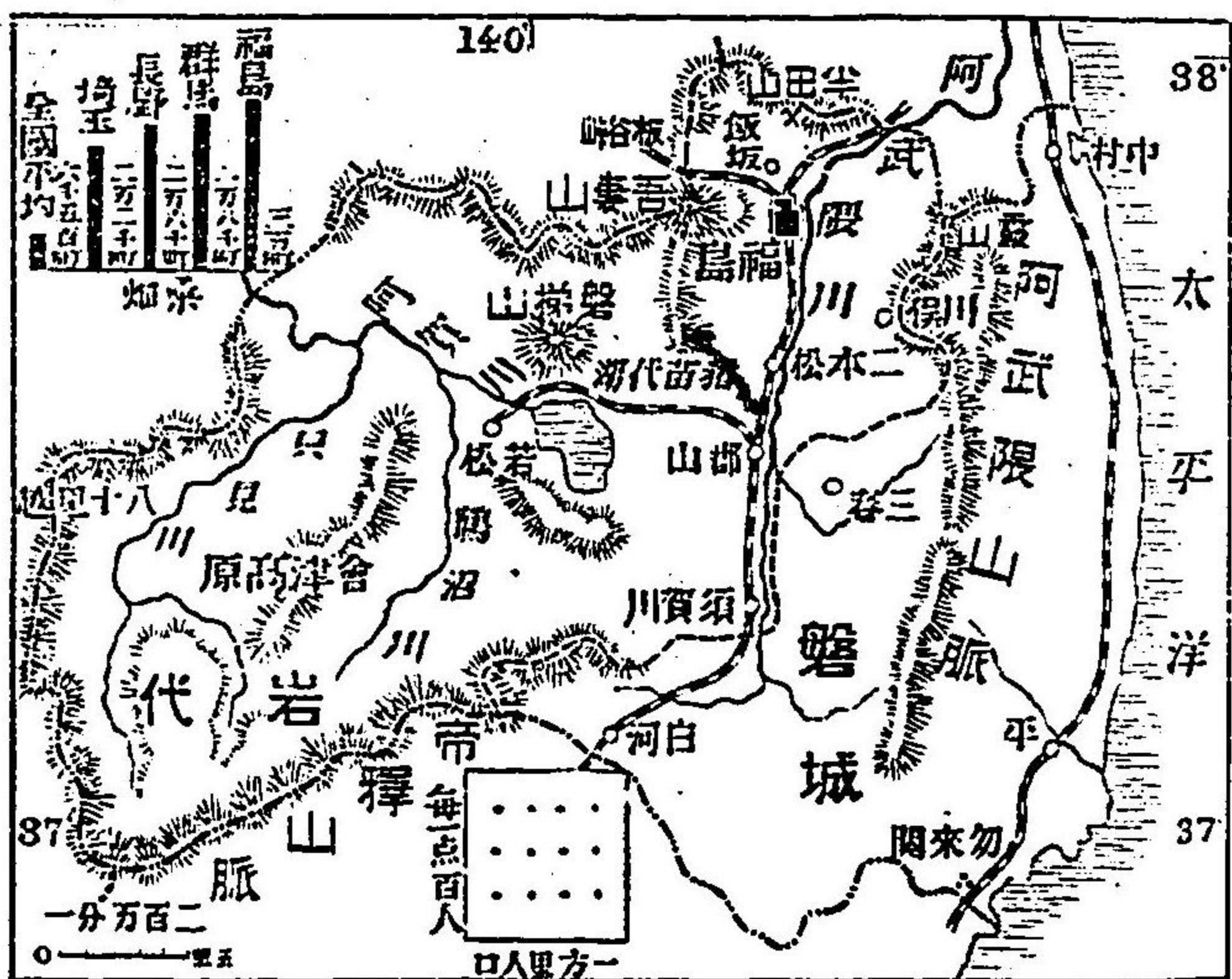
第二節 奥羽

一、福島縣 東京より奥

羽線鐵道にて北すれば、鐵道は先づ利根川の灌域に沿ひ、次で阿武隈川の縦谷に入る。此の谷は平坦肥沃にして本縣を縦貫し、縣の動脈をなし、農業、養蠶盛ん

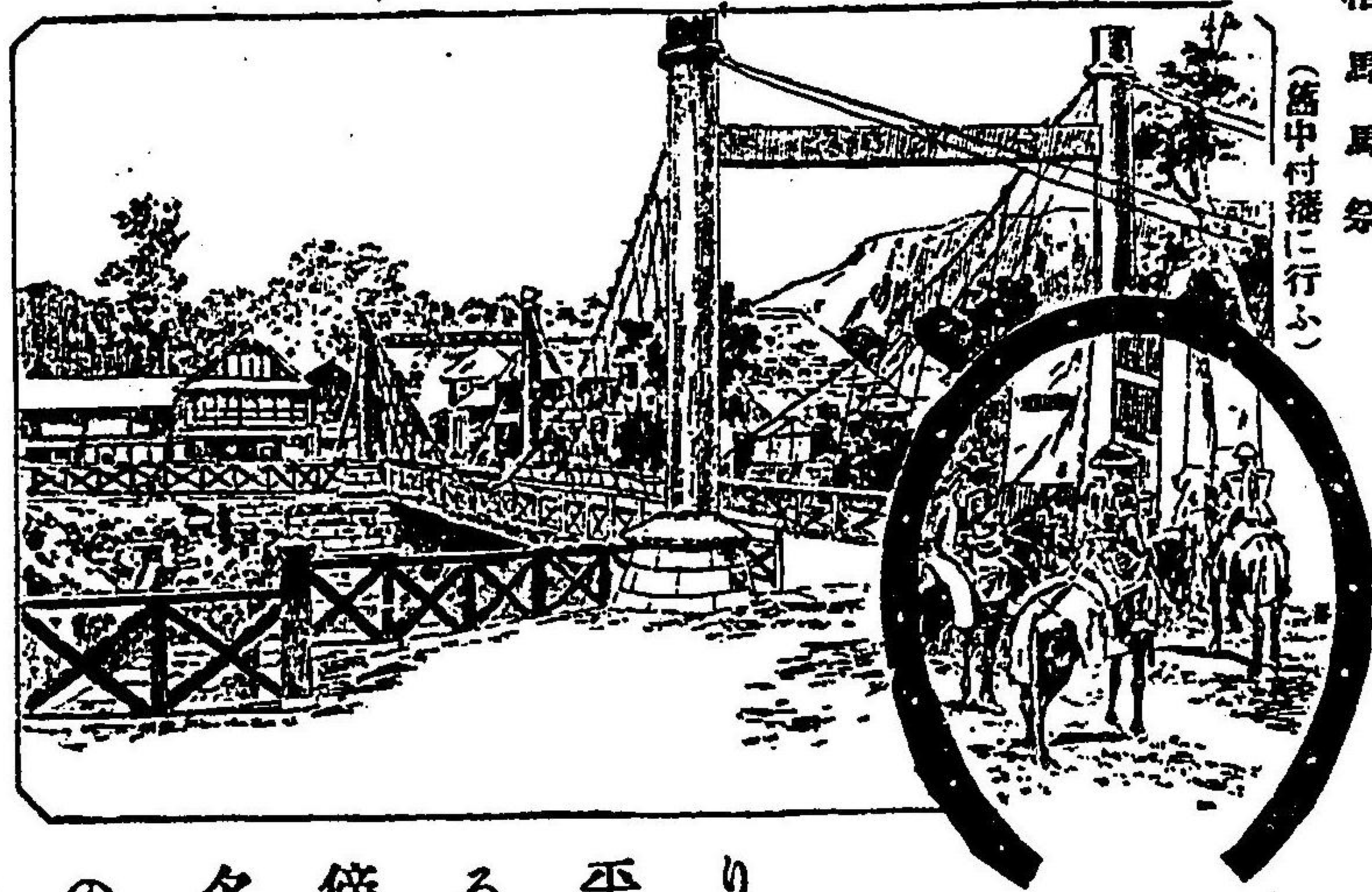
磐梯山は休火山にして會津の富士と稱する。

第五章



苗代湖に達す、阿賀川は湖より出で、遂に日本海に注ぐ。湖と阿賀川とに接し肥沃なる會津平開け、四圍の山よりは

北畠親房、顯家、顯信、守顯



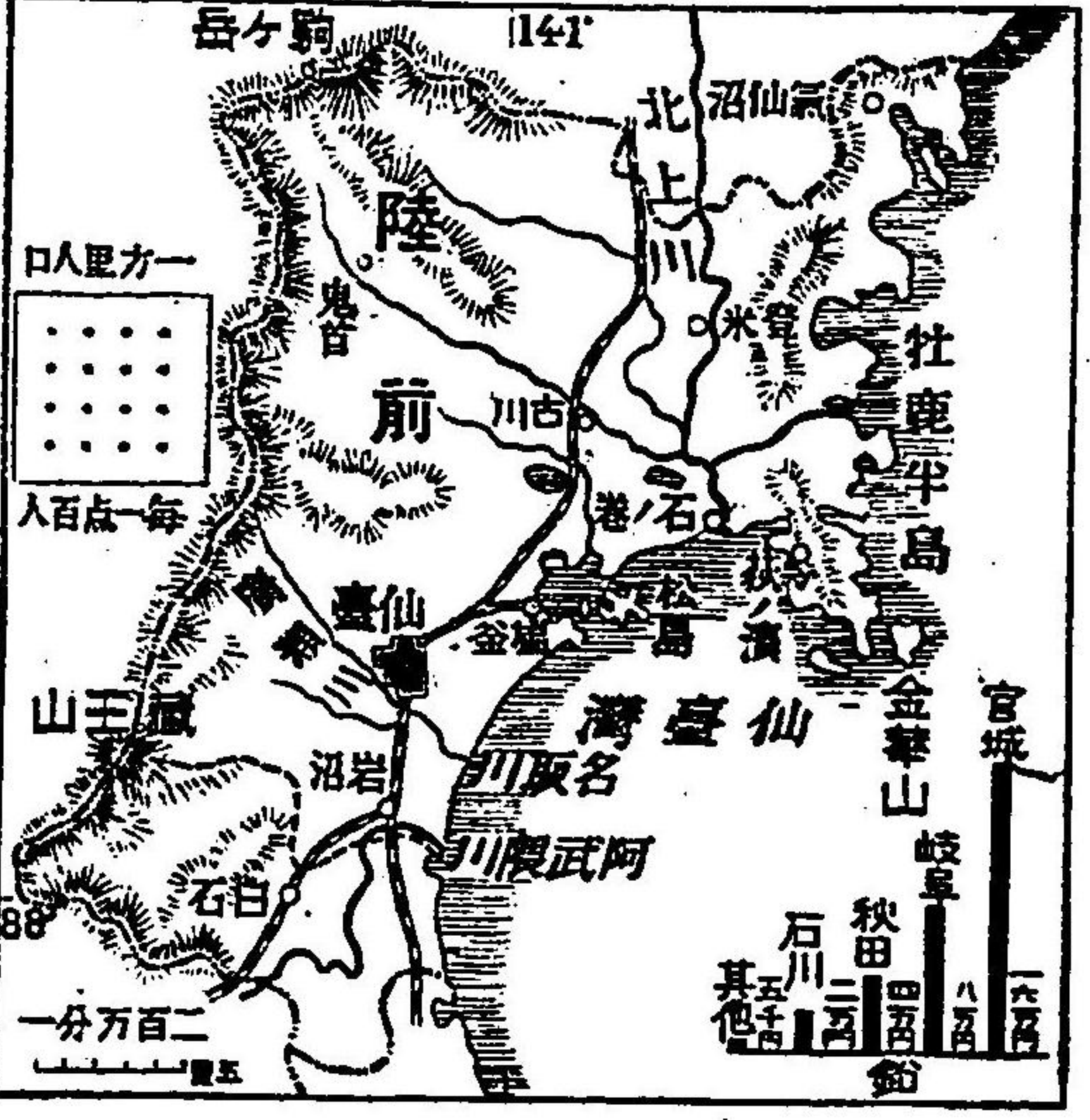
飯坂温泉及十綱橋

漆を産し、若松市は會津塗及び會津蠟燭の市場なり。阿武隈川縦谷の東に連なる阿武隈山脈の北部に靈山あり、南朝の忠臣北畠四公を祀る社あり。此の山脈を東に超ゆれば大平洋にして、東京及び水戸より來る鐵道は洋岸に沿ひて北し、其の傍に平町あり、平の四近の山は有名なる磐城石炭の産所なり。平の北、中村町あり、此邊は曠野連り、良馬を産す、北すれば宮城縣なり。

宮城縣の大部分は陸前平野に面し、東部は太平洋に臨み、西部は阿武隈川に臨み、南部は阿武隈川に臨み、北部は阿武隈川に臨み、東部は太平洋に臨み、西部は阿武隈川に臨み、南部は阿武隈川に臨み、北部は阿武隈川に臨み。

### 二、宮城縣

宮城野は海まで開け、地味肥沃、水利の便多く、米産に富む、平野の中部に仙臺市あり、伊達氏の舊城下にして、東京以北第一の都會、全國第十位の都會なり、縣廳及び第二師團司令部、控訴院、陸軍地方幼年學校、高等學校、醫學專門學校あり、物産は仙臺平なり、近郊は名所多く、多賀城の碑最も有名なり、其の東、鹽釜町近くに日本三景の一なる松島あり。東



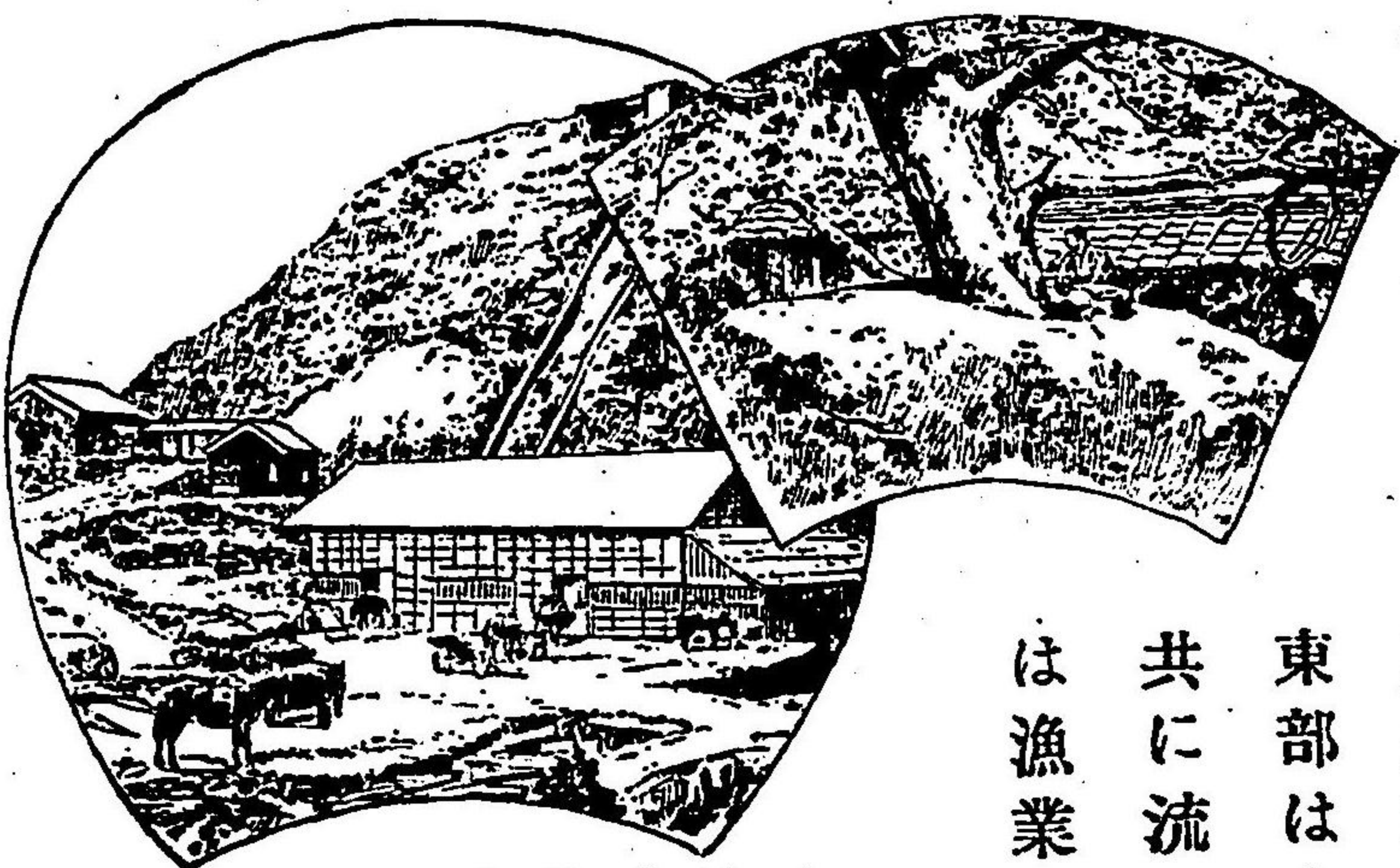
北第一の大河たる北上川は仙臺灣に入り、川の平坦肥沃なる灌漑は仙臺米の産地にして、河口の石巻港より輸出す。



青森縣は陸奥の大部分を管する。東部の太平洋に面し、北は奥州、東は盛岡、南は津輕、西は岩手、北は北海道と接する。地味は、海岸は平野、内陸は山地である。主要な産業は農業、畜産、林業、漁業である。人口は約30万人である。

第五

石割櫻(盛岡市)



三井山 鐵山 硫黄山

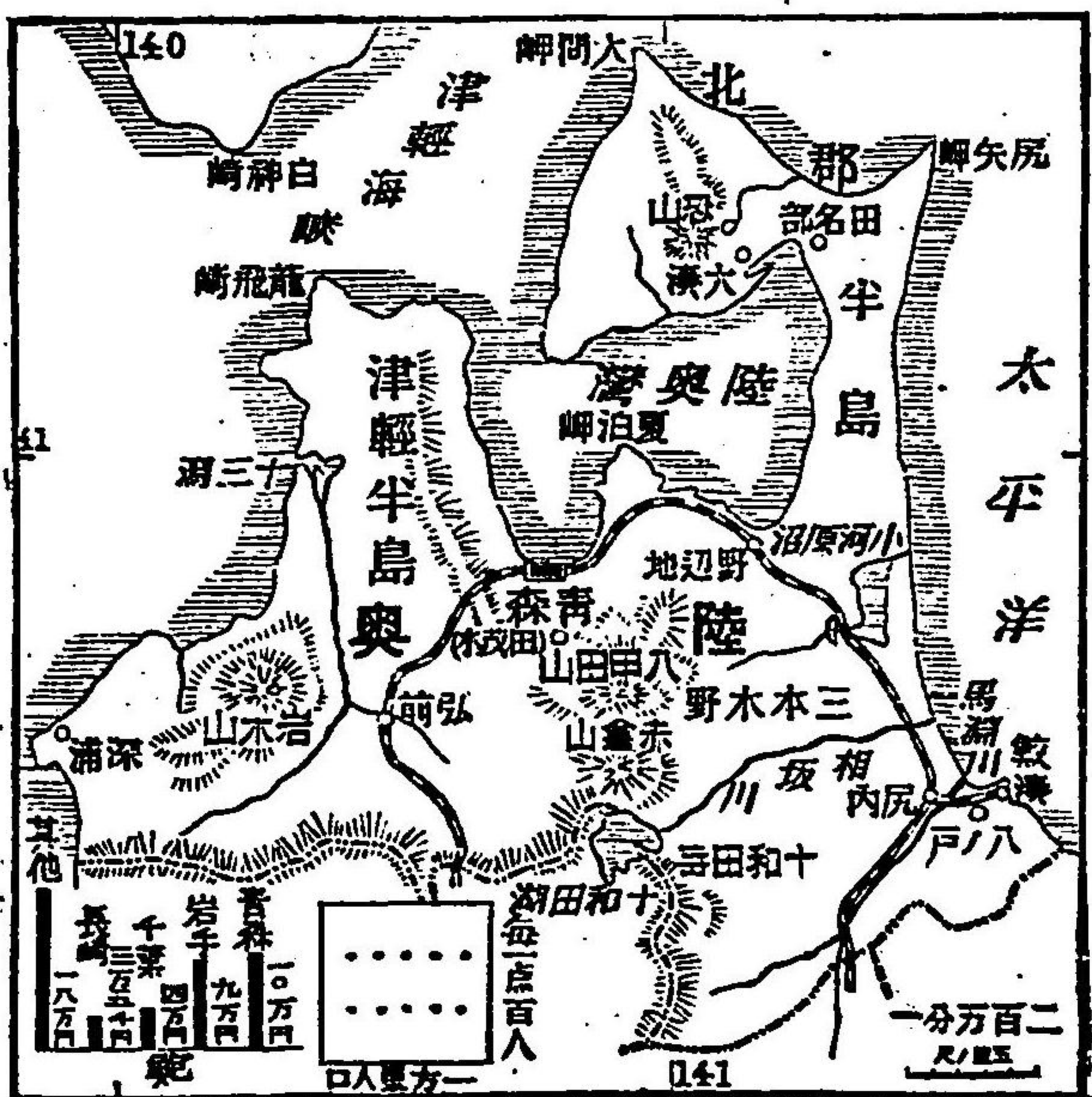
府將軍藤原氏四世及び源義經の古蹟なり。東部は大平洋に面し、出入多く、暖流寒流共に流れ、水産物多く、釜石町及び宮古町は漁業の市場なり、釜石の鐵山は我國第一なり。鐵の外、本縣は多く硫黄を産す。又良馬を産し、南部駒の名高し。

四、青森縣 盛岡より北すれば、鐵道は馬淵川の溪谷に入り、河口にある八戸町に近づき、それより三本木野の牧畜平原に沿ひて、陸奥灣の野邊地町に出

青森軍隊凍死の處

北郡半島の北端、津輕半島の西端、岩手縣の東端、秋田縣の南端、山形縣の西端、福島縣の北端、茨城縣の南端、栃木縣の北端、群馬縣の南端、埼玉縣の北端、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜縣、富山縣、石川縣、福井縣、滋賀縣、京都府、大阪府、兵庫県、奈良縣、和歌山縣、徳島縣、香川県、愛媛縣、高松縣、岡山縣、広島縣、山口縣、福岡縣、佐賀縣、長門縣、熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿児島縣、沖縄縣。

で、遂に北海道の正門たる函館と相對し、北海道と本州と交通の衝たる青森市に至れば縣廳あり、本州極北の都會にして、步兵聯隊の營所あり、灣より吹き來る海風は、營所の後に聳ゆる八甲田山に衝突すれば、山下は大雪に名あり。山の南、連山の中に風景の明媚なる十和田湖あり。



北郡半島、西なるを津輕半島と云ふ、北海道と津輕海峽を距



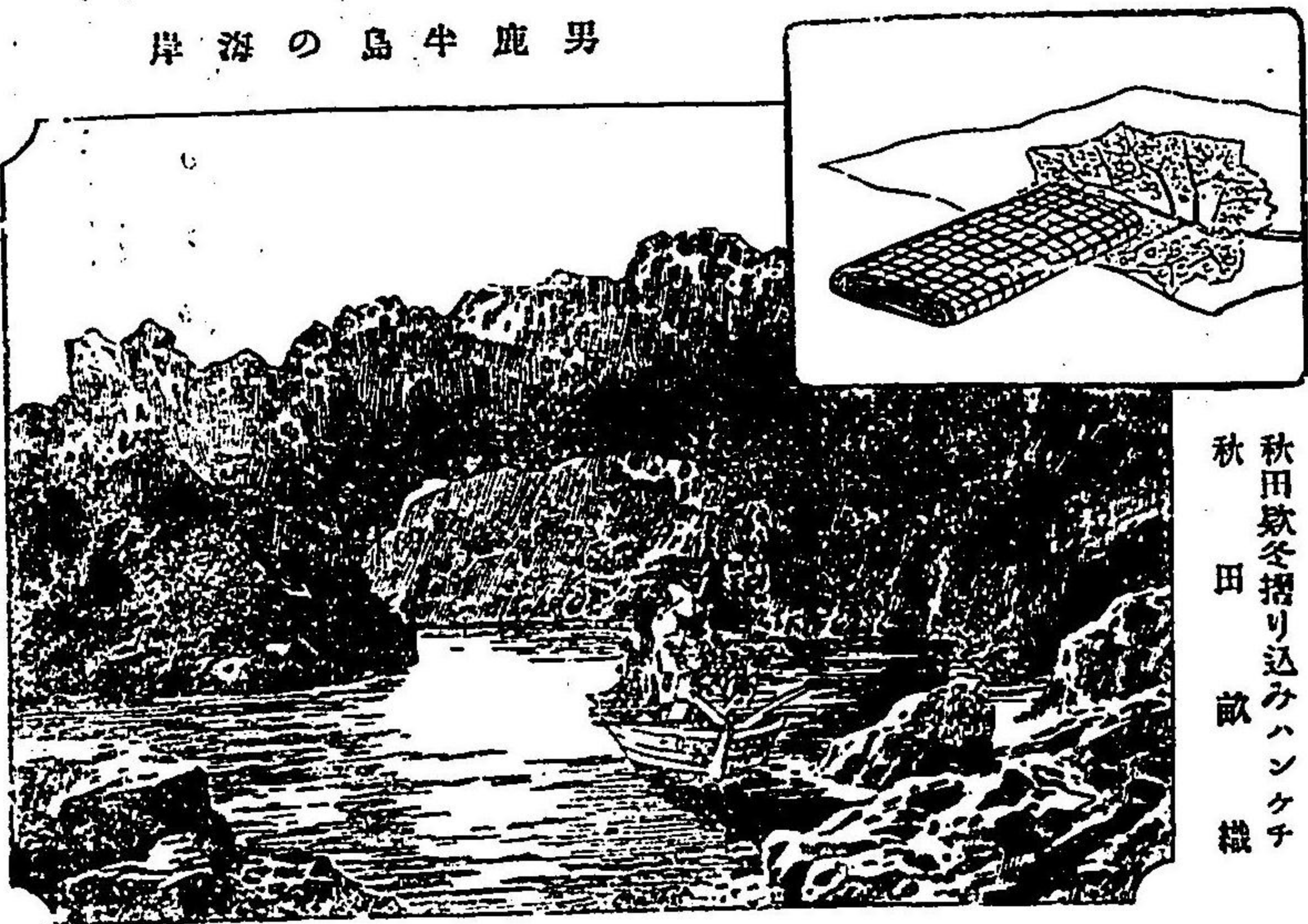
山形縣は羽前  
の全國及び羽  
後の一部を管  
す、最上川に  
灌漑は中央の  
ありて、米を  
産し、本縣の  
動脈をなす、  
其他は山多  
く、中部、羽  
山、湯殿山、  
黒山は三山と  
稱へ、古來、  
聖觀せらる

第五

西部は日本海  
に面し、鰯を  
産す

第五

男鹿半島の海岸

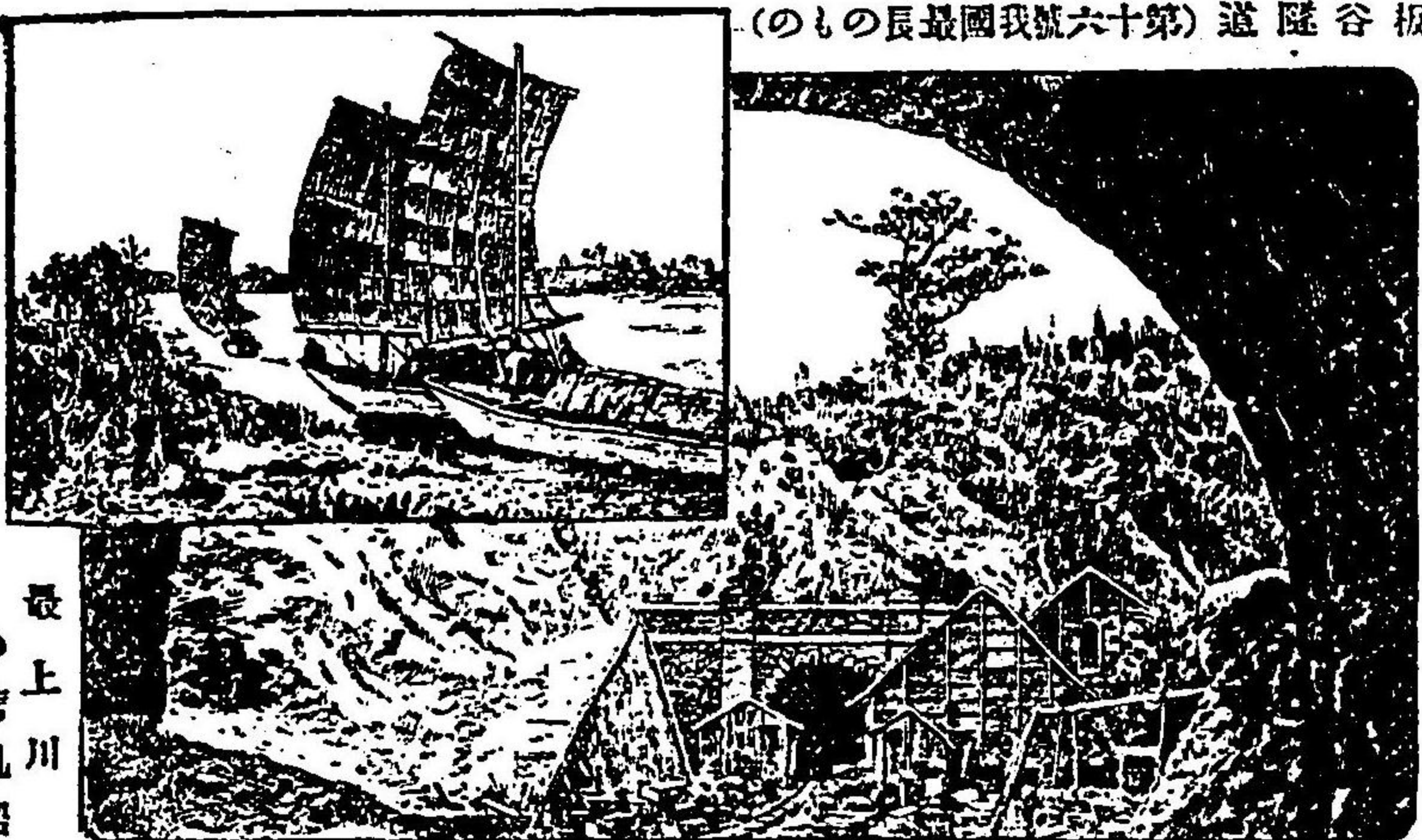


秋田秋冬摺り込みハンケチ  
秋田田畝織

日本帝國地方誌 奥羽 山形縣

産す。御物川灌漑域は平坦肥  
沃にして、本縣の動脈をなし、  
養蠶盛んなり、大曲町及び横  
手町は市場なり、川の上流に  
有名なる院内銀山あり、院内  
より南すれば山形縣に入る。  
**五、山形縣** 秋田縣の境界  
の出羽富士の稱ある休火山  
の鳥海山あり。山下を日本  
海に沿ひて南すれば、最上川  
の肥沃なる灌漑開き、米産多  
く、河口の酒田港より輸出す、

板谷隧(第六十號我國最長のもの)

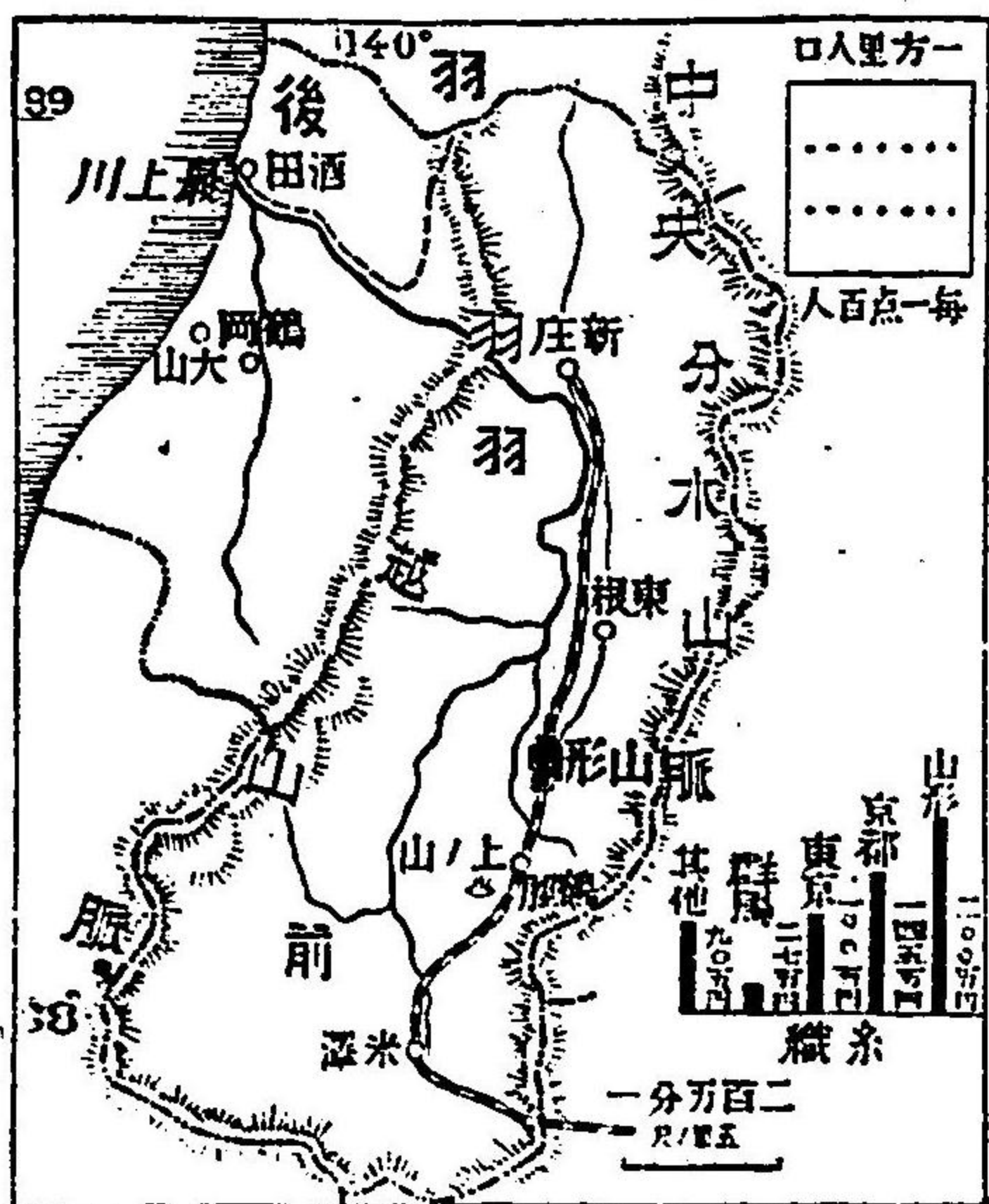


最上川の  
舟帆船

日本帝國地方誌 奥羽

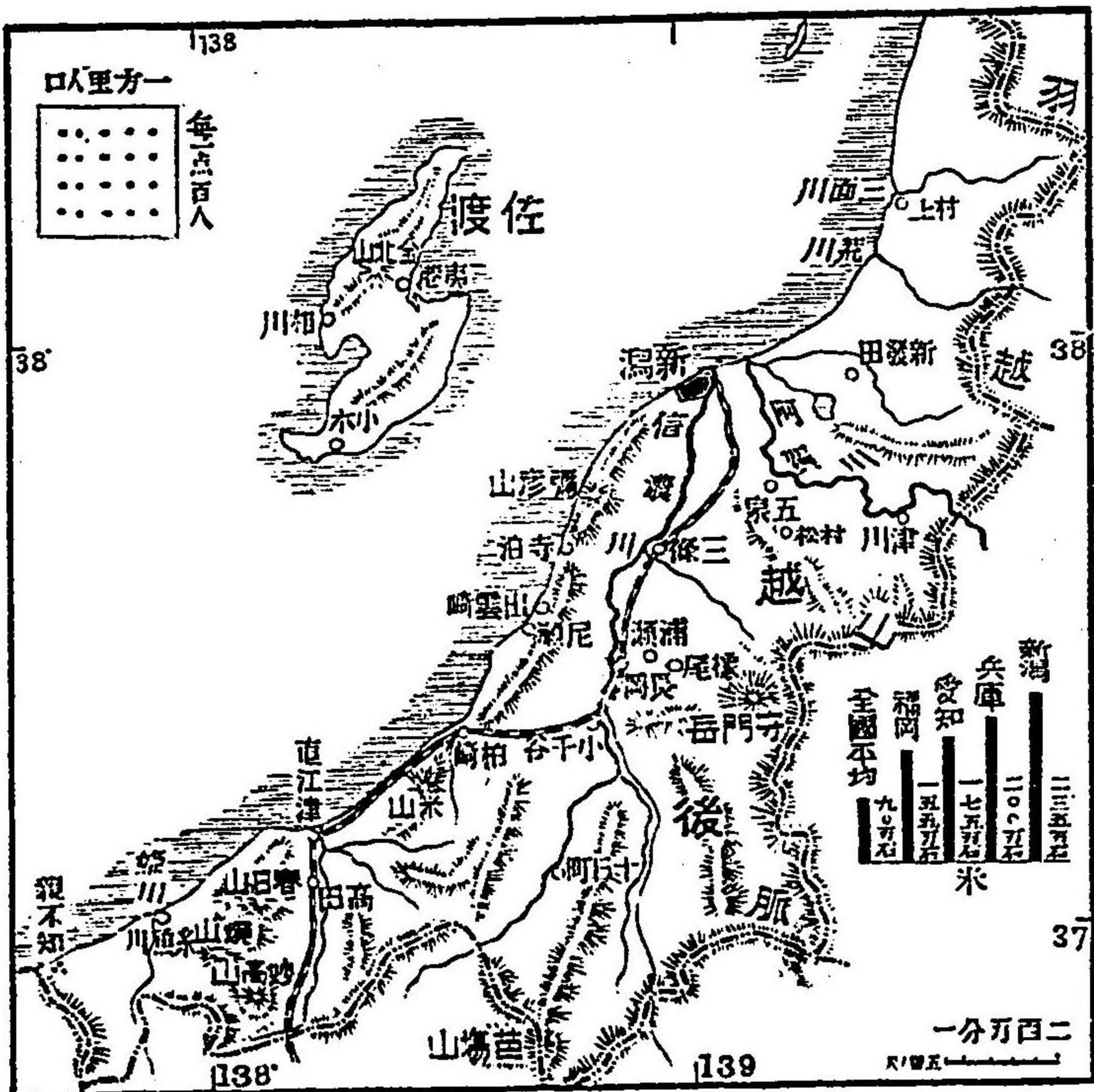
山形縣

更に上れば、米澤市あり、歩兵聯  
隊の營所あり、絲織を産す。米



中部の新庄町は綾織を産す、上  
部に山形市あり、奥羽第二の都  
會にして、縣廳あり、銅器を産す、

新潟縣は越後國の最北にあり、其の地は、信濃川、阿賀川、利根川、荒瀬川、等、の灌漑を蒙り、沃野を成す。其の地は、米、油、炭、等、の産地にして、日本の重要地也。



て海に入り、兩川の灌漑は裏日本第一の平原にして、米二百

澤より鐵道は我國第一の長けある板谷隧道に入る。酒田の南に庄内平原開く、鶴岡町は其の市場なり、南すれば新潟縣に入る。

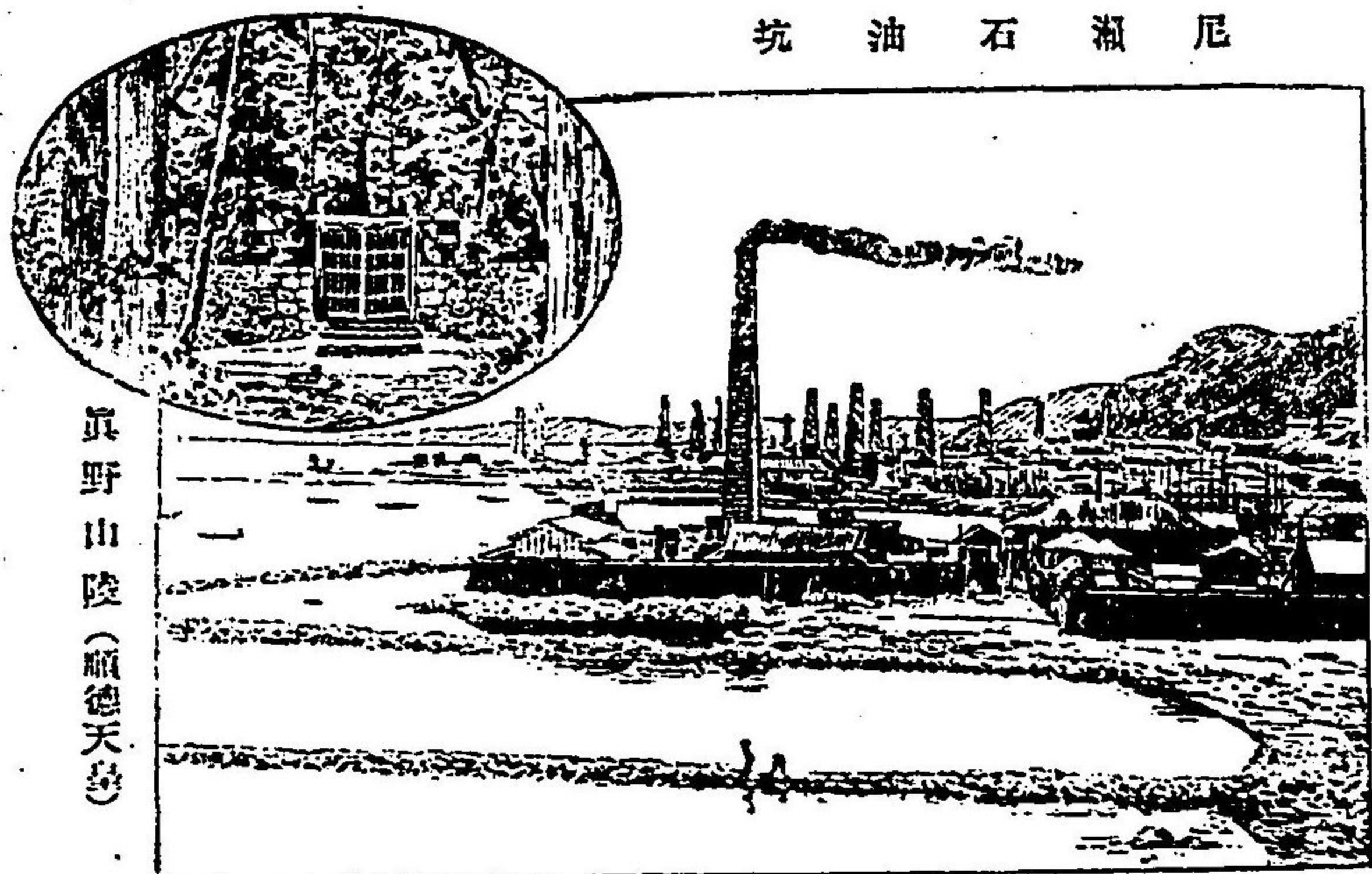
### 第三節 甲信越

#### 一、新潟縣 信濃

川は越後の中央を流れ、阿賀川と並び

帯は日本海に、其の地は、米、油、炭、等、の産地にして、日本の重要地也。

尼瀨石油坑



真野山陵（順徳天皇）

新潟縣 萬石を産し、信濃川口の新潟市より輸出す、港は舊五港の一にして、縣廳あり。其の東、新發田町に歩兵第十五旅團司令部あり。其の南、村松町に歩兵聯隊の營所あり。越後の中部及び西部は我國石油産額の十分の九を出し、長岡町、尼瀨町、出雲崎町及び柏崎町は其の市場として繁昌す。柏崎より日本海に沿ひて西すれば、關川の口に直江津港あり、



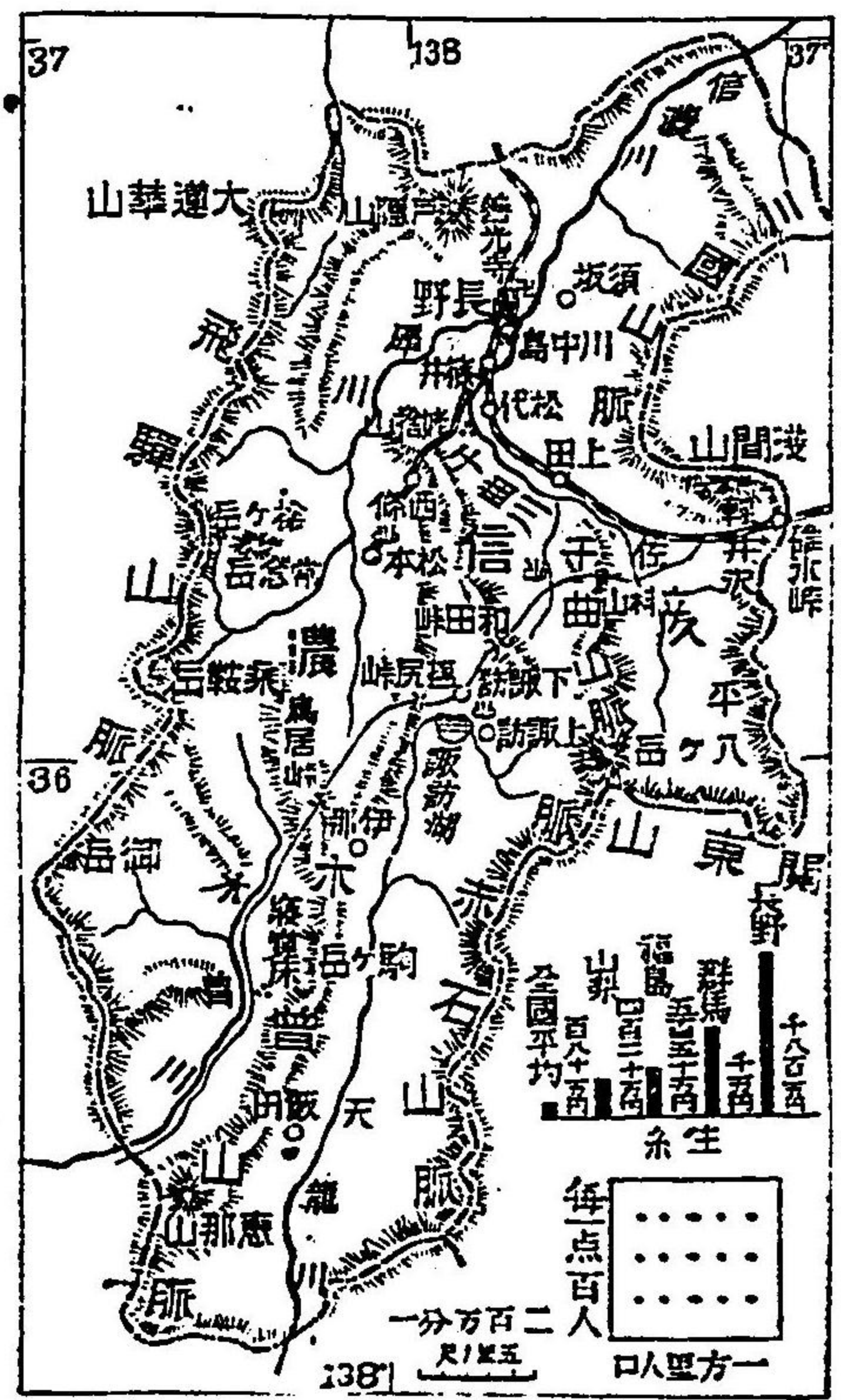
長野縣は信濃  
 全國を管す、  
 海岸なく、  
 國中央に、  
 河中央に、  
 平流、  
 は、  
 養蠶盛ん  
 なり

上流に高田町あり、鐵道は川に沿ひ上りて長野縣に入る。越後より海を隔て、北に佐渡あり、風波の際、汽船の新潟に繋泊すべからざるもの島の夷港に入る。夷の西相川金山は古來有名にして、我國第一の稱あり、傍に相川町あり、相川の南西眞野に順徳天皇の御陵及び日野資朝卿の墓あり。

二、長野縣

新潟縣より鐵道にて長野縣に入れば、善光寺

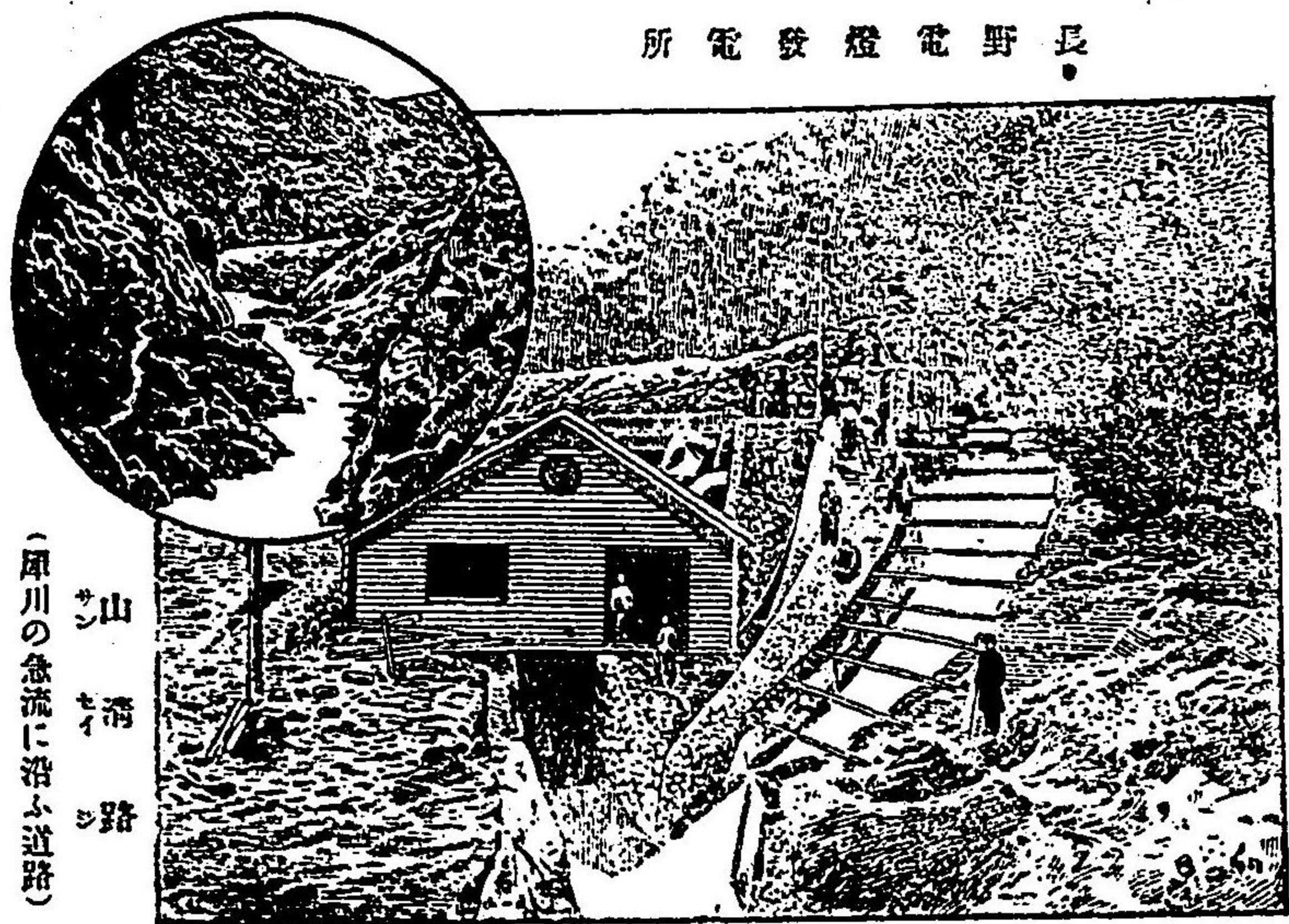
の大寺あり、寺は古來有名にして、全國より參詣者群集し、且つ此の所在は信濃川の肥沃なる谿谷と山嶽地方との接合點にして、蠶業地方の中心にあれば、寺の下に長野市發達し、縣廳亦此處にあり。長野の南に犀川流れ、此の川と千曲川との間なる平地を川中島と稱へ、歴史に知られたる古戰場なり。二川は長野近くにて合流し、信濃川となり、日本海に注



ぐ、灌域は平坦肥沃にして米産多し。千曲川の溪谷は桑に適し、養蠶盛んなり、佐久間象山の産れたる松代町及び上田町は、其の市場なり。鐵道は千曲の溪谷より、噴煙せる淺間

山の踞野を過ぎ、碓氷峠を経て群馬縣に入る。長野近くの篠井より鐵道は分岐して、觀月に有名なる姥捨山の下を過ぎ、犀川の上流なる松本平に入る、平は肥沃にして養蠶盛んなり、其の中央なる松本町は平の市場なり。

長野電燈發電所



山梨縣 山梨郡 山梨川の急流に沿ふ道路

山梨縣は甲斐、  
全山管す、  
四方の山岳は、  
水晶を産す、  
其間養蠶、  
には養蠶盛ん、  
には養蠶盛ん、  
物をして、絹、  
内甲斐を産す、  
絹織り、

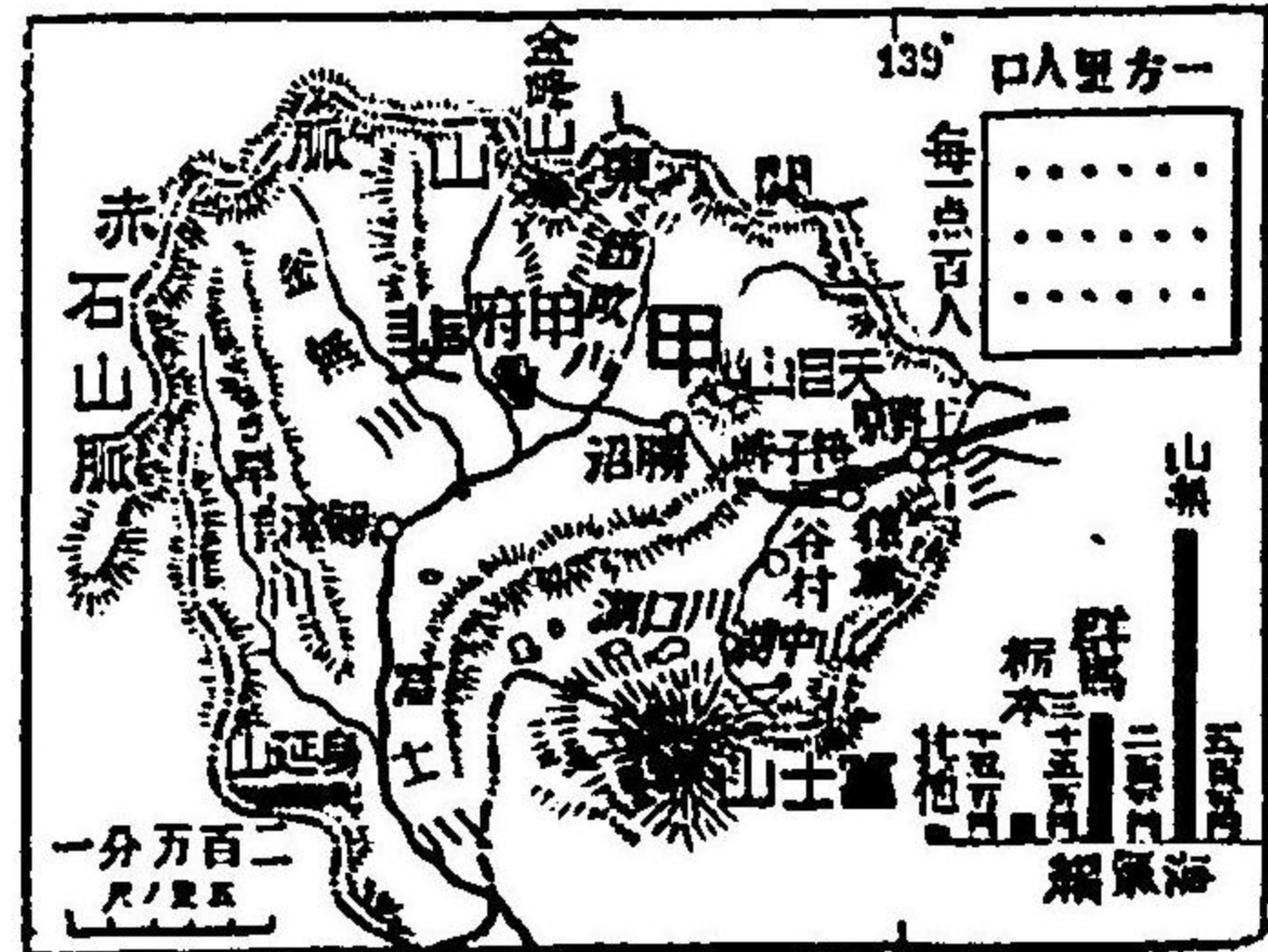
第五卷

松本以南は太平洋に注ぐ天龍川及び木曾川の灌域に屬し、天龍溪谷の市場に飯田町あり、川は縣の中央なる諏訪湖より出づ、湖岸は養蠶地にして、上諏訪町は市場なり、上諏訪より道路は山梨縣に通ず。  
**三、山梨縣** 四方山に圍まれ、其の中央なる甲府平原には、河四方に流れ、水利の便多く、肥沃にして農業、

第五卷

及び養蠶盛んなり、其の中央なる甲府市に縣廳あり。甲府の東は古來葡萄を産し、近年西洋種を移植して改良し、葡萄酒の醸造盛んなり、

葡萄園（勝沼近傍）

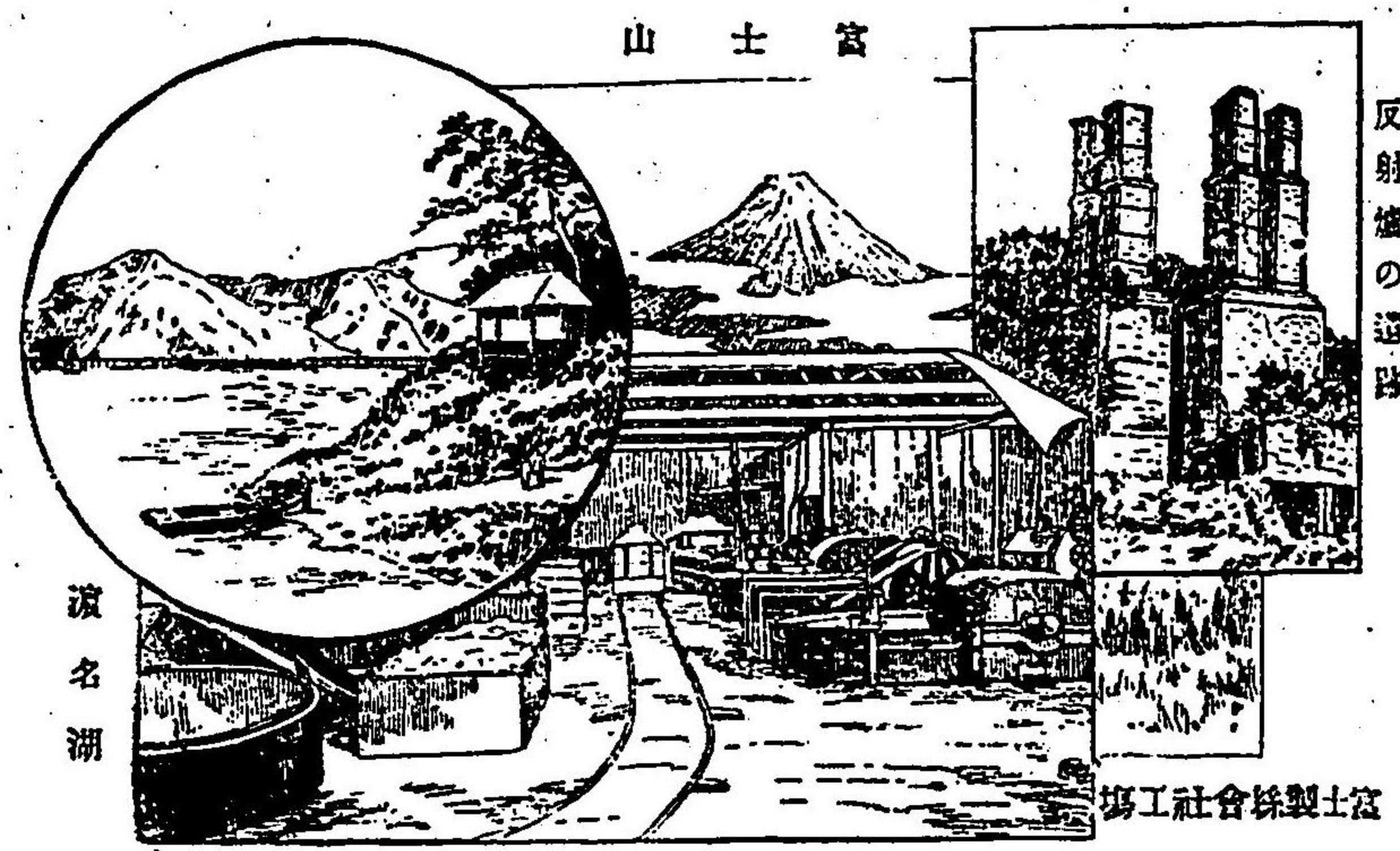


勝沼町は其の市場なり。勝沼に近き天目山は武田勝頼戦死の處なり。勝沼より笹子峠を越え桂川に出づれば、猿橋

身延山に日蓮  
宗の本山久遠  
寺あり

静岡縣は伊豆  
(七島を除く)  
駿河及び遠江  
三國を管す  
富士川、安倍  
川、大井川、倍  
天龍川の灌漑  
は製茶の盛んなり  
養蠶の盛んなり  
茶は我國第一  
の産額あり、一  
南は、帯に、海  
に、し、暖、潮  
流、し、は、我  
國第一の漁獲  
あり

第五 章



日本帝國地方誌 東海 静岡縣

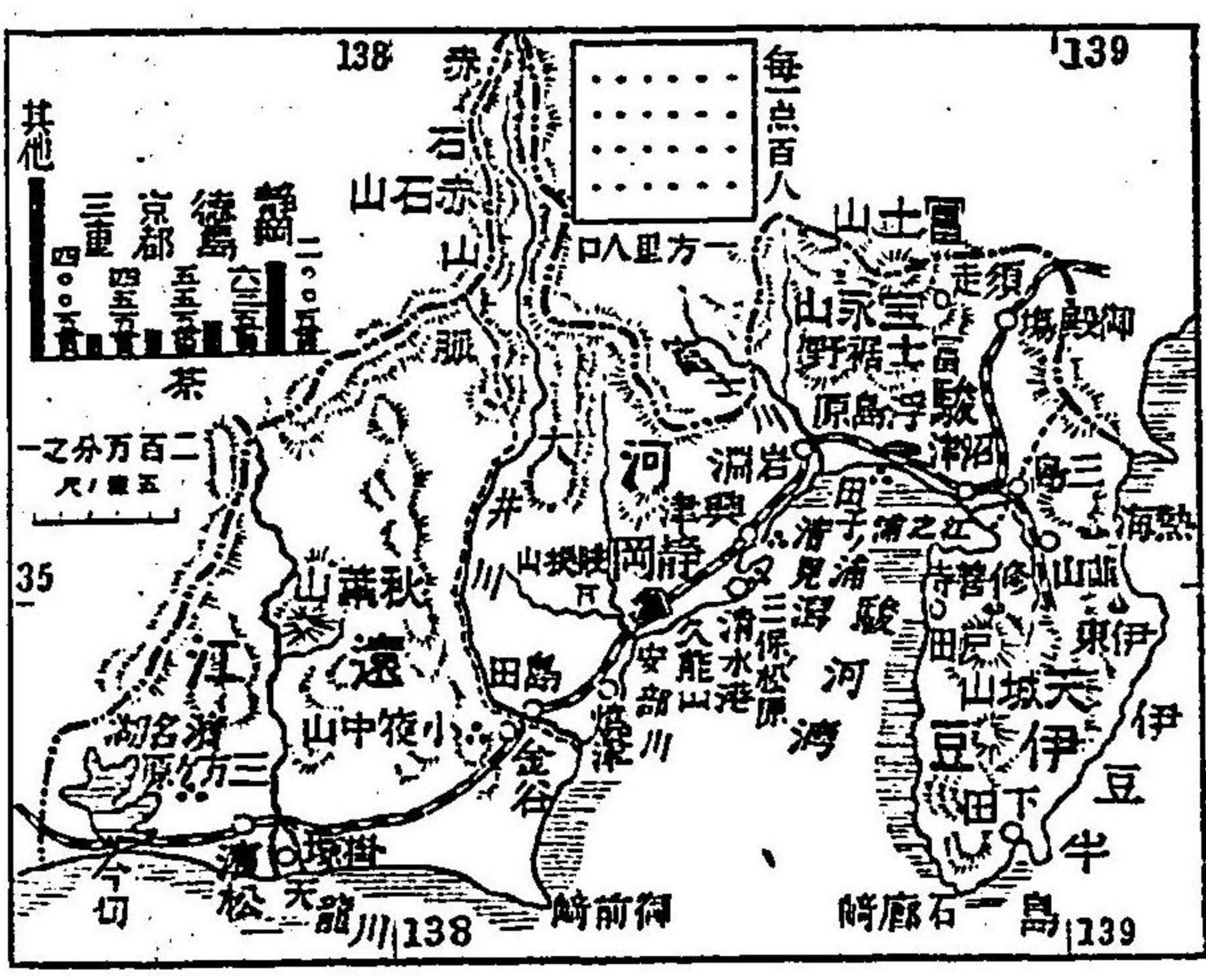
興津、清見、湯及び三保、松原は皆好風景の處なり。三保、松原に近き清水町は東海の良港なり。富士山の眺望此の邊を妙とす。山は臺灣の新高山に次ぎ我國第一の高山にして、海拔一萬二千餘尺、山頂は四時雪を戴けり、其の裾野には肥沃なる火山灰積むを以て、樅繁茂し、これより木屑を製し、火山岩の間より噴出する溪水を利用し、樅を伐りてより十時間内に洋紙に變形

日本帝國地方誌 東海 静岡縣

の奇橋あり、川の支流にある谷村町は郡内織の市場なり。甲府の南にて笛吹川及び釜無川は合流して富士川となり、鵜澤町より舟は身延山の下を過ぎて、静岡縣の岩淵まで十八里間を半日にして達す。

第四節 東海

一、静岡縣 富士川の西に安倍川あり、其の灌漑は平坦肥沃、氣候暖和にして、農産物、果物多し、川に沿ひ海に近く、静岡市あり、東海地方第二の都會にして、縣廳及び歩兵聯隊の營所あり、漆器及び竹細工を産す。四近の賤機山、久能山、



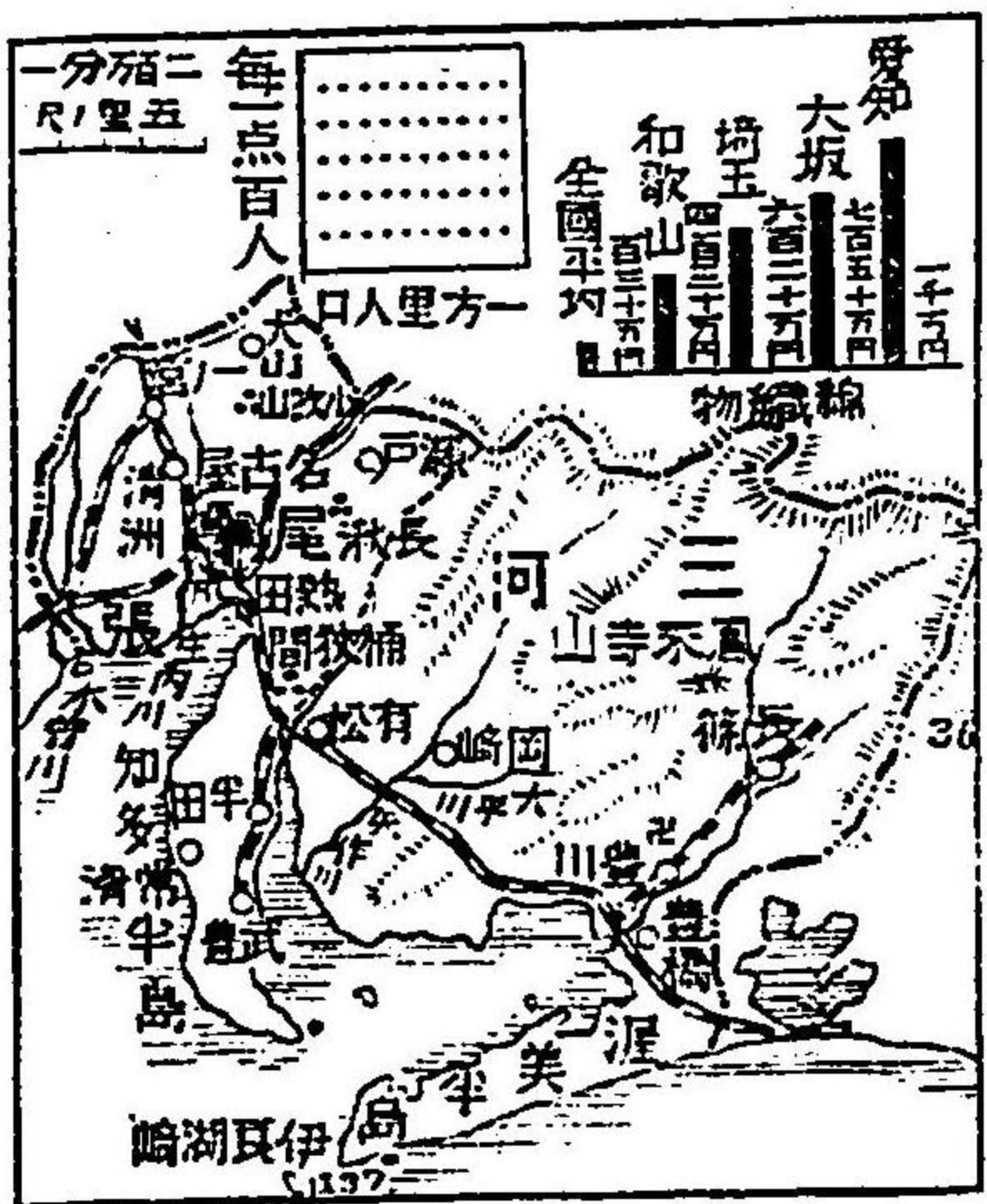
我國に於ける  
稀有なる文明  
の古蹟

せしめ、我國第一の産額あり、山の南麓に沼津町あり。  
沼津の西、三島町より東海道鐵道は分岐して伊豆半島に入  
り、鐵道に沿へる韮山は、北條早雲の興る所なり、江川太郎左  
衛門が我國にて始めて大砲を鑄造せし反射爐の蹟跡亦此  
處にあり。韭山の東なる熱海と、其の西なる修禪寺とは共  
に有名なる温泉なり。修禪寺の南、天城山、聳ゆ、四近は暖和  
にして水蒸氣多ければ、多く椎茸を産す、南麓の下田町は我  
國が始めてアメリカ合衆國の爲めに開きたる港なり。  
安倍川の西、大井川あり、大井川の西、天龍川あり、天龍川に近  
く且つ濱名湖及び大平洋に近き處に濱松町あり、製造工業  
盛んにして本縣第二の都會となる、濱松の北、秋葉山、聳ゆ。  
鐵道は明媚たる濱名湖に沿ひて西し、愛知縣に入る。

愛知縣は尾張  
國の西部と三  
張の大部とは  
河の西の部は  
我國の數の平  
原に産す、多  
く米を産す、  
南部は、帯に  
海産物多し、  
の産額及、  
又絹織物、  
木綿織物、  
磁器の産額  
に、第一に我  
國第一位

北日本にては  
陶器を瀬戸物  
と概稱す

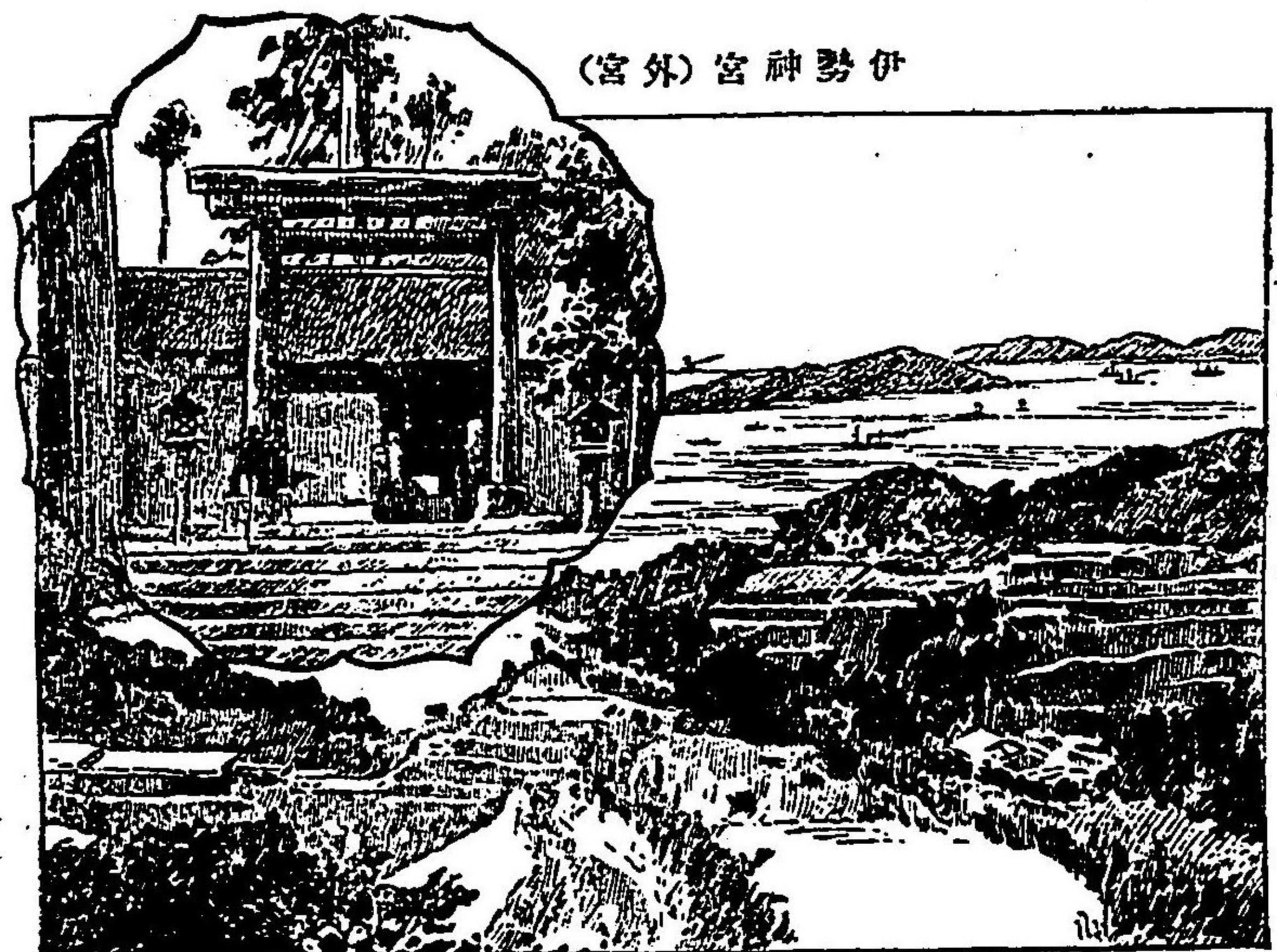
第五 第五



二、愛知縣 東海道鐵道にて平原の最も大なる處に入り、  
製造場の煙突多く見ゆる名古屋市に至れば縣廳あり、東京  
及び京阪地方に次で鐵道四近に集合し、三都に次ぐ我國第

一の都會となる、尾州家の舊城下  
にして、加藤清正の築ける天主閣  
の上に輝く金の鯨は其の名と共  
に高し、第三師團司令部及び控訴  
院あり、綿織絲、七寶焼及び扇を産  
す、市街に續ける南の熱田港は其  
の門戸なり。名古屋の東北、瀬戸町は多く陶器を製造す。  
名古屋の南東、矢作川灌域の市場なる岡崎町に徳川家康公  
誕生の産湯井あり。岡崎の南東、豊川の口に近き豊橋町に





(宮外) 宮神勢伊

ゆれば、志摩の鳥羽町に達す、良港にして商船學校の設けあり。鳥羽以南及び大王崎以西は、海岸屈曲して港灣多く、定期汽船は海岸に沿ひて紀伊に入る。紀伊の部も亦海岸屈曲多く、黒潮流るゝを以て、鱈漁及び捕鯨盛んに、且つ内地は山林に富む、尾鷲町は其の市場なり。鐵道は津の北、龜山町にて

岐阜縣は美濃國に飛騨縣を管す、美濃國に木曾川を流す、大木曾川に産米を、多量に産す、飛騨縣に山産材を、物多し、及び

第五 章

分岐し、西行して伊賀川、谿谷に入れば市場に上野町あり。龜山の東北に東海屈指の港なる四日市あり。四日市の北、桑名町の近傍に萬古焼を産す、それより木曾川に沿ひて北すれば岐阜縣に入る。

四、岐阜縣

木曾川は我國の大河にして、灌域は平坦肥沃なれば、多く良米を産し、岐阜縮緬及び美濃縞を産す、其の中心市場なる岐阜市に縣廳あり、木曾川の大支流なる長良川に面し、鵜飼の鮎捕に名あり、又岐阜提燈を産す。岐阜の西、揖斐川に近く大垣



日本帝國地方誌 東海 岐阜縣

町あり。大垣の南有名なる養老瀧あり、大垣の西、關ヶ原は、北國地方より紀伊半島まで本州を縦斷する山脈の裂目にあ  
る要害の平地なれば、昔は不破關を置き、後には徳川家康公  
が天下分目の戰勝を  
得たる處なり。  
岐阜の東、多治見町は  
陶器を産し、名古屋  
まで鐵道を通じて  
四方に輸出す。岐  
阜の北東よりは多



岐阜提燈

白絲の瀧(白川後、射水川の水邊)

く美濃紙を産し、更に北東行すれば飛驒に入る。  
飛驒の大部は、大平洋に南流する木曾川の灌域及び日本海

宮川及び高  
川合流して  
通川となり  
白川と後射  
水川となる

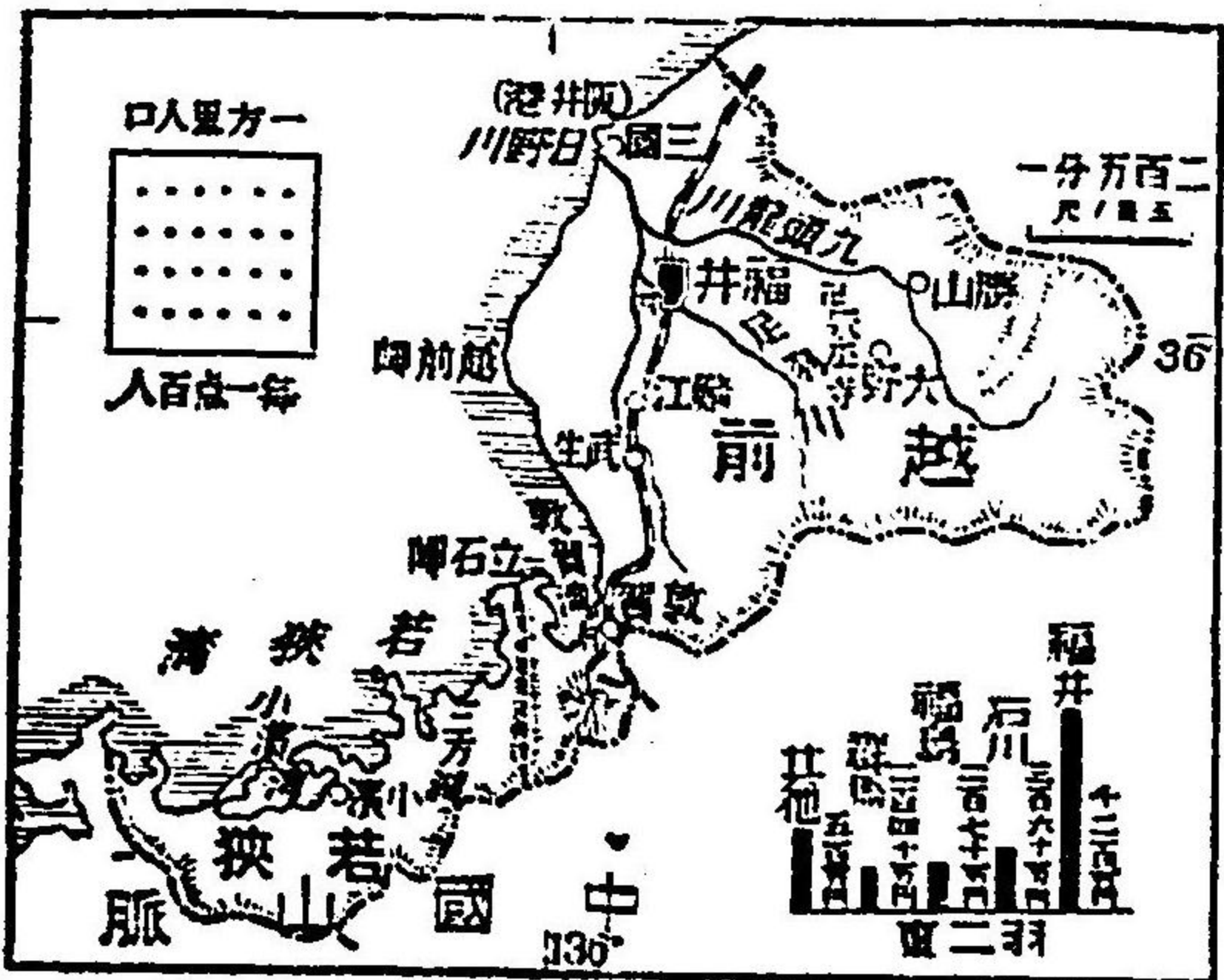
福井縣は越前  
及び若狹二國  
を管す、狹に  
處山多し、雖  
も、日野川と  
灌域は、北國  
り、西部には  
帶に、海に獲  
し、全羽の重  
は、全羽の重  
の産出多し、  
全國産出の殆  
ど半額を出す

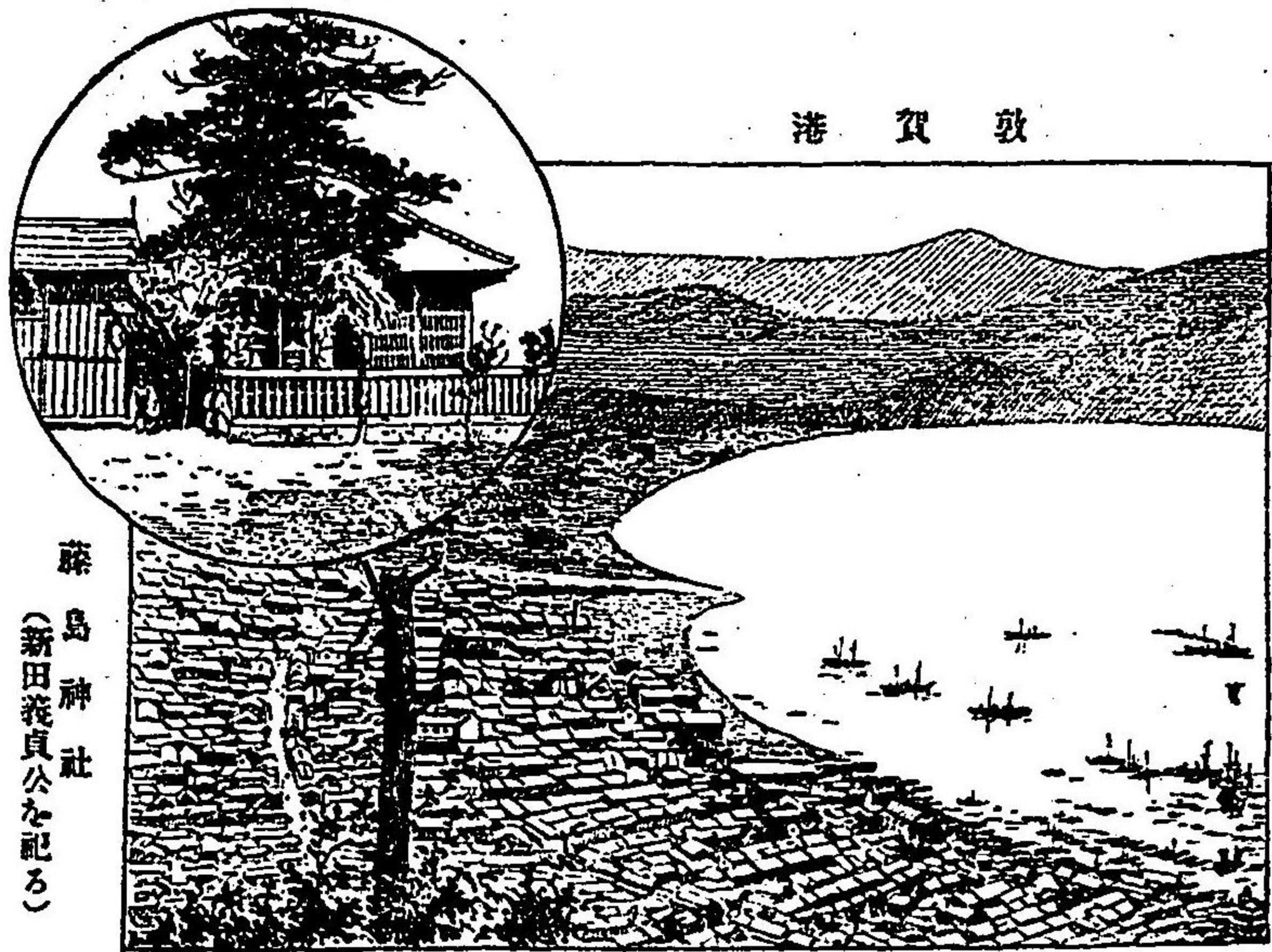
に北流する神通川及び射水川の灌域より成る、此の如き大河系の南北に流るゝ分水脊にあれば、我國第一の高臺をなす、高臺の中央にして又國の中央にある高山町は山多き此國の木材、銅及び蠶絲の中心市場なり。飛驒は北國なる福井縣、石川縣及び富山縣と相接す。

### 第五節 北國

#### 一、福井縣

日野川の中流には數箇の大なる支流ありて、肥沃なる平原を開き、其の中心市場なる福井市に縣廳あり、越前家の舊城下にして、裏日本第四の都會なり、奉書紬及び羽二重を産す。福井の南、日野川に





藤島神社 (新田義貞公を祀る)

近き鯖江町に歩兵聯隊の營所あり、其の南日野川に沿へる武生町は、鎌及び墨流染を産す。武生の南、木目峠を過ぐれば、敦賀灣は眼前に開き、灣の南に北國屈指の港なる敦賀町あり、歩兵第十八旅團司令部あり、市街の東、金崎は尊良親王御戦死の處なり、又市街の西、松原は武田耕雲齋殉難の地なり。敦賀より西

すれば若狹に入る。

若狹に入れば三方湖あり、湖の西湖の如き小濱灣に面する小濱町は若狹第一の都會なり、若狹鰈を産す。

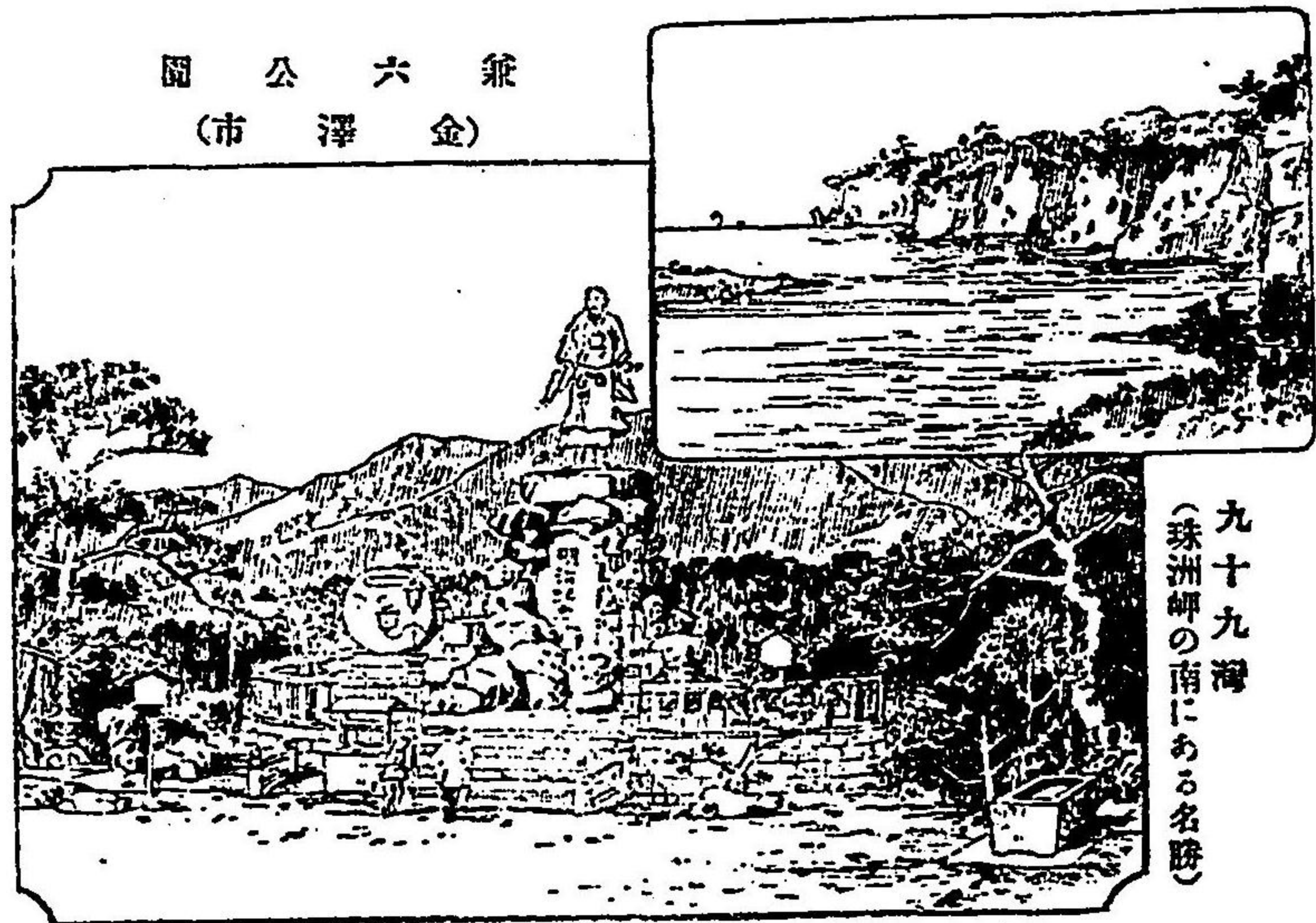
日野川大支流の一にして福井の北に流る、九頭龍川近くに、新田義貞公戦死の處あり。河を上れば、南に曹洞宗の本山永平寺あり、更に上りて羽二重を織る機聲の間を過ぐれば、勝山町及び大野町あり、其の北方の山は銀銅鑛多し。日野川の口なる三國町坂井港は、此の灌域の門戸なり、其の東より石川縣に入る。

二、石川縣 海に近き沃野の中央に當り、犀川に沿へる金澤市は、前田氏百萬石の舊城下にして、裏日本第一の都會なり、縣廳及び第四高等學校、醫學專門學校、第九師團司令部あり、



富山縣は越中  
 全山を管す  
 南部及び東部  
 は山多し、河  
 部は、大漁獲  
 には、全第一  
 居る、(北海に  
 を除き)、又其  
 の越中、米、産  
 越中、米、産  
 其、米、産  
 越中、米、産  
 其、米、産

兼六公園  
 (金澤市)



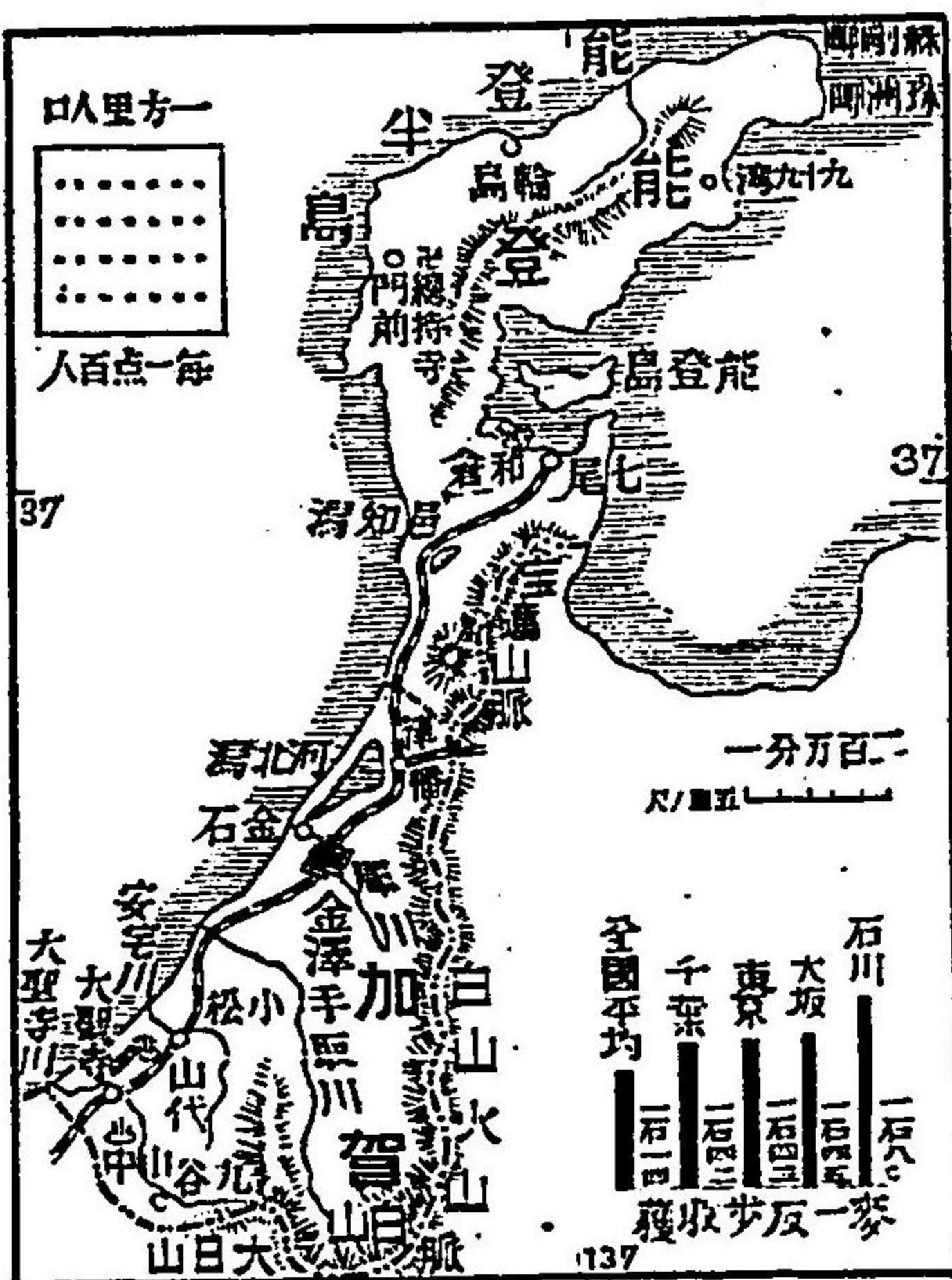
九十九海  
 (珠洲岬の南にある名勝)

日本帝國地方誌 北國 富山縣

有名の温泉場なり。能登の外海岸、輪島町は輪島塗を産す。輪島より東すれば、能登半島の極端なる珠洲岬に至る。能登の南は富山縣に接す。

**三、富山縣** 金澤より北陸鐵道にて終點なる富山市に至れば縣廳あり、神通川に面し、其の肥沃なる米産灌域の中心をなし、裏日本第二の都會となる、特産は賣薬にして全國に行商す、神通河口の岩

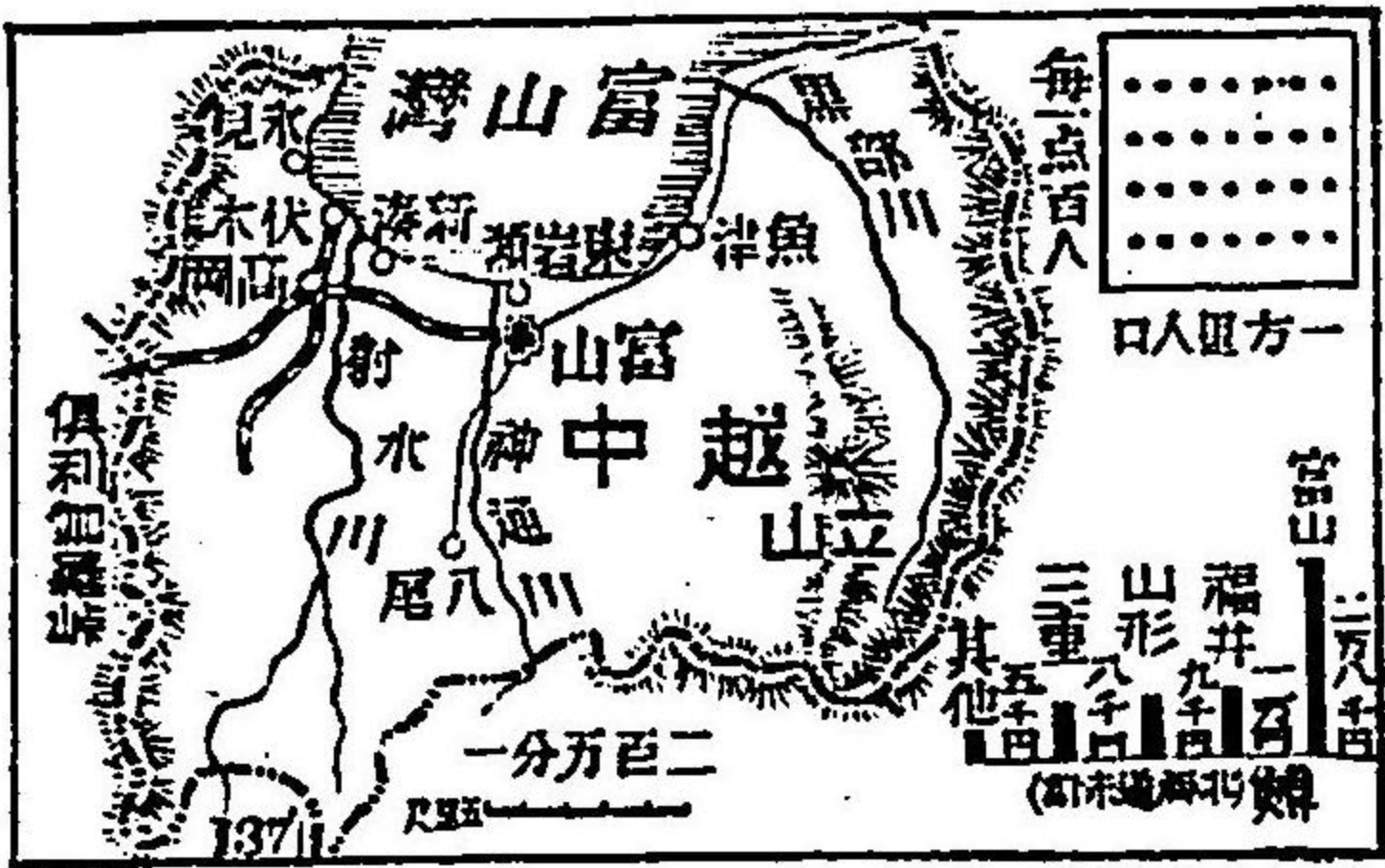
石川縣は加賀  
 及び能登二國  
 を管す、加賀  
 の東南部及び  
 能登半島の大  
 部は山多し、  
 雖も、海岸は  
 平坦、肥沃、  
 平野、稲、麦、  
 歩、第一、全  
 國、第一、全  
 漆器を産し、  
 我國、第二、  
 額あり、漁獲  
 多し、能登



其の北より能登に入る。七尾鐵道の終點なる七尾町は、七尾灣の南にありて、能登第一の都會なり、其の西なる和倉は

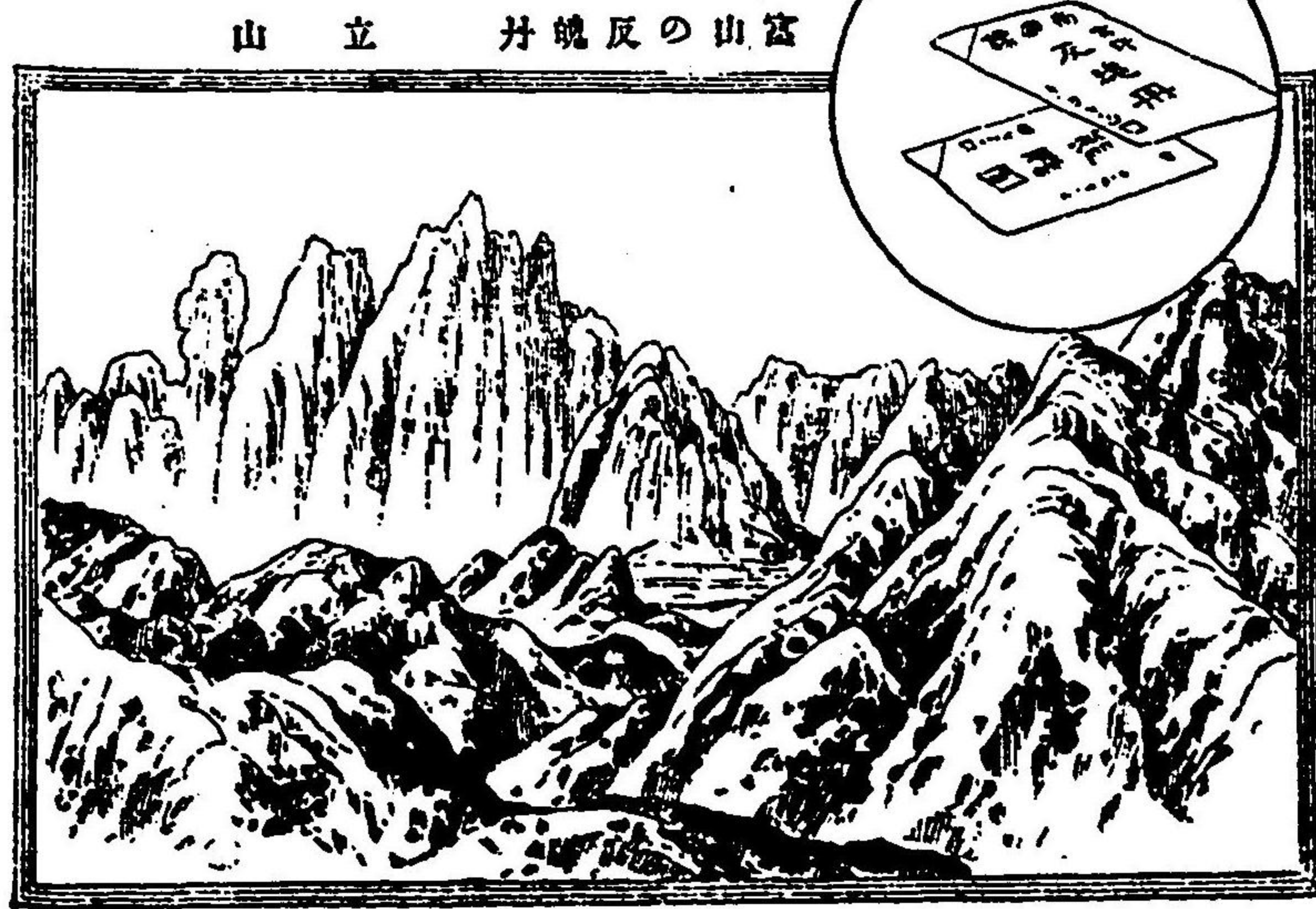
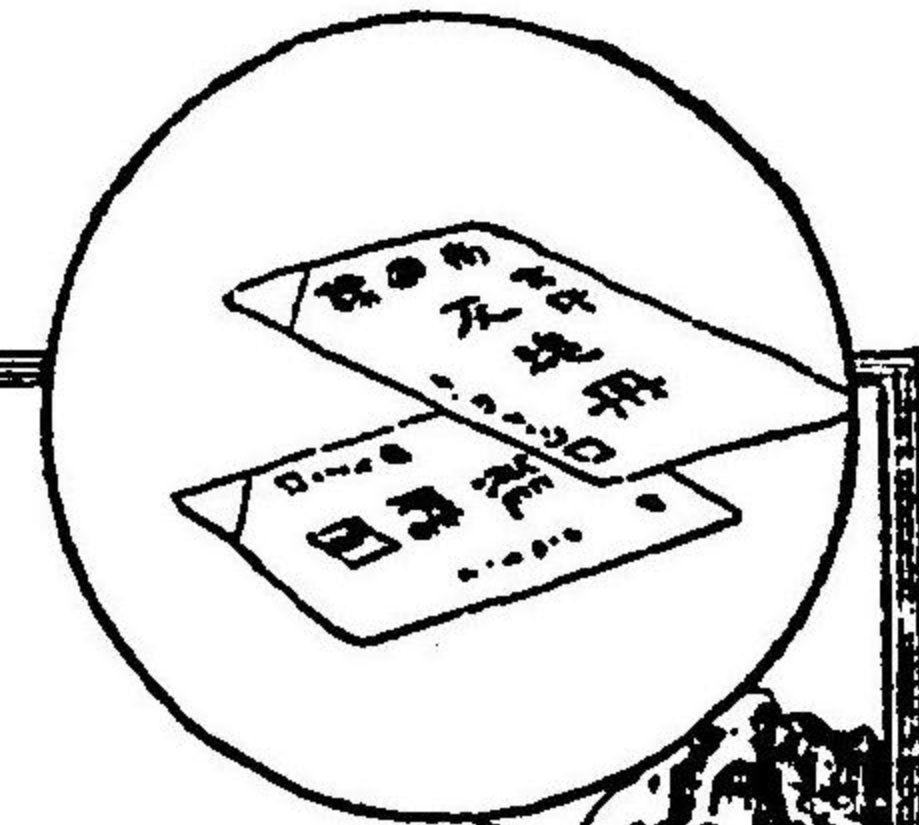
り、陶器及び銅器を産す。金澤の西、小松町あり。其の西、大聖寺町の傍に、山代及び山中の温泉あり、山代の南は有名な九谷焼の本場なり。金澤の北、犀川の口なる金石港は、金澤平原の門戸なり。金石の東、河北潟あり、此の湖より北の方、北國第一の高山なる白山の雪色を眺むれば頗る壯觀なり。河北潟に近く津幡町あり、津幡町は七尾鐵道の起點にして、

日本帝國地方誌 北國 石川縣



富山灣に  
面して魚  
津町あり、晚  
春の候、立山  
の積雪解け  
て空氣に劇  
變を生じ、灣  
上に蜃氣樓を生ず。

富山の西、北陸鐵道と縣の西



第五節

南部より來る中越鐵道とは、射水川の米産灌域に入り、其の交叉點に高岡市あり、銅器を産す。高岡の北、射水河口に伏木町あり、開港場にして射水、神通兩灌域の越中米を輸出す。

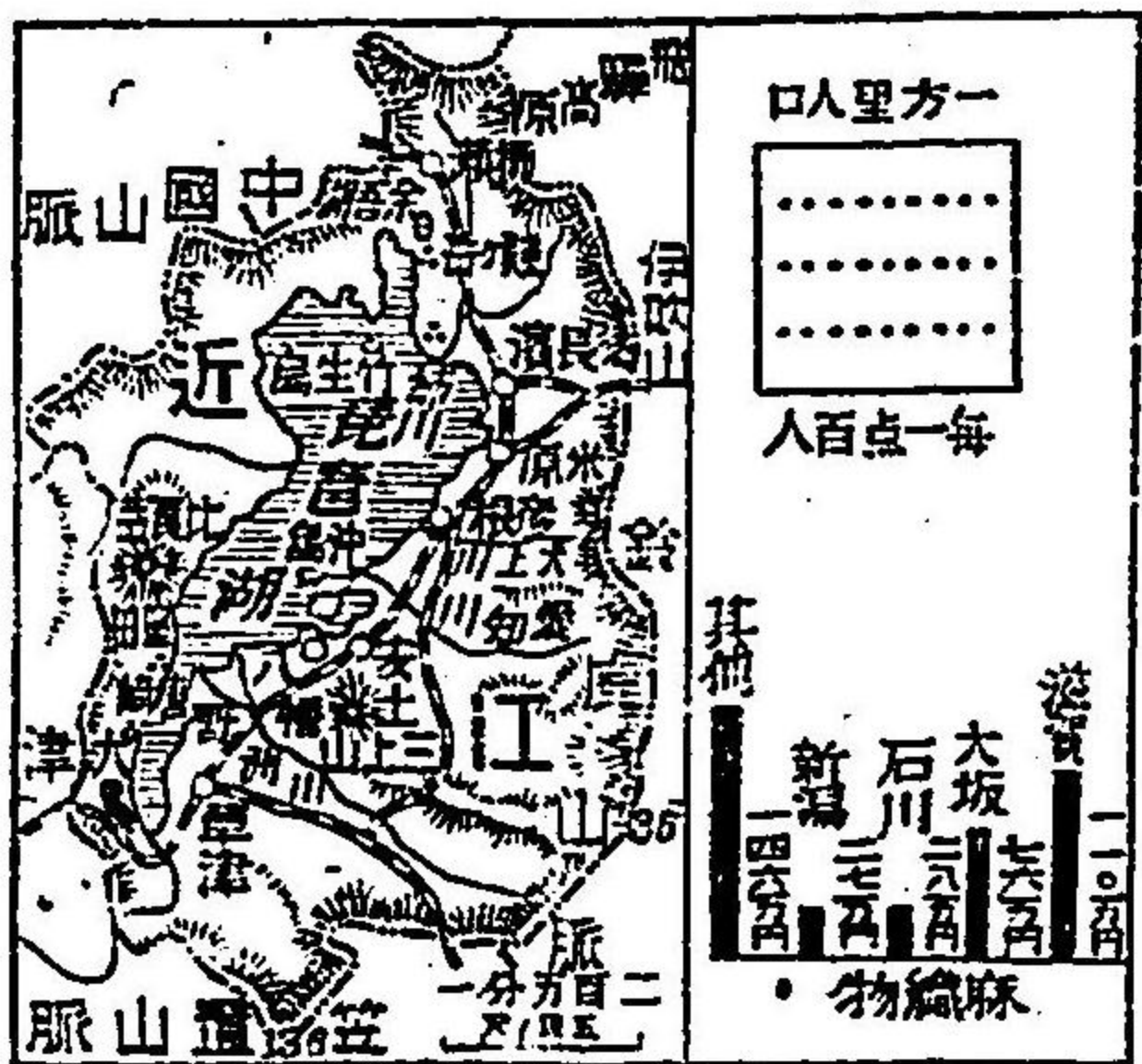
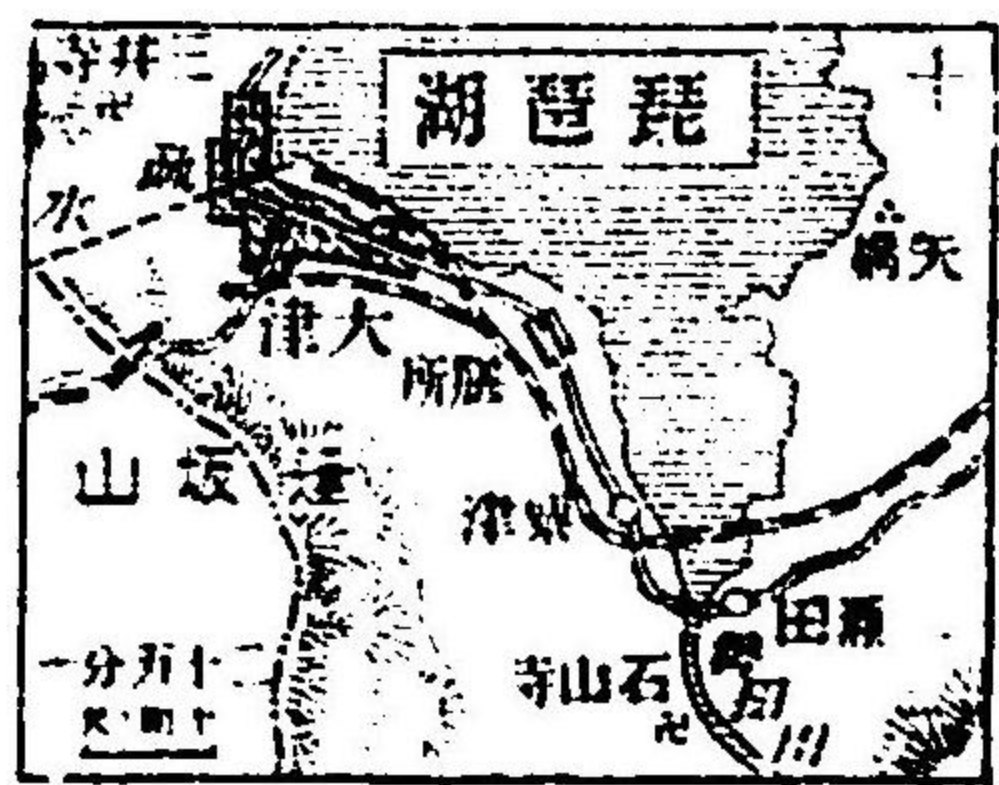
第六節 近畿

一、滋賀縣

縣は其の入口にして琵琶の大湖は舟運に便利なり、湖岸の

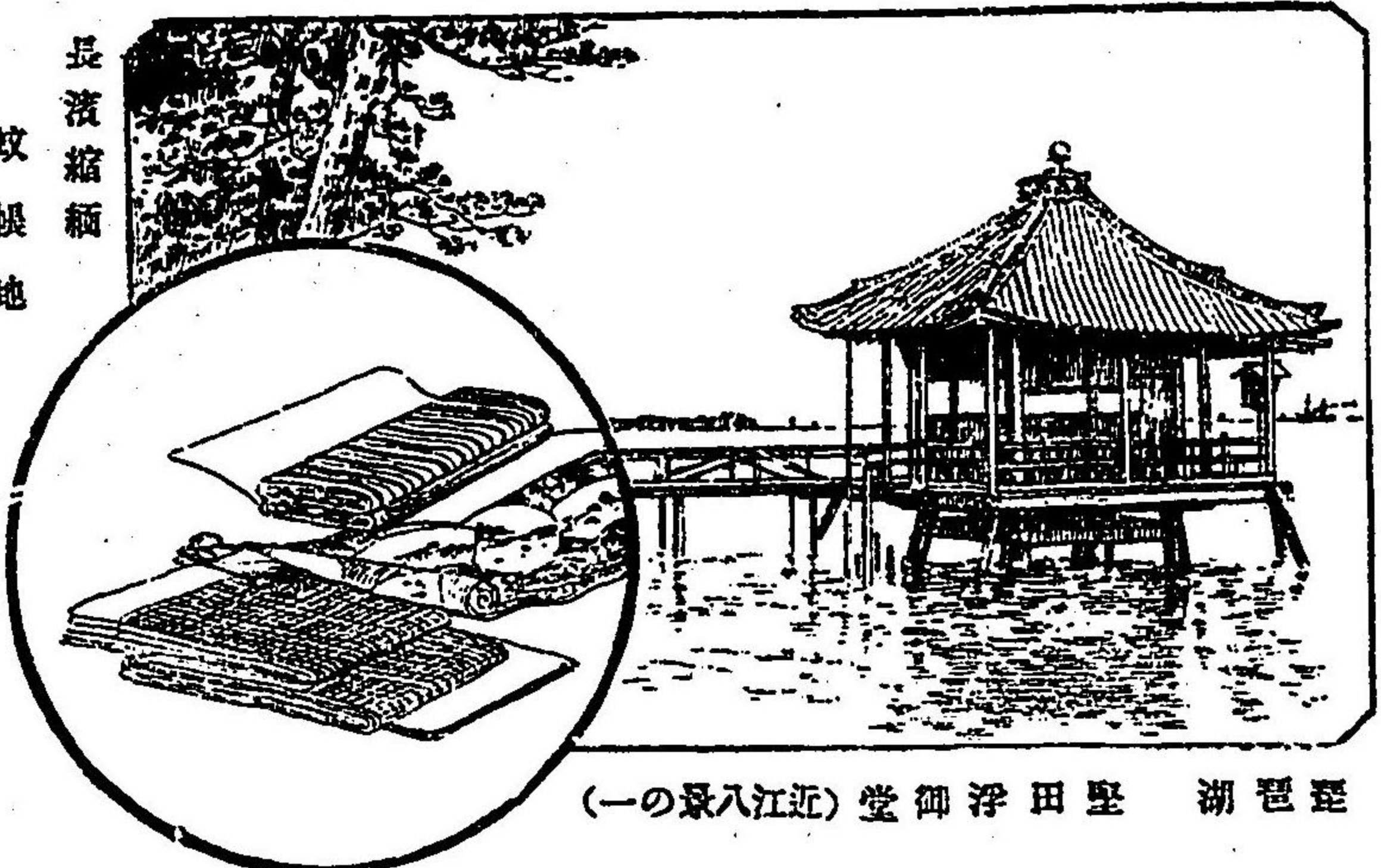
大津市に縣廳及び歩兵聯隊の營所あり。湖に

沿ひて北すれば彦根町あり、其の北、米原は東海道線及び北陸線二鐵道の交叉點なり。北陸線に沿ひ、湖港な



滋賀縣は近江  
全國を管す  
四方皆山に  
て中央に琵琶湖あり  
の流大湖あり、此れに  
河流皆これに注ぎ、湖岸に  
平担し、湖て米は  
産多し、湖は米  
鮒、多し、及人び情  
を産す、及人び情  
は勤儉に勉  
めて、古來近江  
商人の稱あり

京都市は丹波の二山  
城及び丹波の二山  
國及び丹波の二山  
大都會を管す、  
中部は山多し、  
は平野に、  
茶を産し、  
國第一の産、  
海に富み、  
産に多し、  
の産額多し、  
の産額多し、

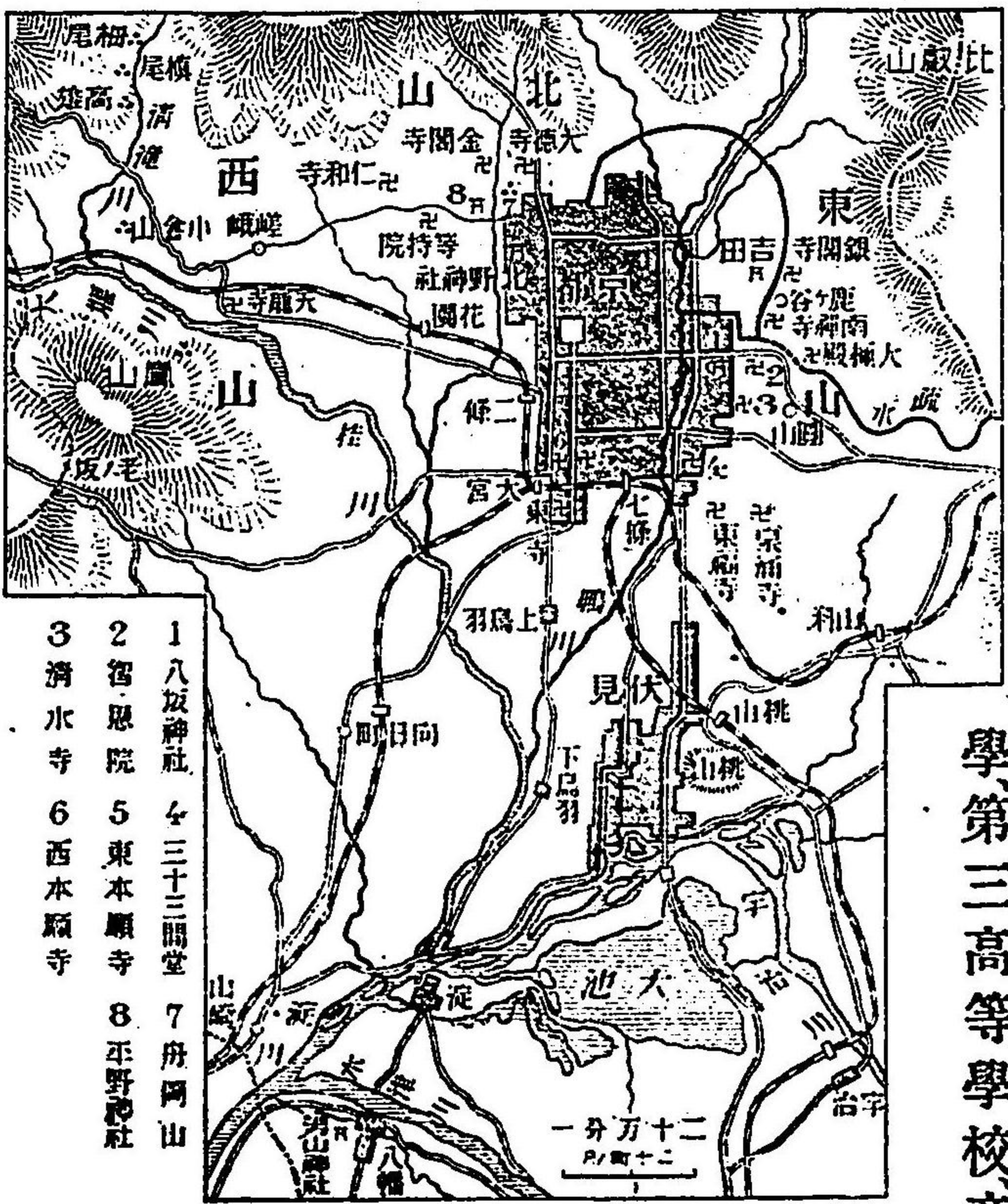


琵琶湖 聖野御堂 (近江八景の一)

る長濱町は濱縮緬を産す。其の北福井縣の境なる柳瀨隧道は我國第二の長隧道なり。湖岸は風景明媚にして近江八景布在す、湖西よりは京都市に入る。  
**二、京都府** 南日本の地形最も膨脹せる處に當り、中國より東海及び北國の地方に行く十字街頭に淀川の平坦肥沃なる灌域あり、灌域の上部なる鴨川の平地は、四方山を繞らし、所謂山河襟帶の形勝あり、千百年間の舊都たりし京

都市此處にあり、人口四十萬、府廳及び大宮御所、京都帝國大學、第三高等學校、皇室博物館あり、

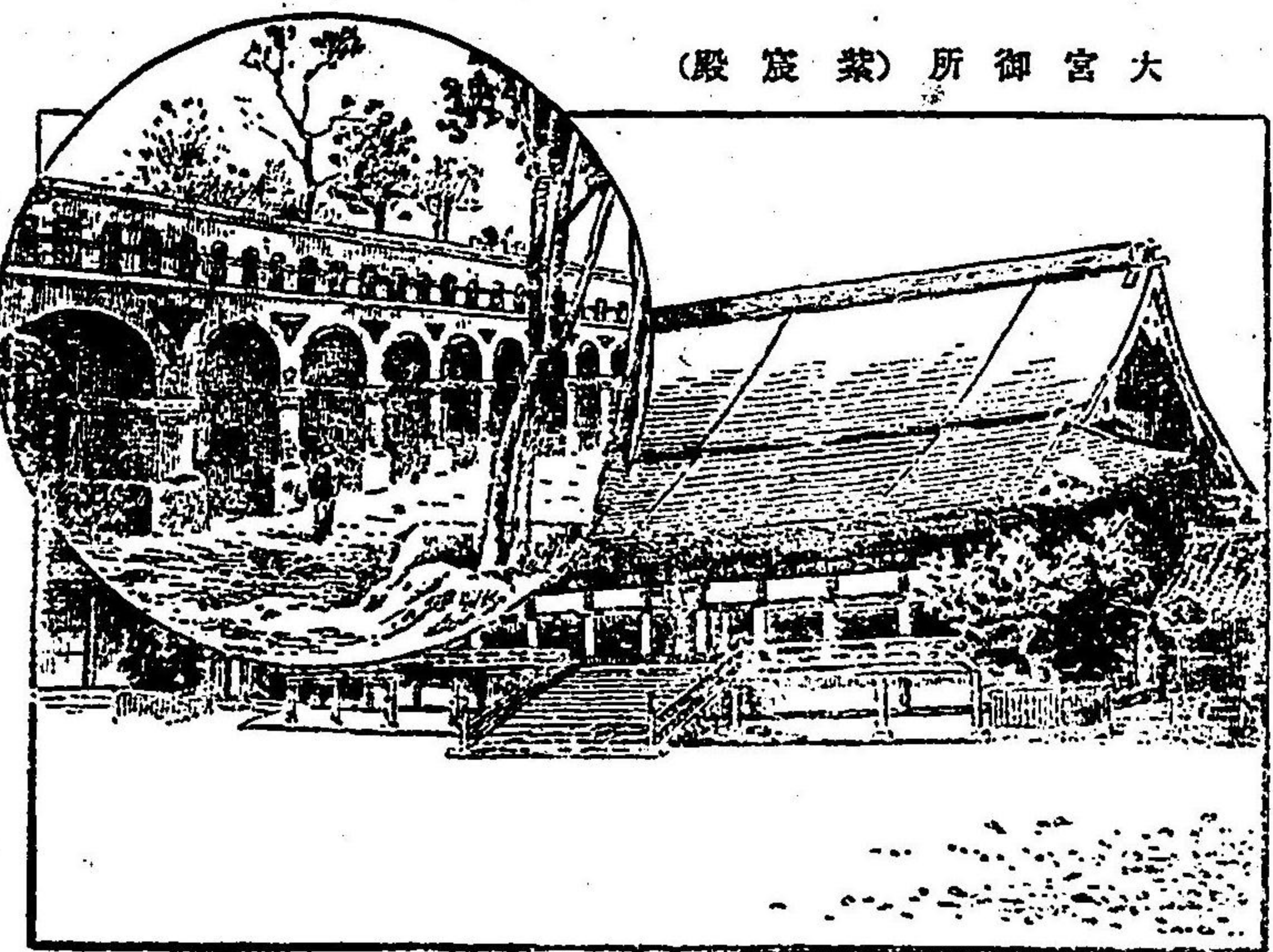
第五章



- 1 八坂神社 4 三十三間堂 7 舟岡山
- 2 智恵院 5 東本願寺 8 平野神社
- 3 清水寺 6 西本願寺

は全國第一に居る、西陣織、友禪染、及び陶器は有名なり。

大御所(紫宸殿)



南禪寺橋 (琵琶湖疏水インクライン)

京都の近郊は風景に富み、且つ名所舊蹟多く、自ら我國文

雅の中心となる。

京都の西郊、櫻花に名ある嵐山の下を流る、保津川(大堰

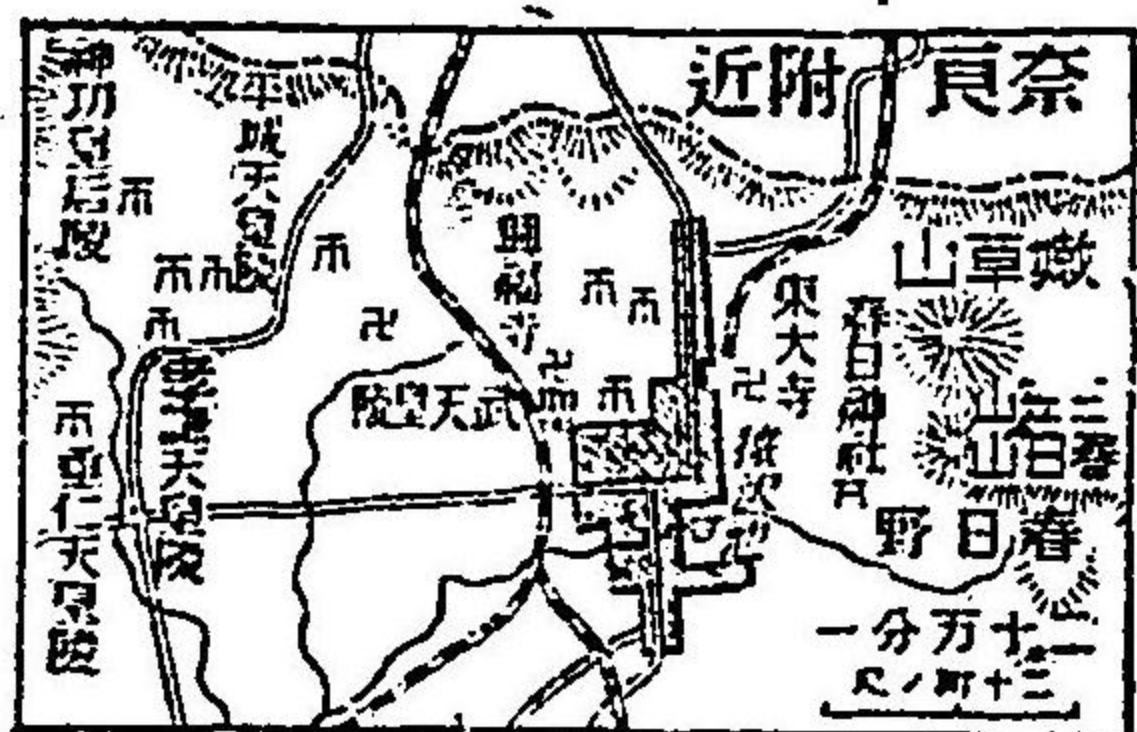


第五 章

川に沿ひ、鐵道にて西すれば、丹波の園部町に達す、其の西、由良川の灌域の市場なる福知山町に歩兵第二十旅團司令部あり、鐵道は此處より大阪市に通ず。由良川は丹後の與謝海に注ぐ、與謝海の南東岸なる舞鶴に海軍鎮守府及び要塞あり、海の北西岸なる宮津町は開港場なり。宮津に近く日本三景の一なる天橋立あり、其の西は丹後縮緬の産地なり。京都の南、伏見町に歩兵第十九旅團司令部あり。其の南、宇治、宇治、奈良縣の境上までは、良質の茶を多量に産し、宇治茶の名世に香し。

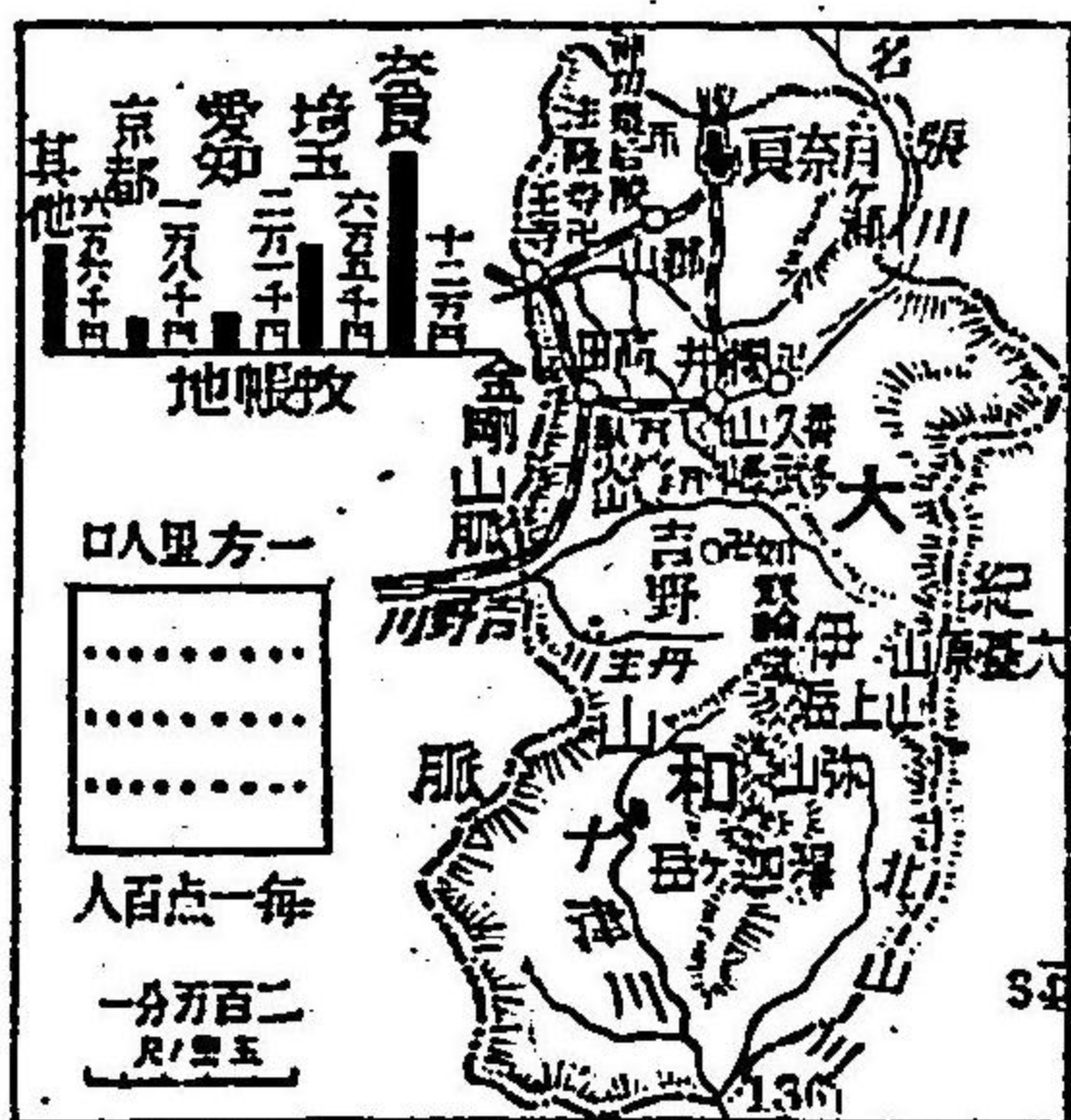
三、奈良縣 縣の北部に肥沃なる平原開き、其の市場なる奈良市に至れば縣廳あり、桓武天皇の京都遷都以前、長く帝

奈良縣は大和  
全國を管す、  
海岸なく、山  
岳多しと雖、  
も、北部は平  
坦にして、農  
産物、工業品  
多し、南に農  
山多し、南に  
物に富む



都なりしを以て、十二の帝陵は近傍に點在し、  
名所舊蹟多く、春日神社、東大寺、帝國博物館等  
あり、奈良漬、奈良人形及び鹿角細工は名産な  
り、鐵道は京都、大阪、和歌山及び名古屋に通ぜ  
り。奈良の東、月瀬は梅花の名所なり。  
奈良の南西、郡山町あり、郡山の西、法隆寺は、我

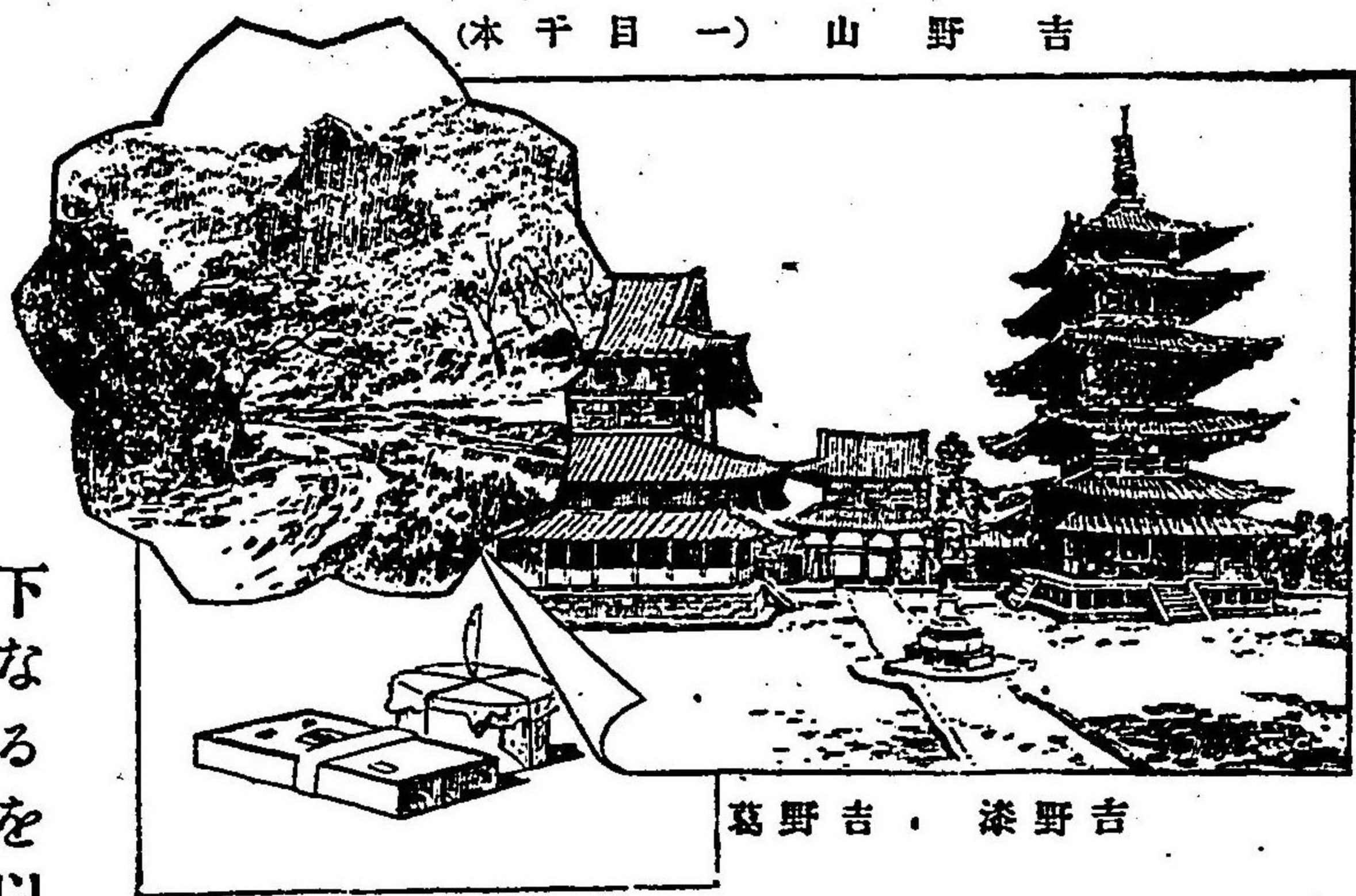
第五 章



國稀有の古寺にして、古代の寶物多し、  
其の近傍は全國第一なる金魚の産地  
なり。法隆寺の南、畝火山に神武天皇  
の御陵あり。畝火の東、多武峰の談山  
神社は、大織冠鎌足公を祭る。  
多武峰の南、吉野は櫻花の名處にして、

和歌山縣は紀  
伊東部は山  
す、東部は及  
多、物、林、産  
ひ、物、體、に  
多、一、其、の  
域、及、海、岸、  
肥、沃、し、米、  
及、糖、を、産  
す、多、く、海、  
物、多、く、富

吉野山 (一目千本)

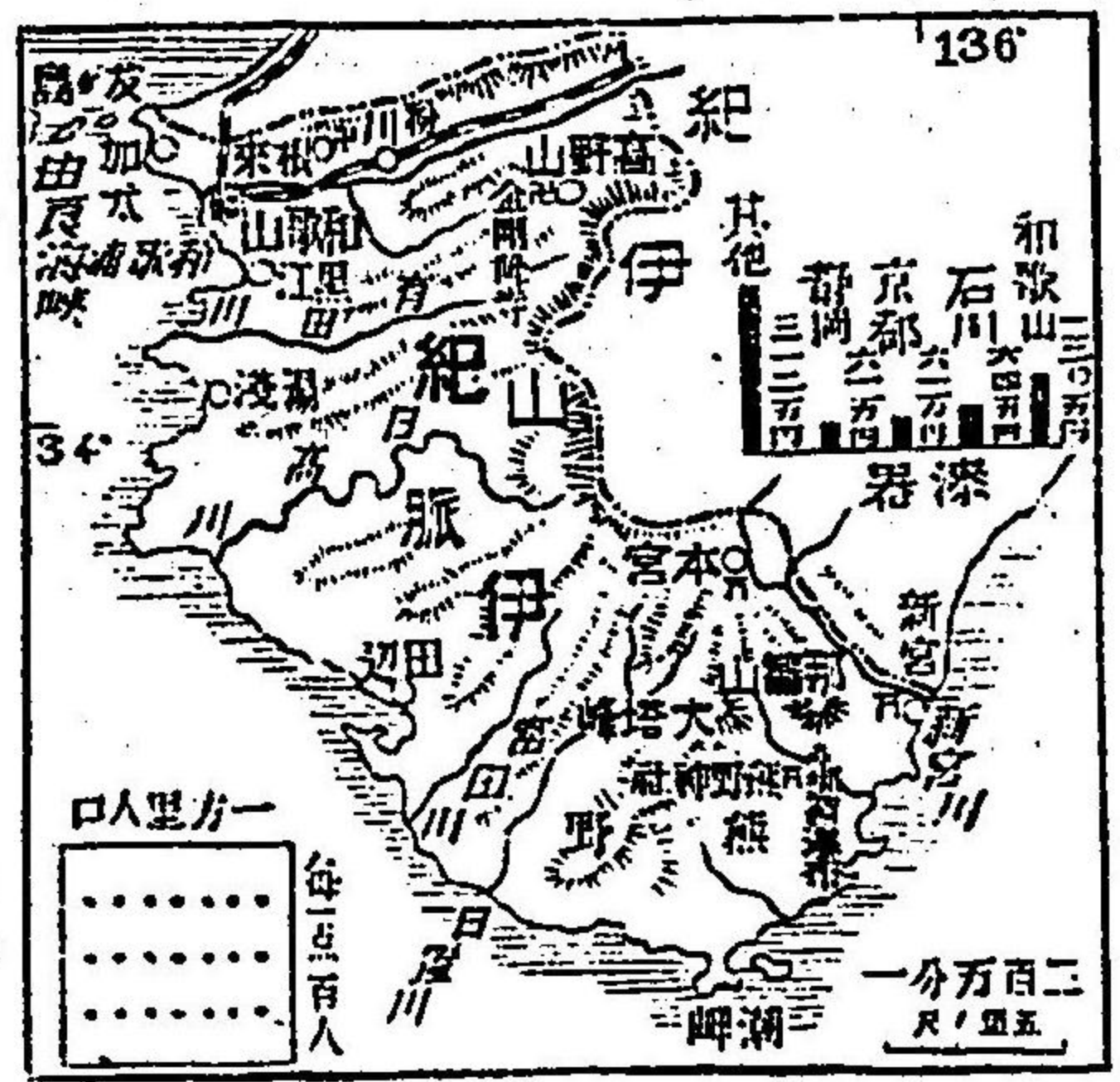


法隆寺

吉野山、漆野

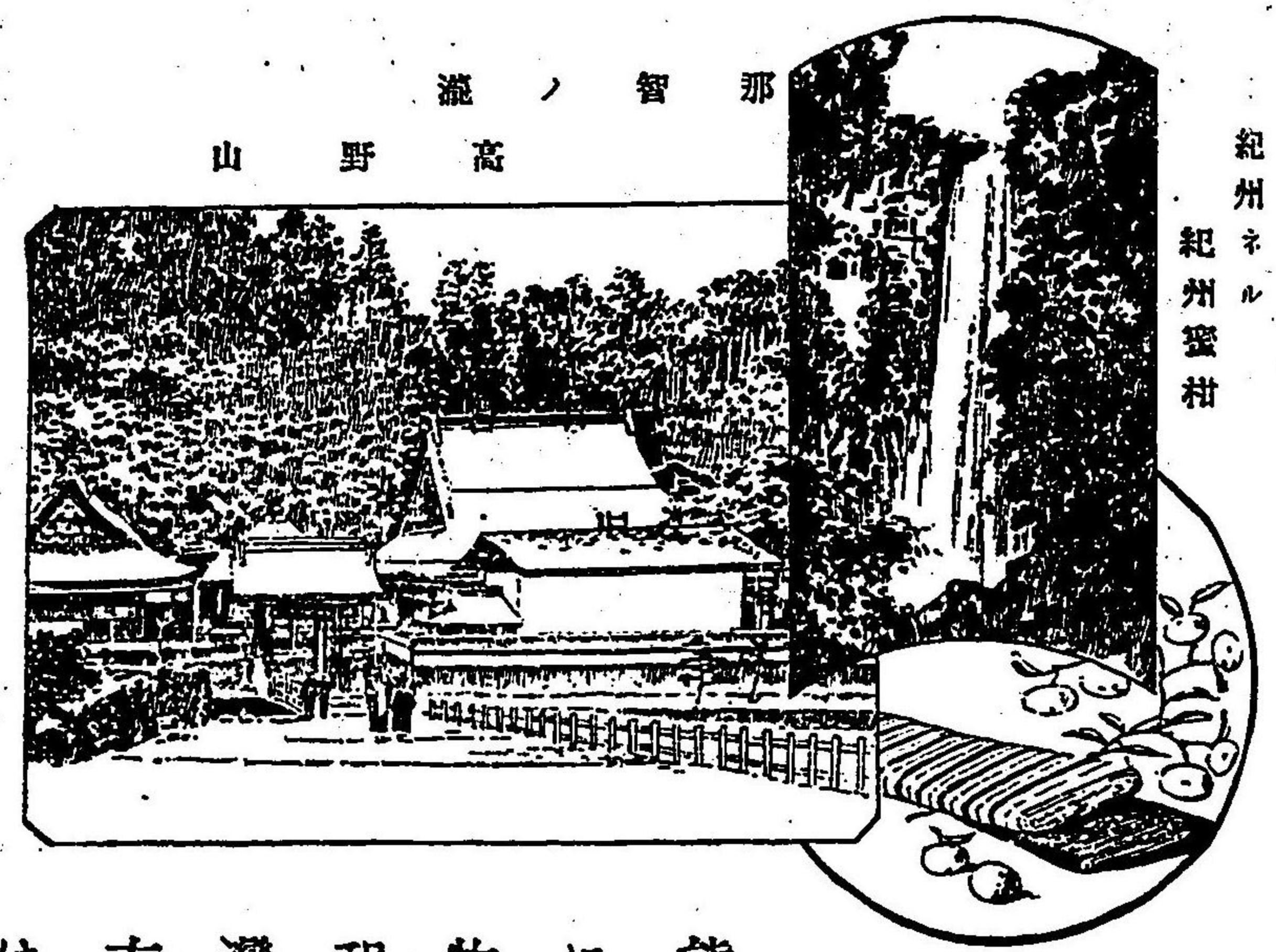
花の中に南朝の皇居跡及び後  
醍醐天皇の御陵あり。吉野の  
南は一面に山多く、和歌山縣の  
境上まで連り、我國有名の山林  
なり、木材、銅、漆及び葛を産す。  
**四、和歌山縣** 奈良縣の中部  
より西流する紀伊川の横谷は、  
平坦肥沃にして、氣候暖利なれ  
ば、農産物多し、此の谷の口に和  
歌山市あり、此の横谷を背にし  
て海に面し、且つ紀州家の舊城  
下なるを以て、商工業盛んなり、縣廳あり、紀

日本帝國地方誌 近畿 和歌山縣 一三三  
州ネル及び雲齋織を産す。和歌山に近く南に和歌浦の名勝あり、其の近傍なる黒江は春慶塗の産地にして、我國第一



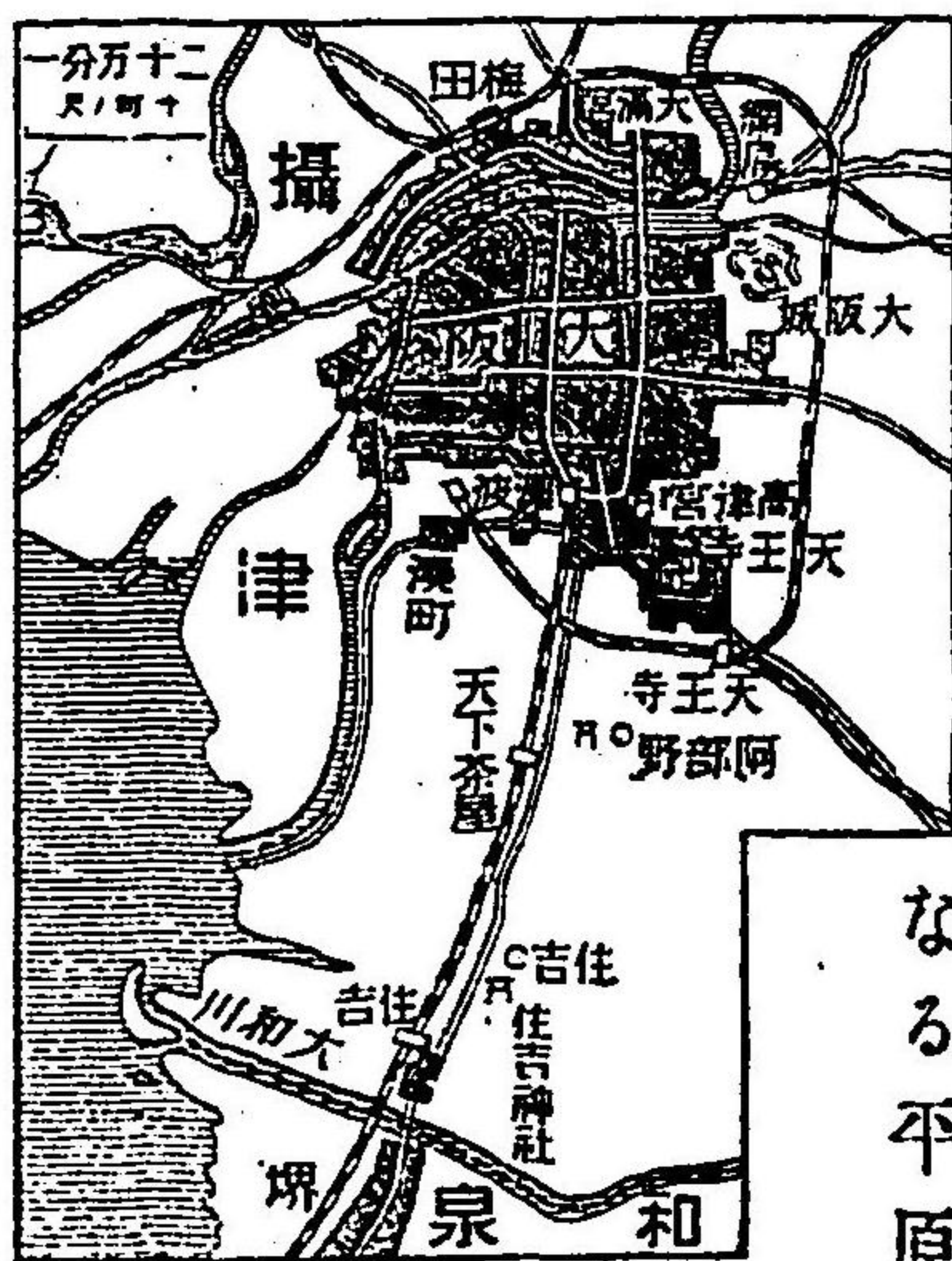
の産額あり。黒江の南有田川の灌域は、氣候温暖にして蜜柑に適し、紀州蜜柑の産地にして、又無煙炭を産す。川は高野山より出づ、山に弘法大師開基の大寺あり、近傍は有名なる山林地にして又銅を産す。

紀伊半島の海岸を廻り南に出づれば田邊町あり。半島の南部は熊野と名づけ、其の南端潮岬は本州の南端なれば、燈臺の設けあり。潮岬の北東に我國有名の瀑布なる那智瀧



あり。那智の東、熊野川の灌域は有名の山林地にして、木材は河水に依りて流下し、河口の新宮港より輸出す。上流なる本宮町に熊野神社あり。熊野の近海には黒潮流れ、鯨、鯨等の水産物甚だ多し。和歌山の東、加太海峡は大阪灣の咽喉をなす、其の對岸に友ヶ島あり、要塞を設く、又鐵道は和歌山より大阪に通ず。

大阪府は攝津河内及泉北の二府を管す、その地は西及び南東は山、東及び南東は沃、其の地は沃、大和川の淀川、多し、農産物は、甚だ稠密なり。

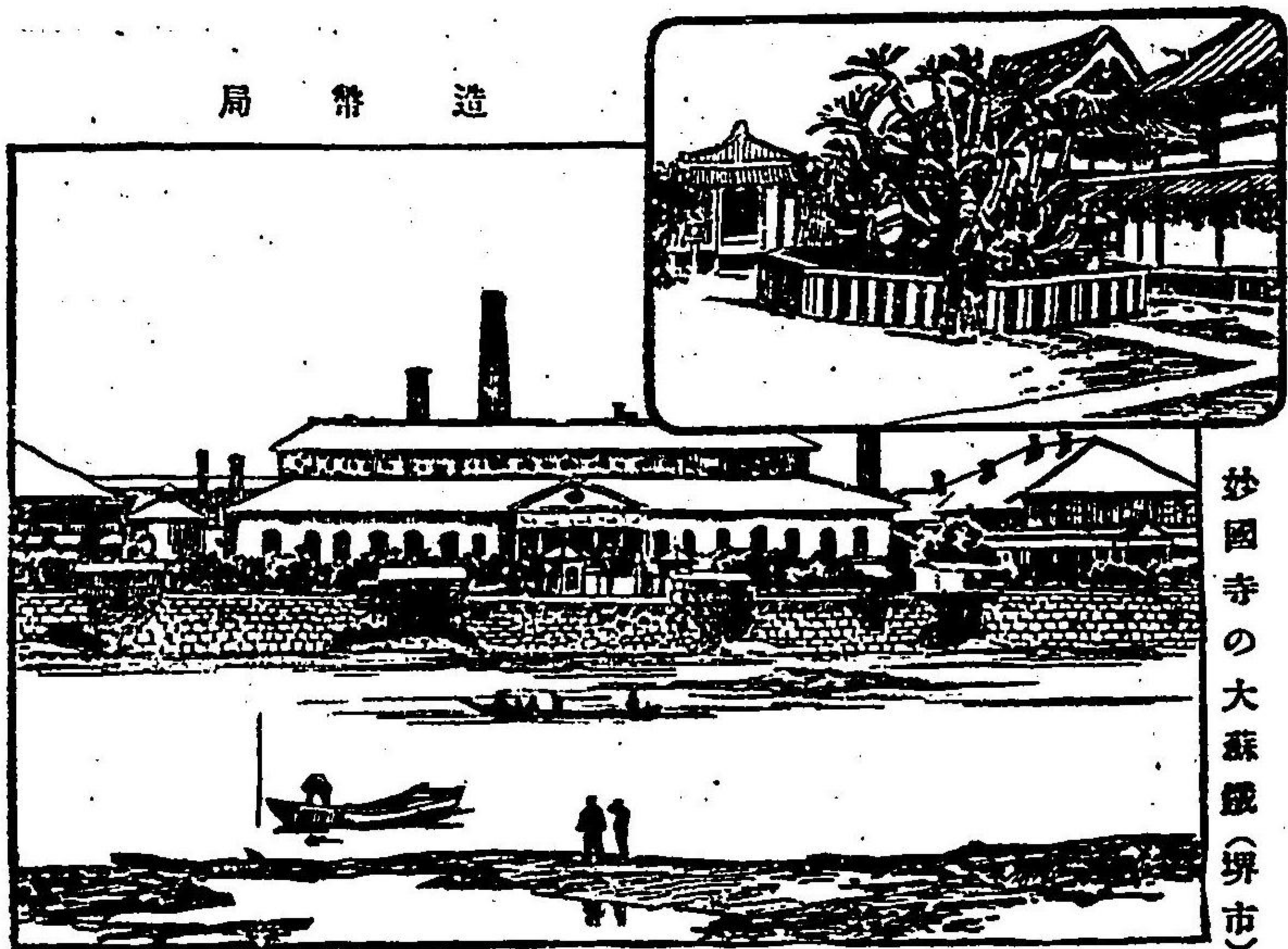


五、大阪府 九州及び中國地方よりの水路と東海地方よりの水路とI形をなす交叉點に當り、琵琶湖より來る淀川は此の點に於て海に注ぎ、川の灌域は南日本に於ける肥沃なる平原を開き、此の平原は南日本の地形の最も膨脹せる處にありて、日本經濟界の中心たる大阪市はI形の交叉點、即ち淀川の海に注ぐ處にあり、人口九十萬、溝渠は市内を縱横し、鐵道は東西

南北に通じ、綿糸、摺附木及びセメントの製造盛んなり、府廳及び控訴院、高等商業學校、造幣局、砲兵工廠等あり、舊城は豊太閣の築く所にして、中部都督府及び第四師團司令部其の

内にあり。

堺 緞通 大仙陵



妙國寺の大蘇鐵(堺市)

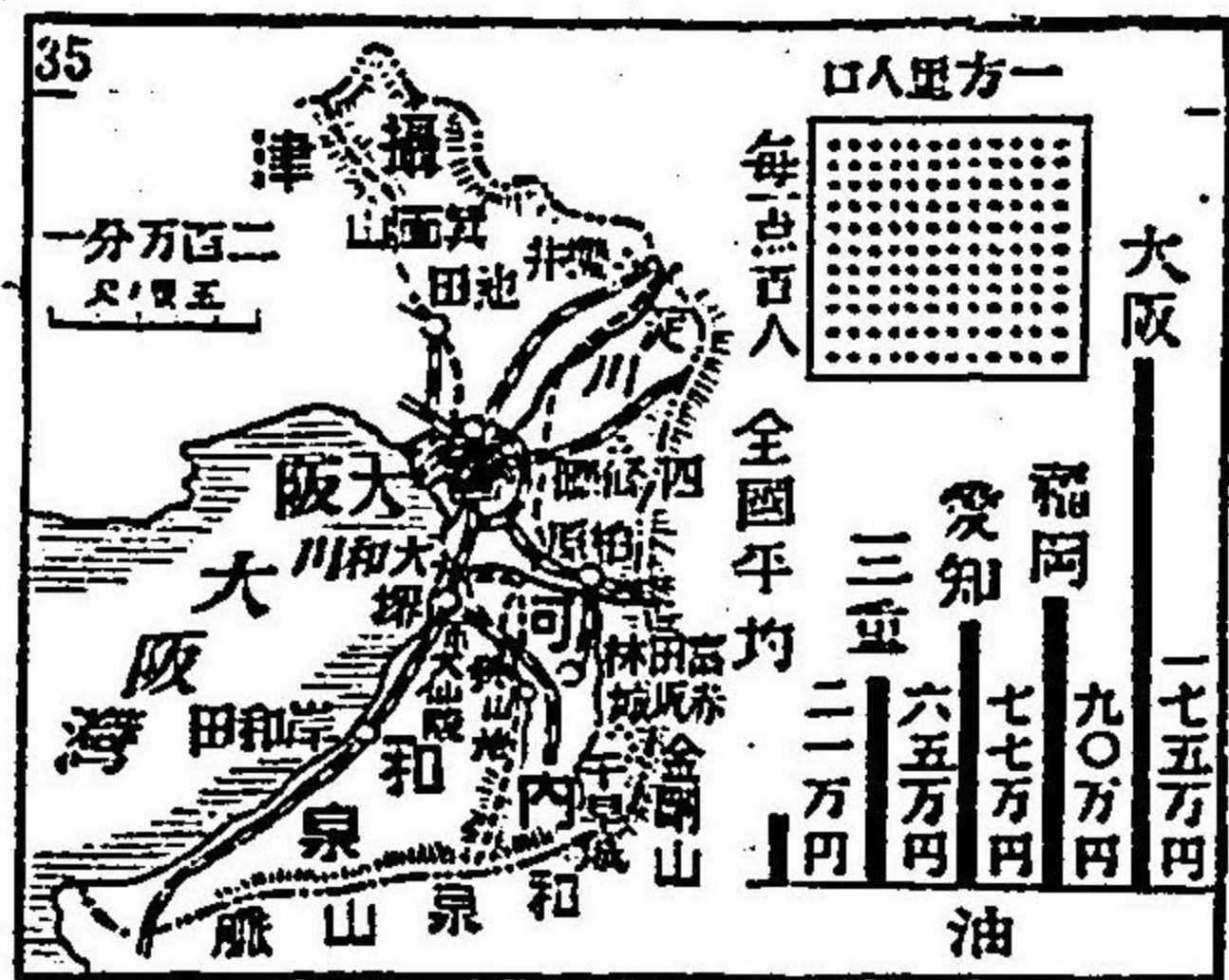
大阪の東、四條、巖は楠正行公戦死の地なり。大阪の南安倍野は北畠顯家公戦死の地なり。安倍野の南風景明媚なる住吉神社あり。住吉の南、大和川を渡れば和泉に入り、其の大都會なる堺市には鐵器、緞通及び綿糸の製造盛んなり。堺の東に仁徳天皇の御陵あり。御陵の東は河内なり、其の南東、金剛山に楠

正成公の城趾あり。大阪の北西池田町は清酒の醸造を以て名あり、其の西は兵庫縣なり。

第七節 中國

一、兵庫縣

南日本、特に京阪地方の四周は綿織絲、銅、摺附木、地蓆を産し、大阪灣は世界に對する南日本、特に京阪地方の門戸なり、灣の北西なる神戸市よりこれを輸出し、砂糖、鐵、石油、綿を海外より輸入すれば、横濱と並ぶ大開港場となり、南日本航路の基點となり、人口二十五萬、縣廳及び第二高等商業學校あり、市の西部、兵庫の湊川神社は楠正成公を祀る。神戸の北、摩耶山、聳ゆ、山の北なる有馬は有名の温泉場なり、其



兵庫縣は攝津の西半、丹波の東半、播磨の南半、淡路の北半、其の區域は内海より日本海、畿内、山陰、山陽、南海、四道にまたがれる、故に處に依り、風土を異にし、地質は、岩多きを以て、良質の御影石を産し、製鹽の盛んなる、漁業の利多し

の北より鐵道は丹波に入る。神戸の西、海岸は砂白く松青く、須磨、舞子及び明石の名勝あり、淡路島を望み風景好し。

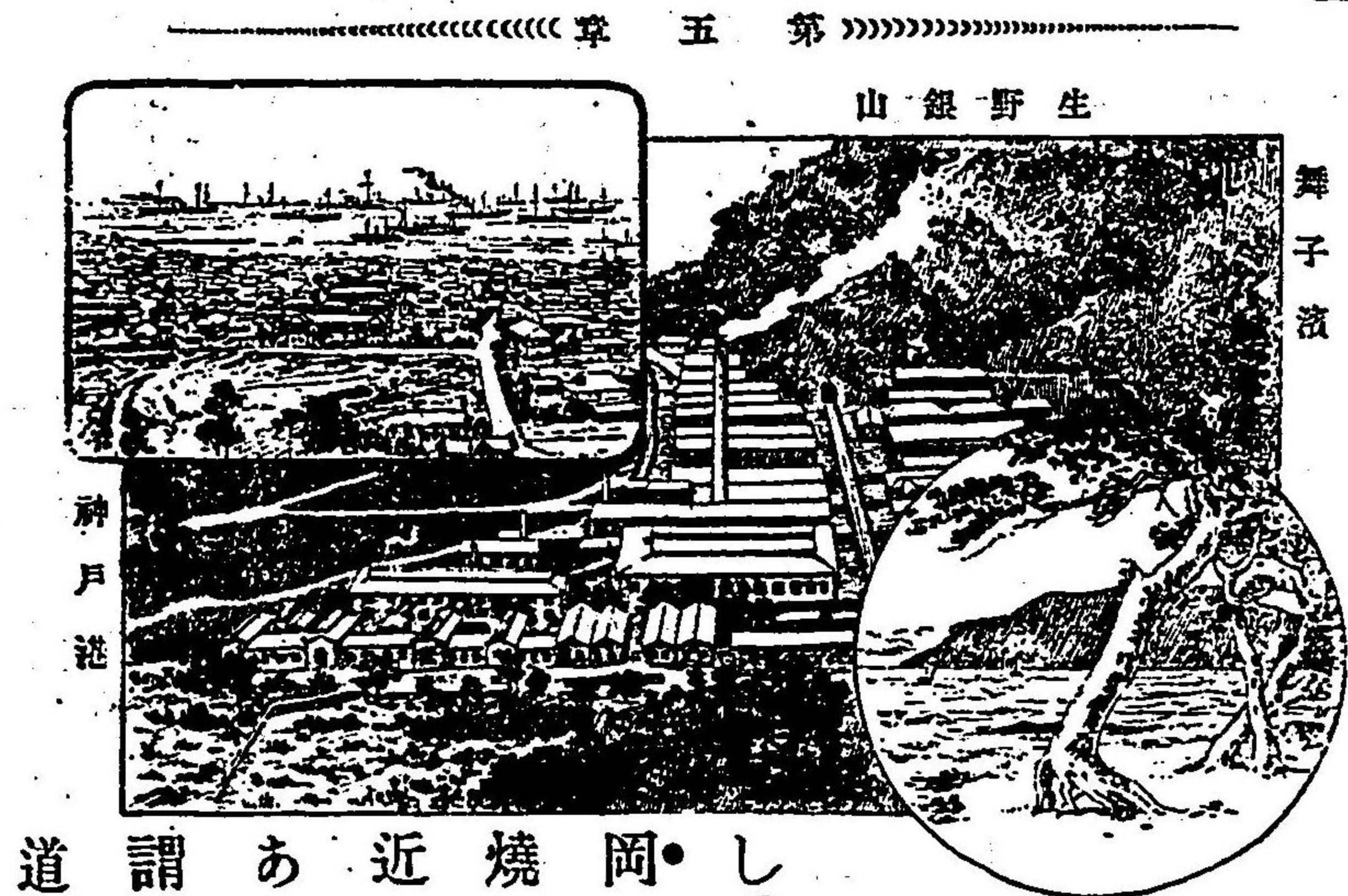


淡路は我國に人口最も稠密なる島なり、名邑洲本町に近き由良海峽は、大阪灣



の咽喉なれば、要塞を設く。明石の西、姫路市に豊太閤の修築せし舊城あり、城内に第十師團司令部あり、市は革細工を産す。姫路の西、龍野町は南日本第一の醤油醸造地なり。



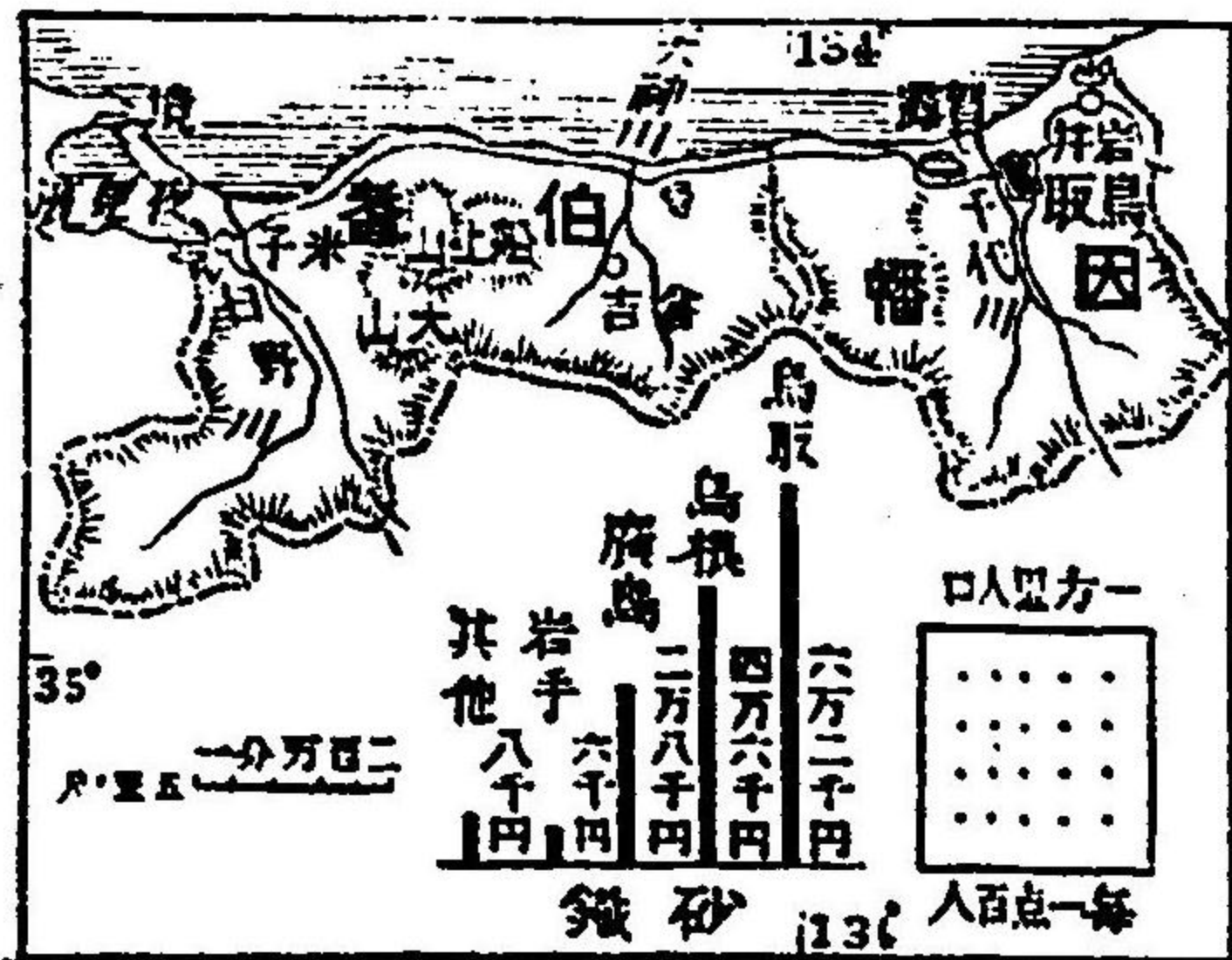


其の南西、赤穂町は鹽と義士とにて名高し。姫路より鐵道は北して但馬に入る。但馬の生野町には有名銀山あり。銀山の傍より朝來川流れ出づ、川の灌域は平坦肥沃にして、但馬の動脈をなし、出石町及び豊岡町は灌域の市場なり、出石は出石焼を産し、豊岡は柳行李を産す、河口近くに玄武洞の奇窟と城崎の温泉あり、但馬の溪谷には良牛を産す、所謂神戸牛は此處より産す。山陰街道は但馬の西より鳥取縣に入る。

鳥取縣は因幡國及伯耆國の大部分を占め、西に山陰道、東に太平洋、南に島根縣、北に岡山縣と接する。地勢は概して山地に、平野は少く、河川は多し、伯耆の山脈は、西に鳥取市に至り、東に鳥取市に至る。鳥取市は、河川に賀露港あり。鳥取より西、伯耆に入り、天神川灌域の市場なる倉吉町は生糸及び緋を産す。

### 二、鳥取縣

但馬より岩井温泉を經、千代川灌域の市場なる鳥取市に至れば縣廳あり、河口に賀露港あり。鳥取より西、伯耆に入り、天神川灌域の市場なる倉吉町は生糸及び緋を産す。



を産す。倉吉の南西、中國第一の高山大山、聳ゆる休火山にして、伯耆富士の稱

あり、裾野は廣く草肥え、軍馬の育成盛んなり。其の北、船上山は名和長年勤王の古蹟にして、山の北西、御來屋町に名和神社あり。御來屋より鐵道は、日進の勢ある米子港を經、北に突出する夜見、濱半島の北端なる境町まで通ず、これ裏日本西半に於ける唯一の鐵道線なり、境は川の如き海水の南岸にある開港場にして、其の北岸は島根縣なり。

### 三嶋根縣

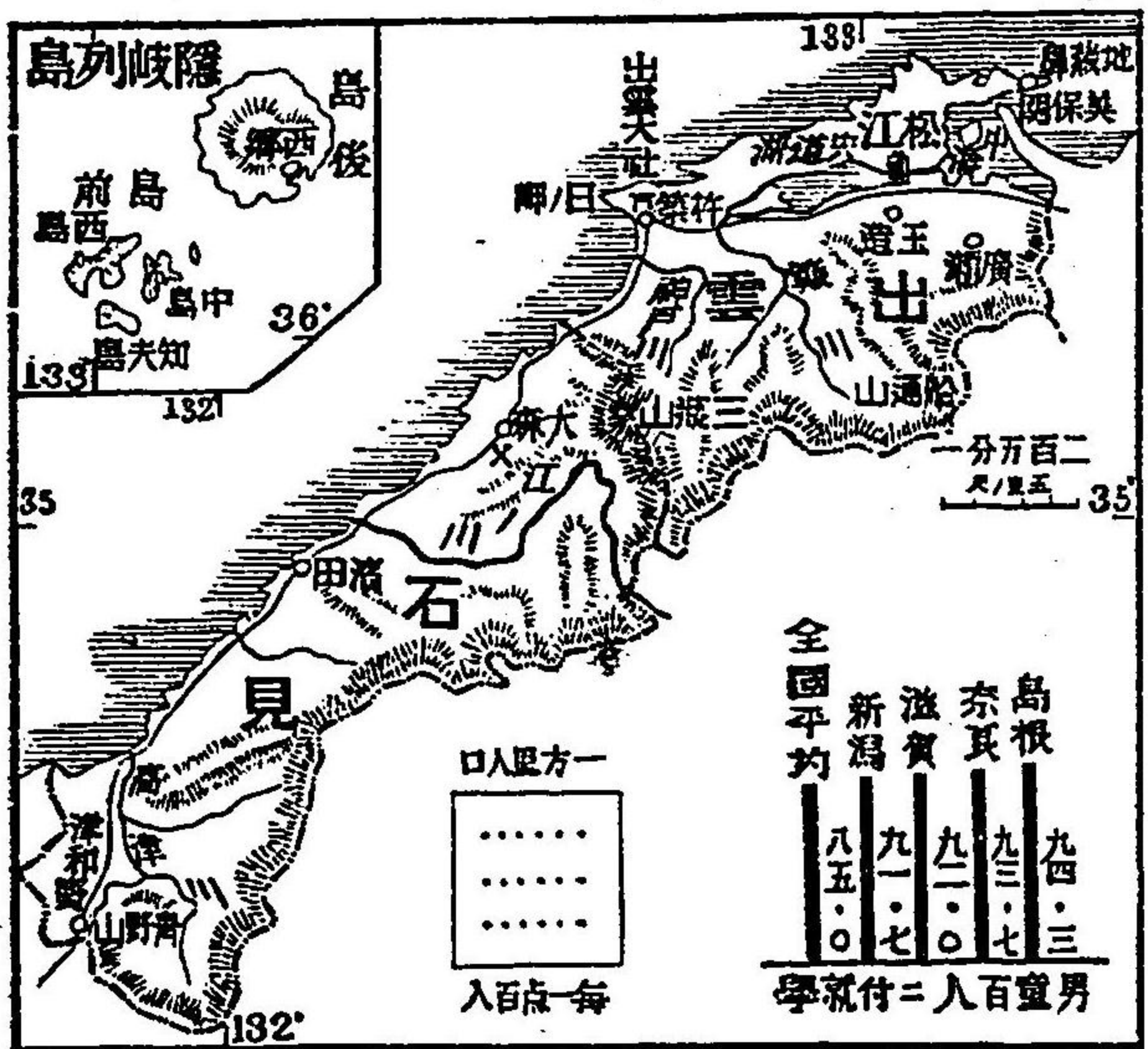
境の西、中海あり、中海の西、宍道湖あり、海と湖との間なる水陸便利の平地に山陰道第一の都會なる松江

市ありて、縣廳あり、出雲焼を産す。松江の北東、半島の東端に出雲第一の港なる美保關町あり、其の北に當り青山の日本海中に浮ぶは隱岐なり。

隱岐の諸島は島前及び島後に分れ、初等教育の普及と錫と

島根縣は出雲、石見、雲、北、海、に、面、し、一、帶、見、す、の、三、國、を、び、石、管、す、の、出、雲、及、び、海、面、は、一、帶、見、す、の、北、部、は、島、根、縣、の、北、部、に、面、し、一、帶、見、す、の、水、邊、は、島、根、縣、の、水、邊、に、面、し、一、帶、見、す、の、中、海、及、び、宍、道、湖、に、面、し、一、帶、見、す、の、舟、運、の、便、多、く、其、の、沿、岸、に、多、く、

は、平、坦、に、し、て、農、産、物、に、富、み、見、る、山、多、く、石、



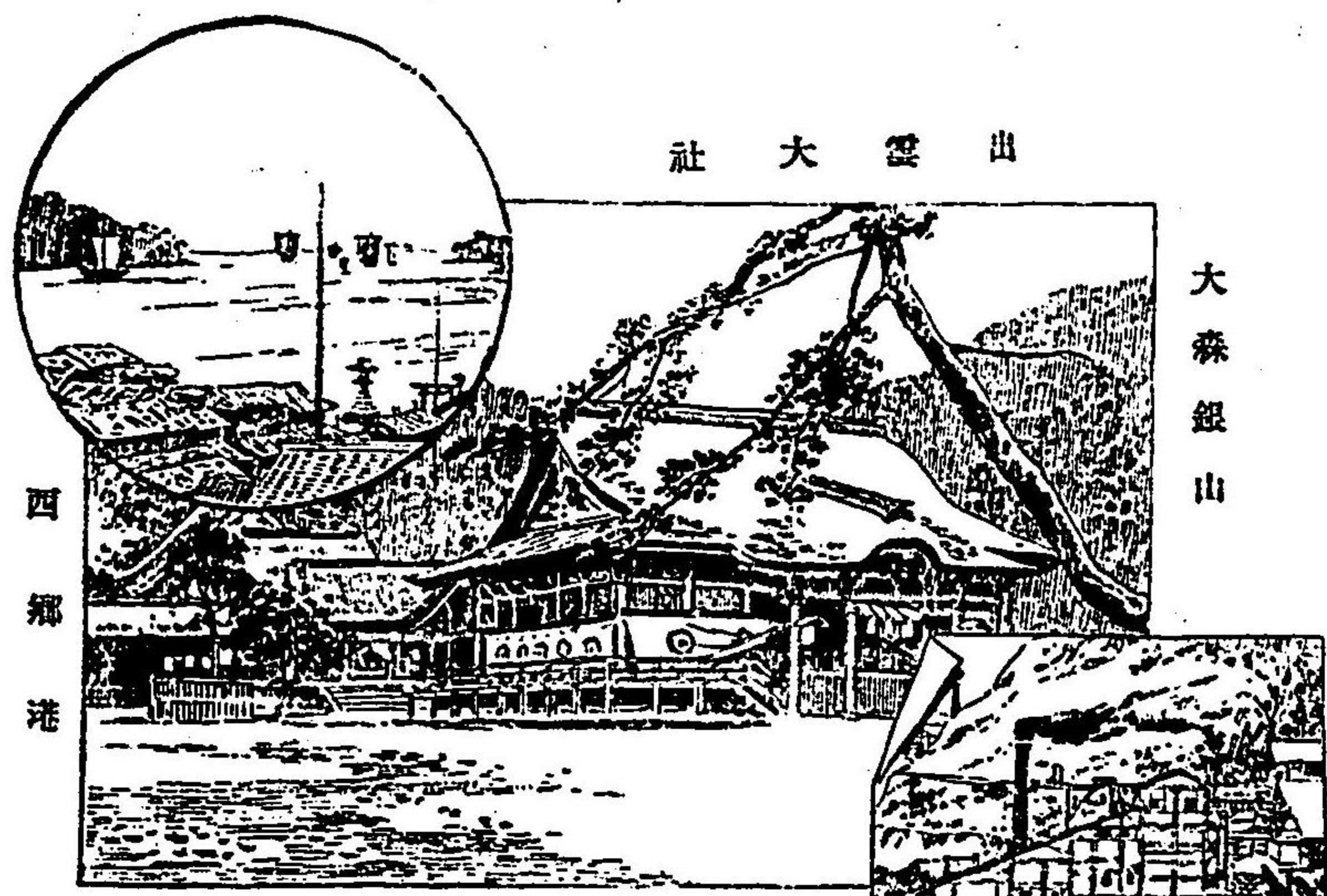
を以て名高し、島後の西郷町は日本海中の良港なり。島前の中、島に後鳥羽天皇の御陵あり、西、島に後醍醐天皇の黒木御所の古蹟あり。

松江より宍道湖を渡れば、杵築町に有名の出雲大社あり、其の南秀麗なる三瓶山の休火山聳ゆ、山の西は石見なり。三瓶山の西、大森の銀山は古來有名なれども、現今は振は

ず。大森の西、中國第一の大河たる江川流る、其の西、濱田町の開港場あり、歩兵聯隊の營所あり。濱田の西、津和野町あ

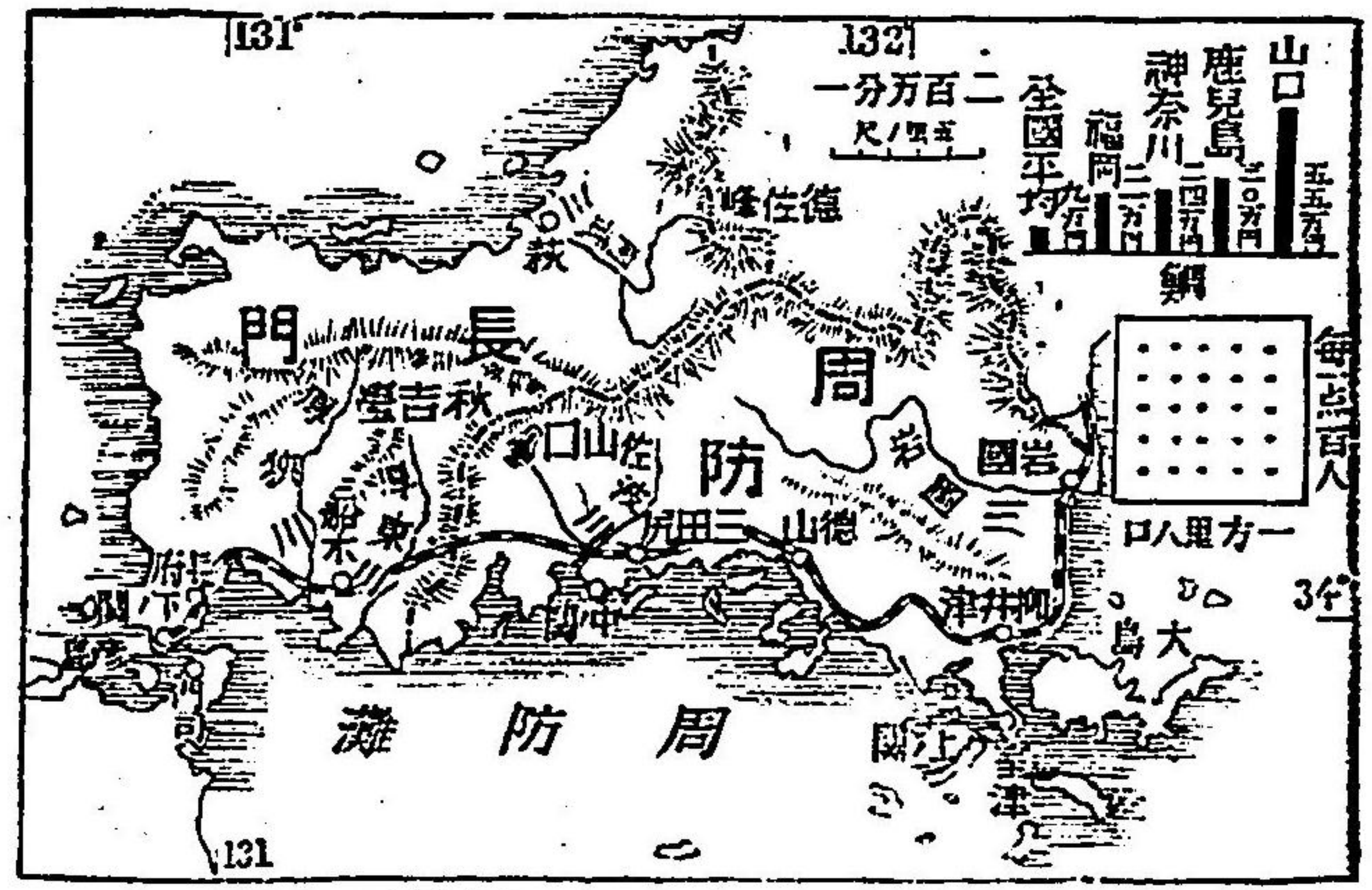
山口縣は周防及び長門二國を管す、中部は山多し、東は平坦にして良米を産す、北及び西は日本海、南は瀬戸内海、(周防灘)に面するを以て、水産の利多し

第五 章



り、其の西は山口縣に屬す。  
**四、山口縣** 縣の中央なる山口町に縣廳及び第二十一旅團司令部、山口高等學校あり、其の南、三田尻町は中國海岸にて屈指の港なり、此邊の海岸は雨少く、製鹽盛んなり、又花崗石多きを以て、此の石材の産出多く、花崗石は分解して白沙となり、青松これと映發するを以て、中國海岸は一帶に特殊の好風景

第五 章



を現はせり。三田尻の西は長門にして多く石炭を産す。炭山地方の西下、關市は本州の南西端にして、河の如き海水



を隔て、九州と相對す、故に其の港は



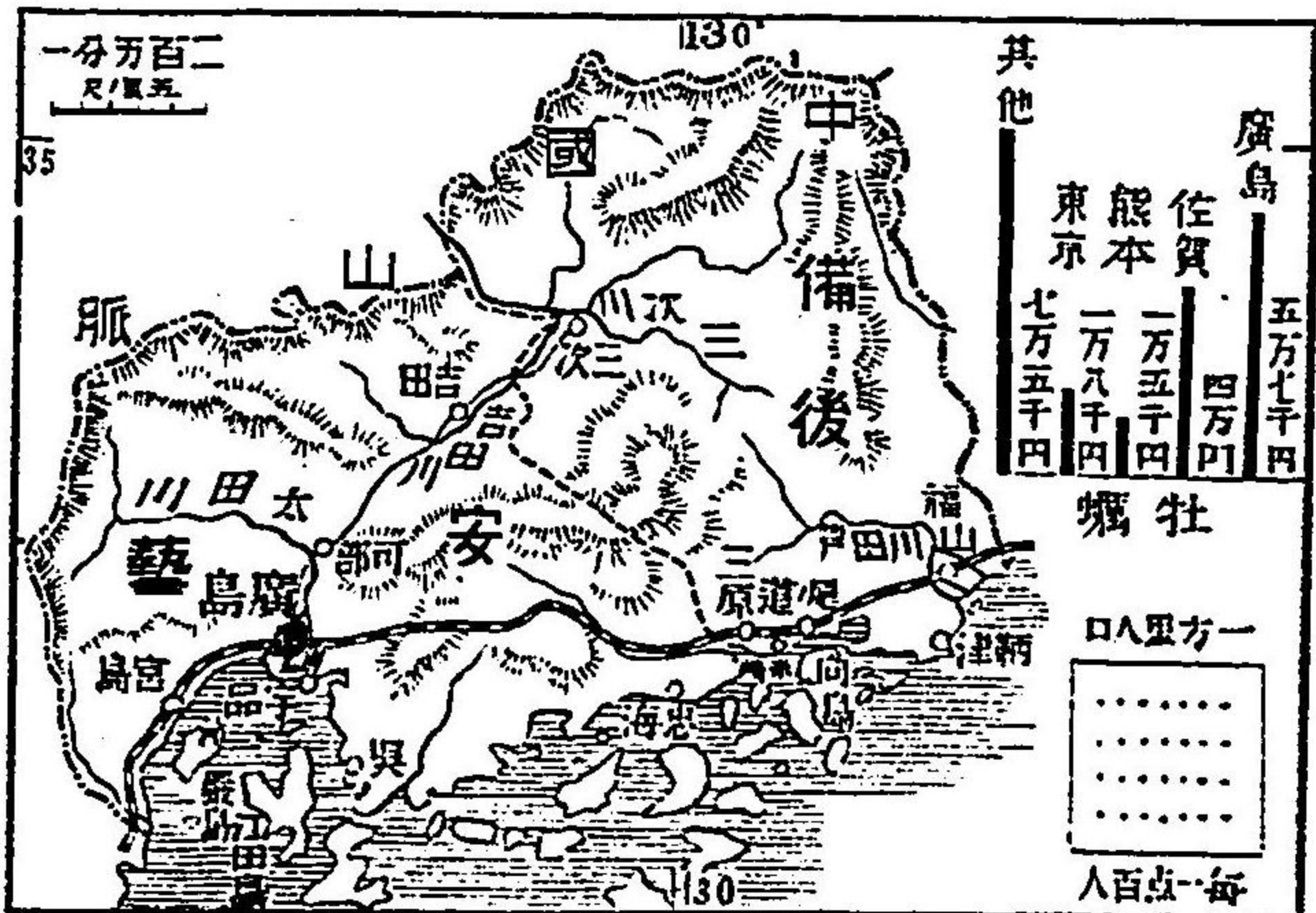
船舶輻輳す、安德天皇を祀れる赤間神社あり、其の東、檀浦は源平の古戰場にして、天皇は此の役に没し給ひしなり。山口の北、日本海岸に萩町あり、毛利氏の舊城下にして、多く夏蜜柑を産す。

山口の東、岩國町に、有名なる錦帯橋あり、岩國縮を産す。岩國の北東より鐵道は廣島縣に入る。

**五、廣嶋縣** 山陽線の鐵道は太田川の平坦肥沃なる三角洲に入れば、廣島市あり、淺野氏の舊城下にして、人口十五萬、中國第一の都會なり、縣廳及び第五師團司令部、控訴院、第二高等師範學校(計畫中)あり、日清戰役の間、大本營のありし處にして、其の港なる宇品は同役の間、軍隊の出入せし處なり、

廣島縣は安藝平國及び備後國の海濱に、地味は肥沃、氣候温暖、和氣、米、蠶、桑、魚、鹽、特産に、多量に、利殖盛に、牡蠣の養殖盛に

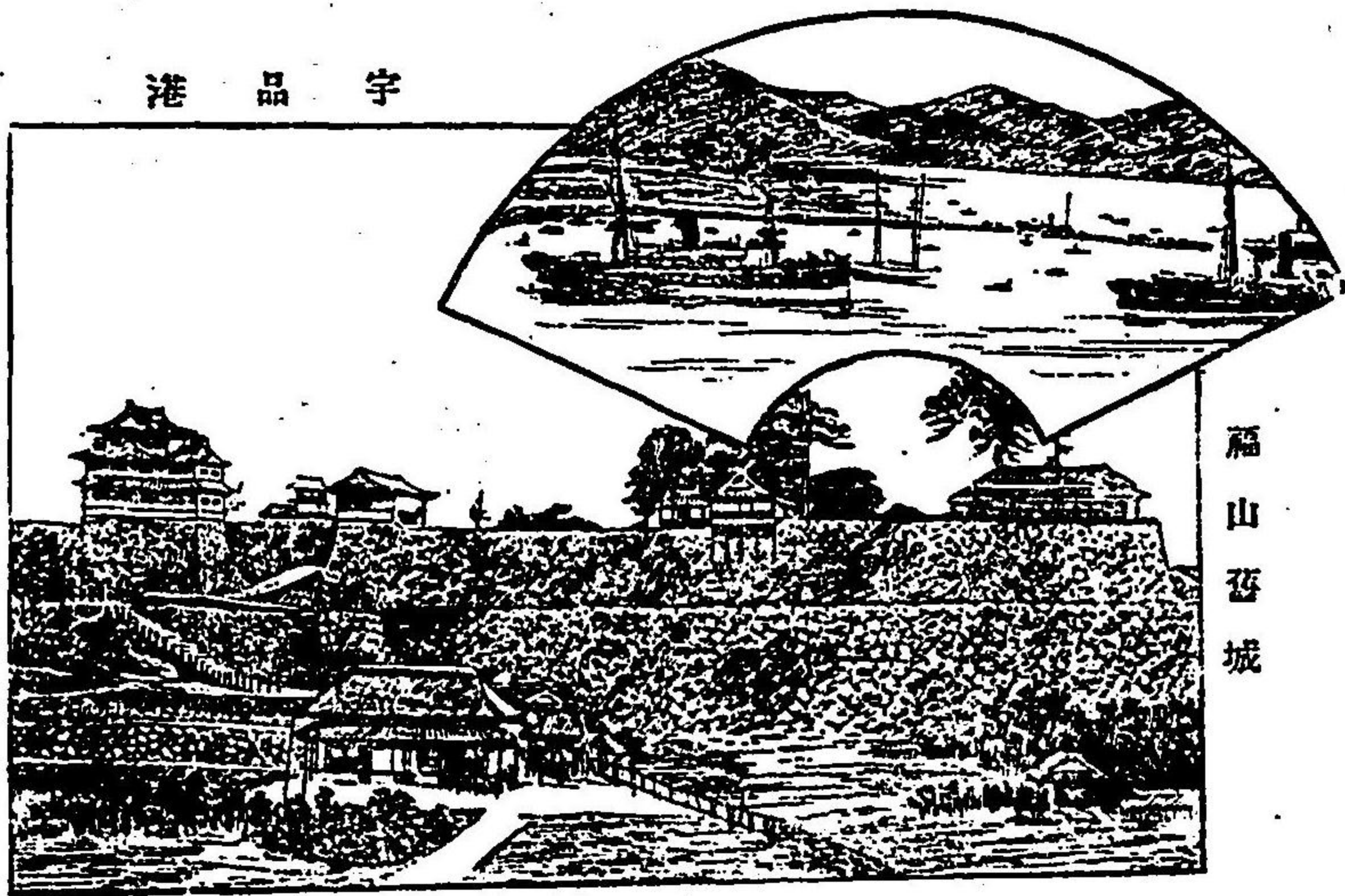
三、起り、百年前より



其の南東、吳は水深く、奥行深く、風波を避け得れば、軍港となり、海軍鎮守府あり、陸地と島嶼とは髪の如き水道を以て隔て、要害の地なれば、要塞を設く。此邊は海岸の出入多く、島嶼また多ければ、海軍の練習に適ひ、吳の西なる江田島に海軍兵學校あり。江田島の西なる嚴島は日本三景の一なり、竹細工を産す。廣島の東、忠海町は四國と相對し、其の間に島嶼連続して、要害の地なれば、要塞を設く。忠海より東は備後に屬す。糸崎は前に島嶼連り、舟の碇泊に適ひ、開港場とな

岡・山・縣・は・美・作・備・前・及・び・管・中・の・三・國・を・北

美・作・備・前・及・び・管・中・の・三・國・を・北



福山舊城

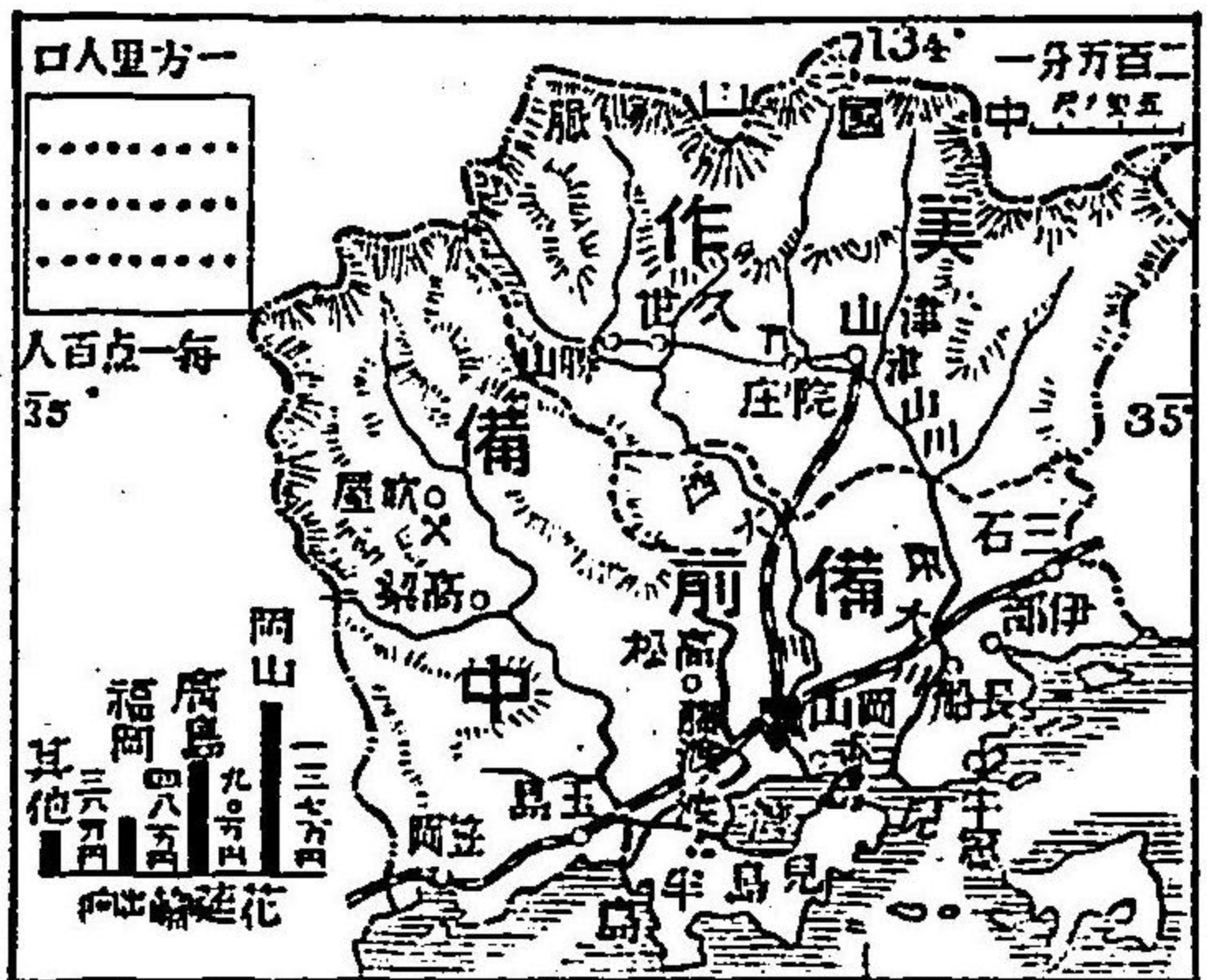
れり。其の東尾道市と尾道の  
 東なる鞆津町とは、共に中國屈  
 指の港なり。尾道の東福山町  
 あり、此邊一帶製鹽盛んなり。  
 備後の北西は、中國第一の大河  
 たる江川の灌域の上部にして、  
 其の市場に三次町あり、山陽山  
 陰兩道交通の要衝にして裏日  
 本に舟下なるの便あり。備後  
 の東より岡山縣に入る。  
 六岡山縣 西大川は平坦肥  
 沃なる灌域を開き岡山市は大

津山の西院  
 の庄は兒島  
 の櫻樹を削  
 勤の樹を削  
 したる志を

半山多担米に  
 南産す南米  
 を一帯に各部  
 は、瀬海各都  
 多、漁に各利  
 邑の間に各綿  
 絲紡績及び花  
 美、備中製産多  
 富、備中製産多

美・作・備・前・及・び・管・中・の・三・國・を・北

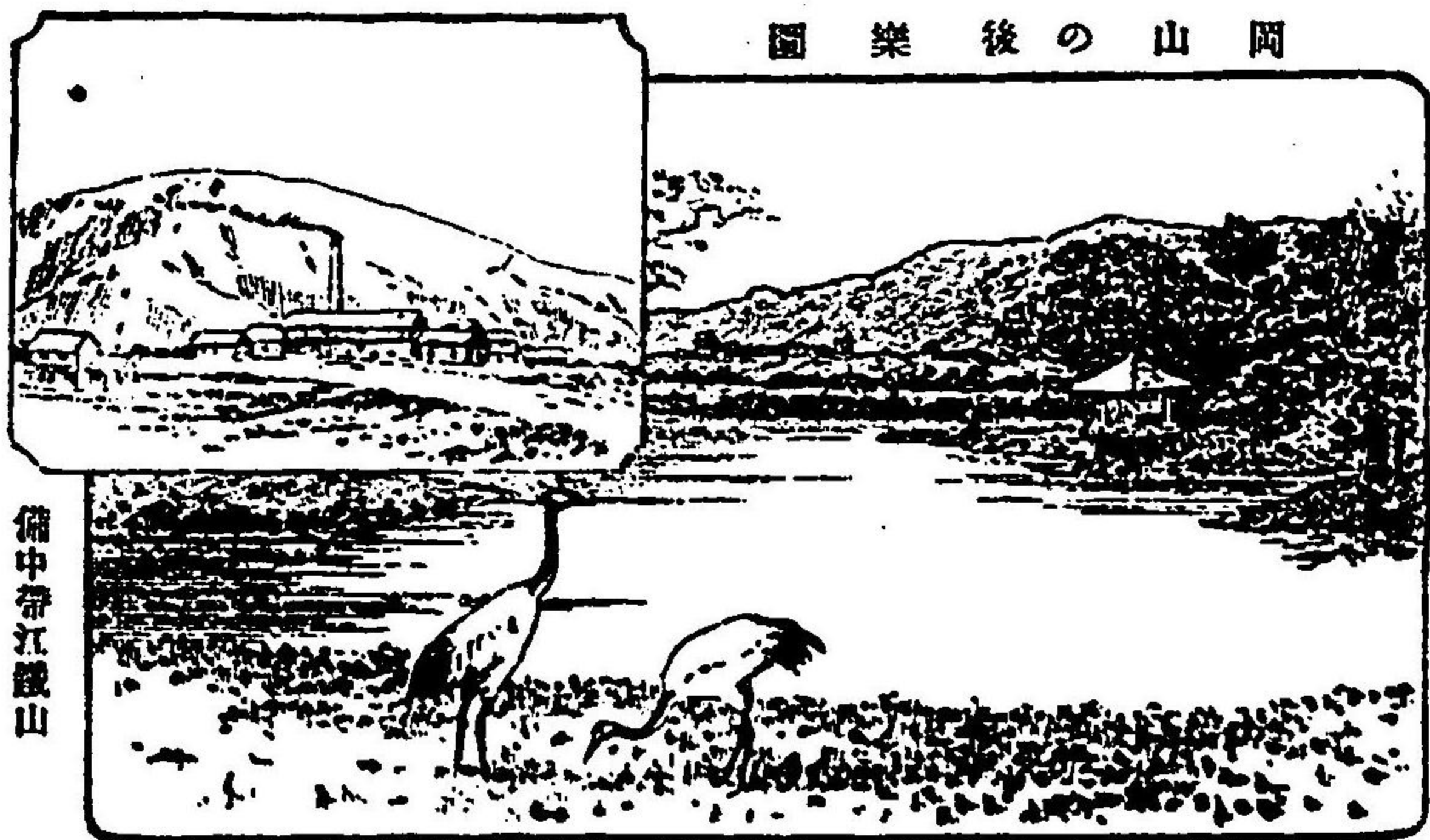
阪、廣島間の中央に位し、山陽道の  
 要衝に當り、池田氏の舊城下にし



て中國第二  
 の都會なり、  
 縣廳及び第  
 六高等學校、  
 醫學專門學  
 校あり、西大  
 川に並びて

東に東大川あり。  
 東大川は源を美作に發し、津山町  
 は美作の大都會なり。

岡山の後の樂圖

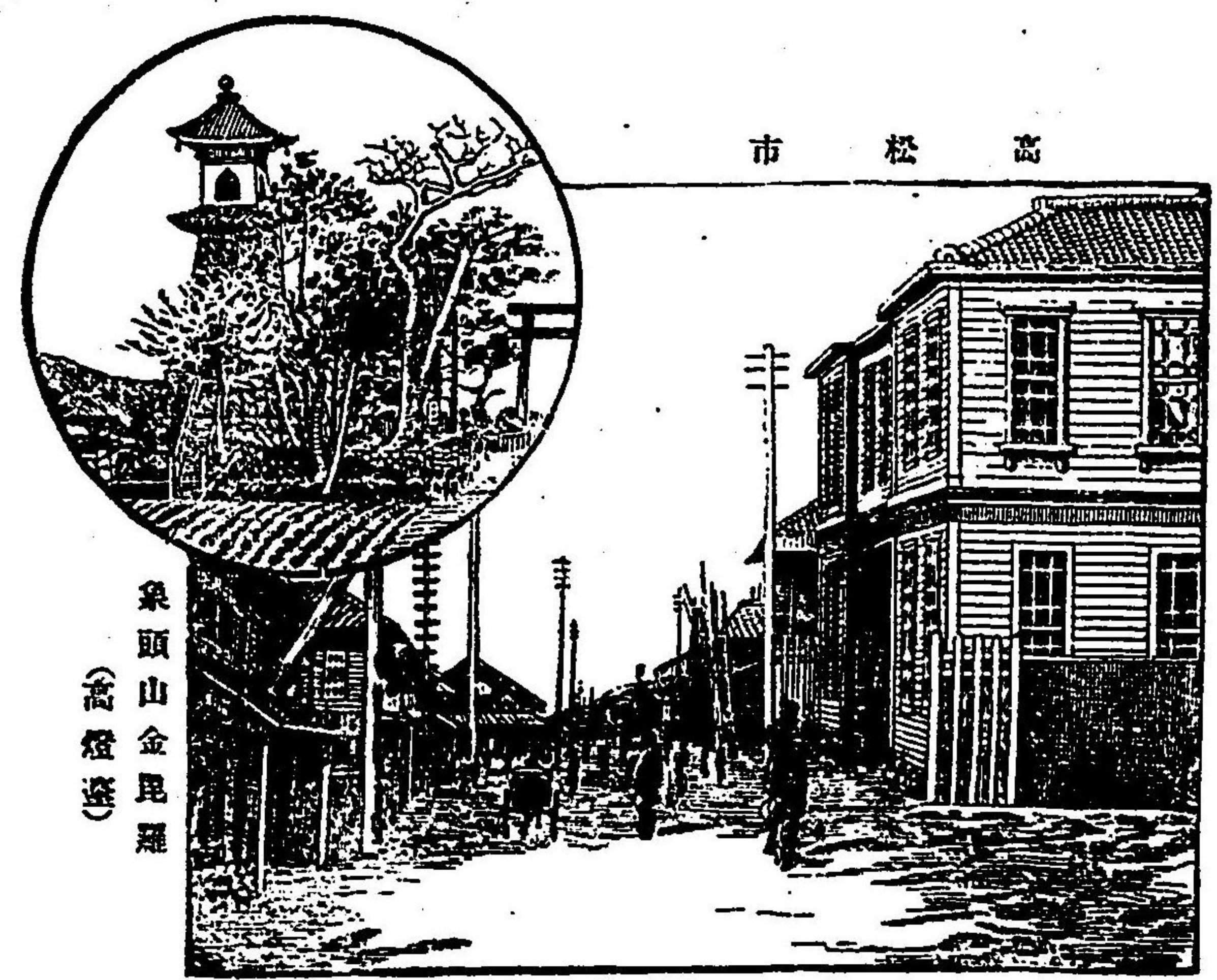


備中帯江岡山

香川縣は讃岐  
 全境は山多し  
 南境は其他  
 と雖も、其  
 は海に面し、  
 海岸は出入  
 多く、島嶼  
 在り、氣候  
 和し、晴天  
 を以て、製  
 の盛んなる  
 國第一なり  
 又漁業盛ん  
 り、海産は  
 塩、魚、干  
 貝、海苔、  
 干貝、干魚  
 等あり、  
 土産は、  
 藍、煙草、  
 砂糖、米、  
 麦、大豆、  
 粟、蕎麥、  
 等あり、  
 多産す、  
 國には、  
 面積は、  
 人口は、  
 人、口、  
 府、に、  
 次、げ、  
 二、は、

第五 章

日本帝國地方誌 四國 香川縣



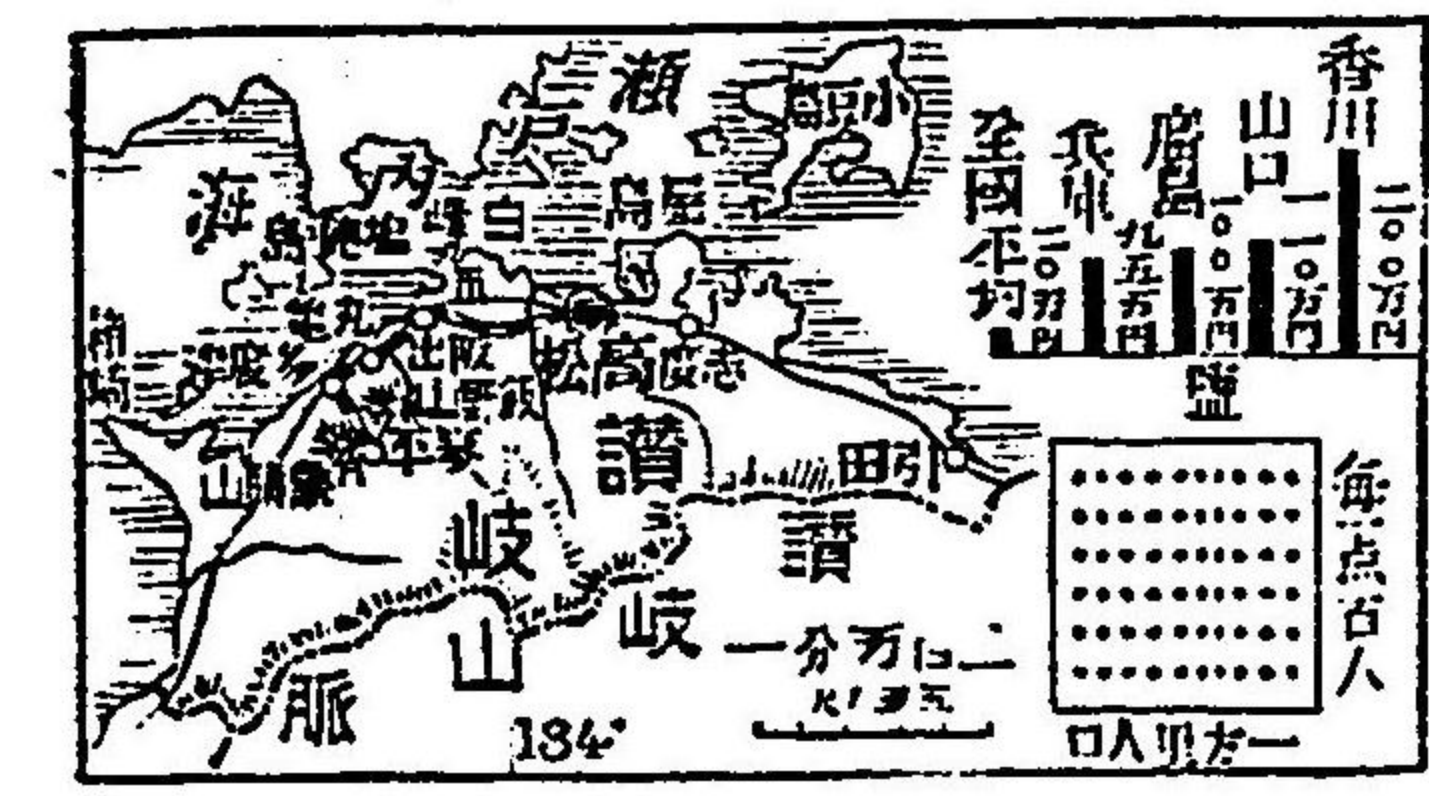
をなす。 阪出の西、丸龜市あり、其の南なる平地には歩兵第二十二旅團の兵營點在し、第十一師團司令部あり。 丸龜の西、多度津町あり、中國より定期汽船出入し、本州と四國とを連絡す。 鐵道は多度津より南に折れ、其の終點なる琴平町に象頭山の金毘羅宮あり、宮は我國船員の最も

日本帝國地方誌 四國 香川縣

岡山の北西、高梁町は備中の中央に位する市場なり。 備中には銅山多し。 高梁の南東なる玉島町及び岡山の港なる三番より香川縣へ汽船の往復あり。

第八節 四國

一、香川縣



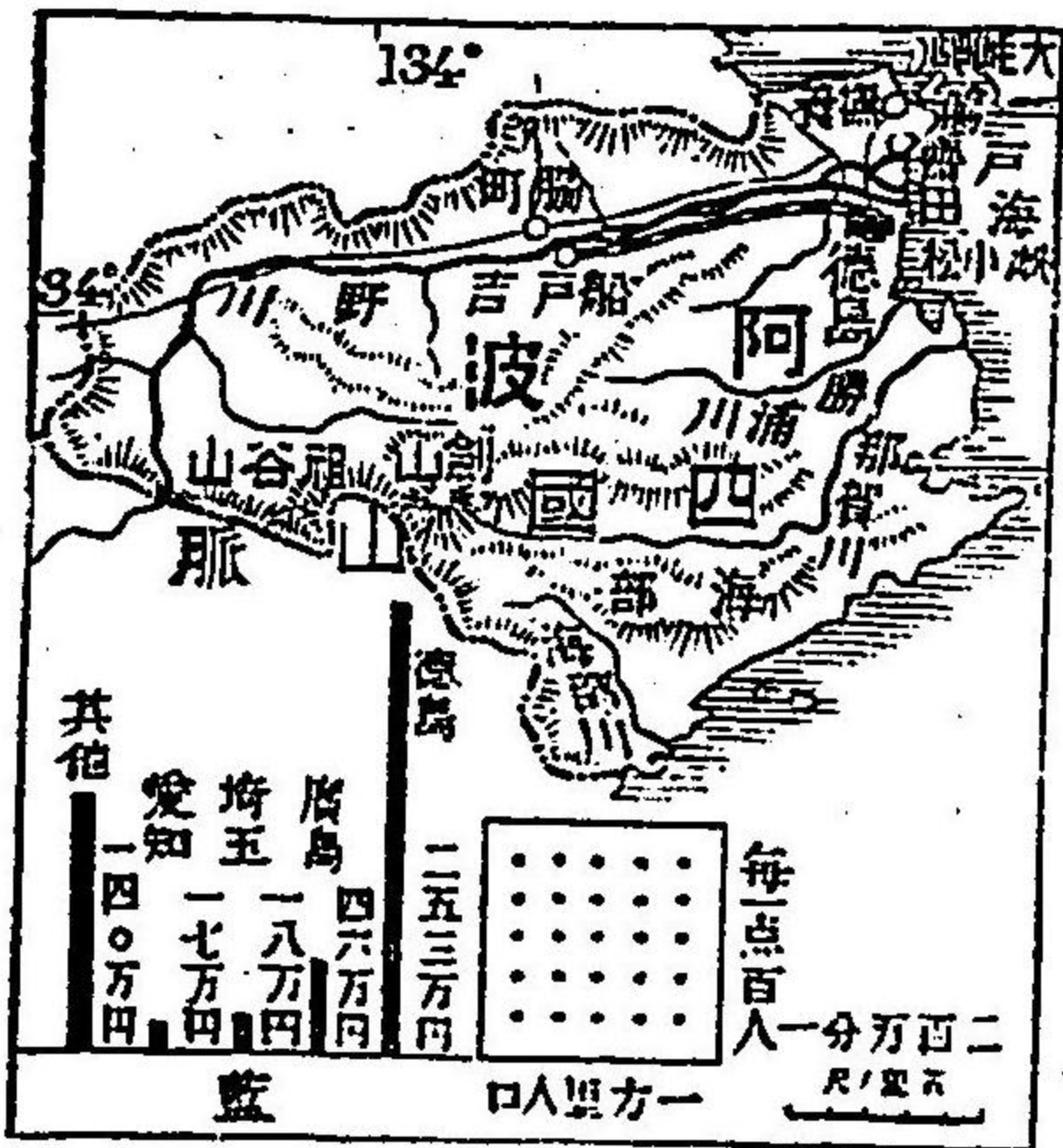
縣の中央なる平原の東西に河流れ、地味肥沃、氣候暖和なり、其の北端は海に面し、前には島嶼點在し、左右は半島突出して漁鹽の利多し、此の平原の港なる高松市に縣廳あり、保田織を産す。 高松より鐵道は西に赴き、砂糖及び烟草を産する平原を過ぐ、其の北なる白峯に崇徳天皇の御陵あり。 鐵道海岸に出れば、阪出町あり、花崗石の沙渚連なり、屈指の製鹽地

德島縣は阿波  
全國を管す、  
北郡は吉野川  
流れて平肥沃  
にして氣候暖  
和なれば、藍、  
烟草、砂糖、米  
を多く産す、  
概して雨量少  
く、氣候暖少  
盛んなれば、  
製鹽和

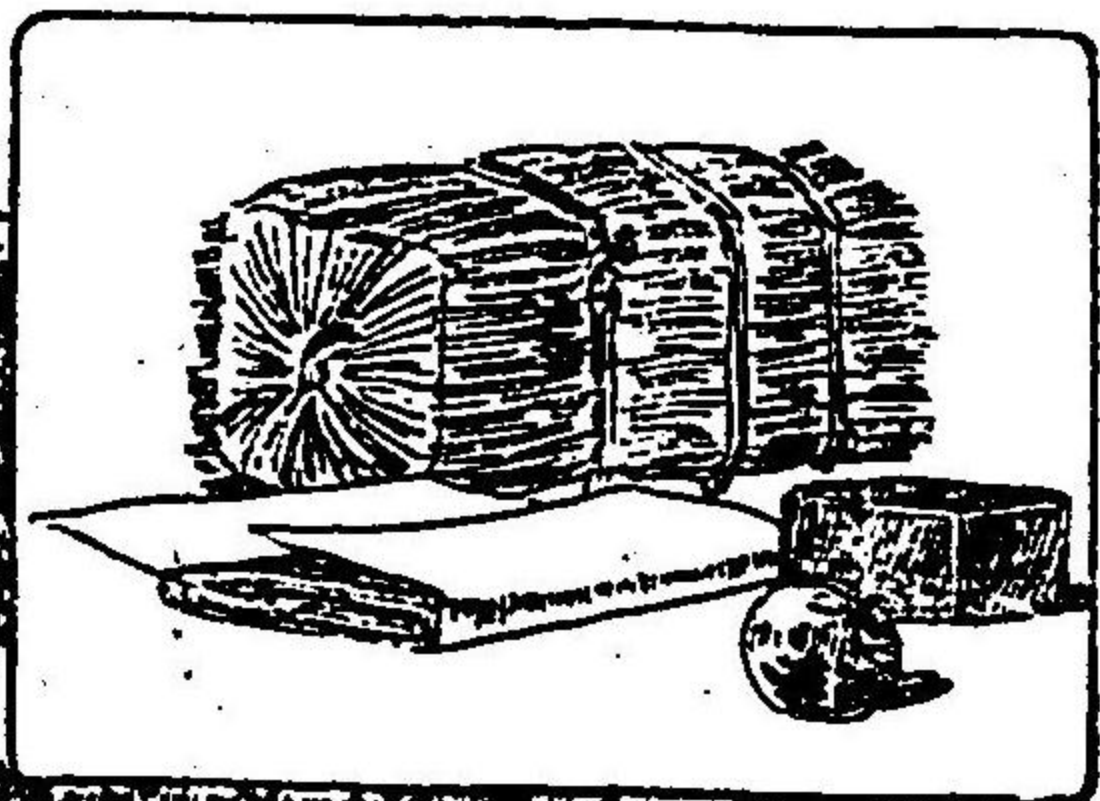
崇敬する處にして、大日本水難救濟會の本部あり。  
高松の北東に源平の古戰場なる屋島あり、其の東に五劍山あり、其の東、志度町、及び引田町を過ぐれば、德島縣に入る。  
北岸には島嶼點在し、大艦を碇泊せしむべき粟島あり、其の北東、潮流の會合點に鹽飽諸島あり、島民は舟の操縦に慣れ、海軍及び商船に多く船員を供給す。東部の小豆島は瀬戸内海第一の大島にして、醬油の産と神懸の勝を以て聞ゆ。  
**二、德嶋縣** 四國三郎と稱へて四國第一の大河なる吉野川の横谷は、肥沃にして我國第一の藍産地をなし、且つ氣候暖和にして米、烟草及び砂糖を産す、川の海に注ぐ處は港を作し、德島市は此の谷を負ひて此處に起り、四國第一の都會となる、蜂須賀氏の舊城下にして縣廳あり、阿波縮を産す。

吉野川、長航  
程二十里、舟  
漁産一年一萬  
圓あり

鐵道は德島より吉野川の谿谷に沿ひて西に赴き、沿道には藍の市場たる脇町あり。  
德島の北は干潟多



日本帝國地方誌 四國 德島縣



齊田鹽 藍玉 阿波縮



祖谷の竈橋

く、暖和にして降雨も少ければ、製鹽盛んなり、齊田鹽の名世に高し。齊田鹽の市場は吉野川の三角洲にあ

る撫養町なり、町は鳴戸海峽に臨める良港なり。鳴戸海峽は潮流の急なること我國第一にして、渦をなし、對岸なる淡路と共に大阪灣及び瀬戸内海の門戸をなすを以て、要塞の設けあり。

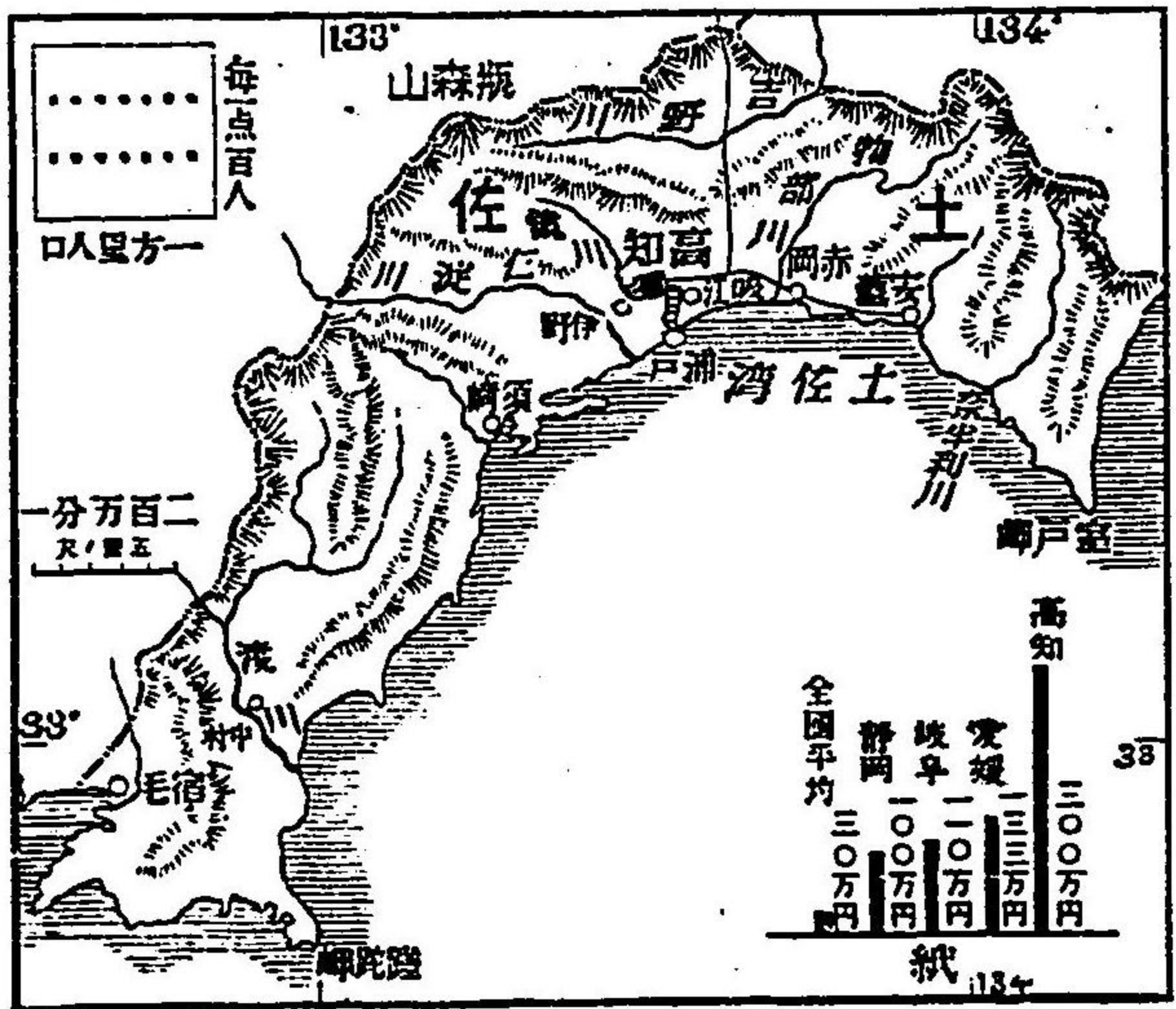
徳島の南は海岸出入多く、暖かき黒潮流るゝを以て、鰺、鯉等の水産物多し、愈、南すれば高知縣に入る。

三、高知縣 南は一帶に大平洋に面し、洋岸の中央なる平地に高知市あり、山内氏の舊城下にして、縣廳及び歩兵聯隊の營所あり、浦戸は高知の港なれども、海岸は土地増加して海埋まり、潮流は土砂を港口に堆積するを以て、船舶の出入不便なり。

高知の東、紀貫之の住所及び長曾我部氏勃興の古蹟を過ぐ

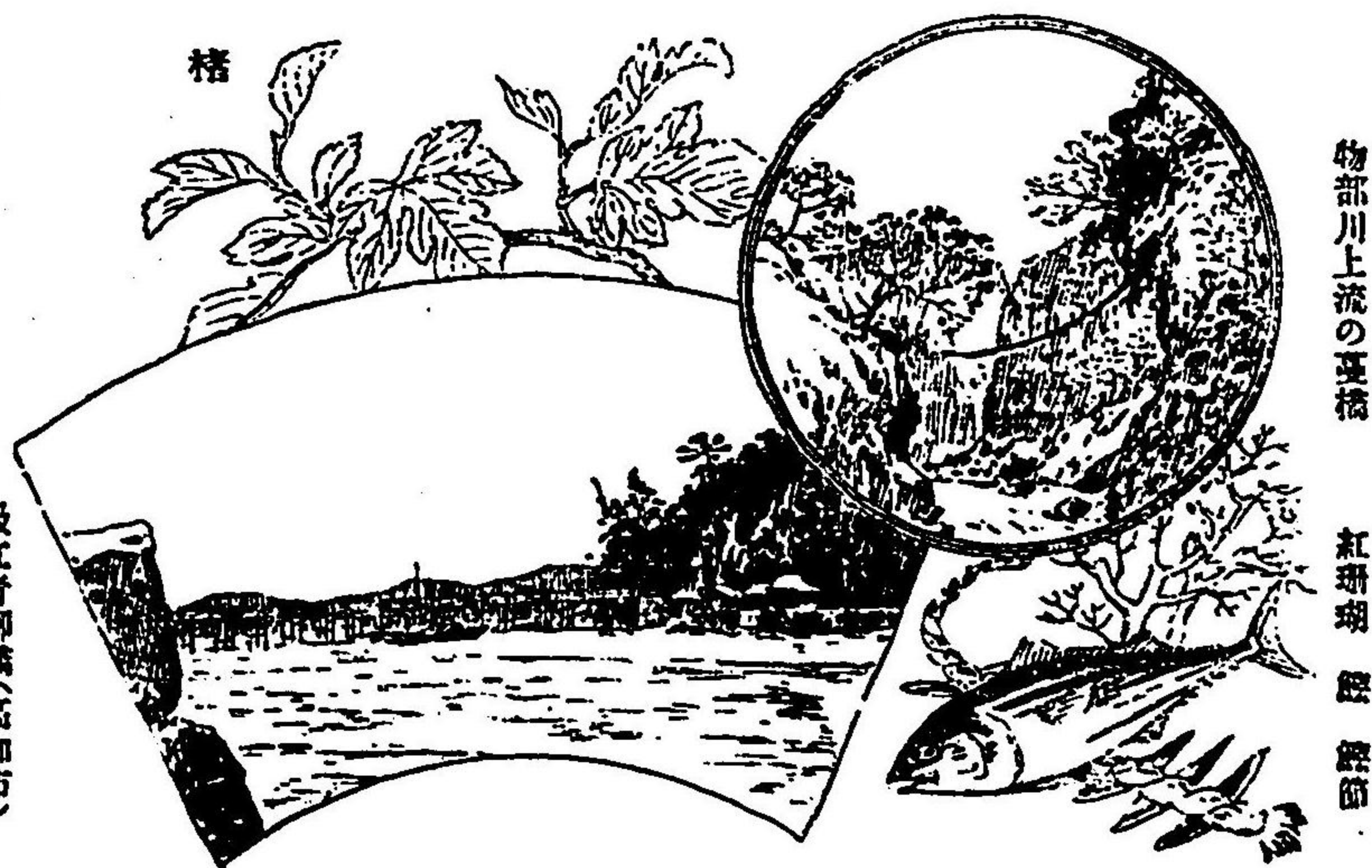
高知縣は土佐全縣を管す、地味楮に適多し、紙の製産和、雨氣多し、茂し、山林多し、樟腦を産す、樟腦糖も亦産出、黒潮海岸長く、魚獲多し、鰺、鯉等を以て、鰺、鯉等の水産物多し、

鰺節を製す、鮎及び紅珊瑚をも産す



れば、東南に室戸岬突出せり、

暖かき黒潮は近海に流れ、鯨は此の岬を指して浮遊し來





渡川、一名四萬、  
十條の支流あり、  
り、この名あり、  
て、此の造大にも  
せよ、以て此の多  
川の水量多きを  
を知るべし

愛媛縣は伊豫  
全國を管す、豫  
全體に山多  
く、富む、平地  
は、海岸に限れ  
り、肥沃な氣候  
味、和なれば農  
産物多し、北  
戸内海に面す

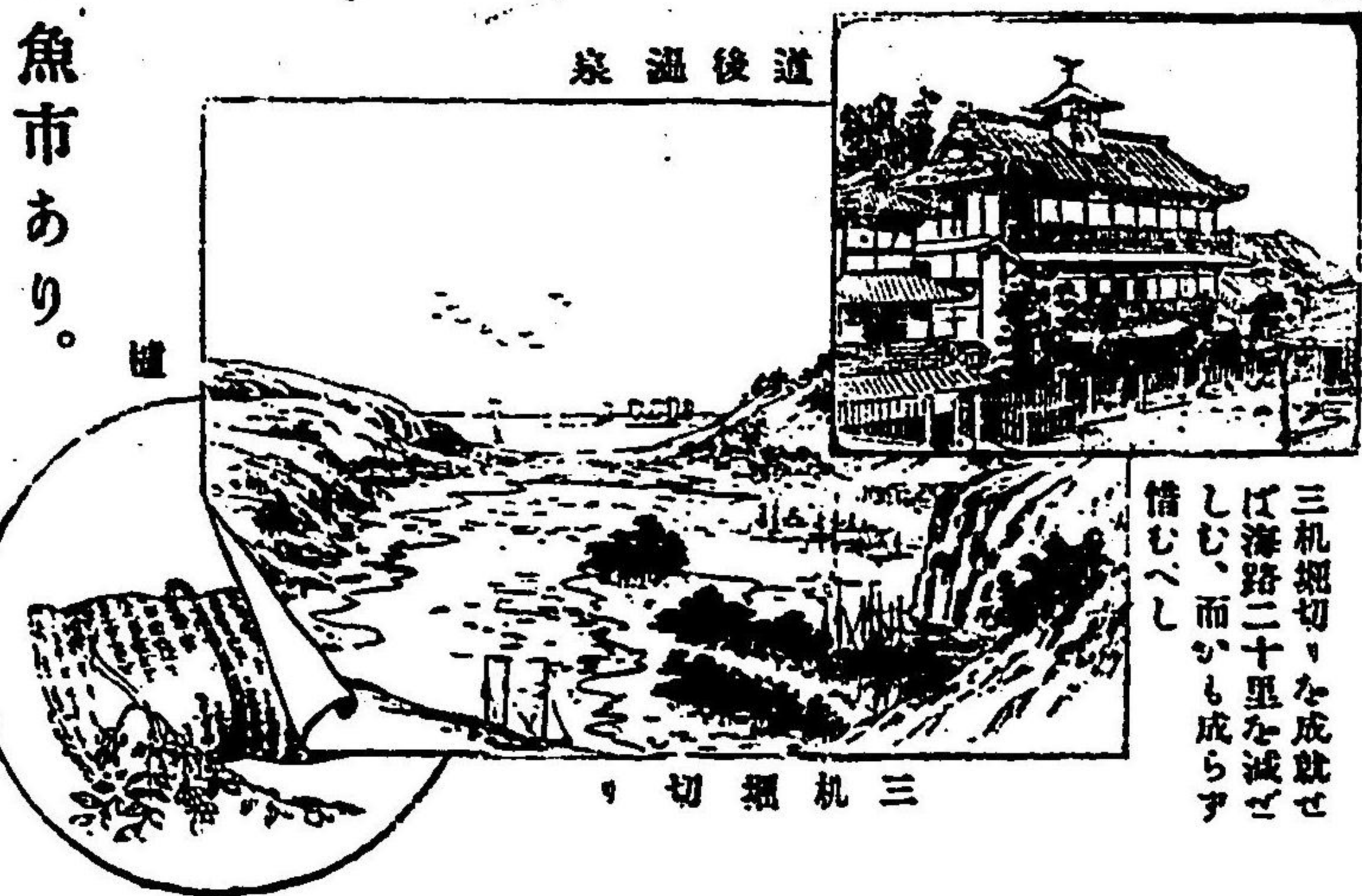
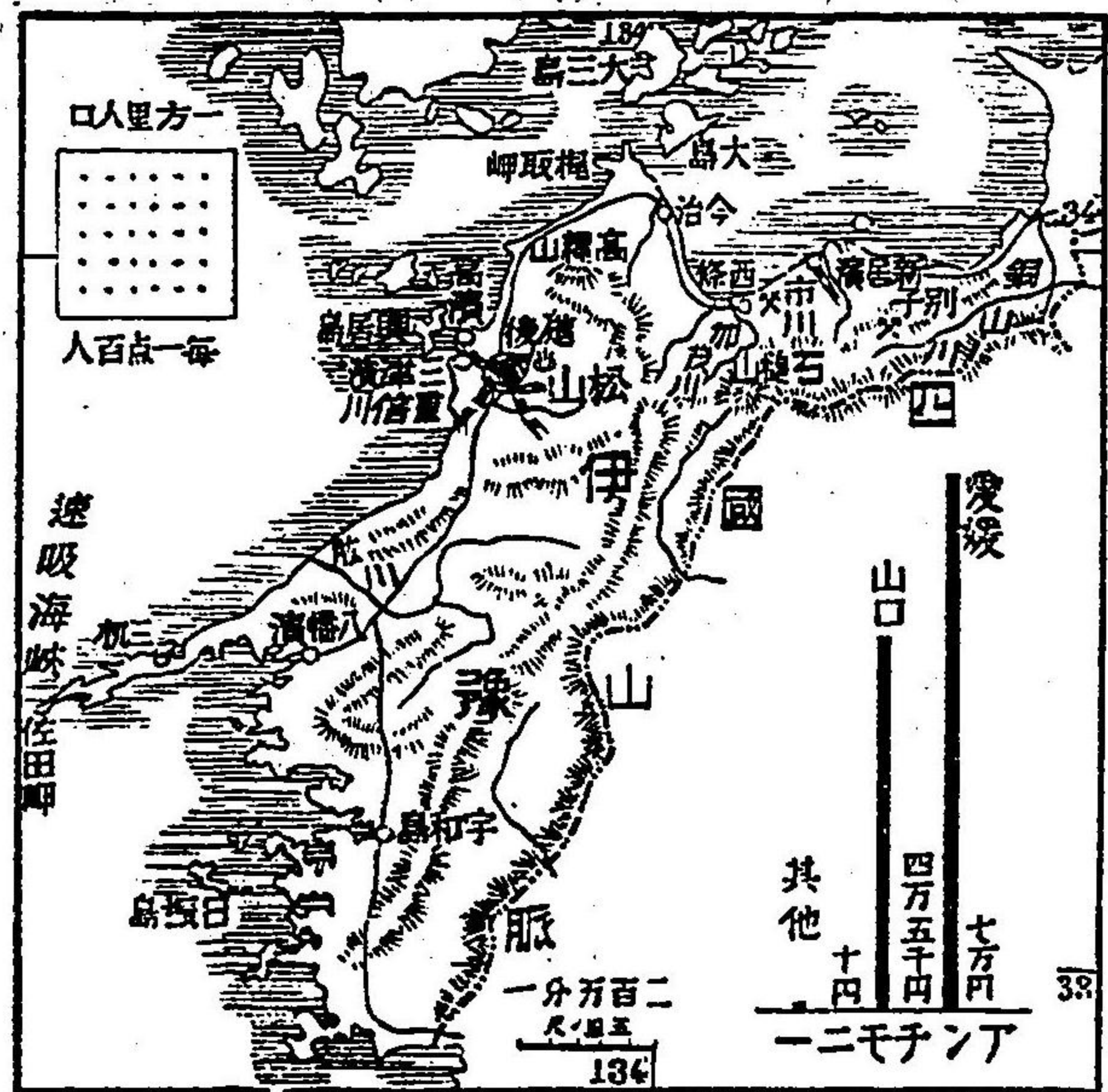
れば、近海は捕鯨盛んなり。高知の東、仁淀川の本原は緒、  
適し、其の岸なる伊野町は我國第一の和紙産地なり。仁淀  
河口の西、須崎灣は四國第一の良港なり。其の南西、渡川流  
る、此邊は一體に雨多ければ、河廣く水深く、四國第二の大  
となる、其の灌域は濕暖にして、黒砂糖を産し、中村町は其の  
中心市場なり、河口の南に蹠岬あり、四國の最南端にして、  
海は紅珊瑚を産す、崎より西すれば愛媛縣に入る。

### 四、愛媛縣

縣の海岸の略、中央にある平地は、地味肥沃、氣  
候暖利、海陸交通の便多し、松山市は此處にありて、縣廳及び  
第十旅團司令部あり、伊豫紵を産す、其の東に日本三湯の一  
なる、道後温泉あり、松山の西、三津濱は松山平原の門戸にし  
て、神戸との定期航海汽船あり。三津濱の前なる興居島に

し、南部は大  
平洋に通じ、  
内海には、  
漁獲多し、  
大盛んに、  
大平洋に、  
し、處も漁獲多し

伊豫、小富士あり、近海は島嶼點在



し、漁業盛んなれば、毎朝此の島に魚市あり。  
松山の北東に突出する半島の邊は氣候溫暖にして、且つ雨

少ければ、鹽業盛んなり、今治町は其の市場なり。今治の南東、石槌山聳ゆ、海拔七千尺、四國第一の高山なり、山の北なる市、川鑛山は、アンチモニーの産額世界第一なり、市川の南東、別子銅山は我國第二なる銅の産額あり。

松山の南西、肱川の灌域は、暖和にして、紙蠟及び藍を産す、大洲町は其の中心市場なり。大洲の南海岸は出入多く、島嶼點在し、大平洋と通じて暖潮來り、鱚、鯉及び鯛多し、宇和島町は其の中心市場なり、本州及び九州と定期航海汽船あり。

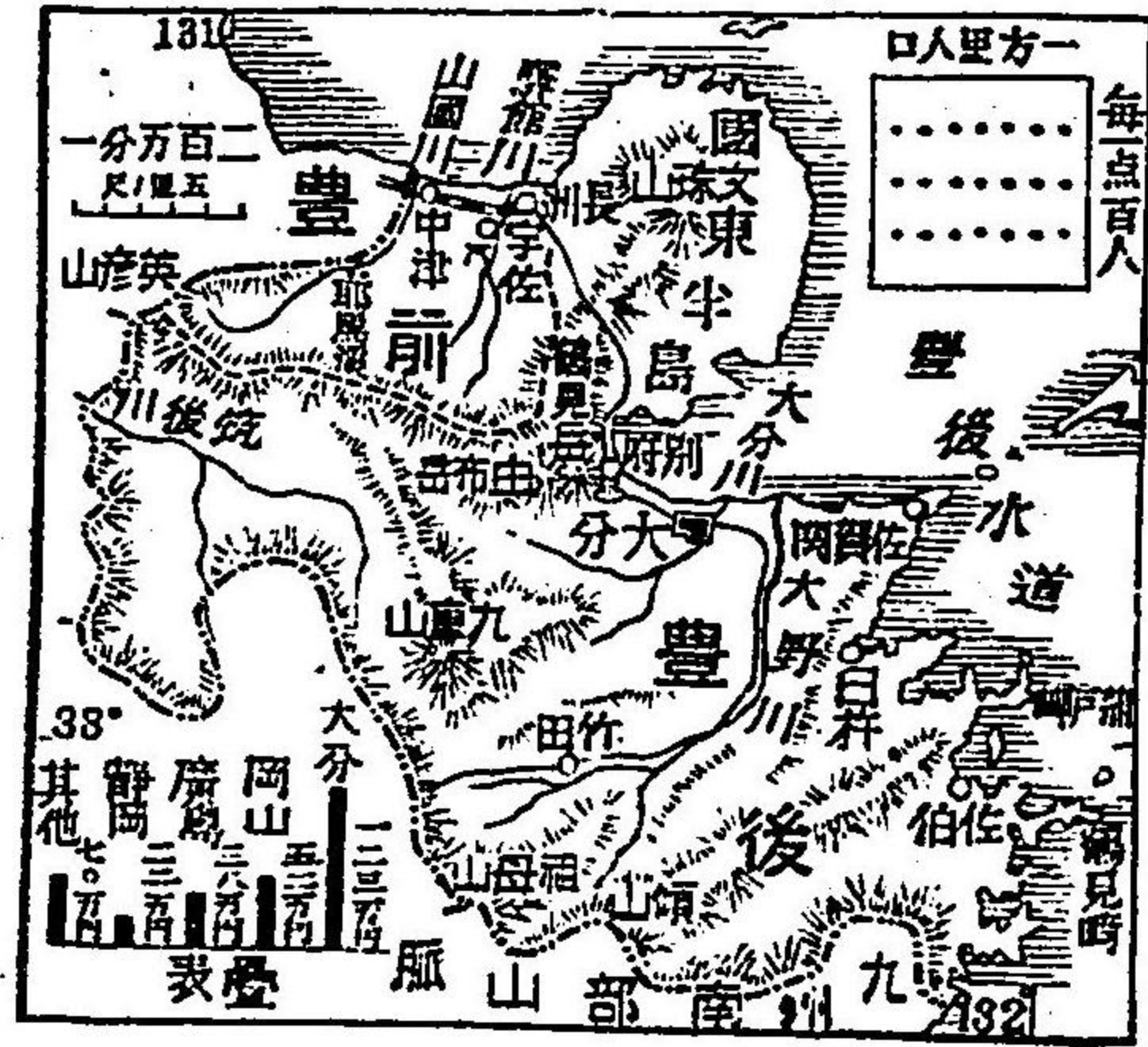
宇和島の北西に長く突出するは佐田岬にして、岬は速吸海峽を隔て、九州の大分縣に對す。

### 一、大分縣

縣の海岸の略、中央にある平地は、地味肥沃、水

### 第九節 九州

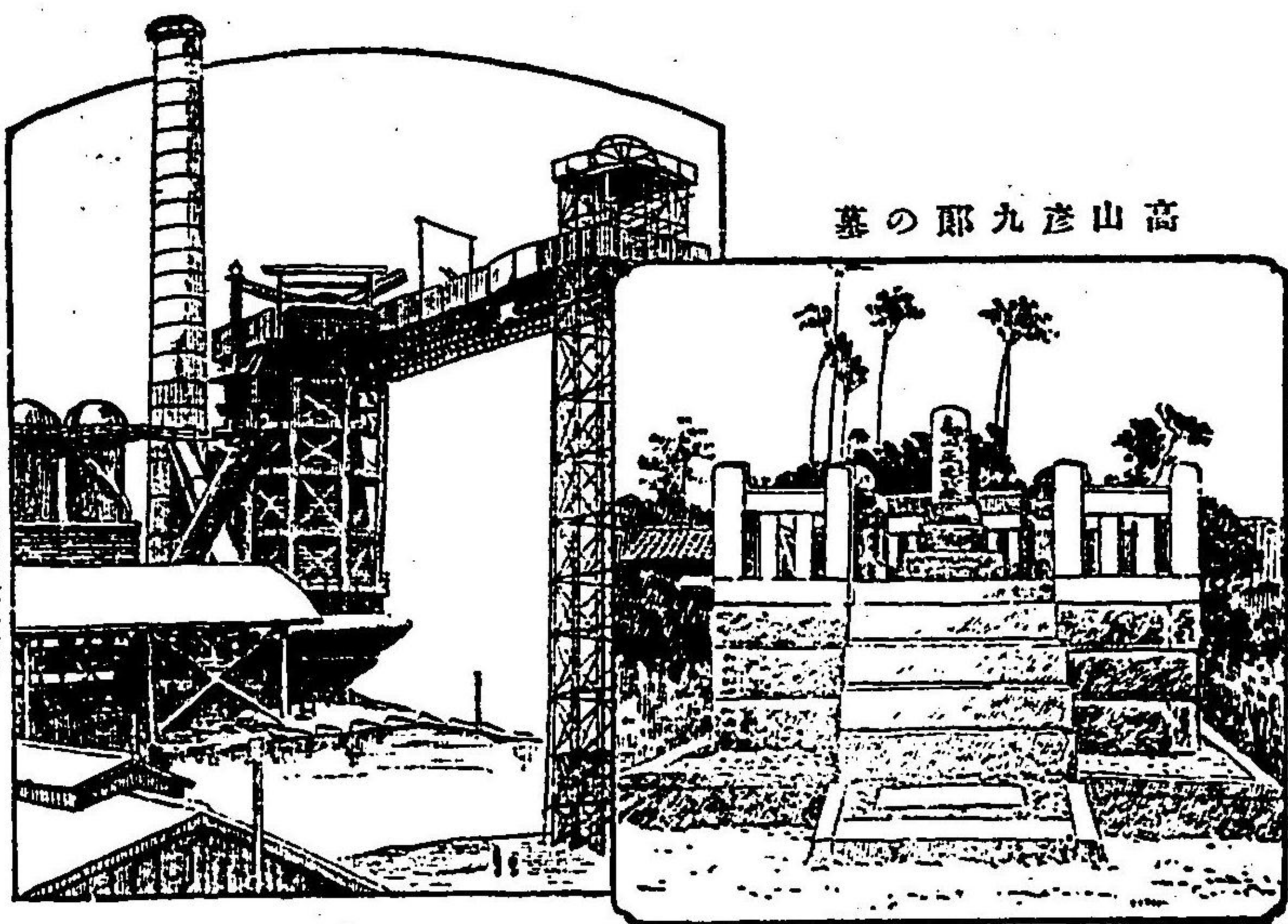
大分縣は豊前、豊後、國及、全部を管す、全體に山多し、全體に温泉あり、富み、平原は多く、し、平原は多く、豊前、豊後、國及、全部を管す、全體に山多し、全體に温泉あり、富み、平原は多く、し、平原は多く、



陸交通の便多し、大分町此處にありて縣廳あり、戰國の頃、大友氏の城下にして、西洋船の初めて我國に渡來したる處なり。大分の東南は海岸出入多く、大平洋と通じて黒潮來り、鱚、鯛及び鰯の漁獲多く、其の市場に臼杵町及び佐伯町あり。大分の北西、宇佐町の八幡宮は、和氣清麿の事蹟を以て名高し。縣下には阿蘇火山脈通過して、祖母山の如き海拔六千尺、九州第一の高山あり、その他九重山、鶴見岳及び豊後富士の名ある山あり。かく地火熱盛んなれば、山はアルミニウム等の鑛物



筑豊炭田



太宰府の東、遠賀川源を發し、河の谿谷は我國第一の石炭産地にして、石炭は谿谷に敷ける鐵道にて北下し、終點なる北岸の若松港及び開港場なる門司市より四方に輸出するを以て、若松及び門司は人口の増加速かなり、又此の如き便利あれば、若松の傍に我國第一の製鐵場あり。若松の東、小倉市に歩兵第十二旅團司令部あり、小倉織を産

若松製鐵所 (第一燒鐵爐吹始)

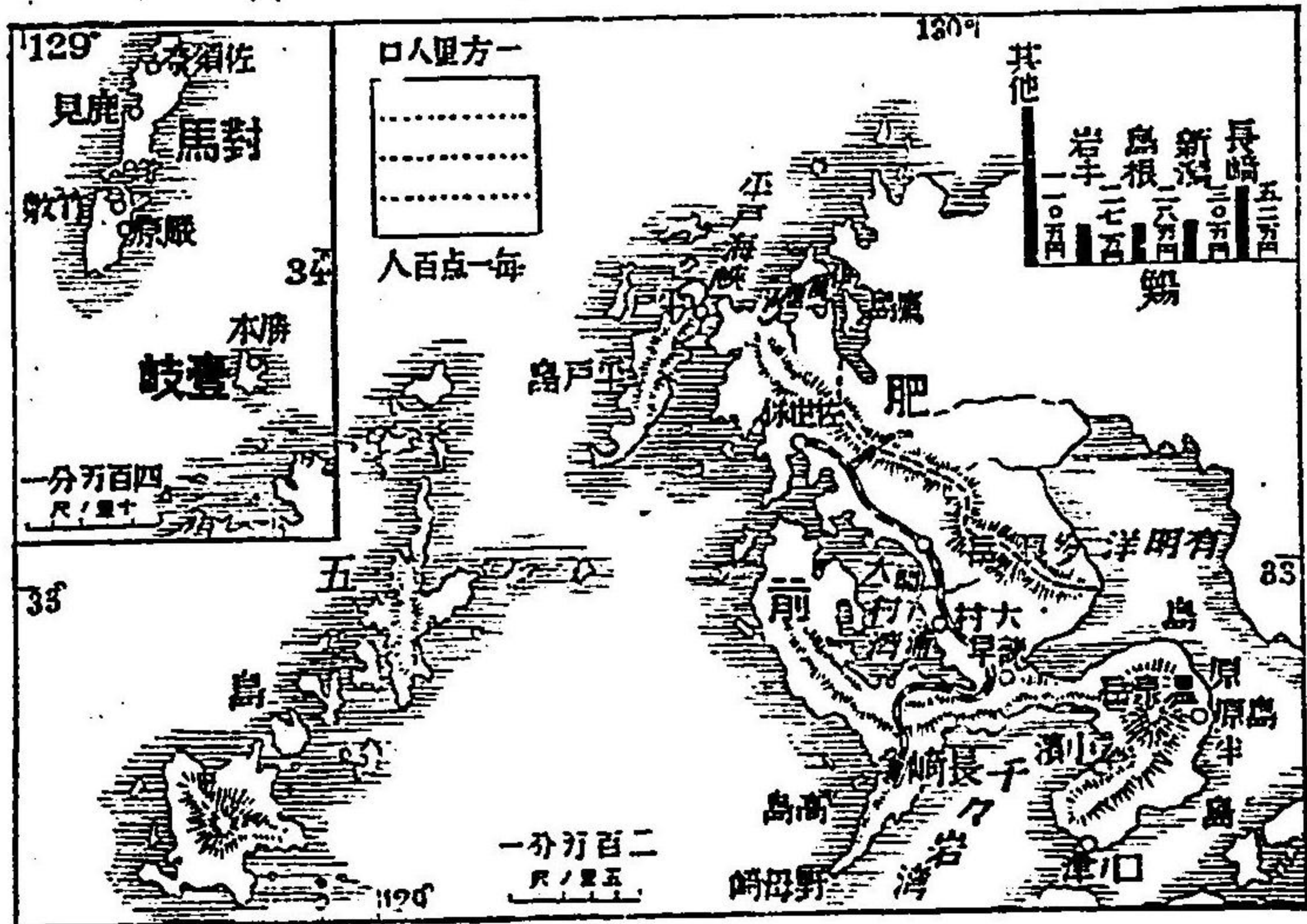
高山彦九郎の墓

す。門司は河の如き一水を隔て、本州の南端なる下關と相對し、瀬戸内海の口を扼するを以て、要塞の設けあり。

太宰府の南、筑後に入れば九州第一の平原なる筑後川の灌域開き、多く米を産す、河は九州第一の大河にして舟運の便あり、灌域の中央に久留米市あり、歩兵第二十四旅團司令部あり、高山彦九郎の墓あり、久留米緋を産す、其の南、鐵道に沿へる三池炭山は我國第一の産額あり、此の石炭は鐵道に依り南下して熊本縣の三角港より輸出す。久留米の南西、柳川町あり、其の西に筑後川の口ありて、河西は佐賀縣に屬す。

**三、佐賀縣** 縣の南東、海に沿ひて平坦肥沃なる筑後川の灌域開け、氣候暖和なれば、肥前米なる良米を産す、佐賀市は其の市場にして縣廳あり、鍋島氏の舊城下なり。

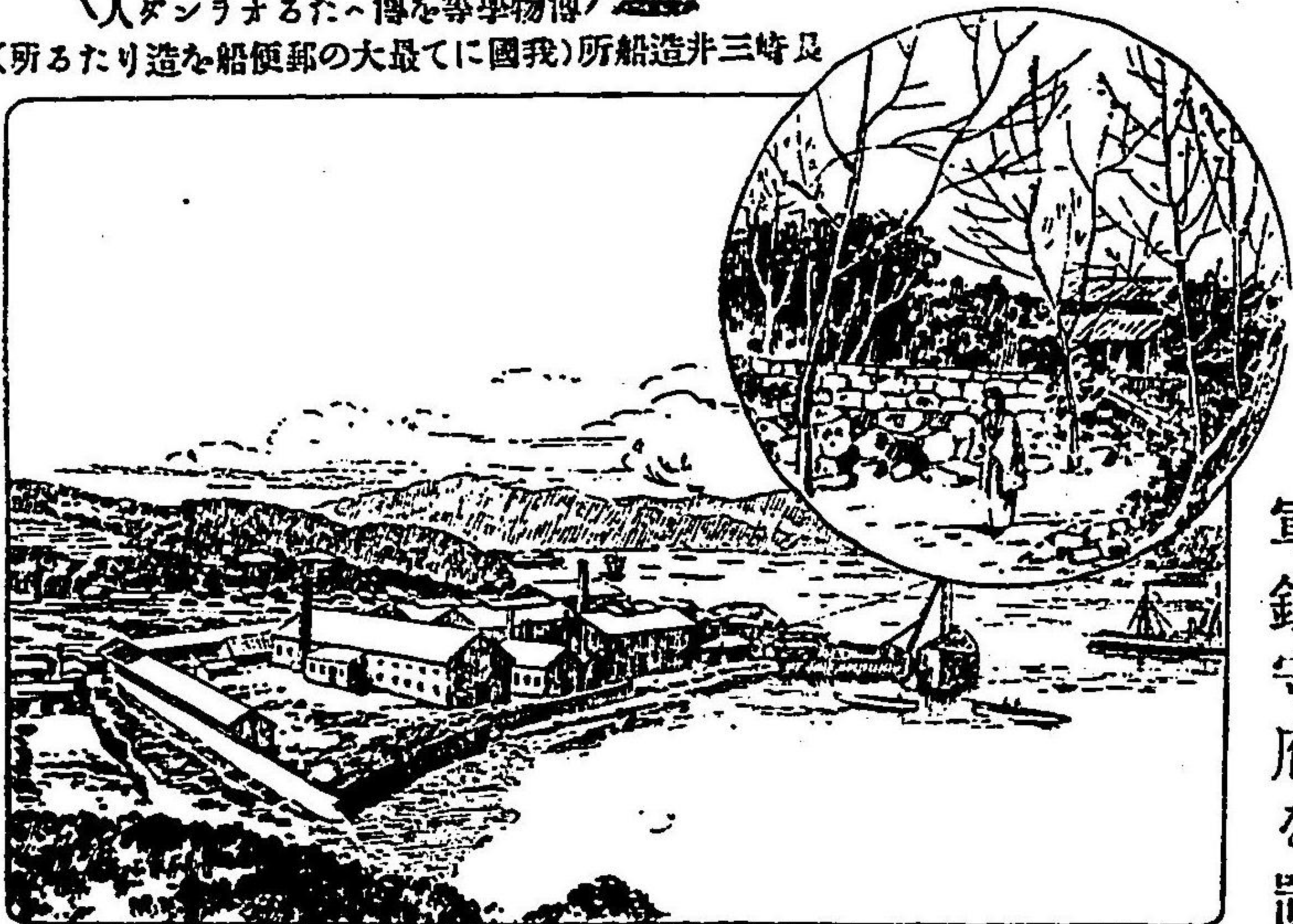




沿ひ北西行せば、海岸の出入殊に多き處に佐世保町あり、海

たる唐木細工等の製作物多く、  
又烟草に名あり。長崎灣外の  
高島に石炭坑あり、其他石炭の  
産所多く、この石炭は長崎及び  
島原半島なる口津の開港場よ  
り輸出す。口津の後に煙を噴  
くは温泉嶽にして、西麓に温泉  
あり、東麓の島原町は天主教徒  
の亂を以て知らる。長崎の北  
東、大村灣頭の大村町に歩兵第  
二十三旅團司令部あり。灣に

長崎鳴瀬博士先邸宅當時の景 (學理地術醫に本日はドルボイシ)  
傳を等學物博 (人ダンラオるたへ傳を等學物博)  
及崎三井造船所(我國に最大の郵便船を造る所)



軍鎮守府を置く。更に北西行すれば、河の

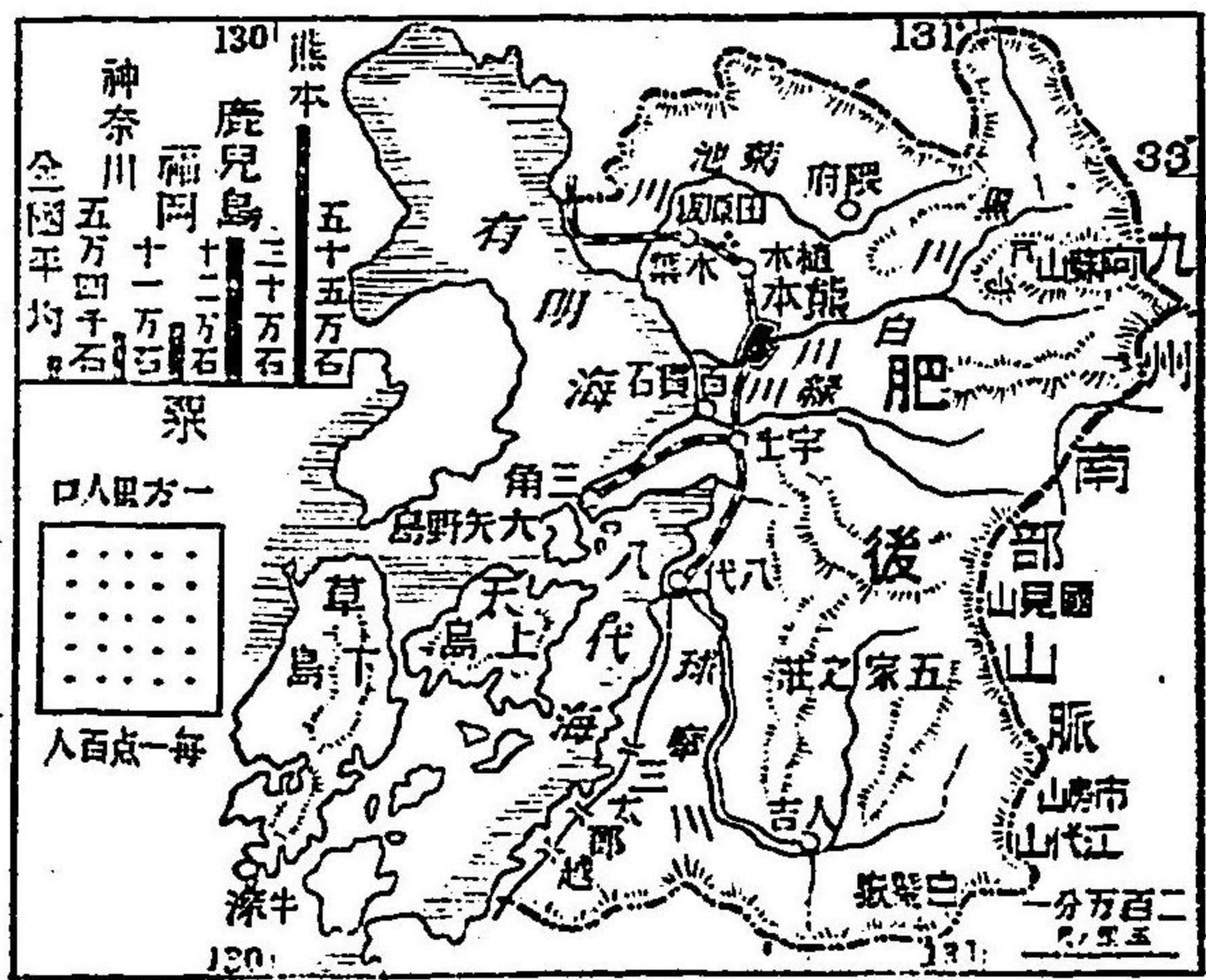
如き海峡を隔て、平戸島あり、  
り、海峡の西岸に平戸町あり、  
昔時支那人及び西洋人の來  
商せし處なり。其の南西、五  
個の島より成る五島列島あ  
り、又北に海を隔て、壹岐及  
び對馬あり。五島は海岸出  
入し、島嶼點在し、黒潮流るれ  
ば、海産多く、五島鯨及び五島  
鰯の名高し。對馬は朝鮮海  
峽を扼し、海岸多く出入して

天然の船渠を作れば、中部の竹敷は海軍要港となる。竹敷の南に島廳所在地たる嚴原町あり、西岸の鹿見佐須奈よりは朝鮮の山を望むべく、嚴原と共に開港場となり、朝鮮と貿易を行ふ。長崎の南東に天草島あり、島は熊本縣に屬す。

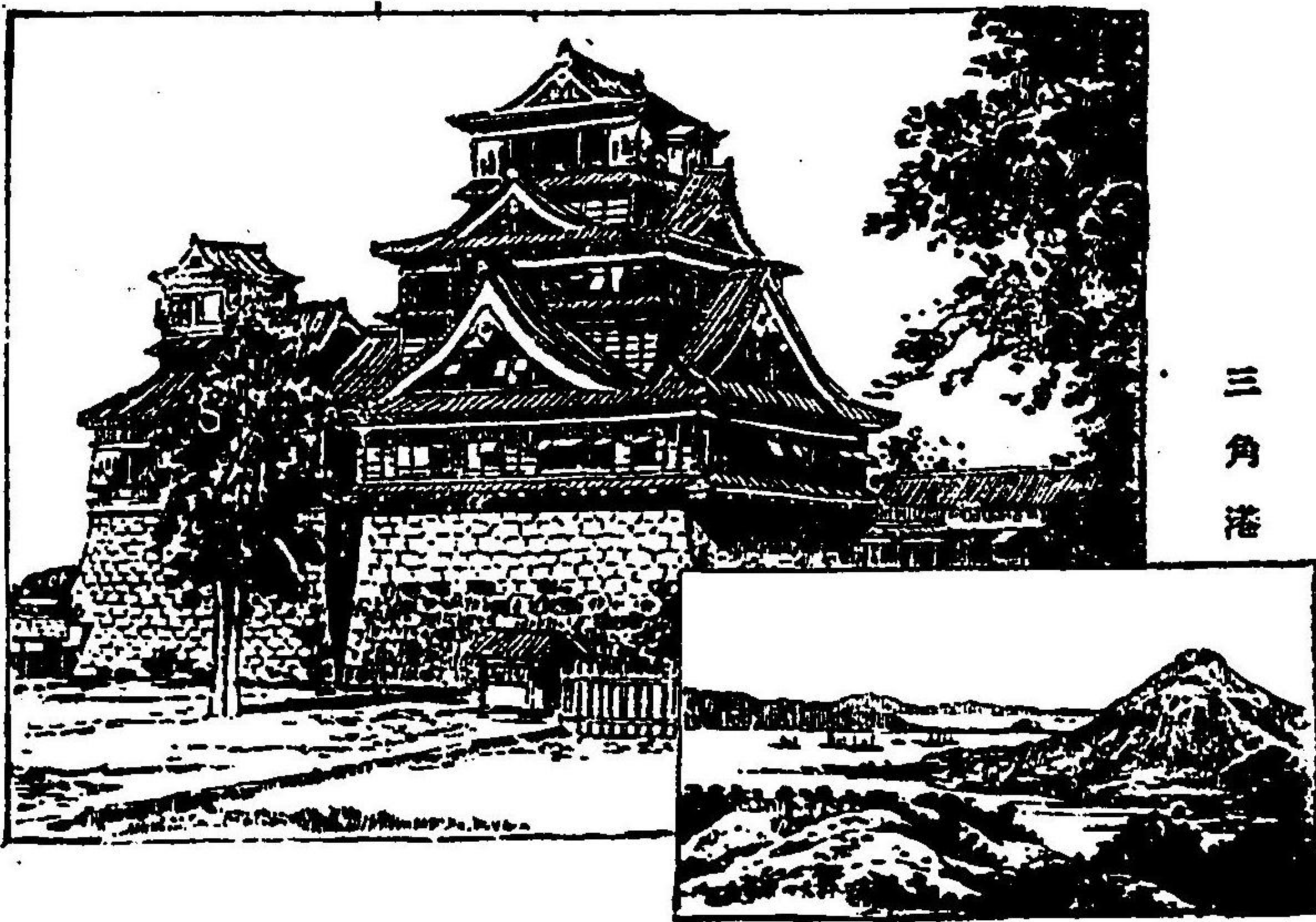
**五、熊本縣** 九州西岸の中部に海に沿ひて平原あり、河縦横に流れ、水利の便多く、肥沃にして氣候暖和なれば、肥後米なる良米を産す、熊本市此處にありて、要害の地なれば、加藤清正此處に城を築き、後細川氏の居城となり、現に第六師團司令部あり、市に縣廳及び第五高等學校あり、近郊に清正を葬れる本妙寺あり。熊本を流る、白河の口に百貫石港あり。熊本の北西に西南の戦役に有名なる植木、田原坂、木葉あり。植木の北東、菊池川灌域の上部は、良米を産し、隈府は

熊本縣は肥後、  
全國を管す、  
山多しと雖、  
も、海岸には、  
平原連り、農  
産多く、栗の  
取種は我國第  
一なり、海峽  
及び島嶼には  
海産物多し

其の中心市場なり、菊池氏を



熊本城



三角港

祀れる菊池神社あり。白川は源を阿蘇山に發す、山は有



は三角に近き海上にありて、無烟炭を産す。

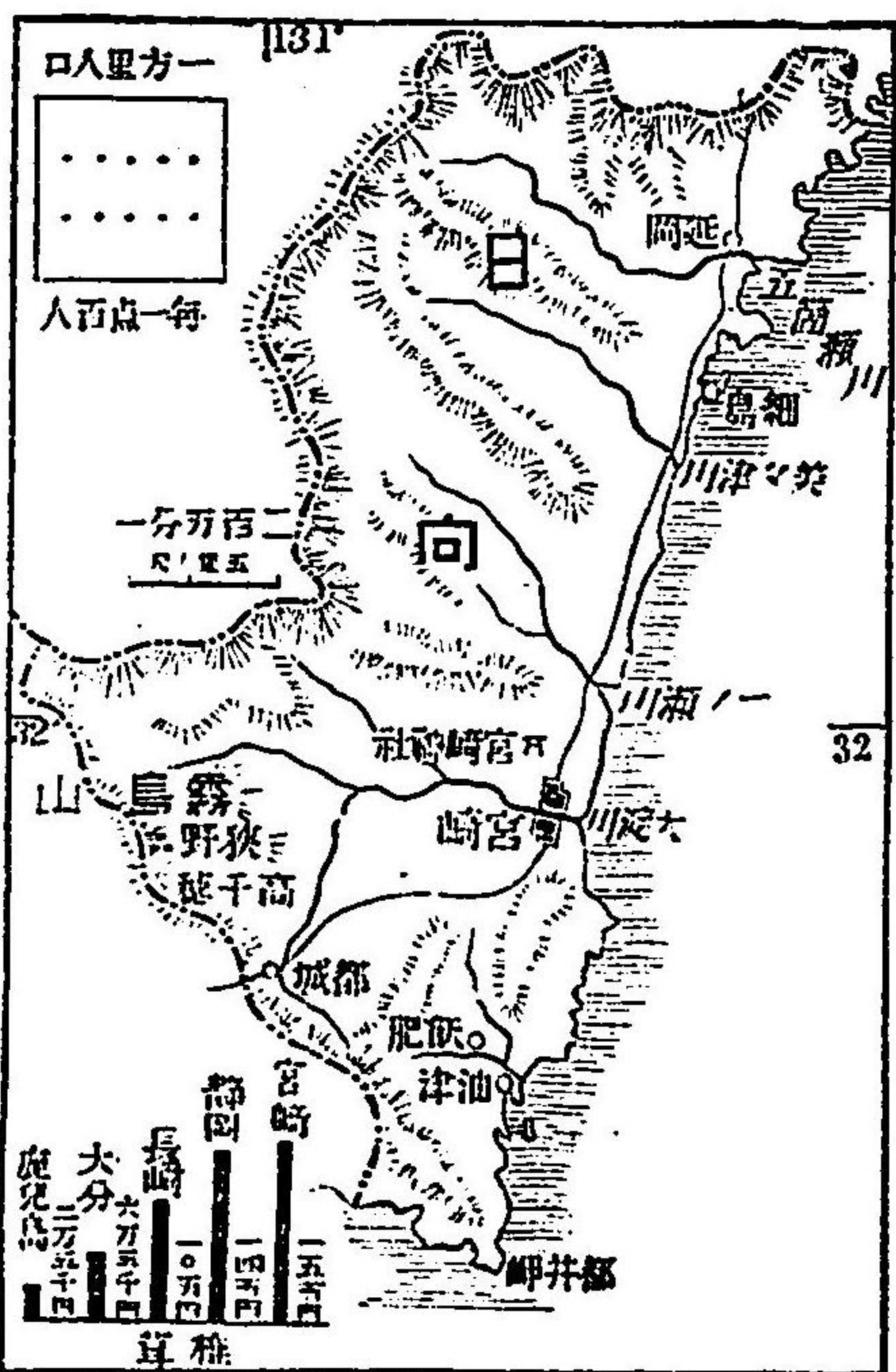
南部に球摩川流れ、上流なる平原の市場に人吉町あり、河は日本三急流の一にして人吉より河口の八代町まで舟を通ず。八代の八代神社は征西將軍懷良親王を祀る。球摩川は有名なる五箇莊より源を發す、五箇莊の東は宮崎縣なり。

六、宮崎縣

九州の東海岸、黒潮流れ、氣候殊に暖和なる處

五箇莊は深山  
幽谷中にあり  
て平地の遺り  
族の隠れ住み  
し處

宮崎縣は日向  
一帯に平野あり  
沿岸に潮氣は暖  
和にして糖を産  
續て黒潮の流る  
和氣の産物多く  
煙草の産地なり  
且山多し、霧島  
山は最高峰なり  
温帯の氣候あり  
多量の森林あり  
産物も豊富なり  
に於ては、日向  
第一の産地なり



に大淀川流れ、東岸第一の平原を開く、神武天皇其の下部に宮居し給ひ、縣廳所在地たる宮崎町此處にあり。此の平原は砂糖を産し、又其の上部よりは茶を産し、四周よりは多く

椎茸を産す、都城町は其の中心市場なり。都城の北西、火山なる霧島連山、聳ゆる、東霧島山の中に高千穂峯あり。宮崎の北に佐土原及び高鍋の

名邑あり。高鍋の北、細島は縣下第一の良港なり。細島の北、舟楫の便ある五箇瀬川の口に當り、灌漑の便多き平原開きて、延岡町あり。五箇瀬川の上流には太古の石器、鐵器等





坊津は唐港  
と呼び、筑前  
と博多、伊勢  
博多津、并勢  
安濃津と并勢  
一我三津のび

第五 第

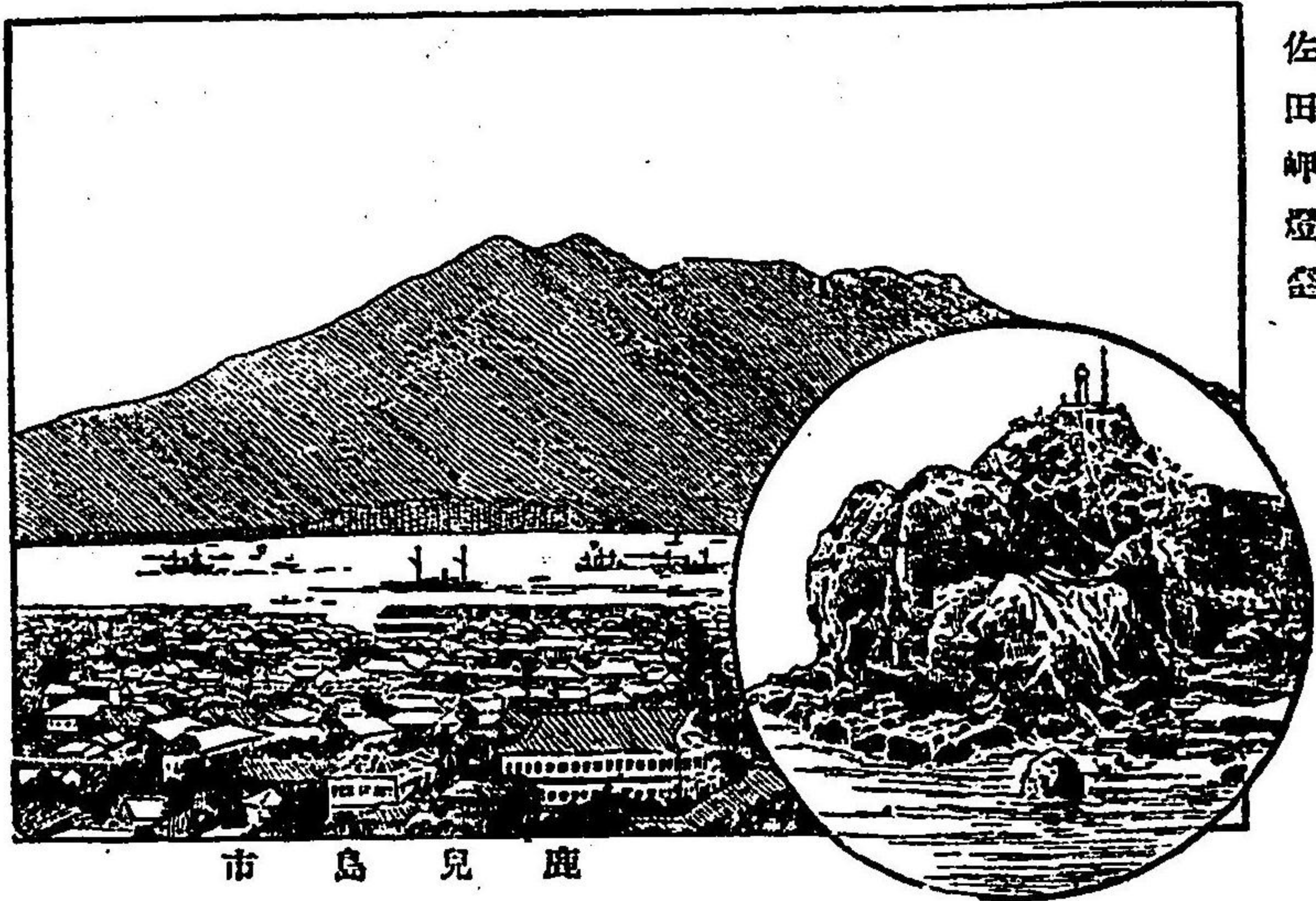
佐田岬燈臺

日本帝國地方誌

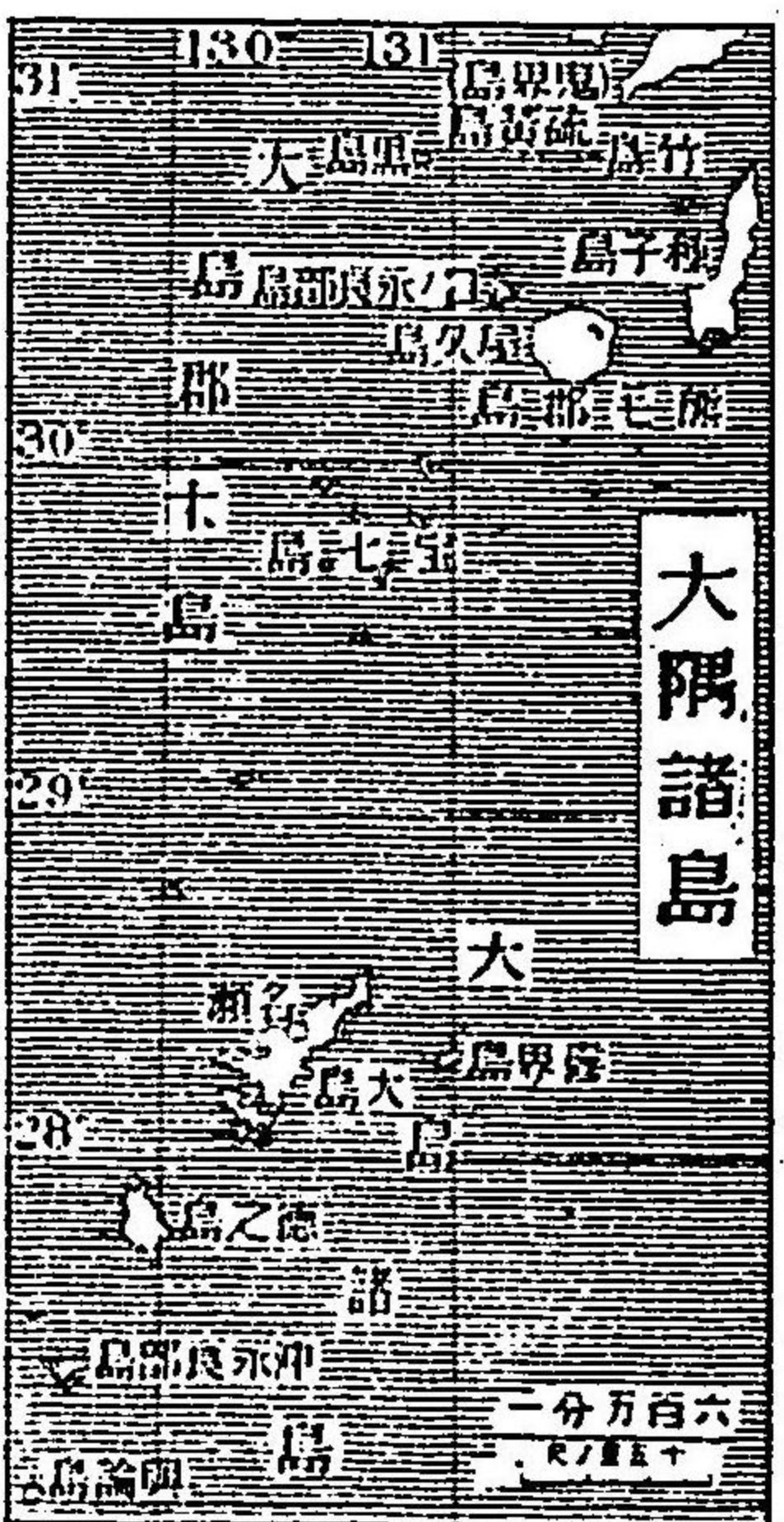
九州

鹿兒島縣

一七二



東に舊火口なる山川港あり、其の北なる池田湖は、火山作用に依りて成り、近傍には温泉多し、嶽西に坊津港あり、南洋に向ひて開き、昔時唐船及び西洋船の來商せし處なり。  
縣の北西、川内川の平原開け、米、牛及び馬を産す。河口より當面の海上に見ゆるは、甌島諸島にして、島には漁産多し。  
鹿兒島より灣に沿ひて北すれば、大隅に入る。灣の北端に平



原連り、中心市場に加治木あり、平原の東部は國府にして、海風を受け暖濕なれば、良質の烟草を産す、國府の鹿兒島神社は彦火火出見尊を祀る。國府より灣に沿ひて大隅半島の南端佐田岬に至れば、暗礁多く、潮流急にして、海霧多ければ、燈臺を設く。佐田岬の南に霧島火山脈の海中に噴起せし島嶼羅列す、其の大なるものを種子島、屋久島及び大島とす。種子島は細長くして平坦に、屋久島は圓くして全島一嶽を以て成り、大島は海岸殊に出入多く、種子島は鐵砲の傳來を以て、屋久島は屋久杉を以て、大島は黒砂糖と名瀬の良灣を以て世に知らる。大島の南は沖繩縣なり。

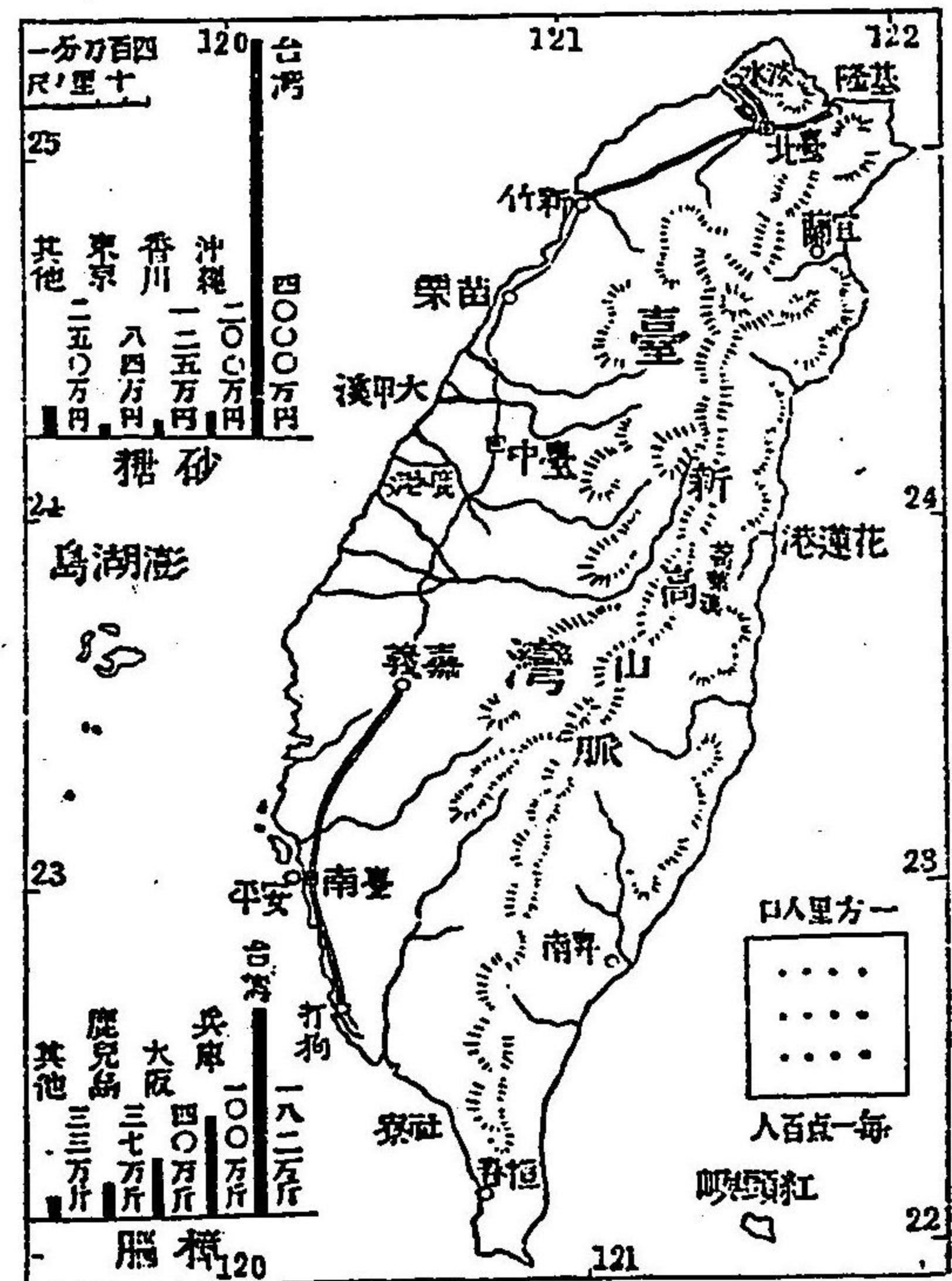


東經百二十度  
の正午を以て  
西部標準時と  
なす、百二十  
度は臺灣と澎  
湖島の中間  
にあり

臺灣は我國の  
南海に横は  
る大島に略  
て面積は略  
九州と同じ  
く、西は近  
清國、福建  
對の、日清  
役の、結果  
國の支那よ  
り得たるもの  
す、故に支那  
人最も多く  
蕃人(熟蕃及  
ひ生蕃)八萬  
内地人三萬人  
あり、全島を  
二十廳に分

ち、臺灣總督  
府、これを統治  
す、南部は既  
に熱帯に属す  
り、全島暖熱  
にして、海岸  
には雪を見  
ず、性は植物  
樟腦、砂糖、  
樟腦、砂糖、  
及多熱帯果  
米及び甘藷  
に一年二回の  
收穫あり、石  
砂金は、炭、  
臺北地方は臺  
北、基隆、臺  
坑、新竹の五  
にび分つ

最も大にして先島群島中、石垣島及び西表島は大なり、石垣島には多く石炭を産す。先島諸島の極西なる與那國島よりは臺灣の煙火を望むべく、先島諸島の時刻は臺灣と同じく西部標準時を用ふ。



二、臺灣 臺灣は臺灣島及び澎湖島より成る。臺灣島は南北に長く、東西に短く、臺北、臺中、臺南、臺東及び宜蘭に



大別す。

(臺北) 臺灣の北部、氣候溫暖なる處に平原あり、其の北西と北東とは海に通じて、島中の二要港たる基隆及び淡水あり、

かく海運の便多きが上に、島中第一の大河た淡水河系は此の平原を縦横し、河運灌漑の便ありて、米及び茶の産額多く、四近の山は樟樹繁生して樟腦の産多し、二港間の中央に當りて、淡水河の二大支流合する所に臺北あり、市街は城内、艋舺(舊街)、大稻埕(新界)の三部に分れ、城内には臺灣總督府、覆審法院、臺灣守備混



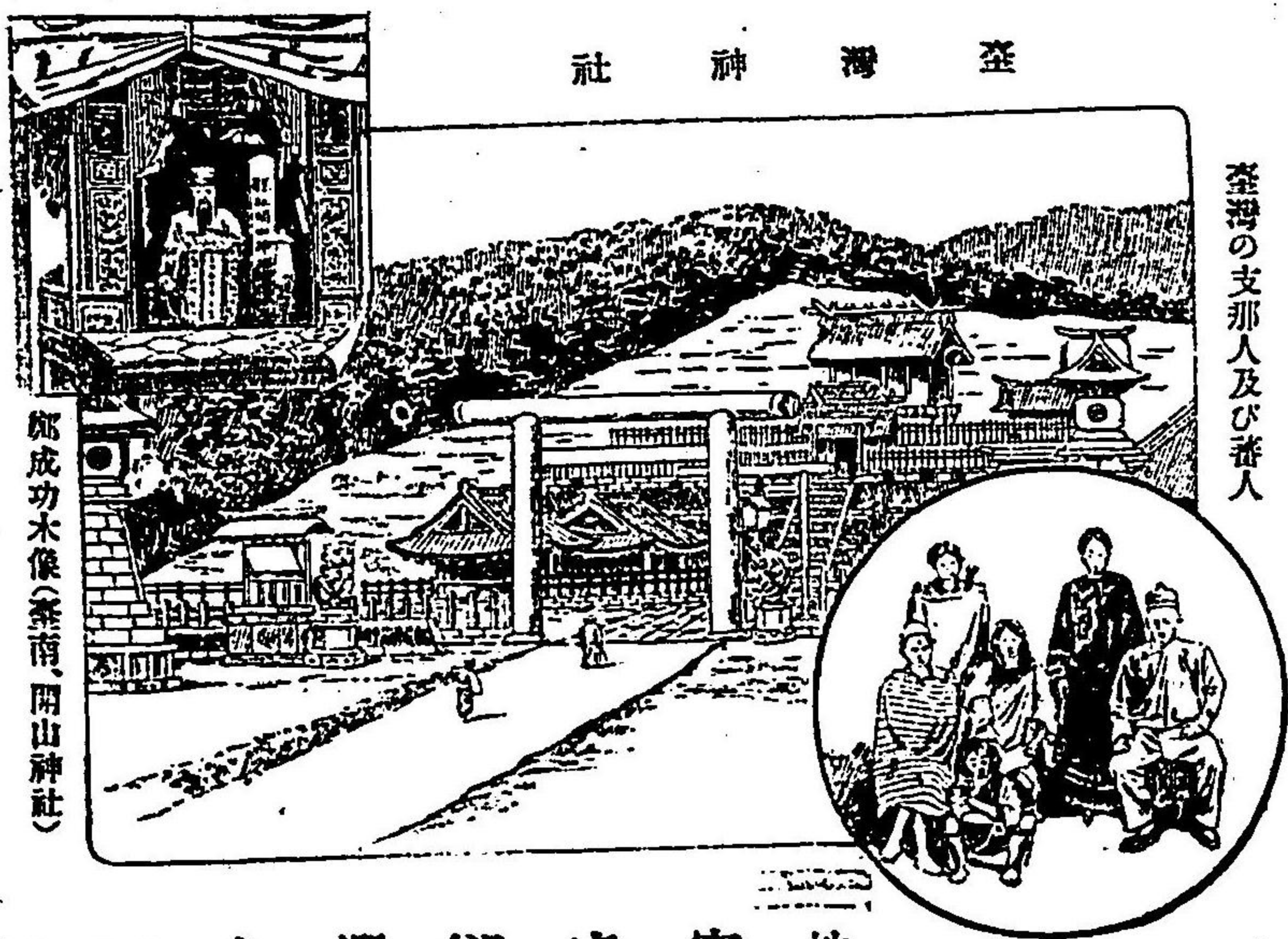
成第一旅團司令部等あり、大稻埕には茶の取引盛んなり。基隆は臺北の門戸にして、要塞の設けあり、又内地に對する

北白川宮

國性爺の慨然  
劍を潭水に投  
げし處、故に  
劍潭川の名あり

臺灣中社

臺灣神社



鄭成功木像(臺南、開山神社)

臺灣の支那人及び番人

臺灣の門戸となり、石炭を輸出し、開港場たり、其の背部に聳ゆる三貂嶺は、明治二十八年近衛師團上陸の地にして、能久親王が草鞋を穿ちて險難を跋渉し給ひし處なり。臺北の北、明の忠臣鄭成功が舊蹟にして、眺望壯潤なる處に臺灣神社あり、能久親王の英魂を奉祀す。祠下の水は淡水河に注ぎ、淡水河は幅廣くして小蒸汽船を

臺中地方は苗  
粟、臺中、彰  
化、南投及び  
斗六の五廳に  
分つ

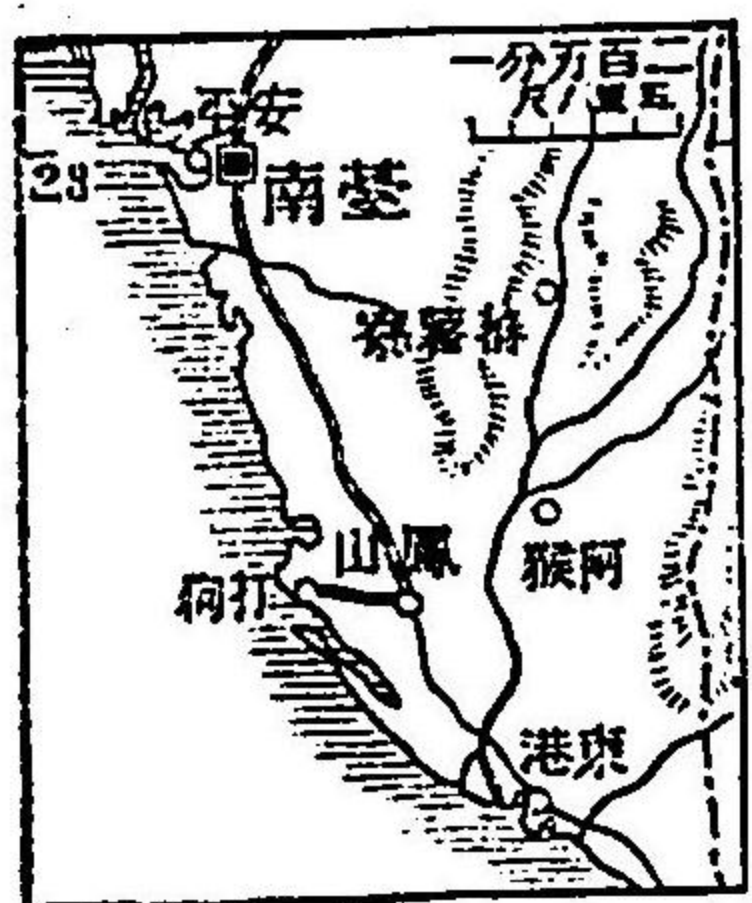
臺南地方は嘉  
義、鹽水港、臺  
南、番寮、鳳  
山、阿猴、恒春  
の七廳に分つ

通じ、且つ河に沿ひて臺北より河口の淡水港まで鐵道あり、港は淺けれども支那に對して貿易の衝に當り、臺北平原の物産なる茶、樟腦及び石炭を輸出し、臺北地方第一の開港場となり、支那の福州(福建省)まで海底電線を通ず。臺北より南西行すれば新竹まで鐵道あり。

(臺中) 新竹より南は西海岸にして、臺中地方と稱へ、輕便鐵道を通ず、略中部に大甲溪の灌域あり、背部の諸山は樟腦を産出し、灌域の上部なる臺中に混成旅團司令部あり、其の西に彰化の名邑あり、彰化の西、鹿港は臺中地方の門戸にして、樟腦を輸出し、支那と最近の距離にあれば、支那船輻輳す。

(臺南) 輕便鐵道にて南し、嘉義に至れば普通の鐵道は南に延長し、臺南の平原開け來り、其の市場なる臺南は、鄭成功の

都を奠めなる處にして、混成第三旅團司令部あり、其の西に  
接續せる安平港は、臺南地方の門戸をなし、澎湖島と相對し、  
島まで海底電線を通じ、砂糖、樟腦及び米を輸出し、開港場と  
なる。普通の鐵道は愈南し、鳳山を経て打狗港に達す、打狗



は開港場の一なれども、港内狭く、水淺ければ貿易盛んならず。此邊は河多く、其の水  
源は島の中央なる新高山に發す、山は海拔  
一萬三千尺、我國第一の高山なり。鳳山の  
南東、社寮は明治七年、征臺軍の上陸點なり、其の南恒春は臺  
灣の南端に近く、我國にて平均温度の最も高き處なり。

臺東廳を置く

(臺東) 臺灣の南端、南岬を廻りて東海岸に出づれば、卑南大  
溪の平原開け、溪口は港となり、其の傍なる卑南新街に臺東

廳あり。四近に四十六蕃社あり、其の大社たる牡丹蕃は、明  
治七年、征臺軍の主として征伐せしものとす。北に荖萊溪  
あり、溪口に花蓮港あり。卑南及び花蓮を除くの外、本部は  
所謂生蕃地にして、島中最も未開の地に屬す。

宜蘭廳を置く

(宜蘭地方) 臺東の北、即ち東海岸の北部を稱ふ、中央なる  
平原の市場、宜蘭に支廳あり、其の南、蘇澳は臺灣の東岸唯一  
の錨地なり。本部は水陸の交通稍便利なれば、熟蕃多し。

(澎湖諸島)

臺灣と支那大陸との間なる臺灣海峡は、東海、  
黃海及び日本諸島に入るの關門をなし、澎  
湖諸島は海峡の中央に位して鎖鑰となり、  
澎湖島と漁翁島とは一大灣を相抱き、水深  
く、風波穩かに、而かも近海は颶風多ければ、



オランダ人臺  
灣を占領する  
に當り、先づ  
此の島を取  
り、鄭成功も  
先づこれに據  
り、佛清の役、  
クールベール  
督もこれを占  
領し、明治二  
十八年の役、  
比志島支隊も

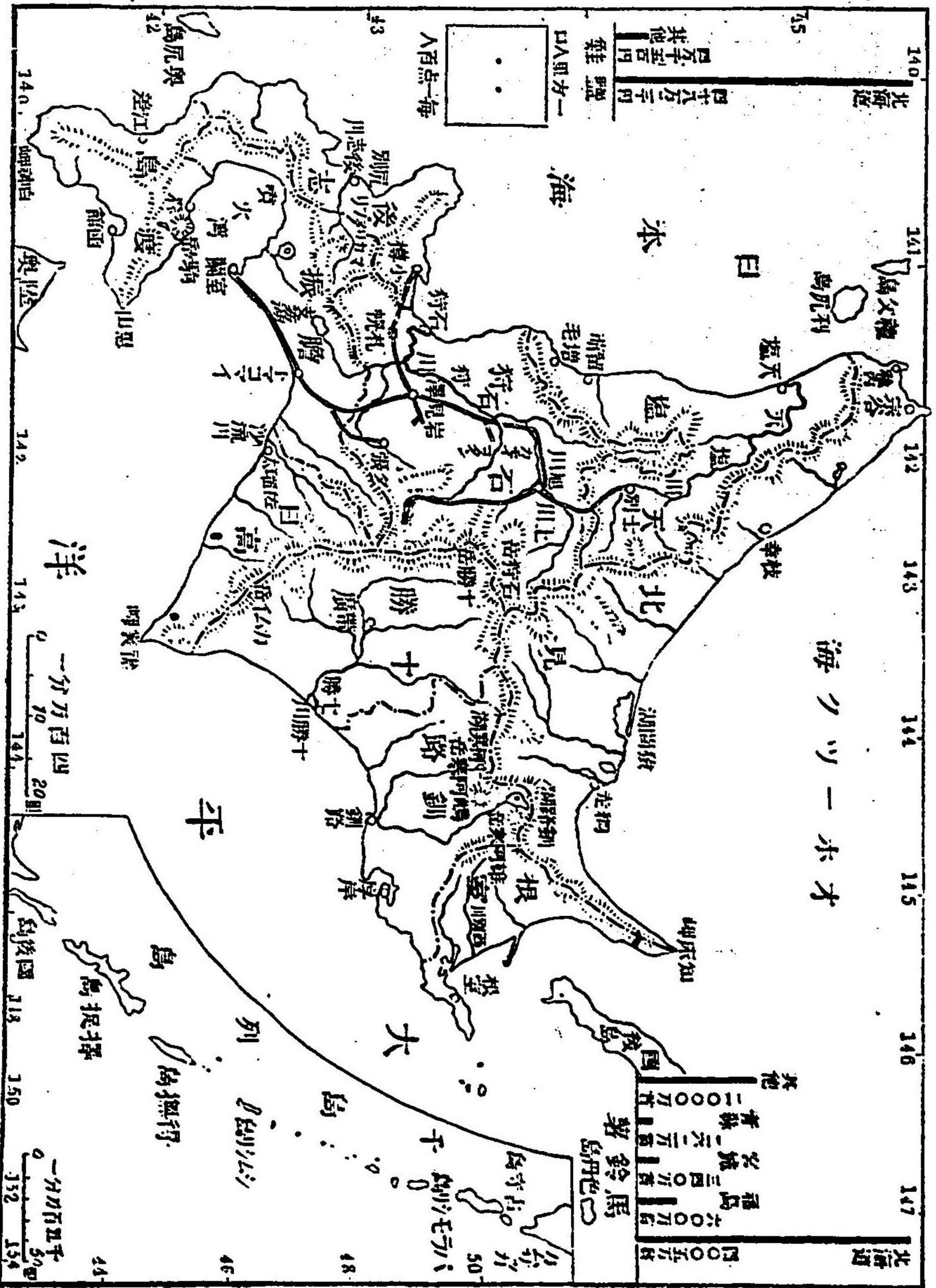


膽振國

有名なる伊達氏の開墾地は室蘭の北西にあり、室蘭小豆の主産地なり

日高國

り、右に登別及び樽前あり、各火山の秀色は眼前に落つ、噴火灣の稱ある所因なり、灣の東半よりは膽振國に屬す。噴火灣の入口を扼する良港の室蘭は、炭礦鐵道の起點なれば、石炭を輸出し、又四近の開墾地に産する農産物を輸出す、港内狭けれども、噴火灣の關門をなし、要害の地なれば、海軍鎮守府(未開廳)を置く、室蘭より愈、東すれば、日高國に入る。沙流川の下流は全島にてアイヌ人の最も多く住む處なり、然れども獨り此地のみならず、至る處アイヌ人は腦力の遲鈍なると惡疾との爲めに劣敗して愈、減少せり。沙流川の東、新冠川の灌域は、地廣く草肥え、改良種の馬を産し、御料牧馬場となる。此邊より以東の沿岸は寒流の感化を受け、多く昆布及び鱒を産す。沿岸を南東行すれば襟裳崎あり、北



日本帝國地方誌 北區 北海道本地



海道本地の南端(渡島を除く)にして、四近は暗礁と海霧多ければ燈臺を設く、崎を廻りて北すれば十勝國に入る。

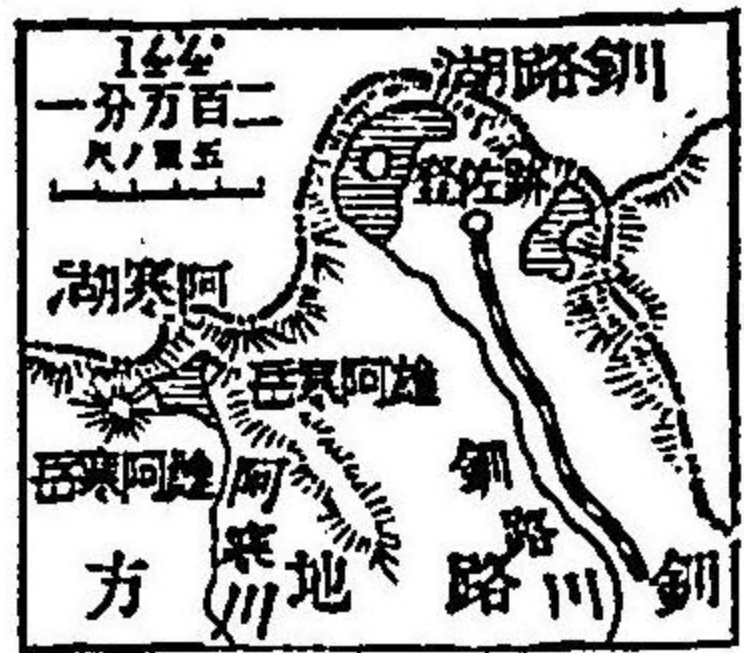
十勝國

河西支應は十勝全國を管す

所謂十勝平原を開き、近年移住民の戸口繁殖す、平原の中央に當り、大支流の南北より本川に入る邊に帶廣あり、河西支應所在地なり、北東行すれば釧路國に入る。

釧路國

釧路國の北には千島火山脈來り、跡佐登、雄阿寒岳及び雌阿



寒岳なる火山の間に火山作用より成れる三個の湖を開く、跡佐登は活火山にして、我國第一の産額ある硫黄坑あり、傍の湖より釧路川發し、此の硫黄は川に沿へる鐵道と河運とに依り河口

の釧路まで南下して輸出すれば、釧路は特別輸出港となり、

釧路支應は釧路全國を管す

根室國

根室支應は根室全國及び千島諸島(擇捉島を除く)を管す

又支應あり、釧路川は阿寒川の大支流を合せてV形をなし、灌域廣く、本道屈指の開墾地たる釧路原野を開く、釧路以東の海岸は寒潮流れ、北海道第一の昆布産地たり、厚岸は海より開ける湖岸にある錨泊地にして、湖内は牡蠣殊に多し、厚岸より海岸を東すれば根室國に入る。

根室平原は、十勝及び釧路平原より連続し、此等の平原のみにもヨーロッパ隨一の工業國たるベルギーの面積の半よりも廣し、亦以て北海道開墾の前途多望なるを知るべし。北海道本地の東端に根室港あり、前は千島諸島に臨み、背には花咲灣を控え、港内氷結の際は船舶花咲灣に碇泊し、地形便宜なれば、函館に次ぎ大平洋斜面第二の都會となり、根室支應あり。根室の西に西別川あり、西別鮭の本場にして、水

源に産卵場あり、西別以北の川はオホーツク海に入る。

北見國宗谷岬  
以西の一小片  
を除く  
北見國

網走支廳は北  
見國の大半  
(即ち北西の  
一部を除く)  
を管す

(オホーツク海斜面) 根室國の北半より北見國を包括す。北海道本地の北東端なる知床岬と北端なる宗谷岬との間は、オホーツク海に面し、風波強烈なれば、海岸に沙丘を作り、河流これに支へられて水を溜め、猿間湖等を開く、湖の四邊はオホーツク海斜面第一の平原にして、其の東なる網走は、同海岸隨一の港なり、大平洋斜面よりの道路と日本海斜面よりの道路とは此處に相會し、網走支廳あり、此邊は寒冷にして蒸發少ければ、我國にて雨量最も少し。猿間湖の北西、枝幸の近傍には、近年多く沙金を發見せり、其の北西に突出するは宗谷岬にして、岬以南は日本海斜面に屬す。

(日本海斜面) 宗谷岬は十里の海峡を距て、ロシア領樺

稚内支廳は北  
見國の北西部  
と利尻、禮文  
の二島を管す

天鹽國

増毛支廳は天  
鹽全國を管す

石狩國

ドイツ人のラ  
イン河を「父  
ライン」と呼  
ぶが如し

太島と相對し、海峡は、鯨及び海鼠に富み、稚内は其の市場にして、稚内支廳あり、稚内の西南海上に聳ゆるは北見富士の稱ある利尻島なり、其の傍に禮文島あり、鯨、鱈、昆布及び海鼠多く、寶島の稱あり。稚内より南すれば天鹽國に入る。天鹽川は北海道第二の大河にして、屈曲多ければ、流勢緩くして舟行に便利に、灌域廣く、有望の開墾地なり、鮭及び鱈の産多く、河口の天鹽より輸出す。河口より南行するに隨ひ、鯨及び鱈の漁業愈多く、留萌及び増毛の二港よりこれを輸出し、増毛に増毛支廳あり、南行すれば石狩國に入る。石狩川は長サ百十里、我國第一の長河にして、北海道にては父川と呼び、天鹽川を母川と稱ふ、石狩川は鮭を産すること我國第一にして、中流以下には小蒸汽船を通ず、又屈曲多く、

關東平原、新瀉平原、石狩平原

上川地方

上川支廳は石狩川及び天鹽川兩流域の上部を管す



して、北は天鹽平原に入り、南は十勝平原に入る交叉點に旭川あり、上川平原の市場にして、上川支廳あり。神威古潭以下、江別川の合流點までを石狩川流域の中部と

空知支廳は石狩川の中部(石狩國)を管す

札幌支廳は石狩川の下部(札幌國を除く)を管す



なす。幌内は我國屈指の炭山にして、日本海斜面及び大平洋斜面の港まで鐵道を通じて石炭を輸送す、炭山よりの鐵道と兩斜面よりの鐵道と上川地方への鐵道と相交叉する處に岩見澤あり、開墾地の中心市場にして空知支廳あり。江別川の合流點以下は、石狩川流域の下部にして、北海道拓殖の主腦たり、大支流豊平川の所在は、地廣く土肥え、水利に便なり、札幌此處にありて、北海道廳、札幌支廳、第七師團司令部、札幌農學校等あり、街衢の井然たるは京都に優り、新氣象あるはアメリカの新開地に似たり、四

後志國

近は麻、麥及び甜菜を栽培し、麻布、麥酒及び砂糖を産す。

石狩川灌漑域及び炭山地方より來る鐵道の終點に當りて、日

本海に突出するは

高島岬なり、岬の下、

風を遮ぎり、水深く、

鯨及び鱈の群來す

る處に小樽港あり、

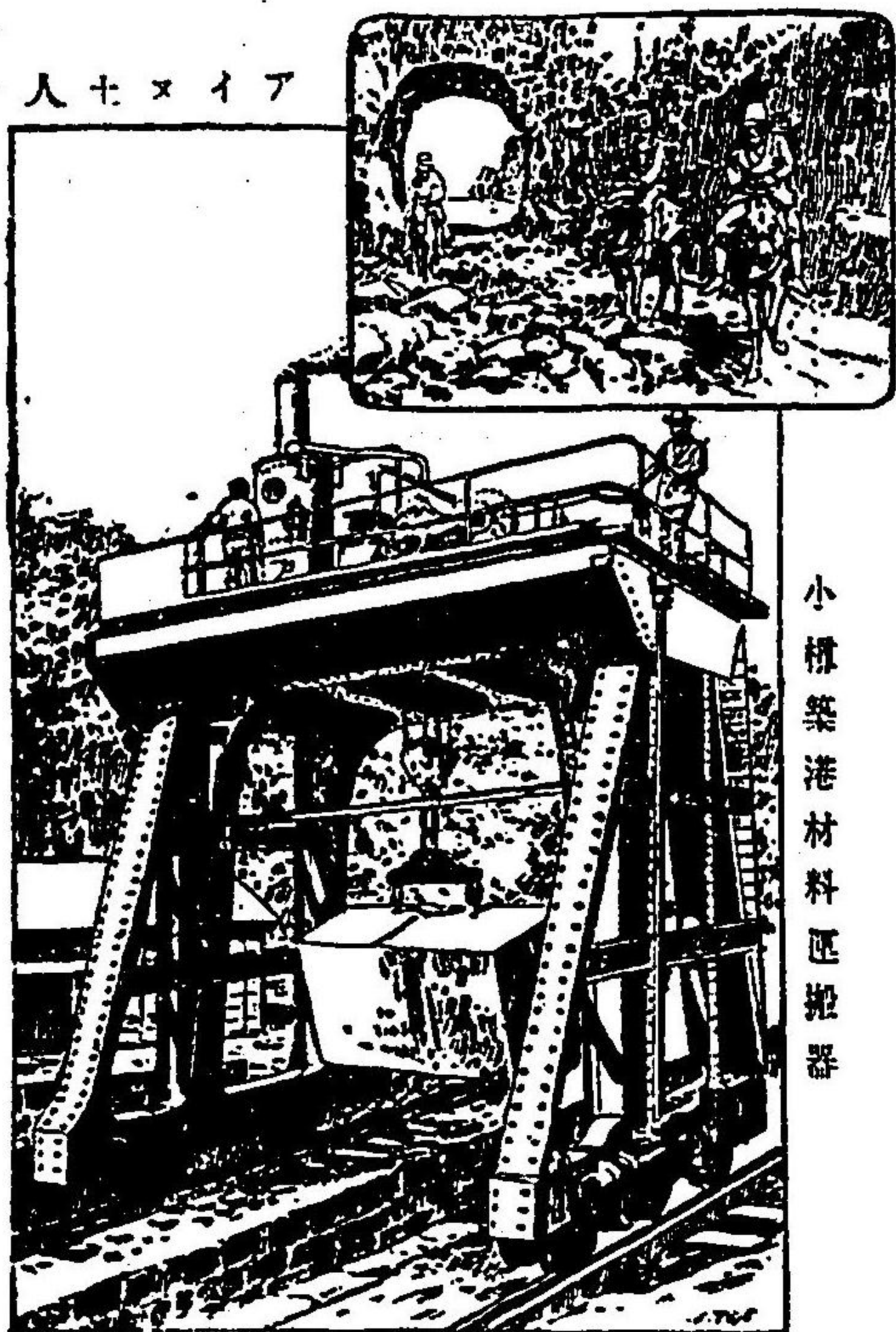
石狩平原の門戸を

なし、石炭、農産物及

び海産物を輸出し、

函館に次ぐ開港場となり、小樽支廳あり、高島岬以西、積丹岬

の間は鯨漁盛んなり。



小樽築港材料運搬器

人十×イア

小樽支廳は後志國の北部(小樽區を除く)を管す  
岩内支廳は後志國の北西部を管す

檜山支廳は渡島國の一部及び後志國の南部を管す

福山支廳は渡島國の南西部を管す

第五章

積丹岬以南は山連り、石炭及び硫黃を産し、硫黃山及び石炭山の間は平野にして、開墾地多く、海岸まで開き來り、海岸は、鯨及び鱈漁盛んなり、岩内港此處にありて、岩内支廳あり。岩内より南すれば、後志川の灌漑域、更に南すれば、鯨及び鱈の群來する一港灣あり、壽都は灣上にありて支廳あり。壽都より西すれば、奥尻島を望み、更に西すれば、鯨及び昆布の産多く、其の中心市場なる江差に檜山支廳あり。

江差より南すれば、北海道本地の南端、白神岬に達す、岬は本州と最も近く相對す、其の傍なる福山は蝦夷を靖定せし、松前氏の舊居城、即ち北海道の舊首都にして、福山支廳あり。

二、千嶋 北海道本地の東より北東を指して羅列する三

十二の火山島より成り、海岸は斷崖多く、寒流に洗はれ、風強く、